愛知医療学院短期大学 リハビリテーション学科 令和5年度 シラバス

理学療法専門科目

作業療法専門科目

科目 区分	開講科目	科目 区分
	科学的思考の基盤	
	1 1 生命の科学	
	2 エネルギーのしくみ	
	3 情報処理	
	4 論文講読	
	人間と生活	
	5 心理学基礎	
教	6 人間関係論	
養	7 コミュニケーション論	
基礎	8 レクリエーション	
科目	9 外国語 1 (英会話)	
	10 外国語2(韓国語会話)	
	11 外国語 3 (中国語会話)	
	<u>社会の理解</u>	
	12 現代社会の理解	
	13 生物と環境	
	複合教養	
	14 教養演習 (PT)	
-	15 教養演習(OT) 人体の構造と機能及び心身の発達	
	17 解剖学Ⅱ	
	18 解剖学皿	車
	19 解剖学実習	専門
	20 生理学 I	科目
		-
	22 生理学実習	
	25 運動学Ⅱ	
	26 運動学実習 (PT)	
	27 運動学実習(OT)	
古	28 人間発達学	
専門	疫病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進	
基礎	29 一般臨床医学	
科	30 公衆衛生学	
E	31 臨床心理学	
	32 内科学	
	33 整形外科学	
	34 神経症候学	
	35 精神医学	
	36 小児科学	
	37 医療安全学・救急医学 20 両後診断党	
	38 画像診断学 39 健康科学	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	
	40 リハビリテーション概論 11 リハビリニーション社会会	
	41 リハビリテーション社会論	
	42 社会福祉学	
	43 障がい者スポーツ概論	l

- 1		垤于原丛寺[1]4日
		開講科目
		基礎理学療法学
	44	理学療法概論
	45	理学療法研究法I
ſ	46	理学療法研究法Ⅱ
	47	臨床運動学
ľ	48	運動療法総論
Ī		理学療法管理学
	49	理学療法管理
ľ	50	理学療法倫理
I		理学療法評価学
	51	検査測定法
	52	検査測定法実習
ľ	53	人体触察法実習
ľ	54	理学療法評価法
ľ	55	理学療法評価法実習
ľ		理学療法治療学
ľ	56	中枢神経系障害理学療法治療学
	57	中枢神経系障害理学療法治療学実習
ľ	58	運動器系障害理学療法治療学
ľ	59	運動器系障害理学療法治療学実習
ľ	60	内部疾患系障害理学療法治療学
ľ	61	内部疾患系障害理学療法治療学実習
ľ	62	小児疾患系障害理学療法治療学
ľ	63	小児疾患系障害理学療法治療学実習
ľ	64	老年期障害理学療法学
	65	日常生活活動学
	66	日常生活活動学実習
	67	義肢装具学
ľ	68	義肢装具学実習
ľ	69	物理療法学
ľ	70	物理療法学実習
ľ	71	理学療法特論 I (神経生理学的アプローチ)
ľ	72	理学療法特論 Ⅱ (関節運動学的アプローチ)
ľ	73	理学療法特論Ⅲ(筋生理学的アプローチ)
ľ	74	理学療法特論Ⅳ(スポーツ障害理学療法)
ľ		地域理学療法学
ľ	75	生活環境論
ľ	76	予防理学療法実習
ľ	77	地域理学療法学
Ī		総合理学療法学
	78	臨床実習 I (見学)
ľ	79	臨床実習Ⅱ(地域)
ľ	80	臨床実習皿(評価)
ľ	81	臨床実習Ⅳ(総合1)
ľ	82	臨床実習Ⅴ(総合2)
ľ	83	卒業研究
ľ	84	総合演習
-1		

利日		
科目 区分		開講科目
		基礎作業療法学
		作業療法概論
		臨床運動学
		基礎作業学
	88	基礎作業学実習
		作業療法管理学
		作業療法管理
	90	作業療法倫理
		作業療法評価学
		作業療法評価法
		作業療法評価法実習Ⅰ
		作業療法評価法実習Ⅱ
		身体障害作業評価学
		精神障害作業評価学
	96	発達障害作業評価学
	07	作業療法治療学
		作業療法研究法
		作業治療学理論
		作業療法治療学実習
		身体障害作業治療学 I
		身体障害作業治療学Ⅱ
専		身体障害作業治療学実習
門 科		精神障害作業治療学
1 1 目		精神障害作業治療学実習
		発達障害作業治療学 発達障害作業治療学実習
		完達陣告作耒冶療子美皆 高齢期作業療法学
		高節朔作耒療法子 日常生活作業学 I
		日常生活作業学Ⅰ 日常生活作業学Ⅱ
		口吊生活作未子II 日常生活作業学実習
		口吊生活作未子关首 高次脳障害作業治療学
		高次脑陴苦作未冶旗子
		義肢装具学実習
	113	地域作業療法学
	114	^{地域1F未療法子} リハビリテーション関連機器
	-	地域作業療法学
		地域作業療法学実習
	117	総合作業療法学
	118	臨床実習 I (見学)
		臨床実習Ⅱ(地域)
		臨床実習皿 (評価)
		臨床実習Ⅳ(総合1)
		臨床実習Ⅴ(総合2)
	-	
		卒業研究
	124	総合演習

ŧ	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
<u>/</u>	主命の科学		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	2単位	30時間
ł	旦当教員名							
Ā	茶谷 和司							
τ. P	実務経験のある教員							
ŧ	受業概要							
1	Aたち生物はDNAを遺伝 して新しい知見や見方を示 こついて学修を進め、生命 ことを期待する。	し、生命に対する考	え方を変えている。	本講義では、高等等	学校で学んだ生物学の	つ知識に基づき、主	にヒトに関わること	を中心に生命現象
È	学習到達目標							
知識	 ・理解 ①生物や生命現象に ②生命倫理とは何だ 	こついて、生命科学の か、現代社会との関わ	の基本的な概念や原 わり、その重要性と	「理・法則を使って読 意義について述べる	説明することができる うことができる。 (DP:	5° (DP3) 3)		
	・判断 ③ヒト及び身の回り 長現 ④生命倫理、現代社				ま考や判断で対処でき 学的な思考や判断で来			
技	能							
					ら、自ら課題をもって 関心を持ち、自ら課			
ŧ	受業形態							
耕	義 配付資料とスライ	ドを用い、グループ	・ワークも導入する	° 0				
回数	担当教員	授業	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	森谷	生命と	は何か	生命とは何かにつ である細胞につい	いてグループ・ディン て学修する。	スカッションを行う	。生命の特徴、起源	、生命の基本単位
2	森谷	生命をつ	くる物質	生命をつくる物質	の科学的基礎、その	生質と役割について	学修する。	
3	森谷	細胞の構	造と機能		ある細胞の構造、機能 の移動についても学(とともに、細胞内で	の物質の移動、細
4	森谷	細胞の増	殖と分化	細胞分裂、細胞の	分化、組織、器官に~	ついて学修する。		
5	森谷	生命活動と	エネルギー	酵素の働き、物質	交代とエネルギー交付	代、エネルギーと生	命活動について学修	する。
6	森谷	遺伝子	の本体	遺伝子とは何か、	その本体のDNAについ	て学修する。		
7	森谷	遺伝情報	服の発現	DNAの進行にはおみらう				
				DIAの週代1月報から	•転写、翻訳によって	タンパク質が合成さ	されるしくみを学修-	する。
8	森谷	生物の	の発生		転写、翻訳によって ,発生と分化のしく;			ナる。

· · · · ·					I					
10		森谷	人体のしくみ	*-神経系-	ヒトのニューロンの)構造と機能、中枢	神経と体性神経につい	いて学修する。		
11		森谷	人体のしくみー自行	き神経系と内分泌系 -	ヒトの自律神経、オ	バルモンのはたらき	について学修する。			
12		森谷	人体のしくみー消	肖化系と呼吸系-	生命活動に必要な物	9質の吸収とガス交換	奥について学修する。			
13		森谷	人体のしくみー復	f 環系と排出系-	ヒトの体内輸送、排出と体内の浸透圧調節について学修する。					
14		森谷	人体のしくみーオ	ベメオスタシスー	ヒトの内部環境の調	節のしくみについ	て学修する。			
15		森谷	生命倫理と現住	え社会・まとめ			についてグループ・ 話題について学修す			
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標	
観点 成績許	平価と	筆記	試験	٠	•			50	1234	
到達目 関語		課	題	•	•		•	30	123456	
		講義の振り返り(内 質問な					•	20	56	
評価 特記: 3	事項	全評価の合計が基準	返りは授業ごとに評価 準(60%)未満の場合、 の具体的な内容及び・	再試験を実施する	•					
					示するので、しっか 務めること。(30分		義に臨むこと。(305	}程度)		
部	果題(詞	ጚ験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法						
毎	軍回授業	きの終わりに簡単な言	果題を提示し、コメ	ントペーパーを回収	はする。次回の授業の	冒頭で課題の講評な	やコメントペーパー0	り質問対応等を行う	٥	
老	效科書									
传	 更用しな	い。授業用のプリン	ント・資料を使用す	5.						
孝	参考図書	ł								
耆	参考文南	は講義の中で紹介す	する。							
俌	備考 :履	፪ 修者への要望								
2 V	うまでに ヽ。その	ニ学んだ生物の知識る つためには、ヒト及び	を深め、生命につい び身近な自然、生命(ての新たな見方・考 倫理等に関する新聞	え方を身に付け、間 等の記事にも関心を	違った情報に流され 持ち、生命科学のお	ぃず、正しく科学的な Sもしろさを実感して	¥判断ができるよう てもらいたい。	になってもらいた	

扬	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ت	ニネルギーのしくみ		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	2単位	30時間
担	旦当教員名							
色	後藤 理夫							
Ĵ	ミ務経験のある教員							
*	受業概要							
华	物理学の中でも特に力学・乳				よ則性の理解だけでな	く、数量的にも演	習問題をくり返し解	くことで、専攻の
	斗目における学修成果が十∮ ≠習到達目標	分達成される基礎知識	諏の理解修侍を日傍	そとす る。				
	・理解 ①「エネルギーの根	既念」を理解し、その	の法則を使った計算	びできる。(DP3)				
思考・	判断							
• 表	表現							
技	能							
関心・ ・ 熊	意欲 《度							
授	受業形態							
講	義 講義を中心とした理	理論と演習問題の解詞	説で展開する。					
回数	担当教員	授業	F	授業計	画	授業内容		
1	後藤		の加速度	変位、速度と加速 負の加速度 加速度-時間のグ				
2	後藤	力とつりあ	(I)	力の表し方、つり 力の合成・分解 作用反作用の法則	合う2カ(重力・張)	カ・抗力・弾性力等)	
3	後藤	力とつりあ	₩ (II)	剛体のつり合い 剛体と回転、モー, てこの原理	メント(トルク)			
4	後藤	力とつりあ	い (Ⅲ)	平行力、平行力の 圧力・浮力	合成と重心			
5	後藤	運動の法則	们 (I)	運動の法則(第1慣 落下運動 斜面上の運動	性の法則・第2運動の	り法則)		
6	後藤	運動の法則	IJ (II)	摩擦力が働く運動 回転運動と角速度	(最大静止摩擦力・動	助摩擦力)		
7	後藤	力学的エネル	ギー (I)	仕事、力と仕事 仕事の原理 仕事率				
8	後藤	力学的エネル	ギー (Ⅱ)	運動エネルギー、(エネルギー保存の注 運動量と力積	立置エネルギー、弾 去則	生位置エネルギー		
9	後藤	熱	(I)	熱と温度、熱運動、 熱と仕事	温度と内部エネル	<i>Ψ</i> —		
10	後藤	熱	(II)	物質の三態と状態 比熱、熱容量、熱				
11	後藤	波動	(I)	波の発生、伝わり; 波の性質(独立性	方、波を表す量 ・反射・屈折・回折	・干渉)		
12	後藤	波動	(II)	縦波・横波 音波(音速・三要 光波、電磁波のな;				

13		後藤	電磁気	(I)	静電気 電流と電圧、電気推 電気とエネルギー					
14		後藤	電磁気	(II)	磁石と磁力線、電流 電波	「がつくる磁界、電	流が磁界から受ける	力電磁誘導、交流と	直流	
15		後藤	原子	力	核エネルギー 原子力の平和利用と課題					
	観点別									
到達目	目標の	筆記	試験	٠				80	1)	
123	~	課	題	٠				20	1	
	事項 単備学習	課題は、十分な復習 筆記試験と課題を合 (予習・復習等)(プリントの練習問題及 習活動によって問題を 合わせて6割に達しな の具体的な内容及び、	と理解する努力度で かった場合、再試験 それに必要な時間	評価する。 険を行う。					
		:質上、予習より復行 時間程度)	習に力点を置くため、	講義終了時に課題	[の演習問題プリント	を配布しますので、	解答を答えるだけで	でなく埋論について	も埋解に努める。	
a R	果題(詞	、験・レポート等) (こ対するフィードバ	ックの方法						
					直すこと、解説付き]問題プリントは各自			える)		
孝	教科書									
1 1 1	構義用の)プリント学習冊子?	を初回に配布します。							
Ť	参考図書	ş								
华	寺になし	(高等学校教科書	「物理基礎」「物理」	および「問題集」	などを残している学	生は利用できる)				
ĺ	備考:履	修者への要望								
RIA.	受講生全	員の高等学校にお	する履修は「物理基礎	巻」のみで「物理」	を選択履修していな	い前提での講義内容	客とします。			

ł	授業科目名			ŧ	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
4	情報処理			理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間
1	担当教員名								
1	田中 雅章								
4	実務経験のある教	牧員							
	日本情報処理検知	宦協会 検定	至委員 (2003年~) の実	に積がある教員が、	Word, Excel, Power	Pointの効率の良い	操作技術について講 :	義をする。	
ł	授業概要								
-	基本的なPCに関う	トる知識や	ているメディカルコ 操作を習得する。主 きるようにプレゼン	としてPCのリテラシ	/一技術を指導し、情	青報処理作業でムダの			
<i>.</i> -	学習到達目標								
知識	・理解								
	・判断 表現 ①医療明	見場における	る情報技術の役割をヨ	理解し、自分の考え	やイメージを表現し	相手に正しく伝える	らことができる。(I	P3)	
技	支能 ②調査ラ	「ータや測算	定機器で得られた測算	定値をPCに記録し、	統計分析やグラフ化	2の処理を行うことカ	ぶできる。(DP3)		
	・ 意欲 態度								
ł	授業形態								
講	^集 義 教科書に の回答に	ニ沿って、F はLMSを通じ	℃を利用する演習形む て全員へフィードバ	式の講義。本講義で ベックする。初回に、	このシステムの操作	方法について説明す)、LMSとデジタルコ る。	メントシートを採用	引している。 質問等
回数	担当教	員	授業法	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	田中			ンョン・データ処理 基本	する。	ション、本講義で採 作方法を演習する。			トの操作方法を説明
2	田中		データ分	析の方法	集計やデータ分析(習する。:教科書		1で関数や絶対指定な	を使い、効率の良い	データ分析方法を演
3	田中		データの	の可視化	グラフ作成の基本 教科書 第4章	を学び、Excelで適り	Jな表やグラフを作fi	求するとともに、表 の	の体裁を整える。:
4	田中		文書	作成	Wordの書式設定やP	没落指定、フォント	の変更等の基本操作	を演習する。:教科	書 第3章
5	田中		公文書	の作成	公文書の作法や書う	式を学び、Wordで公	文書の作成方法を演	習する。:教科書	第3章
6	田中		報告書	の作成	病院利用者の満足 成方法を演習する。		計を学び、Excelのク	^{ブラフを活用し分か}	りやすい報告書の作
7	田中		プレゼ:	ンの基礎	プレゼンテーション	ンの基本を学び、Po	werPointの基本操作	を演習する。:教科	書 第6章、第5章

8		田中	プレゼン資	資料の作成	づきリフレクション	/活動を行う。		ードバックする。ポ >演習する。 : 教科書	
観点	朝	評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標
成績評 到達目 関注	標の	実技	試験			•		60	2
		筆記	試験		•			40	1)
評価 特記:	Fの 事項	期末に筆記試験を実 具体的な目標や評価	実施する(40%)。	クに基づく。初回に	3回目に課題を提出 ⁻ 目標や評価基準とな		テ示す。		
琑	■備学習	冒(予習・復習等) <i>(</i>	の具体的な内容及び	それに必要な時間					
	Eき時間 }程度。	同にタイピングの習行	导を推奨する。タイ	ピングが習得できる	と作業能率が改善さ	られ、情報の作業時間 1	引が信じられないぐ(らいに短くなる。練	習時間は、1日10
靜	果題 (設	は験・レポート等)≀	こ対するフィードバ	ックの方法					
〕	尾技試験	食で不合格の場合は、	課題ができるよう	になるまで補習を行	う予定である。早い	い段階でキーボードフ	八 力がスムーズにでき	きるように練習する	ことを勧める。
奉	牧科書								
	「30時間	『でマスター Offic	ee2021」実教出版						
参	考図書	t T							
ŕ	¢L								
偐	请考 :履	貨修者への要望							
뉅	青報機器	縁を自分の思い通り	こ使いこなせるよう	に技術を身につける	努力を希望する。				

授	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
≓A Ph	龠文講読		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	選択	1単位	15時間
担	旦当教員名							
£	予羽 重信							
実	ミ務経験のある教員							
授	受業概要							
7	厚門的な研究や臨床場面でで での論文講読が中心となる。 花み取り方についての解説	が、将来海外の論文	を読む必要が生じる	ことを考慮し、学術	所雑誌のよく知られた	と英語論文も題材の	一部に加える。授業	的とする。日本語 は、論文の構成や
当	2 習到達目標							
知識・	理解 ①論文の読解法と相	構成法、英語の文法	・語法を応用するこ	とができる。(DP2.	DP3)			
思考・		吾の文章の論点を見打	友き、分かりやすく	説明することができ	る。 (DP2.DP3)			
技	能 ③調査データのポイ	イントを読み取り、『	専門用語や英語の辞	典の情報や資料を活	用することができる	o₀ (DP2.DP3)		
関心・		こ日頃から注意を払い	い、積極的に調べる	ことができる。(DF	22. DP3)			
授	受業形態							
講	義 毎回、論文を読んで	で研究するとともに、	英語の小テストを	行い、解説を行う。				
回数	担当教員	授業学	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	丹羽	初めての話	命 文(1)	手本となる卒業論 る英語の重要性に~	文の構成と読み取り ついて考える。	方を見てみる。また	、グローバリゼーシ	ョンの時代におけ
2	丹羽	初めての話	命 文(2)	論文構成の約束事る いて確認する。	をより詳しく知る。i	述語動詞を中心にす	る英文の基本構造と	品詞との関係につ
3	丹羽	論文を読	む (1)	自然科学の論文をり いて整理する。	見てみる。英語話者7	がいつも意識してい	る時間軸と述語動詞]の形との対応につ
4	丹羽	論文を読	む (2)	社会科学の論文を 月いる意味を考える	見てみる。英語で動詞 る。	詞を、述語動詞とし	てではなく、準動詞	しとして他の品詞で
5	丹羽	論文を読	む(3)	医療倫理に関する の働きについて整理	侖文を見てみる。英言 重する。	語の文と文をつなぎ	、重文や複文を作る	いろいろな接続詞
6	丹羽	英語論文を	読む(1)	英語による遺伝学り を復習する。	こ関する論文を読み、	その意義について	考える。英語の関係	代名詞・関係副詞
7	丹羽	英語論文を	読む(2)	英語による物理学の を見てみる。	D論文を読み、その特	特徴を学ぶ。英語の	比較や否定の表現の	いろいろな組合せ

8		丹羽	ŧ	200	全講義の復習をおこ	こない、論文研究の	まとめとする。		
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合 (%)	到達目標
観点 成績許	価と	筆詞	已試験	•	•	•		20	123
到達目 関語		小ラ	テスト	•	•			40	12
		参加	貢献度		•	•	•	40	234
評価 特記		最終講の筆記試験 を課す。	・毎回行う小テスト	・授業中の参加貢献	度を上記の割合で評	価する。各評価を行	合計した総合評価が(6割に満たないもの	について、再試験
道	準備学習	3 (予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間					
凶 190	図書室て ミた、授	°備えられた専門書 ₹業後は文法事項の	や先輩の卒業論文を 苦手箇所を復習する。	読んでみる。これま , (30分程度)	で使用した英文法の	参考書を再読する。	。(30分程度)		
部	親(詞	弌験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法					
			単なレポートを提出 ,結果を報告する。	してもらう。小テス	トについては各回の	講義中に解答解説	する。小テストは自i	己採点とするが、最	終の科目試験(日
孝	女科書								
毎	戶回、論	文および英語小テ	ストのプリントを使	用する。					
澎	考図書	t 1							
3	を持ちの	英文法の参考書、	および英和辞典・和	英辞典(電子辞書も	,可)				
俌	 青考: 履	酸者への要望							
			。焦らず、あきらめ ・書くことに努めた		る以外に方法はない	。時間はかかるが、	、誰でも上達できる	ものである。このこ	とを頭に入れて、

ŧ	授業科目名		専	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
તં	心理学基礎		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	必修	2単位	30時間
7	担当教員名							
	金子 幾之輔							
אויע	実務経験のある教員							
	金子 幾之輔 : 日本カウン† グ理論・実習を導入するこ						務経験を有し、本授	業にカウンセリン
Ť	授業概要							
	本科目は、人間の心の諸相 みや働きについて学修する							し、人の心の仕組
	学習到達目標	な知見を論じられる	史までに心理学に関	する基礎知識を説明				
知識		者への支援について言						
	・判断 表現							
技	友能							
	ate pJ.							
• <u></u>	 ・意欲 態度 							
• <u>育</u>	授業形態		1.1.1.7~ (十百公共103	5. Ha	送1-2-2			
• <u>育</u>	授業形態	いて平易に解説する。	とともに、体験学習					
• <u>育</u>	態度 授業形態		とともに、体験学習 テーマ	やグループワークも 授 業 計	導入する。 画	授業内容		
• <u></u>	態度 授業形態	授業ラ		授業計			握する。	
• 煎	態度 授業形態	授業ランロ理学と	デーマ	授 業 計 心理学の領域と歴5	圃	学の概念や特徴を把		
· 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎	 態度 授業形態 講義 自作の資料に基づ 担当教員 金子 公子 	授業 心理学 外界	テーマ とは何か	授業計 心理学の領域と歴史 人間が行動表出す?	画 史等を概観し、心理会	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修		
· 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · · · · · · · · · · · · ·	 態度 授業形態 請義 自作の資料に基づ 担当教員 金子 金子	授業 心理学 外界 記	テーマ とは何か 認識	授業計 心理学の領域と歴史 人間が行動表出する 記憶のプロセスとる	画 史等を概観し、心理 るまでの認識のメカ:	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修 いて学修する。	する。	いいて学修する。
· 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎	 態度 授業形態 時後 自作の資料に基づ 推当教員 金子 金子	授業 心理学 外界 記 (1)定義等 (2) 学	テーマ とは何か 認識 !憶	授業計 心理学の領域と歴史 人間が行動表出する 記憶のプロセスとる 学習の定義、意義、	画 史等を概観し、心理 るまでの認識のメカ: さまざまな記憶につい	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修 いて学修する。 基本的メカニズムと	する。 しての条件づけにつ	ついて学修する。
• 煎 <u></u>	 態度 授業形態 時載 自作の資料に基づ 推当教員 金子 金子	授業 心理学 外界 記 (1)定義等(2) (3)道具的条件	テーマ とは何か 認識 !憶 :習 古典的条件づけ :習	授業計 心理学の領域と歴生 人間が行動表出す? 記憶のプロセスとさ 学習の定義、意義、 条件づけと認知的者	画 史等を概観し、心理学 るまでの認識のメカ: さまざまな記憶につい 種類および学習の書	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修 いて学修する。 基本的メカニズムと 学習理論について学	する。 しての条件づけにつ 修する。	
• 煎 <u></u>	 態度 授業形態 目作の資料に基づ 1 1 1 1 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 	授業 心理学 外界 1)定義等(2) (1)定義等(2) (3)道具的条件 動機 (1)発達心理学の視	 デーマ とは何か 認識 !億 :習 古典的条件づけ :習 づけ (4)その他 !づけ の成長 	授業計 心理学の領域と歴史 人間が行動表出する 記憶のプロセスとる 学習の定義、意義、 条件づけと認知的 ² 動機づけのメカニン	画 史等を概観し、心理 るまでの認識のメカコ さまざまな記憶につい 種類および学習の ジョンでの他の 会	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修 いて学修する。 基本的メカニズムと 学習理論について学 社会的動機について	する。 しての条件づけにつ 修する。 学修する。	いいて学修する。
· 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎 · 煎	 態度 授業形態 目作の資料に基づ 1 1 1 金子 金子	授業 心理学 外界 記 (1)定義等 (2) (3)道具的条件 (3)道具的条件 動機 (1)発達心理学の視 近	デーマ とは何か 認識 !憶 習古典的条件づけ 習づけ (4)その他 ごけ の成長 記(2)子どもの発	授業計 心理学の領域と歴史 人間が行動表出する 記憶のプロセスとこ 学習の定義、意義、 条件づけと認知的な 動機づけのメカニニ 人の成長を発達心ま	画 史等を概観し、心理 るまでの認識のメカ さまざまな記憶につい 種類および学習の 学習およびその他の ズム、生物的動機と う	学の概念や特徴を把 ニズムについて学修 いて学修する。 基本的メカニズムと 学習理論について学 社会的動機について 子どもの発達につ	する。 しての条件づけにつ 修する。 学修する。 いて学修する。	
· 前 · 前 · 前 · 前 · 前 · 前 · 前 · 前 · 二 · 二 · 二 · 二 · 二 · 二 · · · · · · · · · · · · ·	態度 目作の資料に基づ ● 単当教員 ● 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子	授業ラ 心理学と 外界 記 (1)定義等(2) (3)道具的条件・ 動機 (1)発達心理学の視点 (3)青年期の発達 (3)青年期の発達	デーマ とは何か 認識 1億 習古典的条件づけ 習づけ (4)その他 づけ の成長 1点 (2)子どもの発 室 の成長	授業計 心理学の領域と歴望 人間が行動表出す? 記憶のプロセスと? 学習の定義、意義、 条件づけと認知的望 動機づけのメカニ? 人の成長を発達心我 上記と同様の視点が 性格記述の代表的が	画 史等を概観し、心理 るまでの認識のメカ さまざまな記憶につい 種類および学習の 学習およびその他の ズム、生物的動機と 理学の視点から捉え、	学の概念や特徴を把 =ズムについて学修 いて学修する。 基本的メカニズムと 学習理論について学 社会的動機について 子どもの発達につ 成人期の発達につ と特性論について学	する。 しての条件づけにつ 修する。 学修する。 いて学修する。 いて学修する。 修する。また、性格	

12 金子 人間関係 人間関係の基礎理論としての対人魅力、援助行動について学修する。 13 金子 心の病気 心の健康と不健康、さまざまな心理的障害について学修する。 14 金子 カウンセリング カウンセリングの基礎理論を学修する。また、その実習として面接法を実施する。																			
13 金子 心の病気 心の度度と不健康、さまざまな心理的障害について学修する。 14 金子 カウンセリング カウンセリングの基礎通論を学修する。また、その実習として面接決を実施する。 (パルーフワーク) 15 金子 総括 課業内容の取り返りとまとめを行う。 16 金子 総括 課業内容の取り返りとまとめを行う。 17 総括 課業内容の取り返りとまとめを行う。 102 18 デ#価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 技施 間心・霊欲・懲皮 別合 (%) 到速目標 19 レボート対映 ● 85 (1)② 第 単位 (1) 15 (1)② (1)③ 15 (1)② # 取り返り度 ● 15 (1)② (1)③ # 取り返り度 ● 15 (1)② (1)③ # 取り返り度 ● 15 (1)② (1)③ # 取り返り度 ● 15 (1)② (1) # 取り返り度 ● 15 (1)② (1) # 取り返り度 ●	11		金子	社会的	的影響		きかけによって、	個人の態度や行動がた	大きく影響される過	程について学修す									
14 金子 カウンセリング カウンセリング カウンセリング 15 金子 地括 滞執内容の取り返りとまとめを行う。 16 金子 地括 滞執内容の取り返りとまとめを行う。 17 砂面 10 10 10 18 金子 地括 滞執内容の取り返りとまとめを行う。 19 レボート試験 10 15 102 19 レボート試験 0 15 102 10 レボート試験 0 15 102 10 15 0.02 15 0.02 11 レボート試験 0 15 0.02 12 マジョン(21, を200)交換 15 0.02 15 0.02 12 マジョン(21, を200)交換 15 0.02 15 0.02 12 マジョン(21, を200)交換 10 15 0.02 15 0.02 12 マジョン(21, を200)交換 10 15 0.02 15 0.02 12 マジョン(21, を200)交換 10 15 0.02 15 0.02<	12		金子	人間	関係	人間関係の基礎理論としての対人魅力、援助行動について学修する。													
14 エエ カリノビラジジ (グルーブワーク) 15 金子 総括 講義内容の振り返りとまとめを行う。 15 金子 総括 講義内容の振り返りとまとめを行う。 16 金子 総括 課意の 10 10 10 15 金子 総括 課意の 15 0.0 16 0.0 16 レボート試験 ● 10 15 0.0 0.0 17 取り返り度 ● 15 0.0 0.0 0.0 15 0.0 15 0.0 0.0 0.0 0.0 16 レボート試験 ● 15 0.0	13		金子	心の	病気	心の健康と不健康、さ	さまざまな心理的	的障害について学修する	5.										
観点別 (端評価と) 「単価方法 評価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 技能 問心・意欲・態度 割合 (%) 到達目標 (%) 「 レボート試験 (レボート試験 (85 ①② ((85 ①③ (((85 ①④ ③ ())))))))))))) </td <td>14</td> <td></td> <td>金子</td> <td>カウンヤ</td> <td>zリング</td> <td>カウンセリングの基础 (グループワーク)</td> <td>巻理論を学修する</td> <td>る。また、その実習とし</td> <td>- て面接法を実施す</td> <td>る。</td>	14		金子	カウンヤ	zリング	カウンセリングの基础 (グループワーク)	巻理論を学修する	る。また、その実習とし	- て面接法を実施す	る。									
製品知 (油菜) 評価方法 「知菜・児幣 売考・判断・衣花 技能 時日、6.% 評価方法 評価方法 「別菜・児幣 売考・判断・衣花 技能 時日、6.% 評価方 評価方 第回 (%) 判理目標 「「「」」 「「」」 <	15		金子	総	括	講義内容の振り返りと	:まとめを行う。												
明連目標の 関連 レポート試験 ● 85 ①② 振り返り度 ● 15 ①②			評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標									
振り返り度 15 ①② ・レボート試験は、最終試験のみとする。 ・振り返り度は、毎回の授業の終わりにリフレクション(省第・振り返り:ミニッツペーパーの導入)を行い評価する。 ・本科目では、当該レポートを紛切り日時までに提出しなかった場合、原則として不合格とし、再試験を実施しません。また、合格点に満たなかった場合 ・再試験を実施しません。さらに、特別試験も実施しませんので十分に注意して下さい。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ・事前学習:心理学経典や心理学概論等の参考文献を用いて、毎回の授業で扱う内容について調べておくこと。(1時間程度) ・事前学習: 必理学辞典や心理学概論等の参考文献を用いて、毎回の授業で扱う内容について調べておくこと。(1時間程度) ・調題(試験・レポート等)に対するフィードパックの方法 課題(以ポ・レポート、振り返り)に関する質問は適宜受け付ける。 株をの中で適宜紹介する。 ま着の中で適宜紹介する。	到達	目標の	レポート試験		•				85	12									
 評価の 特記事項 ・板り返り度は、毎回の枝楽の終わりにリフレクション(省察・板り返り:ミニッツペーパーの導入)を行い評価する。 以上2つの評価点を総合して評価する。 *本科目では、当該レボートを補助の日時までに提出しなかった場合、原則として不合格とし、再試験を実施しません。また、合格点に満たなかった場合 も再試験を実施しません。さらに、特別試験も実施しませんので十分に注意して下さい。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ○事前学習:心理学酵典や心理学概論等の参考文献を用いて、毎回の検業で扱う内容について調べておくこと。(1時間程度) ○事前学習:授業で扱った内容を自分なりにまとめるなどの復習をすること。(1時間程度) 課題(試験・レポート等)に対するフィードパックの方法 課題(レポート、振り返り)に関する質問は適宜受け付ける。 教科書			振り返り度 ●						15	12									
 ○事前学習:心理学解論等の参考文献を用いて、毎回の授業で扱う内容について調べておくこと。(1時間程度) ○事後学習:授業で扱った内容を自分なりにまとめるなどの復習をすること。(1時間程度) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 課題(レポート、振り返り)に関する質問は適宜受け付ける。 教科書 授業に必要な自作の資料を配布する。 参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望 			*本科目では、当該	本科目では、当該レポートを締切り日時までに提出しなかった場合、原則として不合格とし、再試験を実施しません。また、合格点に満たなかった場合															
 ○事後学習:授業で扱った内容を自分なりにまとめるなどの復習をすること。(1時間程度) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 課題 (レポート、振り返り)に関する質問は適宜受け付ける。 教科書 授業に必要な自作の資料を配布する。 参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望 	ì	準備学習	】 冒(予習・復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間														
 課題 (レポート、振り返り)に関する質問は適宜受け付ける。 教科書 授業に必要な自作の資料を配布する。 参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望 								こと。(1時間程度)											
教科書 授業に必要な自作の資料を配布する。 参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望		課題(討	弌験・レポート等)(に対するフィードバ	ックの方法														
授業に必要な自作の資料を配布する。 参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望	Ī	課題(レポート、振り返り)に関する質問は適	直受け付ける。														
参考図書 講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望	TRAFT.																		
講義の中で適宜紹介する。 備考:履修者への要望		教科書																	
備考:履修者への要望	ł		公要な自作の資料を	配布する。															
		授業に必		配布する。															
	141	授業に必 参考図書	}	配布する。															
	11997 1111	授業に必 参考図書 講義の中	<u>事</u> 中で適宜紹介する。	配布する。															

ることを期待する。

扬	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
,	し間関係論		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	必修	1単位	15時間			
+1	口化料告友		11 2189441								
1	旦当教員名										
3	全子 幾之輔										
	実務経験のある教員										
ウ	≥子 幾之輔:日本カウンセ ⁷ 理論・技法を導入するこ。 月することによって、一層[とによって、人間関	系(とくに援助的人	.間関係) に関する知	口識・技能の学修を供						
授	受業概要										
7	本科目は、対象者との良好;	わし問題係を形成し、	たり 職提 (協設・	病院等)における人	問題区を田漫化した	- り ま ス た め に み	ヘノレーア 医療従	東老トレイ おい			
にゴ	は個人として、どのようにネ Ҟを取り入れた授業形態で⁴	行動すればよいのか 学修する。具体的に	について客観的、科 は、日常生活上の事	学的に考察し、その 例を検討するなどし)行動を実践できるよ ノて人間関係に関する	こうになることを目的 う基礎的な理論を把持	的とし、講義形式を	中心に一部演習形			
5	ワーク等を通じ援助的人間関係において必要な基本的態度やコミュニケーション技法に関する知識・技能について学修する。										
治	学習到達目標										
知識·	•理解 ②援助的人間関係	 ①人間関係に関する基礎的な理論を説明できる。(DP1) ②援助的人間関係において必要な基本的態度について述べることができる。(DP1) ③援助的人間関係において必要なコミュニケーション技法を適用できる。(DP1) 									
思考・	判断										
・ 表	₹現										
技	能										
関心・	 意欲 () () () () () () () () () ()	を抱き、そのための体	本験学習やグループ	ワークに意欲的に参	加し討議することが	できる。(DP1)					
	* ^皮 受業形態										
講	義 自作の資料に基づい	いて平易に解説する。	とともに、体験学習	やグループワークも	導入する。						
回数	担当教員	授業を		授業計	画	授業内容					
回 <u></u> 叙	金子		デーション	本授業の目的、到道	達目標、授業計画等 (
2	金子	 人間関係の 	基礎的な理論	(1) 人間関係の定る。	義、人間関係に関す	る問題の社会的背景	*、好ましい人間関イ	系について学修す			
3	金子	金子 1. 人間関係の基礎的な理論 (2) 人間関係の要因、(3) 人間関係の場面について学修する。									
4	金子	 2. 援助的人間関係 本的 	において必要な基 態度	態度の定義、個人的	竹態度の捉え方(心珠	里検査の体験学習)	、援助的態度等につ	いて学修する。			
5	金子	金子 2. 援助的人間関係において必要な基本的態度			接助者に望まれる6つの態度(無防衛、共感、受容、熱意、間、距離)についてグループワーク を通じ学修する。						
6	金子	金子 3. 援助的人間関係において必要なコ ミュニケーション技法 前述の6つの態度を実現するためのコミュニケーション技法の基礎である(1)促しの技法、(2 繰り返しの技法についてグループワーク等を通じ学修する。									

7		金子 3. 援助的人間関係において必要なコ ミュニケーション技法 同様に(3) 要約の技法、(4) 解釈の技法、(5) 共感の技法、(6) 保証の技法、(7) 沈黙の技 法、(8) 明確化の技法、(9) 質問の技法、(10) 対決の技法について学修する。								
8		金子	ŧ	とめ	これまでの授業の扱	長り返り(リフレク	ション)を行う。			
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合 (%)	到達目標	
観点	平価と	レポー	- 卜試験	●				80	123	
到達目		振り	返り度	•				10	123	
		参加	貢献度				•	10	4	
()事前学)事後学	*習:心理学辞典や *習:授業で扱った	内容を自分なりにま	会心理学の参考文南 とめるなどの復習を		呈度)また、援助的	ついて調べておくこ。 1人間関係において必		コミュニケーション	
1	黒題(詩	、験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法						
			、参加貢献)に関す		ける。					
老	效科書									
Ř	授業に必要な自作の資料を配布する。									
Ż	参考図書									
***	構義の中	いで適宜紹介する。								
傓	備考 :履	貨修者への要望								
	援助的人間関係において必要な基本的態度・コミュニケーション技法を向上させるために体験学習や実習場面のみならず、日常生活上においても積極的にその態度 や技法を訓練することを期待する。									

扬	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
Ξ	コミュニケーション論		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間				
#	旦当教員名											
	刊羽 重信											
〕	ξ務経験のある教員											
授	授業概要											
カ オ に	現代社会におけるコミュニケーションの有り様は実に多彩であり、コンピュータやスマートフォンなどの普及によって従来にはなかった新しいネットワーク構築が 加速しつつある。 本科目では現代のコミュニケーションの実情について広く捉え、日本人の使うコミュニケーション手段の中核としての現代日本語のみならず、それに強い影響を及 ぼしている英語表現、さらには唯一の世界共通言語とも言える数学表現をも視野に入れて、将来の研究活動や医療業務に活かせる敬語運用を踏まえたコミュニケー ションの在り方について学修する。授業は講義形式を中心とし、お互いに考えディスカッションをするグループワークなどを取り入れることもある。											
当	全習到達目標											
知識・	理解 ①日本を取り巻く†	¥ ①日本を取り巻く世界の情勢と、日本社会の変化について、科学的な知識に基づいて具体的に述べることができる。 (DP2, DP3, DP6)										
	・判断 変現 ②自己中心的な判断ばかりを続けず、他者の立場に立って全体の状況を見直すことができる。(DP3, DP4, DP6)											
技	能 ③日本語の中の敬言	語の基本的な仕組みī	Eしく身に付け、適	切に使いわけること	ができる。(DP3, 1	DP6)						
関心・ ・ 覚		ミュニケーションの『	限界をわきまえつつ	、積極的にネットワ	ークを作っていくこ	とができる。(DP3	, DP4, DP6)					
挖	受業形態											
講	義 プリントを使用す	る講義。可能な場合に	こはディスカッショ	ン,インタビューな	どを行う。							
回数	担当教員	授業分	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	丹羽	自己と他者とのコ	ミュニケーション 1)	「コミュニケーショ	ョン」とは何かを考;		いてみる。					
2	丹羽		ミュニケーション 2)	インタビューを通し	_ て情報を聞き出し、	他者紹介文を書い	てみる。					
3	丹羽	丹羽 ことばによるコミュニケーション 日本語の敬語の仕組みが持つ複雑さを知り、その役割について考える。 (1)										
4	丹羽		ミュニケーション 2)	ことばによるコミ: る。	ュニケーションの限績	界とノンヴァーバル	 コミュニケーショ 	ンについて考え				
5	丹羽	動植物とのコミ	ュニケーション	『雑種植物の研究』を発表し「遺伝学の父」と呼ばれることになったメンデルの生涯について学ぶ。								
6	丹羽 ものとのコミュニケーション 放射能の発見と研究の歴史を概観し、ポーランドに生まれた女性科学者マリー・キュリーの について学ぶ。											

7		丹羽	宇宙とのコミニ	ュニケーション	『相対性理論』と宇宙研究を考え、自由な精神を持ったアインシュタインの生涯について学ぶ。						
8		丹羽	まと	こめ	第1回~第7回のふり	かえり					
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標		
観点	平価と	筆記	試験	•		•		20	13		
到達目		レポート(課題提出)	•	•	•	•	40	1234		
		参加貢	貢献度		•		•	40	24		
特記 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	 評価の 特記事項 講義への出席と受講態度で参加貢献度を測り、毎回の課題提出、および筆記試験の結果を総合的に評価する。筆記試験、課題提出、参加貢献度の各評価を 合計した総合評価が6割に満たないものについて、再試験を課す。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 百科事典やウィキペディアなどで上記の科学者について調べ、テレビや新聞のニュースで世の中の動きを補う。(30分程度)また、敬語の使用を意識しながら人々 の話し言葉にも日頃から注意を払う。 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 毎講、出席確認をかねた簡単なレポートを提出してもらう。その中で特に注意を引いたものについて講義中に随時コメントする。最終の科目試験については結果を 										
耄	数科書										
牛	寺に指定	はしない。講義中に	こ紹介する書籍や映ī	画などを見てみる。							
Ż	参考図書										
	「メンデル 雑種植物の研究」 岩槻邦男・須原準平 訳 岩波文庫 「キュリー夫人伝」 エーヴ・キュリー著 河野万里子 訳 白水社 「アインシュタイン 相対性理論」 内山龍雄 訳・解説 岩波文庫										
俌	⋕考 :履	修者への要望									
雷	電子辞書などを手元に用意しておくこと。										

ŧ	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
l	レクリエーション		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	選択	1単位	15時間			
ł	旦当教員名							1			
t	吅藤 真夕美										
9	実務経験のある教員										
	加藤 真夕美:医療機関、介 クリェーションの基礎につ			介護事業所において	作業療法士として勤	務し、レクリエーミ	ンョン指導の経験を	有する教員が、レ			
ŧ	授業概要										
类	人が生活する上で、遊び・余暇活動は重要な活動である。本科目は、この遊び・余暇活動の一形態である集団レクリエーションについて、その概念や意義、分 類、有効性、留意事項などを学習する。その上で、少人数グループに分かれ、集団レクリエーションの企画、計画書の作成、実施、振り返り、報告書の作成とい う一連の流れを演習を通して体験的に学び、医療・福祉分野における集団レクリエーションの実践能力の基礎を獲得する。										
À	習到達目標										
知識,	・理解 ①レクリエーション	解 ①レクリエーションの分類を述べることができる。 (DP1)									
	・判断 _長 現 ②医療・福祉現場)										
技				トることができる。 ノョンを受ける人の		を記述することがて	ごきる。 (DP3,4)				
		自身の役割を果たす く、かつ内容の不足		と自身のグループワ・ ^以 できる。(DP3)	ークでの特性を内省	し、それを記述する	うことができる。(D)P5)			
ŧ	受業形態										
演	習 グループワークに。	よるアクティブ・ラ	ーニング(演習、レ	~ポート作成)を主(本とし、一部講義形	式を交えて行う。					
回数	担当教員	する 生き 生き 生き 生き 生き 生き 生き しょう	テーマ	授業計	画	授業内容					
回 奴 1	加藤	オリエンラ	テーション レーキング	授業の内容およびう う。	進行について説明す		全びを通してアイス:	ブレーキングを行			
2	加藤	レクリエーミ	ションの概論	レクリエーション	の考え方やリハビリ	テーションとの関連	植性について学ぶ。				
3	3 加藤 レクリエーシ		ンの計画立案①	レクリエーション(の計画の立て方につ	いて学ぶ。					
4	4 加藤 レクリエーショ		ンの計画立案②	グループごとに集	団レクリエーション	を計画し、計画書を	と作成する。				
5~7	5~7 加藤 集[ーション実践	各グループ20分間 またその成果を学	間の集団レクリエーションを、他グループの学生に対してま 学生相互に評価し合う。		『の学生に対して実践	浅する。			
8	加藤		ョンの振り返り こレクリエーション		ョンの他者評価結果 じたレクリエーショ		°および個人で振り↓ ↓討する。	反りを行う。ま			

	評価方法	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心•意欲• 態度	割合 (%)	到達目標				
観点別	実技評価		•	•	•	30	2345				
成績評価と 到達目標の 関連	レポート (グループ)	•	•	•	•	40	1236				
	レポート (個人)		•		•	20	25				
	参加貢献度				•	10	56				
評価の 特記事項	 ・実技評価は、集団レクリエーション実践後のループリックによる他者評価で採点する。 ・レポート(グループ)及びレポート(個人)は、担当教員がルーブリックを用いて採点する。 ・参加貢献度は、グループワーク当日に果たした役割の有無で採点する。 ・再試験は実施しない。 										
準備学習	習(予習・復習等)の具体的な内容及び	それに必要な時間									
レクリコ	ニーション実施に当たっての準備や練習	(1時間)									
課題(詞	弌験・レポート等)に対するフィードバ	ックの方法									
	- ト(計画書・報告書)は、グループご 9容は、授業内に受講生同士でループリ		ドバックする。また、	ルーブリックで採	点する。						
教科書											
参考図書											
	「レクリエーション―社会参加を促す治療的レクリエーション」第3版 寺山 久美子、 中村 春基 三輪書店 その他、必要に応じて授業内で紹介する。										
備考:履	備考:履修者への要望										
・この利	音数によっては、受講人数に制限を設け ↓目では、普段交流のない学生を含めた こ関わり、集団の中での自身の得意・不	仲間たちと協働作業	後し、一からレクリ:		ムを組み立てていく	(体験をします。積	極的にグループメ				

抒	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
<i>y</i>	▶国語1(英会話)		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間				
担	旦当教員名											
J	ames Higa											
〕	ミ務経験のある教員											
	受業概要											
r n t	This is a speaking course designed to help the students feel comfortable using the English that they know and have learned in various health- related and communicative situations. The students will be required to demonstrate their ability to ask and answer questions, and to interact naturally with their classmates, as well as their teacher. In addition to, participating in all the class activities, the students will be expected to work on improving their English skills. The class incorporates group work.											
行	学習到達目標											
知識・	理解 ①Can ask and answer basic questions in English. (DP3)											
思考・												
技	能 ③Can engage them	nselves in short co	onversations. (DP3))								
関心・ ・ 熊		ersation proactive	ely using the voca	bulary that they b	nave learned in the	e class. (DP3)						
挖	受業形態											
講	義 Group work											
回数	担当教員	授業を	デーマ	授業計	画	授業内容						
1	James	orientation / se	elf-introduction	review course out	line: expectations	and homework / ta	alk about self / h	andout #1				
2	James	friends / class hosp		introduce classma	ites / use expressi	ons / / quiz hando	out #1 / handout #	2				
3	James	family / illness: cold,	headache, cough, virus	label family memb	oers / use expressi	ons / quiz handou	t #2 / handout #3					
4	James	body parts /	body: muscle	identify body par	rts by name/ use ex	pressons / quiz ha	andout #3 / handou	it #4				
5	James	hobbies / sports	/ medicine: pills	things you like t	xo do / play / use	expressions / qui	z handout #4 / han	idout #5				
6	James	time / schee	dule / blood	making appointmen	nts / planning / us	e expressions / q	uiz handout #5 / h	andout #6				
7	James group presentation final 3 minute group presentation											

8		James	SUM	IARY	summary of 1-7							
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心•意欲• 態度	割合 (%)	到達目標			
観点	〔別	筆記	試験	•	•			30	12			
成績評 到達目 関	標の	小テスト		•	•			50	12			
		課題(プレゼン	/テーション)			•		10	3			
		参加貢献度 10 ④ 10 ④										
評価 特記:	事項	Course grading will be based on class participation (10%) weekly quiz (50%) written assessment (30%) and assignment: group presentation (10%) Students will need to take a re-examination in case the total score is less than 60%.										
di pa S'	rawings articip tudents	s in class, as par pate in class.	t of their weekly pare for one group	assignment. *If	various topics to b the student does n d prepare for the v	not complete the h	omework assignment	, he/she will not	be able to			
調	課題(詞	、験・レポート等) は	こ対するフィードバ	ックの方法								
WI	hen the	e students give a	presentation, the	teacher gives his	s opinion and advic	e depending on it:	s subject as neede	ed.				
耄	牧科書											
P	rinted	material will be	provided by the in	nstructor.								
参考図書												
ne	one											
備	请考 :履	修者への要望										
	Please come to class with a positive attitude and be willing to participate using only English. All class instructions will be done in English. Please have an A4 size notebook for assignments and homework.											

挖	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
Ą	▶国語2(韓国語会話)		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	選択	1単位	15時間				
担	旦当教員名											
ŝ	≥ 春子											
〕	ミ務経験のある教員											
杉	受業概要											
を オ	韓国語を表記する文字ハングル(偉大な文字)は、1443年朝鮮王朝4代目の世宗大王が、庶民のために学者を集めて創らせた文字である。ハングル文字は子音と母音 を組み合わせてできる文字である。韓国語の語順は日本語とほぼ同じで、日本人が学びやすい言語であるといえる。 本科目では、このようなハングルを読むために基本文型を学び、簡単な挨拶ややさしい会話ができる知識を身に付けることを目標とする。授業は講義形式で行い、 発音練習や会話は二人一組で行う。											
行	学習到達目標											
知識・	職・理解 ②韓国語会話を聞くことができる。 (DP3)											
思考・												
技	能											
関心・ ・ 覚	意欲 ⑤韓国語を積極的に 泉度	こ話すことができる。	(DP3)									
技	<u>受業形態</u> 義 講義形式、会話は二	二人ずつで行う。										
				授業計	画							
回数	担当教員	授業ラ	デーマ			授業内容						
1	金	基礎第1課。	、2課, 3課	ハングル:母音、	子音を学ぶ、 会話	: あいさつ						
2	金	基礎第4	課、5課	ハングル:複合母音	音、パッチムを学ぶ							
3	金	基礎	第6課	ハングル : 発音の羽	变化							
4	金	第1課 私は浅井 第2課 出身は2		ハングルを読む練習	習と会話							
5	金	第3課 図書館で 第4課 時間が	はありません。 ありますか。	ハングルを読む練習	習と会話							
6	金	第5課 何を 第6課 貿易会社で	しますか。 で働いています。	ハングルを読む練習	習と会話							
7	金	第7課 服を	買います。	ハングルを読む練習	 習と会話							

8		金	まとめ		第1回~第7回で学習した内容の復習						
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心•意欲• 態度	割合 (%)	到達目標		
観点	平価と	筆記	記験	•	•			70	234		
到達目		誹	題	•				20	1		
		参加过	貢献度				•	10	5		
特記	 評価の 特記事項 授業態度不良は10%ダウンする。 すべての評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 										
			ングルを覚える。(1 に対するフィードバ								
기	トテスト	、終了後、解説しま	す。								
耄	效科書										
ł	基礎から	っ学ぶ「韓国語講座」	」初級 改訂版、	著者:木内明							
才	参考図書	t T									
牛	特になし										
俌	備考:履修者への要望										
¢	休まず講義に出席する、特に第一回の授業は必ず参加すること、一回目の授業を欠席すると授業についていけなくなる。講義中は私語を慎む。										

ž	受業科目名		専	īц	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
5	▶国語3(中国語会話)		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	選択	1単位	15時間				
扌	旦当教員名											
Ŕ	ミ 英梅											
5	実務経験のある教員											
ž	受業概要											
2 l	本科目では、中国語の発音、文法解説、作文練習を行う。それにより、ピンイン(中国語発音を表記する記号のこと)が読め、挨拶言葉、基礎的な日常会話を習得 し、基礎的な文法を理解し、簡単な意思疎通ができることを目標とする。会話文を通じて、基礎文法と基礎語彙の習得を目指す。授業は講義形式にて行う。											
Ě	学習到達目標											
知識,	・理解 ①中国語の漢字、	解 ①中国語の漢字、発音、基礎文法の学習を通じて、中国語に対する基礎知識を習得する。 (DP3)										
	判断 ₹現 ②「読む、聞く、]	話す、書く」を通じて	て医療人材としての	思考力や判断力を高	うめることができる。	(DP3)						
技	能 ③中国語で自己紹介	介、簡単なコミュニク	ケーション能力を身	につけることができ	てる。 (DP3)							
関心・ ・ 1	- 意欲 態度 ④異文化について う	意欲的に考える姿勢な	を身につけることが	できる。 (DP3)								
ž	受業形態											
講	義 講義形式で行う											
回数	担当教員	授業学	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	侯	発	音	母音、子音、声調								
2	侯	(二一	好 ハオ)	挨拶言葉、動詞述言	吾文							
3	侯		日本人 本人です)	動詞述語文、「是」	の使い方							
4	侯		习汉语 边強したい)	助動詞「想」、形彩	容詞述語文							
5	侯	2023年5	5月18日	形容詞述語文、数0	の数え方、年、月、	日、曜日、時間の表	現					
6	侯	你家 (どこにお住	王哪里 まいですか)	名詞述語文、特別疑問文、「在」と「有」の使い分け								
7	侯 你的电话号码是多少? (電話番号を教えてください) 病院での会話の練習											

8		侯	ŧ	: Ø	前半:1~7課の内容復習							
観点	気別	評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合 (%)	到達目標			
	平価と 目標の 連	小泛	テスト	•				30	1			
		期末試験		٠	•	•	•	70	1234			
	評価の 記事項 小テストは授業で勉強した文法や発音についてのものです。全部で2回あります。 永テスト、期末試験を行います。 小テスト、期末試験を合わせて6割に達しなかった場合、再試験を行います。											
ž	準備学習	量 第学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間										
1	1日目の授業前に、Youtubeの関連発音動画を見ながら1〜2時間予習してください。 1日目の授業後に、ピンインの発音と文法の復習を2〜3時間しっかりと行ってください。 2日目の授業の前に、Youtubeの関連例文動画を見ながら2時間予習してください。											
Ĩ	果題(詞	弌験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法								
1	♪テス ŀ	、は実施した後、次	回授業の冒頭で解説	講評します。								
老	教科書											
2	オリジオ	ールテキスト										
THE SECOND	参考図書	ł										
Ť	構義の中	っで示します。(Yc	outube関連動画などの	紹介)								
ĺ	備考:履修者への要望											
.∠ V	国際化社会の中で、医療現場で外国人と接する機会は増え、外国人患者さんと外国語でコミュニケーションができるのは現場で役立ちます。 今期の中国語集中講座はコロナの関係で、対面で授業を行う場合、授業内の発音練習は必要最小限で行います。オンライン授業になった場合、発音練習は普通に行 います。新しい言語を覚えるために、たくさんの発音練習が必要なため、授業後に必ずYoutubeの関連発音動画を見ながら、声を出して積極的に練習してください。 短期講座ですが、受講者の皆様に中国語の発音と基礎文法を身につけてほしいと期待しております。											

挖	受業科目名		専	īъ	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数	
玛	見代社会の理解		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間	
#	旦当教員名								
	查 新 約 知								
〕	実務経験のある教員								
扬	受業概要								
	この授業では社会学の基礎な をび、次に「医療と福祉」						じめに社会学の歴史	と社会学の基本を	
冶	学習到達目標								
知識・	・理解①身近な社会現象に	こついて、社会学的に	こ説明することがで	きる。 (DP3)					
思考・	判断 @ =>==================================		赤如フィチューショーチッ	わりのセンエント・ー	× 1, 20 m2 - 1-	22)			
	136 ②身近な社会現象に 表現	こういて、社会学の株	平祖みをもとに目分	<i>はりの考えを述べる</i>	っことができる。(DI	-3)			
技	能								
関心・		「興味・関心をもち	問題音識をもって	情報を調べ キレめ	つることができる。	(DP3)			
						(51 0)			
						~~)~ 비미 () 井라 7 국산	********		
講	我 世四、	と関連したコクシト、	シートを従山しても		、ってはオンライン授	未に切り省わる可能	宅注がめります。		
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容			
1	蔵本	イントロダクション 何フ	ン : 「社会学」とは か?	^は 現代社会をどう読み解くか、様々な切り口を紹介する。					
2	蔵本	医療と福祉	业のゆくえ		いう言葉をよく耳に~ と医療・福祉との関		済格差は、健康や福	祉に影響を及ぼす	
3	蔵本	マスメディ	アのゆくえ		つす社会は、現実を ディア・リテラシー(といえるのだろうか	。マスメディアの	
4	4 蔵本 プライバシーのゆくえ 情報化が進み、自治体や民間企業が個人データ管理することが当たり前になってきた。もに ライバシーという概念は不要なのだろうか。プライバシーとは何かを知り、価値を考える。						てきた。もはやプ 値を考える。		
5	5 蔵本 AIとロボットのゆくえ AIは社会に欠かせないものとなってきている。AIは社会構造を変化させるのだろうか。ま と人間は共生できるのだろうか。AIと社会のこれからを考える。						ろうか。また、AI		
6	蔵本 情報化のゆくえ モカ			テレビを見る人が減り、人々の情報源はインターネットに移り変わってきた。SNSでは政治的なラ モがよく見られるようになった。SNSは民主主義を発展させるのだろうか。インターネットと社会 の関わりについて考える。					
7 蔵本 新型コロナウイルスと社会のゆくえ 新型コロナウイルスの流行をめぐり、社会 に変わりうるのだろうか。ポストコロナの							これからどのよう		

8		蔵本	エピロ	ーグ	講義全体のまとめを行う。								
観点	〔另门	評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合 (%)	到達目標				
成績評 到達目 関	標の	コメントシートと	受業への参加・貢献	•	•		•	30	123				
	Ð	筆記	已試験	•	•		•	70	123				
評価特記	事項	すべての評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施します。											
(1 *	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ①毎日10分程度、テレビやインターネット、新聞などでニュースに触れてください。その際、社会で起こっている出来事について、講義で学んだキーワードで分析 を試みてください。 ②講義では毎回、コメントシートで記述問題に答えていただきます。講義終了後、まわりの受講生と記述問題について話し合ったり、インターネットや新聞・雑誌・書籍等で関連する事柄について調査を行い、自らの答えを振り返ってください。(30分程度)												
調	懇題(試	験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法									
甶	毎回の授	業では、復習も兼	ねて前回のコメント	ノートについて取り	0上げます。								
老	女科書												
朱	皆になし	なし。											
参	考図書	図書											
参	参考文献は講義中に紹介します。												
俌	備考:履修者への要望												

みなさんがこれから出会い、向き合っていく社会はときに面白く豊かで、ときに厳しく難解なものです。この講義を通して社会を読み解く力を身につけ、社会の中 で生き抜く力を養ってほしいです。

授業科目名 専攻 配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) 総時間数										
4	E物と環境		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	選択	1単位	15時間		
担	旦当教員名									
7末	森谷 和司									
4	ミ務経験のある教員									
ž	受業概要									
77	也球上に誕生した生物は、₹ ҕしているかを学ぶとともら ぶ。また、生物の多様性や⊆	こ、私たちの生活が	牛熊系のバランスと	生物の多様性によっ	って支えられているこ	とに気付き、その				
2 1	学習到達目標									
知識・	理解 (DP3)	な生物が生存し、生態 こ環境からの刺激をき						ることができる。		
	 (う・判断 ③生態系のバランスと生物多様性の保持の重要性を、科学的に思考し判断することができる。(DP3) 表現 ④ヒトが外界からの刺激に応答し、環境に適応して生活していることの重要性について科学的に思考することができる。(DP3) 									
技	技能									
	(⑥自らの体で起こる)	様性の保持の重要性≀ 5刺激への応答、環算						る。(DP3)		
諸	^{要業形態} 義 配付資料とスライト	ドを用いた講義を行い	ハ、グループワーク	も導入する。						
		- ARC 201	-	授業計	画					
回数 1	担当教員森谷		テーマ の生命	生命の起源とその歴	歴史、生物と環境の	授業内容 相互作用について学	修する。			
2	森谷	地球の環境を知	印る-生態系-	生態系とニッチ、食物連鎖による物質とエネルギーの流れなどについて学修する。				- 3.		
3	森谷	地球の環境を知る - との関	-ヒトと様々な生物 わりー	地球上で、ヒトは彡	多様な生物と関わり、	恩恵を受けて生活	していることについ	て学修する。		
4	森谷 人		境応答①	人体の外界からの刺	刺激の受容と伝導の	土組みについて学修	する。			
5	森谷	人体の環	境応答②	人体の外界からの刺激への応答のしくみについて学修する。		o				
6	西郷	植物のヨ	環境応答	植物の外界からの刺激への応答のしくみについて学修する。			0			

7		森谷	地球環境問題につ	いて知る、考える	地球環境問題の今日的課題について理解し、グループ・ディスカッションを行う。						
8		森谷	地球環境を受	Fる・まとめ	地球環境を守るという視点で、自分たちにできることとは何かを考える。						
		評価の観点 評価方法		知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標		
 観点 成績評 到達目 	平価と	筆記試験		•	•			50	1234		
判運日		課題		•	•		•	30	123456		
		授業の排	辰り返り				•	20	56		
特記	 評価の 特記事項 課題、授業の振り返りは授業ごとに評価する。 全評価の合計が基準(60%)未満の場合、再試験を実施する。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 (予習)次の授業までに調べたり、考えをまとめたりすることを指示するので、しっかり取り組んで、授業に臨むこと。(30分程度) (復習)授業ごとに学修したことを振り返り、知識の整理、復習に務めること。(30分程度) 										
毎			こ対するフィードバ 課題を提示し、コメ		する。次回の授業の	冒頭で課題の講評や	やコメントペーパーの	の質問対応等を行う	0		
偵	教科書 使用しない。授業用のプリント・資料を使用する。										
参	参考図書										
参	参考文献は講義の中で紹介する。										
備	備考:履修者への要望										

今までに学んだ生物の知識を深め、新たな見方・考え方を身に付け、身近な自然や新聞等の記事にも関心をもってもらいたい。そして、間違った情報に流されず、 正しく科学的に考え判断し、持続可能な社会の実現のため、主体的に行動できるようになってもらいたい。

ł	受業科目	目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
ţ	教養演習	R H			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間			
ł	担当教員	員名										
柞	黄山 剛	I										
57	実務経驗	険のある教員										
	黄山 剛		豊かな人間性、社会	ミルールについてのヨ	理解、コミュニケー	ンョン力、問題発見	能力、問題解決能力	を培えるよう講義す	る。			
1.	又未似了	X										
ل آ	いる。そ 専門的な	そのため、広い教養 な知識・技術を支える	の一員として作業療行 を持った豊かな人間付 る。 求められる力の基礎的	性、社会ルールにつ	oいての理解、コミュ							
È.	学習到達目標											
知識・	・理解		ミュニケーションを用 いまでに使用したこと									
	・判断 長現											
技	能	③他者と信頼関係を築くための基礎的な技術を習得し実践できる。 < DP2, 3 > ④新しい学習方略を習得し実践できる。 < DP2, 3 >										
	・意欲 態度											
ŧ	受業形態	尨										
演	習	講義、演習										
回数		担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容					
1~3		横山		ケーション1~3		i葉遣い、態度につい 言い、レポートの書き	ヽて学ぶ。	方等について、演習	を通して学ぶ。			
4		横山	学習0	り仕方	授業時のノートの耳	なり方、学習事項のき	まとめ方について講	義する。				
5~7		横山	学習方斷	各の使用	実際の科目と連動さ	、せた学習方略を使り	目しての学習					
8		横山	学習方睛	各の使用	実際の科目と連動さ	、せた学習方略を使用	目しての学習					
観点 成績評												
到達目	目標の	要の 参加態度 ● ● 50 ④										
124		レポート ● ● ● 50 ①②③⑤										
特記	評価の 特記事項 参加態度(50%)、レポート(50%)で評価します。基準点の60点に満たない場合は、再度レポートを課します。											
Ŷ	準備学習	図 (予習・復習等) (の具体的な内容及び	それに必要な時間								
打 い	受業の中 い。後半	申で配布した資料を 半の学習方略の使用(用いて予習、復習を行 については試験に備:	行ってください(1] えての学習に繋がり	回につき1~2時間程/ ますから継続してく	度)。言葉遣いや、1 ださい。(1回につ	態度は常日頃から気 き1~2時間程度)。	をつけ信頼関係の構	築に努めてくださ			

レポートは採点後、希望者には返却します。成績の評価の内容については随時フィードバックします。

教科書

なし

参考図書

適宜紹介する。

備考:履修者への要望

医療従事者として信頼関係を築くための人間性を磨いていくために、挨拶の習慣、約束を守ること、その他報告・連絡・相談することを行います。恥ずかしがらずに チャレンジしてください。

ł	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
f	释剖学 I		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
ł	旦当教員名			業療法学専攻 やれぞれの働きと関連させて系統的に理解してもらうため、人体の構造と機能に関して講義を行う。 「高度かつ正確な知識が必要とされる。すべての学習の前提となる人体構造の基本的概念・事項を習得 本科目では、骨格系・筋系・末梢神経系を部位ごとで学習する。授業は、講義形式により実施し、す							
7	青島 大資										
617 7	実務経験のある教員										
		室に所属する教員が	、正常構造をそれそ	れの働きと関連さ	せて系統的に理解し	てもらうため、人体	の構造と機能に関し	て講義を行う。			
ł	受業概要										
1	E療専門職を目指す者にと・ し、人体の構造と機能を理∯ 習・復習は、授業プリントⅠ	解することで人の全	体像をつかむ。本科	·目では、骨格系・角	必要とされる。すべ 筋系・末梢神経系を	ての学習の前提とな 部位ごとで学習する。	る人体構造の基本的 。授業は、講義形式	概念・事項を習得 により実施し、予			
2	学習到達目標										
知識	・理解 ①人体を構成する常	骨格系や筋系や末梢	神経系の肉眼的なら	びに組織学的な正常	常構造をそれぞれの修	動きと関連させて系統	疣的に理解し、説明 ⁻	できる。(DP1)			
	 判断 長現 										
 技	能										
	 ・意欲 態度 										
ł	受業形態										
講		~グ(授業プリント) 5については、Googl			中心に行う。 学習習熟度を確認する	5.					
回数	担当教員	杨業-	テーマ	授業計	画	授業内容					
1	清島		学総論	解剖学とは、人体	の構造、器官系、細						
2	清島	組織書	学総論	上皮組織、結合組	織、骨組織、軟骨組	織、血液、筋組織、	神経組織				
3	清島	骨格	総論	骨の構造と発生、	広義の関節、狭義の	関節					
4	清島	筋学	総論	骨格筋の構造・機	能、神経、補助装置	、筋の作用と運動					
5	清島	上肢の	の骨格	上肢帯と自由上肢	の骨の名称と形態、	関節					
6	清島	上肢	の筋	上肢帯と上腕と前	腕と手の筋						
7	清島 末梢神経 1 上肢の神経、頭頸部の神経										
8	清島	下肢帯と自由下肢の骨の名称と形態、関節									
9	清島	下肢	の筋	下肢帯と大腿と下腿と足の筋							
10	清島 末梢神経 2 下肢の神経、体幹の神経										

11		清島	体幹0	D骨格	脊柱と胸郭を構成す	-る骨の名称と形態	、関節				
12		清島	体幹	の筋	胸壁筋、腹壁筋、背筋、会陰筋、体幹の運動						
13		清島	頭	蓋	頭蓋(神経頭蓋・意	〔面頭蓋〕の骨の名	称と形態、関節				
14		清島	頭頸音	軍の筋	頭部の筋、頸部の筋	5、頭頸部の運動					
15		清島	発生	学総論	人体の発生						
観点		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標		
成績許 到達日 関	目標の	筆記	試験	٠				90	1)		
	小テスト ● 10 ①										
評価 特記	事項		下の場合、再試験を								
。 語	ンラバス 載して受	くに沿って講義を進め 読書する。講義後は少	めるので、その日の	講義項目について予 まとめ、知識の整理	・習をして講義に臨む 』、復習に努めること	こと(30分程度)。 (30分程度)。	予習で理解しにくフ	かったことを講義で	解決するように意		
币	斗目試験	後、全体へのフィー	ードバックの時間を	設定する。							
孝	数科書										
	「プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト」(医学書院)・「骨学のすゝめ」(南江堂)・「骨格筋の形と触察法」(大峰閣)・「機能解剖で斬る神経系疾患 第2版」(メディカルプレス)										
Ť	参考図書	ţ									
	「臨床解剖学サブノート」(愛知医科大学解剖学講座)										
俌	備考:履修者への要望										

解剖学は器官系に分けて講義されるが、これらの器官系は互いに関連し合って機能し、生命活動に働いている。したがって学生は学習した事柄をばらばらに覚える のではなく、自らがつなぎ合わせ、有機的に関連させて理解する努力を怠ってはならない。解剖学の学習では解剖学名を暗記しなくてはならないが、大切なことは 人体の構造をその機能と関連させて理解することであり、解剖学名の暗記は必要最小限にとどめながら講義をする。

ł	受業科目名		夷	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
\$	解剖学Ⅱ		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
į	担当教員名										
I	中野 隆										
611. 1	実務経験のある教員										
;	中野 隆:医学部において、解剖学とくに臨床医学の理解に重要な臨床解剖学の教育と研究に携わってきた。リハビリテーション医学に必須の内容に的を絞った講義 を行う。 授業概要										
授業概要											
\$	解剖学用語の単なる暗記ではなく、解剖学的知識をリハビリテーション医学の理解に応用できることを主眼とした講義を行う。										
2	学習到達目標										
知識・	理解 ①循環器系、内臓系	系等の正常構造と機能	Ёについて、臨床医営	学とくに病態生理の現	里解に応用できる。	(DP1)					
思考・		ぶ用して、循環器およ	こび内臓疾患の病態な	を説明できる。(DP1)							
技	技能										
• 態	関心・意欲 ・態度 ②循環器系、内臓系疾患のメカニズムについて、臨床解剖学的視点で考察できる。(DP1)										
1	受業形態										
講	義 学生自らの思考過程	星を重視し、理解を済	Wめるように講義をi	進める。							
回数	担当教員	授業	テーマ	授業計	画	授業内容					
1	中野		器系	心臟、大循環		—————————————————————————————————————					
2	中野	循環	器系	小循環、リンパ系							
3	中野	消化	器系	口腔、食道							
4	中野	消化	器系	胃、小腸、大腸							
5	中野	消化	器系	肝臓、門脈系							
6	中野	消化	器系	胆路系、膵臓							
7	中野	呼吸	器系	鼻腔、副鼻腔、咽頭							
8	中野 呼吸器系			喉頭、嚥下反射							
9	中野 呼吸器系			気管、気管支、肺							
10	中野	泌尿	器系	腎臓							

11		中野	泌尿	器系	尿管、膀胱、尿道、	排尿反射				
12		中野	男性生	殖器系	精巣、精巣上体、副	生殖腺				
13		中野	中野女性生殖器系		子宮、卵巣、卵管、	外陰部				
14		中野	感覚器		視覚器、視覚伝導路					
15		中野	感道	艺器	平衡聴器器、皮膚					
	観点別 績評価と 評価方法 評価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 技能 関心・意欲・態度 割合(%) 到達目標									
到達目	知達目標の 関連 筆記試験 ● ● 90 ①②							12		
121.	Æ	· 受講態度 · 10 ③								
	事項 準備学	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間	を行う。受講態度が不		の対象とする。 て理解を深める。(1	コマにつき30分程度	F)	
									.,	
Ĩ	課題((試験・レポート等)	に対するフィードハ	バックの方法						
i.	試験内	容について質問を受	け付け、必要に応じ	て解説する。						
ii.	教科書	:								
	「臨床解剖学サブノート」、「機能解剖で斬る神経系疾患第2版」(メディカルプレス)、「プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト」(医学書院)、「骨学の すゝめ」(南江堂)									
14	参考図書									
1	備考:履修者への要望									
4	知識は実際に使ってみなければ身に付かない。断片的な知識の暗記ではなく、知識を自ら応用して問題を解決する学習姿勢が必須である。									

扬	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
角	释剖学Ⅲ		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
担	旦当教員名										
þ	□野 隆										
〕	実務経験のある教員										
	中野 隆:医学部において、解剖学とくに臨床医学の理解に重要な臨床解剖学の教育と研究に携わってきた。リハビリテーション医学に必須の内容に的を絞った講 義を行う。 極愛概要										
	授業概要										
섴	生体の正常構造と機能を理解し、臨床医学とくにリハビリテーション医学において重要な中枢神経徴候に直結する解剖学的知識を学ぶ。										
冶丁	全習到達目標										
知識・理解 ①中枢神経系の正常構造と機能について、臨床医学とくに中枢神経徴候の理解に応用できる。(DP1)											
思考・		な用して、中枢神経役	敦候の説明ができる	。 (DP 1)							
技	能										
	関心・意欲 ・態度 ③中枢神経徴候のメカニズムについて、臨床解剖学的視点で自ら考察できる。(DP2)										
授	受業形態										
講	義 学生自らの思考過利	星を重視し、理解を経	采めるように講義を	進める。							
回数	担当教員	授業で	テーマ	授業計	画	授業内容					
1	中野		系総論	中枢神経系と末梢ネ	申経系の概観、組織権						
2	中野	中枢神緒	圣系総論	脳室系、髄膜、脳利	脊髄液						
3	中野	脊	髄	脊髄と脊髄神経							
4	中野	脊	髄	脊髄の構造							
5	中野	脳	幹	神経核、脳幹網様(本、中脳						
6	中野	脳	幹	橋、延髄							
7	中野	<u>ار</u>	旭	小脳皮質、小脳髄質	質、小脳核、小脳の樹	幾能、小脳症状					
8	中野間脳			視床、視床下部、下垂体、松果体、視床下核							
9	中野 大脳			大脳の外景、内景(大脳皮質、大脳髄質、大脳核、内包)							
10	中野 大脳 大脳皮質の機能局在										

11		中野	中枢神経	系の脈管	中硬膜動脈、静脈消	同、脳の動脈、脊髄(の動脈			
12		中野	伝導	尊路	知覚性伝導路					
13		中野伝導		尊路	知覚性伝導路					
14	14 中野		伝導	尊路	錐体路と錐体外路系	ξ.				
15		中野	伝導	尊路	錐体路と錐体外路系					
	点別 評価と	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標	
到達日	目標の 事連 単		試験	•	•			90	12	
受講態度 ●						•	10	3		
	画の 2事項	全ての評価方法を合計した評点が60点未満の場合、再試験を行う。受講態度が不良の場合は、減点の対象とする。 前の 本試験で合格点に満たなかった者は、再試験受験の要件として、本試験問題の解説を作成し、提出すること。指定する期日までに提出できない場合は、再								
Ŷ	準備学習	習(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間						
ŧ	溝義内容	ドについて教科書を月	用いて復習し、解剖:	学あるいは他教科に	おいて学んだ知識を	有機的に結び付けて	て理解する。(1コマ	につき30分程度)		
Ì	課題(詞	忧験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法						
	試験内容	ドについて質問を受け	け付け、必要に応じ	て解説する。						
17	教科書									
	「臨床解剖学サブノート」、「機能解剖で斬る神経系疾患第2版」(メディカルプレス)、「プロメテウス解剖学エッセンシャルテキスト」(医学書院)、「骨学の すゝめ」(南江堂)									
Ţ	参考図書	► 1								
ĺ	備考:履修者への要望									

知識は実際に使ってみなければ身に付かない。断片的な知識の暗記ではなく、知識を自ら応用して問題を解決する学習姿勢が必須である。

授業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
角	解剖学実習		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間	
担当教員名 <									
山田 南欧美、外倉 由之、木山 博資、木村 菜穂子、松村 仁実、清水 一輝、渡邊 豊明、廣渡 洋史、齊藤 誠、清島 大資									
実務経験のある教員									
外倉 由之、齊藤 誠、山田 南欧美:理学療法士・作業療法士として臨床経験のある教員が、骨格標本を使って筋骨格系の解剖学的知識を講義する。									
授業概要									
人体の構造の理解は、解剖学成書による知識だけでは不十分で、構造を実際に三次元的に理解し、その触感、重さ、硬さなどを体験することによって知識として身 に付くものである。本科目では、骨格の形態、筋肉の形態、その他人体の構造を実際に見学することによって解剖学的知識を深め、確実な知識とすることを目的と する。基本的には、1年次に骨格標本を使って筋骨格系を学ぶと共に、解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容についてより実践形式で学ぶ。また、1年生後期と2年次に集中講義 形式で、解剖遺体の見学を行う。(詳細については、授業初回に案内する。)									
学習到達目標									
知識・	①骨格構造を三次元的に理解できる。(DP1、2) ・理解 ②筋の構造や走行、働きを三次元的に理解できる。(DP1、2) ③人体の臓器・神経・血管系その他の構造、配置などを三次元的に理解できる。(DP1、2)								
	思考・判断 ④骨格構造を三次元的に説明できる。(DP1、2) ⑤筋の構造や走行、働きを三次元的に説明できる。(DP1、2) ⑥人体の臓器・神経・血管系その他の構造、配置などを三次元的に説明できる。(DP1、2)								
技能									
関心・意欲 ・態度⑦解剖学実習を通して命の尊さを実感できる。 (DP3、4)									
ジ化を行う。また、神経系・内臓系の構造について、模型・参考書等を用いて三次元的に学ぶ。基本的には骨標本等を用いた実習形式を取るが、昨今の状 実習 況を鑑み、必要に応じて動画配信等の遠隔授業を展開する場合がある。その場合は、事前にその方法を通知する。 人体解剖遺体見学(解剖見学実習)を通して解剖学講義で学習した知識の確認および骨格構造・筋構造・人体の臓器・神経・血管系その他の構造を確認す る。ただし、昨今の状況により解剖見学実習を実施できなかった場合、解剖見学実習に代わる課題を提示することがある。									
回数	担当教員	授業テーマ		授業計	業 計 画 授業内容				
1	齊藤		テーション 意味と命の尊厳	授業概要を理解する 医療者として解剖学を学ぶ上での心構えを学ぶ					
2	外倉	骨格・筋の基	本構造と役割	骨格・筋の基本構造と役割を学ぶ					
3	齊藤	呼吸器・循環器・消 本構造	肖化器・泌尿器の基 と役割	^基 呼吸器・循環器・消化器・泌尿器の基本構造と役割を学ぶ					
4	外倉	頭頚部・脊柱・	体幹の骨・関節	・関節 頭頚部・脊柱・体幹の主要骨格・関節の模型確認、デッサンを行う					
5	齊藤	上肢・肩甲帯の骨・関節		上肢・肩甲帯の主要骨格・関節の模型確認,デッサンを行う					
6	外倉	下肢・骨盤帯の骨・関節		下肢・骨盤帯の主要骨格・関節の模型確認・デッサンを行う					
7	齊藤	上肢・存	上肢・体幹の筋		上肢・体幹の筋の模型確認				
8	外倉	下肢	の筋	下肢の筋の模型確認					
9	齊藤	呼吸器・	循環器系	呼吸器・循環器系の模型確認					

10		外倉	消化器・	泌尿器系	消化器・循環器系の)模型確認			
11		齊藤	口頭	試問	骨・関節,筋・各内	∃臓器官の構造に~	ついて口頭試問を実施	する	
12		外倉	口頭	試問	骨・関節、筋・各内	∃臓器官の構造に~	ついて口頭試問を実施	する	
13		・山田・松村・齊 モ邊・清水・外倉・ 廣渡・清島		学実習 X後期)	解剖見学実習を通し	、て骨格構造を確請	認する		
14		・山田・松村・齊 5邊・清水・外倉・ 廣渡・清島		,学実習 5次)	解剖見学実習を通し	て筋構造を確認す	する		
15	村・弾	・木村・山田・松 「藤・渡邊・清水・ 倉・廣渡・清島		,学実習 =次)	解剖見学実習を通し	て人体の臓器・ネ	申経・血管系その他の [;]	構造を確認する	
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標
		筆記	試験	•				50	123
観点 成績評	『価と	口頭試問(注	1年次前期)	•	•		•	20	D~7
到達目 関i		口頭試問(1年次後期)	•	•		•	10	①~⑦
		レポート(1年次	(解剖見学実習)	•	•		•	10	①~⑦
		レポート(2年次	(解剖見学実習)	•	•		•	10	①~⑦
評価特記	の	割に満たなかった考 解剖学実習(1年) レポートは、解剖り 解剖見学実習は1年 年次の解剖見学実習は 者は解剖見学実習に	皆は、再度ロ頭試問 を再履修する必要が 見学実習に行く際に 次後期と2年次に計 習は、1年次に実施す こ参加できない場合	を実施する(前期後 ある。 作成し、提出のうえ 空国実施する予定で る筆記試験・口頭語 がある。また、解剖	期それぞれ1回限り) 、評価を行う。 あり、それぞれの解剖 試問が6割に満たない 見学実習に関するガ	。最終的に筆記	は1年次前期と後期の 試験とロ頭試問それぞ およびレポート提出を かない。なお、別途開請 注況および解剖見学実習 代わりの課題を提示す	れで6割に満たなか 本科目単位認定の必 構される解剖学 I ・ 習に関する課題等の:	った者は、翌年に 公須条件とする。2 Ⅱ・Ⅲの成績不良
準	■備学習	冒(予習・復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間					
初	「回授業	にて授業の進め方の	の詳細を提示するの	で、その進め方に浴	合った予習・復習を行	うこと。(約2時	問)		
諌	親題(詞	ጚ験・レポート等)↓	に対するフィードバ	ックの方法					
					Qし、次回授業時に回 ガイダンス時に説明す		式問・筆記試験に関す?	る疑問点・質問は随	時受け付ける。解
耈	女科書								
角	¥剖学 I	・Ⅱ・Ⅲにて使用	する教科書に準ずる	D					
参	考図書	ŀ							
角	¥剖学 I	・Ⅱ・Ⅲにて使用・	する参考図書に準ず	る。					
備	请考 :履	貨修者への要望							

解剖学を含めて医学を学ぶ者は、その知識や技術が歴史的に多くの命の上に成り立っていることを自覚する必要がある。その一つとして、骨格標本とそれを提供し てくれた故人に対して感謝の気持ちと、命に対する尊厳の意を持って受講することを義務とする。将来、人の命を預かる職域に就く者としての当然の心構えと態 度、積極性を求める。

ł	受業科目名		専巧	ζ	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
4	生理学 I		リハビリテー 理学療法: 作業療法:	学専攻	1学年	必修	1単位	30時間
ŧ	担当教員名							
1	宮津 真寿美							
φ1Λ.	実務経験のある教員							
1	宮津 真寿美:医療機関等て	「実務経験のある理学	≠療法士が、動物性器′	官において、我々	の体がどのように機	能しているのかを講	義する。	
ł	受業概要							
1	生理学とはどのような仕組。 よ、たくみに機能しており り正常な仕組みを学ぶこと	、それらの働きは驚	くほど精妙に調節され	している。 この正常	含な仕組みが破たんで	すると、疾病になる。	。医療専門職を目ざ	
10	学習到達目標							
知識	・理解 ①動物性器官におい	ける各器官の特徴と	幾能が説明できる。(DP1)				
	・判断 表現 ②器官内、器官間の	の調節機能が説明でき	きる。(DP1)					
技	能							
	・意欲 態度 ③学修ポイントを現	里解し、教科書の内領	容を予習できる。(DF	21、2、5)				
ł	受業形態							
講			を予習後、授業を受講 イントに沿って、スラ					
	1	1		授業計	画			
回数	担当教員	授業法	デーマ	受業オリエンテー注	ンョン	授業内容		
1	宮津		テーション 生 学とは 視			の機能、生体の特性	(ホメオスタシス、	刺激一興奮、刺
2	宮津		テーション 日 学とは 漢	受業オリエンテーミ 生理学とは、細胞 数一適応) : 教科書 第1章		の機能、生体の特性	(ホメオスタシス、	刺激一興奮、刺
3	宮津	筋丩		骨格筋、骨格筋の : 教科書 第11章	構造、収縮の仕組み			
4	宮津	筋川		Q縮の仕組み : 教科書 第11章				
5	宮津	筋川	収縮	ン筋と平滑筋 : 教科書 第11章				
6	宮津	神緒		申経系の分類、ニュ : 教科書 第12章	ューロンの興奮			
7	宮津	神緒		ンナプス、グリア系 : 教科書 第12章	細胞とその機能			
8	宮津	自律		ド梢自律神経系の 村 :教科書 第13章 第	構成、自律神経系の!	特徴、自律神経系の	伝達物質と受容体	
1								

10		宮津	用	ă	ヒトの脳の全体像、 :教科書 第14章	大脳、記憶、言語、	睡眠と覚醒、情動		
11		宮津	感	覚	感覚とは、視覚、聴 :教科書 第15章	說、平衡感覚			
12		宮津	感	覚	体性感覚、内蔵感覚 :教科書 第15章	忙、味覚、臭覚			
13		宮津	運動の)調節	運動に関する脳部位 :教科書 第16章	2、運動神経と運動	単位、脊髄、脳幹		
14		宮津	運動の訓	罰節、骨	: 教科書 第16章		基底核と小脳)、運動のカルシウム代謝とし		i
15		宮津	まと	: Ø	授業のまとめ				
fer 1	e out	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標
成績語	気別 平価と 目標の	筆記	試験	•	•			80	12
	連	予習	報告	٠	•		•	10	123
		復習小	テスト	٠	•		•	10	123
特記	町の 事項	・すべての評価方法		達しなかった場合、	再試験を実施する。				
	(予習) (復習)	配布した予習ガイ		を読み、内容を理解	そし、予習内容を報告 とめ、先回授業に関す		ミ施する。約1~2時	間	
Ē	果題(討	【験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法					
			習)に対する疑問点。 希望があれば研究室						
封	教科書								
		い生理学」 南江堂 ップ 解剖生理学」	南江堂						
	参考図書								
					コスタンゾ明解生理学 「ラスト生理学」 他			寮法学・作業療法学	生理学」医学書
ĺ	備考 :履	責修者への要望							
			設階として、疾患学、 習復習を行い、確実;		いく。つまり、生理学 気めてほしい。	的知識は、理学療法	・ 作業療法を学ぶ」	こでの土台となる。	その土台を堅固な

	授業科目名		専攻		配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
	生理学Ⅱ		リハビリテーシ 理学療法学 ¹ 作業療法学 ¹	専攻	1学年	必修	1単位	30時間
	担当教員名							
	宮津 真寿美							
	実務経験のある教員							
	宮津 真寿美:医療機関等	で実務経験のある理	学療法士が、植物性器官	において、我々の	り体がどのように機	能しているのかを講	義する。	
	授業概要							
	生理学とはどのような仕組 は、たくみに機能しており 正常な仕組みを学ぶことは	、それらの働きは驚	冬くほど精妙に調節され っ	ている。この正常	な仕組みが破たん	すると、疾病になる。	医療専門職を目ざ	
:	学習到達目標							
知識	・理解①植物性器官におけ	「る各器官の特徴と様	§能が説明できる。(DP1	1)				
	・判断 長現 ②器官内、器官間の	∋調節機能が説明でき	きる。 (DP1)					
技	能							
	・意欲 _{態度} ③学修ポイントを理	1解し、教科書の内容	≩が予習できる。(DP1、	2、5)				
	授業形態							
講			と予習後、授業を受講す /トに沿って、スライド?					
		- आर रूप	~	受業計	画	気後中で		
回数 1	担当教員 			友の区分と組成、 数科書 第2章	血液の成分と血液量	授業内容	幾能、骨髄、止血機材	冓、血液型
2	宮津	循		景の概念、心臓の 数科書 第3章	役割			
3	宮津	循	心律					
				電図、心臓の血液 数科書第3章	拍出の仕組み			
4	宮津	循	·琛 : 老 ::弯 血管					
4	宮津 宮津			牧科書第3章	圧の調節			
		φ.	项 : 考 :環 血管 :吸 呼呼 :考 :m 肺窄	数科書第3章	圧の調節 と吸息、	n液によるガス運搬、	血液の p H緩衝作用	
5	宮津	呼	项 : 考 : 環 血 : 環 血 : 愛 呼 : 要 : 吸 呼 : 考 : 考 : 表 :	 数科書第3章 資系の役割、動脈 数科書 第3章 吸器の構成、呼息 数科書 第4章 容量、肺胞換気と 数科書 第4章 	圧の調節 と吸息、		血液の p H緩衝作用	
5	宮津	呼 呼	^{1項} : 考 : 環 : 環 : 電 : 電 : 電 : 電 : 電 : 電 : 電 : 電	 数科書第3章 ぎ系の役割、動脈 数科書 第3章 投器の構成、呼息 投料書 第4章 容量、肺胞換気と 数科書 第4章 と器系の構成、消 	圧の調節 と吸息、 肺胞内ガス組成、血 学的調節、低酸素症 化と吸収、消化管の		産の筋肉の働き、消化	

10		宮津	尿の生成	戈と排泄	腎の構造と機能、糸 :教科書 第6章	球体における濾過、	、尿細管における再吻	み収と分泌、尿の濃 緒	縮と希釈
11		宮津	尿の生成	戈と排泄	腎血流量とその調節 節、尿の組成と排尿 :教科書 第6章		よる腎機能の測定、腎	驿における酸と塩基 の	の調節、体液の調
12		宮津	内分	子泌	内分泌一般、内分泌 :教科書 第9章	器官とホルモンの	作用		
13		宮津	代	謝	エネルギーのバラン :教科書 第7章	ス、代謝量、代謝	量の測定		
14		宮津	体	温	体温調節の基礎、内 :教科書 第8章	因性に体温レベル	を決定する因子、運動	助時の体温調節	
15		宮津	ŧ	こめ	授業のまとめ				
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標
 観点 成績評 到達目 	平価と	筆記	試験	●	•			80	12
到運日関連		予習	報告	•	•		•	10	123
		復習小	テスト	•	•		•	10	123
評価 特記	事項		は、基準を定めて割 の合計点数が6割に の具体的な内容及び	達しなかった場合、	再試験を実施する。				
	(予習 (復習)配布した予習ガイ	ドを参考に、教科書	を読み、内容を理解	解し、予習内容を報告 とめ、先回授業に関す		実施する。約1~2時	問	
Ĩ	課題((試験・レポート等)	に対するフィードパ	バックの方法					
		(試験、小テスト、予 、験は返却しないが、							
	教科書								
		しい生理学」南江堂 テップ 解剖生理学」							
1 Nor	参考図	書							
					コスタンゾ明解生理学 イラスト生理学」 他		ャパン、「標準理学病 成書が参考になる。	寮法学・作業療法学	生理学」医学書
1	備考:	履修者への要望							
/	生理学	の知識を基に、次の	段階として、疾患学	2、治療学と進んでい	いく。つまり、生理学	的知識は、理学療	法・作業療法を学ぶ」	上での土台となる。・	その土台を堅固なも

生理学の知識を基に、次の段階として、疾患学、治療学と進んでいく。つまり、生理学的知識は、理学療法・作業療法を学ぶ上での土台となる。その土台を堅固なものにするため、各自で予習復習を行い、確実な知識となるように努めてほしい。

授	受業科目名		専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
生	上理学実習		リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	1学年	必修	1単位	45時間
担	旦当教員名						
宦	宮津 真寿美、齊藤 誠、藤ス	本 大介、外倉 由之、	, 加藤 真夕美				
実	実務経験のある教員						
	宮津 真寿美、齊藤 誠、藤¤ C理解し、説明できるようす		加藤 真夕美:医療機関で理学療法	士・作業療法士の実務総	≧験のある教員が、〕	E常な人体の構造や	機能について改め
授	受業概要						
L	、基本的な人体の反応を勧めます。	観察する実習課題なる	こよって再確認し、実習結果を解釈 どに取り組み、文献などを踏まえて 常な人体の構造や機能について改め	、実習結果、考察をレオ	パートとしてまとめ	る。さらに、最後に	
学	学習到達目標						
知識・	・理解 ①実習課題に関する	基本的知識が説明で	できる。 (DP1)				
思考・ ・表	(2)主営力)と得られた	=事実に対して、資料	^{斗や} 文献を調査し、内容や結果を理解	解して考察し、要約して	他人に説明できる。	(DP1、2)	
技	能						
関心・ ・態		やすくまとめ、意見	見を主張でき、討論ができる。(DP1	、2、5)			
授	受業形態						
実	習 グループで、実習誘	限題に取り組み、レオ	ポートとしてまとめる。また、実習書	果題に関する発表、討論	を行う。		
回数	担当教員	授業ラ	授業 書	十 画	授業内容		
1	宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤	オリエンラ		実習課題①~⑩の説明、			
2							
	宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤	実	習 実習課題① (各グループで、実習課題	夏をローテーション	する。)	
3		実		各グループで、実習課! 各グループで、実習課!			
3	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、		習実習課題①(夏をローテーション	する。)	
	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、	実	習 実習課題① (習 実習課題② (各グループで、実習課)	夏をローテーション 夏をローテーション	する。) する。)	
4	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、	実	習 実習課題① (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題② (各グループで、実習課#	夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション	する。) する。) する。)	
4	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 彦津、齊藤、外倉、 彦津、齊藤、外倉、	実 実 実	習 実習課題① (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題③ (各グループで、実習課題 各グループで、実習課題 各グループで、実習課題	重をローテーション 重をローテーション 重をローテーション 重をローテーション	する。) する。) する。) する。)	
4 5 6	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 唐本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、	実 実 実 実	習 実習課題① (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題③ (習 実習課題③ (各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課	 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 	する。) する。) する。) する。)	
4 5 6 7	藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 富津、齊藤、外倉、 露藤本、加藤 宮津、齊藤、外倉、 宮津、齊藤、外倉、	実 実 実 実 実	習 実習課題① (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題② (習 実習課題③ (習 実習課題③ (習 実習課題③ (習 実習課題④ (各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課 各グループで、実習課	 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 夏をローテーション 	する。) する。) する。) する。) する。)	

11	宮津	t、齊藤、外倉、 藤本、加藤	実	習	実習課題⑤(各グル	ノープで、実習課題 ・	をローテーションす	3。)	
12	宮津	t、齊藤、外倉、 藤本、加藤	実	羽白	実習課題⑥(各グハ	ノープで、実習課題:	をローテーションす	Z.)	
13	宮津	¹ 、齊藤、外倉、 藤本、加藤	実	羽白	実習課題⑥(各グハ	ノープで、実習課題 	をローテーションす	3.)	
14	宮津	¹ 、齊藤、外倉、 藤本、加藤	実	羽白	実習課題⑦(各グハ	ノープで、実習課題 [、]	をローテーションす	3。)	
15	15 宮津、齊藤、外倉、 藤本、加藤 実習 実習課題⑦(各グループで、実習課題をローテーションする。)								
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標
 観点 成績許 到達目 	平価と	事前学習	レポート	٠				20	1)
関連目		実習レ	ポート	•	•		•	40	123
		発	表	٠	•		•	40	123
評価 特記:	事項	レポート、発表の書 授業態度が悪い場合 なお、合格点に満た	とない場合でも、再調	↑。 ○欠席や遅刻を含む 式験は実施しない。	♡、個人の点数を1~	~100点の間で減点す	-3.		
当	単備学習	l(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間					
耳	事前学習	として、各課題ごと	とに1~3時間程度必要	要である。実習レオ	ペートの作成、発表準	備は、授業時間内で	でできない分は授業明	寺間外で行う。	
部	果題(討	∖験・レポート等)↓	に対するフィードバ	ックの方法					
			て教員とディスカッ: 受業時間外でも受け						
老	数科書								
t _c	まし。適	「宜資料を配布する。							
参	参考図書								
	「やさし	い生理学南江堂」	他多くの生理学の	成書があり、参考に	こなる。				
俌	備考 :履	修者への要望							
ク	グルーフ		ため、協力して取り約 なるので、正当な理[限を厳守すること。						

ł	受業科目名		専	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ì	軍動学総論		リハビリテー 理学療 <i>法</i> 作業療法	:学専攻	1学年	必修	1単位	30時間
ł	担当教員名							
月	簧渡 洋史							
ψη.	実務経験のある教員							
月	廣渡 洋史:医療機関で作業	療法士として勤務し	た教員が、運動力学	や運動学の理解に	必要な基礎知識につ	いて講義する。		
ł	受業概要							
	本講義は理学療法学、作業頻 具体的な内容は下記の通り†						知識について解説す	3.
ž	学習到達目標							
知識	・理解 ①身体運動のしくみ ②骨、神経、筋、関	×が説明できる。(DP 関節に関する基礎的な	1. DP2) &専門用語を正しく 3	理解し、使用できる	。 (DP1. DP2)			
	・判断 表現 ③運動力学の基礎を	と把握し、単純な力学	ダモデルであれば運動	動によって生じる力	や重心位置などを求	:めることができる。	(DP1. DP2)	
技	能							
• 亰	思及	- る興味関心を持つこ	ことができる (DP2)					
1	受業形態							
講	議 プリントを中心に進	進め、適宜テキストを	を参照して講義を行う	ō.				
				授業計	画			
回数	担当教員	授業ラ				授業内容		
1	廣渡	オリエンラ 運動学という			ニンテーションを行う トーションに与える			
2	廣渡	運動にかかわる基		運動方向、面と軸な 用することができる		業療法学を学ぶ上で	必要となる運動学的	用語を説明し、使
3								
1	廣渡	生体力学 (運動法則、力)		運動法則、力の合成	え・分解などについ ⁻	て説明し、生体力学	の基礎を理解する。	
4	廣渡 廣渡		の合成・分解) ^全 の基礎		文・分解などについ 滑車などについて言			
4		(運動法則、力) 生体力学	の合成・分解)	モーメント、重心、 教科書		兑明し、生体力学の	基礎を理解する。	
	廣渡	 (運動法則、力) 生体力学 (モーメント、 生体力学 	の合成・分解)	モーメント、重心、 教科書 関節運動とてこなど 教科書	滑車などについて言 ごについて説明し、		基礎を理解する。	
5	廣渡 廣渡	 (運動法則、力) 生体力学 (モーメント、 生体力学 (関節運動 生体力学 	 の合成・分解) 	モーメント、重心、 教科書 関節運動とてこなど 教科書 仕事などについて記 教科書	滑車などについて言 ごについて説明し、	説明し、生体力学の 生体力学の基礎を理 基礎を理解する。練	基礎を理解する。 解する。 習問題が解けるよう	

9		廣渡	骨格筋 <i>0</i>	り役割①	骨格筋の役割につい	ヽて説明し、筋収縮	、弛緩の基本的性質	を理解する。	
10		廣渡	骨格筋 <i>0</i>	0役割②	筋線維の種類、二関 の構造が異なること		ど筋の構造と機能に	ついて説明し、運動	の種類によって筋
11		廣渡	神経0	D役割	神経の役割、筋紡鉤 解する。	モやゴルジ腱器官、	反射などについて説	明し、運動の中枢神	経機構について理
12		廣渡	感覚器の権	 費造と機能	感覚の性質・分類な	とどについて説明し	、感覚受容器の機能	について理解する。	
13		廣渡	呼吸,	·循環	呼吸器、血液と循環	ま などについて説明	し、それぞれの機能	について理解する。	
14		廣渡	運動学の用	語(応用)	運動学に関連する路 ることができる。	「床で使用されてい	る医学的用語、医学	英語(用語)につい	って、説明し理解す
15		廣渡 総括 各授業のポイントの振り返り・復習をする。							
観点	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標
成績許 到達目		筆記	試験	•	•			70	123
	λ£	確認小	テスト	●	•		•	30	4
評価特記		小テスト・定期試験	険と授業後のまとめ	(参加貢献度)の結	果が60点に満たない	場合、再試験の対象	良となる。		
		(予習・復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間					
		Ⅰ:各講義項目のペー □:講義後は復習を ⁻	ージを事前に目を通 すること 約1時間	すこと 約30分					
而已	果題(討	、験・レポート等) (に対するフィードバ	ックの方法					
섬크	華記試験	は、本学に保管す	るので、事前に連絡	の上、内容を確認す	-ることができる。				
孝	教科書								
		ント配布 運動学 第6版補訂	「」 中村隆一 他著	至 医歯薬出版					
	参考図書	;							
	なし ##	いたち、「「「」」							
ti	順考:履	修者への要望							
オ	本科目は	に1年の後期以降に学	この存の基礎に当た	る。積極的に受講、	、質問し、理解に努る	めること。			

ŧ	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ĩ	重動学Ⅰ		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間
ŧ	坦当教員 名							
ð	度邊 豊明							
	実務経験のある教員							
	度邊 豊明:医療機関で作業 衰する。	療法士の実務経験の)ある教員が、専門	科目の基礎を構築す	る上で、学修した内	容を専門用語を用レ	いて他者に説明するこ	ことができるよう講
ŧ	受業概要							
7	す体運動の仕組みを理解す: 本科目では顔面・頭部と上F て、部位ごとに分け「関節。 基礎を構築する上で、学修	技の運動について、 と靭帯の構造」、「	生体力学・解剖学及 筋と関節運動」の順	び生理学と関連させ 夏に学び、臨床で必要	と、自身の体を動かし 長となる「運動学的な	は特徴」に関しても	併せて学修する。授	及び上肢に関し 業は、専門科目の
2	学習到達目標							
知識	・理解 ②顔面・頭部及び」	と肢に関して、関節。 と肢に関して、筋と と肢に関して、運動 ²	関節運動の関連につ	いて理解し、専門用語	語を用いて説明する	ことができる。 (DF	21)	
	・判断 長現							
技	能							
	 ・意欲 態度 							
ŧ	受業形態							
詩	義 教科書とパワーポイ	イント・模型等を用い	いた講義形式で進め	るが、自身の体を動	かしたり、グルーフ	『ワークで理解の確認	恩を行いながら進め	る。
	扣 业 加 昌	な光に		授業計	画	运業内容		
回数	担当教員		テーマ	利日のナリアンテ	2/- 2/	授業内容		
1	渡邊		テーション 部の運動	科目のオリエンテ- 顔面・頭部につい ⁻	ーション て、関節と靭帯、筋。	と運動について学修	する:教科書 4-5	5
2	渡邊	上肢	総論		の名称再確認し、これ 経・血管について学		とその目的を確認す 2	-3
3	渡邊)運動(1) 関節と靭帯)	上肢帯の関節と靭 : 教科書 4-2-1)	帯の構造について学(-(1)(2)	修する		
4	渡邊)運動(2) 筋と運動)	上肢帯の筋と関節 : 教科書 4-2-1)-(重動の関連や特徴に・ (3)	ついて学修する		
5	渡邊	肩関節の (肩の関節)運動(1) 命と靭帯)	肩関節の関節と靭 : 教科書 4-2-1)	帯の構造について学(-(1)(2)	修する		
6	渡邊	肩関節の (肩の筋)運動(2) と運動)	肩関節の筋と関節道 :教科書 4-2-1)	重動の関連や特徴に・ −(4)	ついて学修する		
7	渡邊		の運動 帯、筋と運動)	肘関節の関節と靭 :教科書 4-2-2)	帯の構造及び筋と関節 - (1) (2)	節運動の関連や特徴	について学修する	
8	渡邊		ひ運動 靭帯、筋と運動)	前腕の関節と靭帯の :教科書 4-2-2)	0構造及び筋と関節∂ −(1)(2)	軍動の関連や特徴に	ついて学修する	
9	渡邊	手関節 (手の関節と靱	の運動 帯、筋と運動)	手関節の関節と靭 : 教科書 4-2-3)	帯の構造及び筋と関節 - (1) (2) (3) (6)	節運動の関連や特徴	について学修する	

10 RB CUMBO SB												
11 読録 (+用の)開始と知識の、行き違い。 :: 数件書 4-2-3)-(0)(0)(0) 12 読録 (-用の)保護((*)) :# 秋書 4-2-3)-(0) 13 読録 (-月の)保護((*)) :# 秋書 4-2-3)-(0) 14 読録 (-月の)保護((*)) :# 秋書 4-2-3)-(0) 13 読録 (*日の)保護((*)) :# 秋書 4-2-3)-(0) 14 読録 (*日の)保護((*)) :# 秋書 4-2-3)-(0) 15 : :# (*) :# (*) :# (*) 16 ::# (*) :# (*) :# (*) 17 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 18 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 19 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 19 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 19 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 19 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) 19 :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (*) :# (10	渡邊						節運動の関連や特徴	について学修する			
12 液焼 (中の機能と飲飲) (中の壊む) : 数月書 4-2-0-(10)(9) + か変形に-20-C, (20(8)(9) + かがの(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)(10)	11	渡邊		(手指の関節と単 手指の)	羽帯、筋と運動) 運動(2)	:教科書 4-2-3)- 手指の伸展機構に~	(4)(5)(6) oいて、その構造と		て学修する			
14 液焼 運動学習 運動学習 15 液焼 まとめ これまでに学修した上肢の各関節の関連と上肢の機能や役割について再確認する 必要に応じて備足説明等を行う 減点調 酸温 酸 車 上 日 日 日 10 水気剤 単価力 小菜 水 理解 思考・判断・表現 技能 関心・意欲・態度 割合 (%) 到達目標 20 小菜スト ● 1 0 20 ①②③ 21 小デスト ● 1 0 0 ①③ 20 小菜スト ● 1 0 0 ①③ 7 小デスト ● 1 0 0 ②③ ①③ 7 小デスト ● 1 0 0 ②③ ①③③ 7 中に 10 ・ 10 0 0 ③③ ③<	12	渡邊		(手の機)手指の)	言と肢位) 重動(4)	:教科書 4-2-3)-(7)(8)(9) 手の変形について、その機序を、指背腱膜の構造・筋の神経支配と関連づけて学修する						
14 0.02 連助子音 ::10-1~6 教科書 15 液通 まとめ これまでに学修した上肢の各間節の関連と上肢の機能や役割について再確認する 必要に応じて補足説明等を行う 飛血方振 「新価の観点 加減・理解 思考・判断・表現 技能 開合 (%) 到達目標 の の の の 回加・企意欲・態度 割合 (%) 到達目標 の の の の	13	渡邊		姿	勢	立位姿勢:教科書7	-1~6					
10 0.02 8.2.90 必要に応じて補足説明等を行う 製点別 改雑評価と 物量性帯の 間違し (加) 評価の観点 単価の、 年回、授業の最初に小テストを実施する。 小テスト 知識・理解 ● 思考・判断・表現 日本 技能 開心・意欲・態度 割合 (%) 到達目標の 30 辞価の 間違し (加) 小テスト ● 1 0 20 ①2/3 評価の 特記事項 (小テスト ● 1 0 20 ①2/3 評価の 特記事項 (小テスト ● 1 0 20 ①2/3 評価の 特記事項 (本での評価方法の含計点数が6%間に違しなかった場合、再試験を実施する。 - - 1 20 ①2/3 評価学習 (予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 - - - 20 ①2/3 - 評価学習 : 指定した教科書のページの予者(1時間)。 - <	14	渡邊		運動	学習							
載点別 成額評価を 調査目標の 開速 評価方法 加蔵・理解 述考・判的*表現 技能 回心・温欲・態度 評估 (%) 判量目標 第20日間 筆品試驗 ● 1 1 80 ①2/3 第20日間の 特記事項 小テスト ● 1 1 20 ①2/3 評価の 特記事項 小テスト ● 1 1 20 ①2/3 評価の 特記事項 小テスト ● 1 1 20 ①2/3 評価学習 「予二くの評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 *本への評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 ** * * * ** *	15											
卸速目標の 関連 催記試験 ● 80 ①②③ 小テスト ● 20 ①②③ 評価の 特記事項 毎回、授業の最初に小テストを実施する。 すべての評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 20 ①②③ 評価学習 行習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 ************************************		、別	法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標		
小テスト 20 ①②③ 解認 解回.長業の最初にハテストを実施する。 ケイでの評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 20 ①②③ 準備学習 行習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間	到達目	目標の	筆記	記職	٠				80	123		
特記事項 オペての評価方法の合計点数が6割に達しなかった場合、再試験を実施する。 準備学習(子習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 事前学習:指定した教科書のページの予習(1時間)。 事後学習:講義後は、教科書を読み直すなどの復習(1時間)。小テストの対策(30分)。 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 筆記試験は研究室に保管しているので事前に連絡の上、内容を確認することができる。 教科書 「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カベンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	关	座	小デ	マト	٠				20	123		
 事前学習:指定した教科書のページの予習(1時間)。 事後学習:講義後は、教科書を読み直すなどの復習(1時間)。小テストの対策(30分)。 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 筆記試験は研究室に保管しているので事前に連絡の上、内容を確認することができる。 教科書 「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市権則明 編集 メジカルビュー社 「カバンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望 	特記	事項 すべての	評価方法の	の合計点数が6割に達	しなかった場合、	再試験を実施する。						
事後学習:講義後は、教科書を読み直すなどの復習(1時間)。小テストの対策(30分)。 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 筆記試験は研究室に保管しているので事前に連絡の上、内容を確認することができる。 教科書 「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カパンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	뀍	隼備学習(予習・	復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間							
 筆記試験は研究室に保管しているので事前に連絡の上、内容を確認することができる。 教科書 「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 						テストの対策(30分)	ō					
教科書 「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カパンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	言語	果題(試験・レオ	ペート等)	に対するフィードバ	ックの方法							
「基礎運動学」中村隆一 他著 医歯薬出版 参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カパンディ・関節の生理学」茲島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	섬크	崔記試験は研究室	医に保管し	ているので事前に連続	路の上、内容を確認	ふすることができる。						
参考図書 「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カパンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	耄	效科書										
「身体運動学 関節の制御機構と筋機能」市橋則明 編集 メジカルビュー社 「カパンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望		「基礎運動学」中	村隆一	他著 医歯薬出版								
「カパンディ・関節の生理学」荻島秀夫 監訳 医歯薬出版 備考:履修者への要望	才	参考図書										
						ルビュー社						
	債	備考:履修者への	要望									
	ŧ	受業中の質問、授	業後のアン	ケートにて積極的な	参加を要望する。	また、分からない部分	はそのままにするこ	ことなく、積極的に質	問に来ること。			

扬	受業科目名		専攻	ζ	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
Ĕ	重動学Ⅱ		リハビリテー、 理学療法者 作業療法者	学専攻	1学年	必修	1単位	30時間
担	旦当教員名							
海	賔田 光佑、臼井 晴信							
〕	実務経験のある教員							
	寘田 光佑・臼井 晴信:医類 D講義を行う。	療機関で理学療法士。	として勤務し、運動器	疾患のリハビリラ	ーションに従事して	いた教員が、解剖	学、生理学に基づく	身体運動について
书	受業概要							
重	■動は全ての動作や行為の3 動について学ぶ。生体力学 支・体幹の基本的な運動並び	・解剖学および生理	学と関連させながら、	下肢・体幹の運動	hに関与する骨・筋・			
4 7	学習到達目標							
知識・	 ・理解 ②下肢・体幹におけ ③下肢・体幹におけ 	ける基本的な運動に関 ける各筋の走行・作用	&・筋・靭帯を挙げる 身与する関節や筋・靭 月について説明するこ 歳につて理解し、説明	帯およびその役割 とができる。 (DF	について説明するこ ^v 1、2)	とができる。(DP1	、2)	
思考・			かを理解し、応用的に ついて体型的に理解し					
技	能							
関心・ ・ 覚	・意欲 _{態度} ⑦授業で得た知識に	こ基づき、自己理解、	臨床的思考力を深め	提出課題に対し意	欲的に取り組む。((DP1, 2, 3, 5)		
扬	受業形態							
講	義 教科書やスライドを	を用いた講義を中心と	こする。骨標本等を用	いた体験型の学習	も併用する。			
			1	授業計	画			
回数	担当教員	授業ラ				授業内容		
1	濵田	下肢の骨格、 下肢帯と股 (1)関節	関節の運動 る					
2	濵田		と靭帯	、肢帯と下肢の有体 し。 (教科書①:pp. 2	各、血管、神経を学(46-250)	多する。骨盤と股関	節および関与する靱	帯について学修す
	項山	下肢帯と股 (2)股関節	と 朝帯 関節の 運動 服	5。 (教科書①:pp. 2	46-250) 重動について学修する		節および関与する朝	帯について学修す
3	·俱山 濵田		と 期節の 運動 節の動き 関節の 運動 脱 脱	5。 (教科書① : pp. 2 2関節の基本的な近 (教科書① : pp. 2	46-250) 重動について学修する 50-253) テする筋について学体	5.	節および関与する靱	帯について学修す
3		(2)股関節 下肢帯と股	と 期節の 運動 節の動き 関節の 運動 脱 防 の 動 勝 服 の 動 影 服 の 動 影 服 の 動 の 動 の 動 の 動 の 動 の の 動 の 動 の 動 の 動 の 動 の 動 の 動 の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 き の 動 の 動 き の 動 の 動 の 面 の 動 の 面 の 動 の の 動 き の の 動 の の の 動 の の 動 の の 画 の の 動 き の の 動 の の の の 動 の の の の の の 動 の の の の の の の の 動 き の の の 動 う の の の の の の 画 う の の の の の 画 の の の の の の の の の の の の の	5。 (教科書①:pp. 2 と関節の基本的な近 (教科書①:pp. 2 と関節の運動に関 ⁴ (教科書①:pp. 2	46-250) 重動について学修する 50-253) チする筋について学体 52-256) トる靱帯について学体	る。 ぎする。	節および関与する靱	帯について学修す
	濵田	(2) 股関節 下肢帯と股 (3) 股関 膝関節	と 関節の 運動 の 運動 の 運動 の 運動 周 勝 の 調動 に と 朝帯 の 調動 の 調動 の 調動 の 調動 の 調動 の 調動 の 調動 の 調 の 動き の 動き の 動き の 動き の 調 の 動き の 調 の 動き の 動き の 動き の 動き の 調 の の 調 の 動き の 調 の の 調 の 調 の 調 の 調 の 調 の 調 の 調 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 調 の 一 の 第 の の 画 の の 画 の 画 の の の の 画 の の 画 の の 画 の の の の 画 の の の の の の の の の の の の の	5。 (教科書①:pp. 2 2 2 2 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	46-250) 重動について学修する 50-253) 5-453 新について学術 52-256) たる靱帯について学術 56-258) 重動について学修する	る。 答する。 登する。	節および関与する朝	帯について学修す
4	濵田 濵田	 (2) 股関節 下肢帯と股 (3) 股関節 (1) 関節 膝関節 	と 朝節の 運動 かの動き 関節の 運動 に と 朝常 の 運動 に 関節の 運動 に 関節の 運動 に 関節の 運動 に 関節の 運動 に 関節の 運動 に 関節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周節の 運動 に 周 の の 第 の 間 の の 第 に 周 の の 第 の 二 の 周 の の 二 の 周 の の 二 の の に の の の の の 周 の の の 面 の の の の 周 周 の の の 周 周 の の 画 の 画 の 周 周 の の 画 の 周 の 画 の 画 の 画 の 周 の 画 の 周 の 画 の 画 の 画 の の 画 の 画 の 画 の 周 周 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 周 周 の の 画 の 画 の 画 の 画 の 周 周 の の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の 画 の の の の の の の の の の の の の	5。 (教科書①:pp. 2 2 2 2 3 3 3 4 期節の基本的な近 (教科書①:pp. 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	46-250) 重動について学修する 50-253) テする筋について学修 52-256) たる靱帯について学修 56-258) 重動について学修する 58-260) 	5。 ぎする。 ぎする。 5。	節および関与する朝	帯について学修す
4	濵田 濵田 濵田	 (2) 股関節 下肢帯と股 (3) 股関 (1) 関節 (2) 膝関節 (2) 膝関節 	と 朝帯の 運動 かの動き 勝の の 運動 かの 動き の 運動 かの 動き の 運動 かの 動き 周 り かの 調動 の 調動 の 調動 た 朝 制 調 の で 動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 調動 、 と 朝 帯 の 二 動 新 、 日 日 の 二 動 新 、 日 日 の 二 、 動 、 と 朝 帯 の 二 、 動 、 こ と 朝 帯 の 第 、 日 日 の 二 、 日 日 の 二 と 朝 帯 の 二 、 日 日 の 二 と 朝 帯 の 二 と 朝 帯 の 二 し 和 、 、 の 重 動 た の 画 の 言 の 画 、 こ の 画 、 、 日 日 の 一 の 一 の 画 、 、 日 日 の 一 の 画 、 う こ の の 一 の 画 、 う こ の 一 の の 一 の 一 の 一 の の の 、 の の の 、 の の の 、 の の の 、 の の の の の 、 の の の の の 、 の の の の の 、 の の の の 、 の の の の 、 の の の の 、 の の の の の の の の の の の の の	5。 (教科書①:pp. 2 法関節の基本的な近 (教科書①:pp. 2 と関節の運動に関 ⁴ (教科書①:pp. 2 法関節および関与づ (教科書①:pp. 2 法関節の基本的な近 (教科書①:pp. 2 法関節の運動に関 ⁴ (教科書①:pp. 2	46-250) 重動について学修する 50-253) 5-する筋について学修 52-256) たる靱帯について学修する 58-260) 58-260) 58-260) 	5。 参する。 ぎする。 ぎする。		
4 5 6	濵田 濵田 濵田 濵田	 (2) 股関節 下肢帯と股 (3) 股関節 (1) 関節 (2) 膝関節 (2) 膝関節 (3) 膝関 (3) 膝関 足関節 (1) 関節 	と 朝帯 の 動かの 運動 かの 動き の 運動 かの 動き の 運動 かの 動き の 運動 かの 動き の 調動 の 運動 かの 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 動き の 調動 の で 重動 の 調動 の で 動き の 調動 の で 重動 の 調 の の 重動 の で 動き の の 画 動き の で 画 動き の の 画 の 調 の の で 動き の の 画 の 調 の の で 画 動き の の 画 の 調 の の の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の 画 の 言 の の の 画 の 一 の の の 画 の 言 の の の の の の の の の の の の の	5。 (教科書①:pp. 2)))))))) (教科書①:pp. 2)))))))))))))))))))	46-250) 重動について学修する 50-253) 5-する筋について学修 52-256) たる靱帯について学修する 58-260) たる靱帯について学修する 58-260) たる靱帯について学修 60-266) この変形について学修	5。 多する。 多する。 多する。 多する。足関節の運		

10		濵田	脊柱の骨格	、基本構造	脊柱を構成する骨と (教科書①:pp. 27		、血管について学修っ	する。			
11		濵田	頭部・頸	椎の構造		頭部、頸椎の構造と運動、関わる筋について学修する。 (教科書① : pp. 275-283)					
12		濵田	・胸腰材	隹の運動	胸腰椎の構造と運動、関わる筋について学修する。 (教科書①:pp. 289-292)						
13		臼井	胸郭と胸椎の運動・	呼吸に関わる運動	胸郭と胸椎の構造及び呼吸の運動と関わる筋について学修する。 (教科書①:pp. 283-289)						
14	臼井 運動生理学			運動中の生体の変化 (教科書①:pp. 32		0					
15	濵田・臼井 授業のまとめ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)			本講義で学んだ内容	を整理し、課題に	取り組む。					
	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標		
到達	平価と 目標の 連		試験	٠	•			80	1236		
	Æ	提出	課題	٠	•		•	20	457		
特記	曲の ,事項 進備学翌		夏の全てを合わせて6 の具体的な内容及び~		_て、再試験を実施す	3.					
	キーワー 是出課題 養中の面	- ドについて講義中(夏として各章(下肢 日布資料や学修でま。	こ学んだことを、講 ・体幹・運動生理)、 とめたレポート、提供	義後にまとめてくだ ごとに学修でまとめ 出物等を合わせて、	2解できなかったキー ざさい(必要な時間: ※ たレポートの提出を ポートフォリオを作	160分)。 求めます。具体的;					
Ē	果題(評	「験・レボート等)(こ対するフィードバ	ックの方法							
		E記試験、提出課題、	ポートフォリオ) (こ対する疑問点や質	間は、随時受け付け	ます。					
	 教科書										
			」中村隆一 他著	医歯薬出版							
	・「カパンディ・関節の生理学 原著第6版」萩島秀夫 監訳 医歯薬出版 ・「筋骨格系のキネシオロジー 原著第3版」PaulD.Andrew 有馬慶美 日高正巳 監訳 医歯薬出版										
ĺ	備考:履修者への要望										
)基礎になります。各)、基本的な運動につ						

ł	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数	
ĭ	重動学実習			ーション学科 去学専攻	1学年	必修	1単位	30時間	
ł	担当教員名								
3	外倉 由之								
	実務経験のある教員 外倉 由之:医療機関におい	て作業療法十として	勤務1. 身休陪害領	貢城の作業療法の経	論を有する数員が	軍動学実習について	講義を行う		
					лсн / Фадел (.		11777X C 11 7 0		
1	本 (株式) 本業療法士が関わることの 本科目では、実習により、 年成することにより、論理的	基本動作やADL動作に	ついてグループで衝	観察や測定、グルー	プディスカッション	を行い、その結果を			
À	学習到達目標								
知識	 ・理解 ①姿勢や動作を観察 	案する際に着目する~	べき視点を理解する	ことができる。(DP	1)				
	・判断 ②観察したことを専 長現 ③レポートの目的を	専門用語を用いて適り と理解し、他者に分か	Dに表現することが いりやすいレポート	できる。(DP1) を書くことができる	。 (DP1)				
技	能 ④運動学的視点で重	助作を観察し、分析す	⁺ ることができる。	(DP1~2)					
	 ・意欲 ⑤課題の提出期限を ⑥積極的に授業への 	と守り、担当教員のフ D参加・協力ができる		けることができる。	(DP1)				
ŧ	受業形態								
実	習 グループワークを中	中心に行う。適時、重	動画の撮影と分析を [;]						
回数	担当教員	授業ラ		授業計	画	授業内容			
1	外倉	オリエンラ		レポートの作成方法	まについて学習する				
2	外倉	上肢帯お	よび上肢	肩関節の運動を観3 : 教科書①pp.100-	奏し、肩甲上腕リズ」 120	ムについて学習する			
3	外倉	肘•	前腕	肘と前腕による日津 :教科書①pp. 121-	常生活動作について所 145	肩の可動域と共に理	解する		
4	外倉	姿勢(静的座位	立・立位姿勢)	座位・立位姿勢の書 :教科書①pp. 343-					
5	5 外倉 運動連鎖とバランスの評価を実施する : 教科書①pp. 322-342								
6	外倉	寝返り・走	己き上がり	寝返り・起き上がり :教科書①pp. 465-)動作を観察し分析 479	トる			
7	外倉	立ち座りー起	立着座動作	立ち座りの動作観察と分析する : 教科書①pp. 480-498					
8 外倉 車いす座位と移動 車いす座位姿勢を評価し、移動の観察と動作を分析する :教科書①pp.432-448									

9		外倉	歩行・	杖歩行	歩行・杖歩行を観察 :教科書①pp. 367-							
10		外倉	手関領	行・手		手関節と手の構造を確認する。手関節と手の動きを観察し動作を分析する :教科書①pp. 146-181						
11		外倉	運動	学習	運動学習の定義を確認し、理論を理解する : 教科書①pp. 63-87							
12		外倉	発表前	準備①	各班の担当内容について発表準備を行う							
13		外倉	発表前	準備②	各班の担当内容について発表準備を行う							
14		外倉	外倉 発表①			評価を行う						
15		外倉	発表	₹@	各グループの発表と	評価を行う						
観点	互別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標			
成績評 到達日	評価と 目標の	レポ	<u>~</u> _⊦	•	•	•	•	50	12345			
関	連	 発	表	•	•	•	●	50	12456			
	西の l事項	全ての評価基準の台	レーブリックで評価∛ 含計が6割を満たない 極的な行動についてに	場合、追加のレポー	- トを課すことがある 態度は授業時に注意	。 を促し、改善されな	ければ減点とする。		L			
ì	準備学習	習(予習・復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間								
			よく読み、実習の目f やかに行い、レポー									
tin H	課題(詞	弌験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法								
1	レポート	ヽは、フィードバッ	クコメントを記載し、	返却する。								
447	教科書											
	PT・0Tのための運動学テキスト 第1版補訂2版											
12	参考図書											
	「解剖学・生理学・運動学に基づく動作分析 」 奈良 勲 , 木林 勉 , 佐藤 香緒里 , 清水 順市 , 松川 寛二 編 医歯薬出版(株)(2018年)											
ĺ	備考:履修者への要望											
1	ゲループで実習するので、各自がグループ内の役割を遂行し、有意義な実習が行えるよう努めること。 レポートは提出期限を守って提出し、提出前に担当教員に質問に行く等、積極的に取り組むこと。 実習では、運動のしやすい服装で参加すること。											

実習では、運動のしやすい服装で参加すること。

授業科目名 専攻 配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) *							総時間数		
,	人間発達学		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間	
ł	担当教員名								
4	彩山 成司								
¢1.	実務経験のある教員								
	ド山成司 : 複数の大学、市日 する。	民病院での実務およ	び教育、研究の経験	を有する教員が、医	医学的な基礎生理の変	変化に基づいて、各	年齢段階における特	徴的な病態を教授	
ł	受業概要								
-	ヒトの生命は、誕生前の受用 て、各年齢段階における特征 加えて、人それぞれの生活 発達学的な視点が欠かせない	数的な病態を理解し 舌環境、社会環境に(なければならない。						
Ê	学習到達目標								
知識	・理解 ② 幼児期から思春	期までの発達段階を	理解し、この時期の	兑明できる。また、♡ ○代表的障害につい → 、説明できる。まれ	て説明できる。(DP	1)			
	 ・判断 長現 								
技	能								
	・意欲 _{態度} ④個々人だけでなく	、疾病とそれを取り	り巻く環境にも関心	を払いながら、医療	を考慮できる。(DP	1, 4)			
ł	受業形態								
講	義 プリントとスライト	*を中心に講義する。							
				授業計	画				
回数	担当教員	授業ラ	テーマ			授業内容			
1	杉山	総論および	発達の診方	人の生理・運動・原	感覚機能の発達過程	と遺伝・環境的要因			
2	杉山	胎児	医学	妊娠時期と胎児発す	育、染色体異常や環	寛因子が胎児に及ぼ	す影響について		
3	杉山	奇形症	定候群	奇形症候群の要因と	と予後、予防対策				
4	杉山	新生児期の生理	程学的変化(1)	出生前後の呼吸器系	系、循環器系の生理	学的変化			
5	杉山	新生児期の生理	程学的変化(2)	出生前後の生理学的	的変化について、ビ	リルビン代謝、血液	学的観点から		
6	6 杉山 未熟児・新生児の障害 低酸素性脳症など、未熟児・新生児に特有な疾患と障害、予後について								
7	杉山	原始反身	村と発達	乳児期の成長、運動 原始反射の臨床的意	動、認知、言語および 意義について	び社会的発達の特徴	とその評価法		
8	杉山	中間の	まとめ	講義1~7回のまとめ					
9 杉山 乳児期の成長と発達障害 乳児期の成長、発達の評価法とその障害および対策について									
10	杉山	乳児期にけるネ	申経、筋の発達	乳児期の神経系発調		疾患および先天性筋	疾患について		

11	杉山	学童期の	発達と障害	学童期の発達と自り	引 症を含めた発達性	障害について									
12	杉山	小児期の	事故と虐待	各年齢における小児期特有の事故、および虐待の実態と予防											
13	杉山	思春期の発う	達とその障害	二次性徴を含めた思春期の発達とその障害について											
14	杉山	杉山 老年期の問題点			老年期の身体的特徴と評価法										
15	杉山	認知症、	廃用症候群	高齢者特有の認知症や骨折、廃用症候群などについて											
観点				思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標							
到達目	評価と 目標の 期末試験(筆記) ●						90	123							
送	日保90 周連 平常の授業態度、参加度					•	10	4							
ļ	事項 すべての評価力 準備学習(予習・復習等)	質問なども考慮する。 5法の合計点(期末筆記 等)の具体的な内容及び どは、自己学習の習慣を 1時間ほど当てる。	それに必要な時間			理解は持続的なもの。	とになり、応用が可	能となる。講義の							
1 II	果題(試験・レポート等	等) に対するフィードバ	ックの方法												
4	予授業開始時に簡単な行う	复習を行う。													
孝	故科書														
1	秋平音 参考書として:標準理学療法学・作業療法学 人間発達学(第2版).医学書院、2017														
1	参考図書														
7	本学図書館には発達学に関連する多くの書籍が所蔵されており、学習態勢は整っているので活用すること。														
ĺ	備考:履修者への要望														
î	夏習の習慣をつけ、講郭	義内容で疑問点や不明点	があれば、積極的に	二自己学習あるいは質	間する。			備考:履修者への要望 复習の習慣をつけ、講義内容で疑問点や不明点があれば、積極的に自己学習あるいは質問する。							

Ř	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
-	一般臨床医学		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	2単位	30時間		
打	担当教員名									
ŧ	長谷川 昇、杉山 成司									
Į	実務経験のある教員									
る 市	長谷川 昇:県立病院(精行 る。 彡山 成司:複数の大学、i									
挖	受業概要									
10 23	(長谷川)理学療法士・作 に薬理について学修する。 (杉山)診療をする場合、 る上で鍵となる。また、医 点に講義する。	患者が訴える一般的	な症状を把握するこ	とから始まる。それ	1故、この症状をいた	かに病態生理学的に;	分析し理解していく	かが、医療を進め		
4T	学習到達目標									
知識・	・理解 摘することができる	5. (DP1,DP2)		れている薬物の作用 、臨床的意義につい			おける有害事象、服	薬過誤について指		
		効に機能させるため、 いて治療方針を立て、		マメントし、副作用 ができる。(DP5)	などについて予測す	-ることができる。	(DP5)			
技	能									
	・意欲 ^焦 度									
ŧ	受業形態									
講		央型の講義を行い、ネ プリントを中心に調		に必要な事項につい	て教科書を用いて排	ᡝ摘 する。				
回数	担当教員	液業-	テーマ	授業計	画	授業内容				
1	長谷川		の取扱い	医薬品の分類、医薬	薬品の名称、医薬品の					
2	長谷川	薬物動態(吸収・タ	分布・代謝・排泄)	薬物の体内動態、則	材形の特徴と吸収過る	程、相互作用				
3	長谷川		イフステージごとの 題点	薬の作用点(受容体 小児、新生児、高齢	本、チャネル、酵素、 鈴者、妊婦への投与	、シナプス、ポンプ 上の問題点、コンプ) ライアンスとアドヒ	アランス		
4	長谷川		乍用と副作用 遼薬、抗炎症薬		尿薬、降圧剤、不整 非ステロイド性鎮;		療薬、抗血栓薬、ア	レルギーと抗炎症		
5	長谷川		乍用と副作用 :患の治療薬	向精神薬(抗うつ薬	薬、睡眠薬、抗パー:	キンソン病薬)				
6	長谷川		作用と副作用 転息の治療薬	骨粗鬆症治療薬、角	Ŝ弛緩薬、抗リウマ [↔]	チ薬				
7	長谷川		乍用と副作用 斥患の治療薬	糖尿病治療薬						
8	長谷川		乍用と副作用)薬物治療	抗悪性腫瘍薬、解熱	熟鎮痛薬、麻薬					

9		長谷川	主な薬物の作 6. 感染症の		抗菌薬						
10		杉山	症候学	(1)	全身状態、発熱、皮	「膚症状と臨床的意識	蔑				
11		杉山	症候学	(2)	消化器症状、腹痛などの臨床的意義						
12		杉山	症候学	(3)	意識障害、呼吸器症	状、尿異常などの	臨床的意義				
13		杉山	水・雪	言解質	脱水、電解質異常、	酸塩基平衡障害					
14		杉山	栄	養	栄養摂取の基本と各栄養素障害および摂食障害						
15		杉山	プラ	セボ	臨床的意義						
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標		
 観点 成績評 到達目 	平価と	(長谷川))小テスト	•	•			20	13		
関		(長谷川))筆記試験	•	•			40	13		
		(杉山)	筆記試験	•	•			40	124		
	事項	(杉山) 杉山の筆(予習・復習等)() あらかじめ提示	の評価方法を合計(記試験分で6割をとれ の具体的な内容及び されたレジュメに記 のプリントを配布す;	てないない場合、通 それに必要な時間 載された事項につい	自加で課題を課すこと	:があります。		前回の講義内容の復	習をする(30分程		
調	親題(討	、験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法							
			での質問事項はリア 回講義の復習を行う。		して提出し次回の講	義で解説する。					
老	牧科書										
	(長谷川)スラスラわかる薬のメカニズム、鈴木正彦 監修、サイオ出版、2019年 (杉山)標準理学療法学・作業療法学 内科学(第4版). 前田眞治 編集. 医学書院. 2020年										
参	参考図書										
	(長谷川)今日の治療薬 解説と便覧 2022、浦部 正雄 等編集、南江堂、2022年 (杉山)大学図書に関連蔵書多数あり。活用して下さい。										
備		修者への要望									
	(長谷川	・杉山)正常な人	体の構造と機能を理解	解しておくこと。							

扬	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
1/2	\衆衛生学		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間		
担	旦当教員名		<u> </u>				<u> </u>			
榰	黄尾 和久									
〕	ミ務経験のある教員									
	横尾和久:複数の大学、市 ごけでなく、社会や環境と									
扬	受業概要									
た実る特位語俗	所型コロナウイルス感染症 なわち、公衆衛生とは、「 身命延長、身体的・精神的 5。臨床医学が個人を対象 身・改善等も公衆衛生の対 注衆衛生学は、将来、07、 課題を、生物学的な視点だ 8号する。 各授業の範囲内で、特に最	みんなの健康」のこ 健康の増進を図る学 としているのに対し 象となる。公衆衛生 PTとして臨床の現場 けでなく、社会や環	とであり、公衆衛 間である。その具 にである。その具 にな 次衆衛生は集団 は狭い意味での保 で働くものにとっ 境との視点から俯 町	生学とは、「みんな 本的な内容としては を対象としている点 建活動だけでなく、 ては必須の科目と言 敢的に理解するばか	の健康」を守るため、 環境衛生、感染症 が大きく異なる。日 医療活動の展開にと える。本授業では、 りでなく、集団の健	に、組織化された地 対策、衛生教育、保 常的な医療活動の基 っても基盤となるも 国際レベル、国レイ	地域社会の努力によ R健医療制度、社会 基盤となる医療制度 5のである。 ベル、並びに地域に	って、疾病予防、 保障制度等があ やシステムの維 おける様々な健康		
治	学習到達目標									
知識・	学習到達目標 ①主たる保健統計(人口、出生、死亡統計など)を説明できる。(DP1) ②疾病予防と健康管理について説明できる。(DP1) ③主な疾病についてその予防法について説明できる。(DP1) ③主な疾病についてその予防法について説明できる。(DP1) ③環境保健(環境汚染、環境問題)について説明できる。(DP1) ⑤保健行政(母子保健、産業保健、高齢者保険)について説明できる。(DP1) ⑥わが国の保健医療福祉制度について説明できる。(DP1) ⑦われわれを取り巻く健康課題の現状について説明できる。(DP1)									
思考・		問題に対して何がで	きるか考えることか	^ぶ できる。(DP3)						
技	能									
・態		こっている公衆衛生 医療人として自分事								
抒	受業形態									
講	義 毎回、パワーポイン	ントによるスライド	とプリントを用いて	(講義する。						
回数	担当教員	拉来:	デーマ	授業計	画	授業内容				
回奴 1	横尾	はじめに。担当教			介。医療人としての な公衆衛生の知識、	心構え、医療人に求		いて学ぶ。		
2	2 横尾 保健統計と疫学の基礎。疫病予防と 健康管理。 【健康増進】 人口、出生、死亡統計など、公衆衛生の基本である疫学(人間集団における疾病の分布とその 発生原因を研究する学問)の基礎について学ぶ。 予防医学、健康管理、健康増進、健康日本21などについて学ぶ。 【健康増進】については時間を取って学習する。									
3	横尾	主な疾病の予 【感導	▶防-感染症。 杂症】		ー般、予防接種、最 ては時間を取って学		「について学ぶ。			
4	4 横尾 主な疾病の予防-内部疾患。 【生活習慣病】 がん、メタボリック症候群、心疾患などの予防対策について学ぶ。 【生活習慣病】については時間を取って学習する。									

5		横尾	環境保健。【	地球温暖化】		^{景境因子、化学的環 ついては時間を取っ}		どについて学ぶ。			
6		横尾	地域保健と保健行 論(1 メンタハ	.) 。	地域保健活動、保健行政の全般について学ぶ。 母子保健、学校保健などについて学ぶ。 【メンタルヘルス】については時間を取って学習する。						
7		橫尾	保健行政の名 健康		産業保健などについて学ぶ。 高齢者保健、精神保健などについて学ぶ 【健康寿命】については時間を取って学習する。						
8		橫尾	国際保健医療。SDG と関係 まと	法規。		と関係法規などについ は時間を取って学習					
復点	評価方法		評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合 (%)	到達目標		
成績許 到達目 関	平価と 目標の	毎回の振り込	反りレポート	•	•		•	40	12345678 910		
		本語	试験	•	•			60	12345678		
評価 特記		本試験で60%に満た	ない場合は、再試験	対象とする。							
ž	準備学習	習 (予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間							
			目を通しておく(30 レポートを提出(60								
Î	課題(詞	(験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法							
扐	辰り返り	のレポートは講義	の際に返却する。								
***	教科書										
	「シンフ	プル衛生公衆衛生学	」 鈴木庄亮(監修)(南江堂)							
ŧ	参考図書	ŀ									
ſi	備考:履修者への要望										
Z	本授業(本教科書)で学ぶことは、日頃の時事問題で取り上げられることが多く、将来、医療人として社会に出た時、最低限必要になる知識ばかりです。 医療人としての道を選んだ初心を忘れずに、医療人として必要な公衆衛生学についての知識を習得してください。 また日頃から社会人、組織人、医療人としての自覚をもって行動してください。										

ł	受業科目名		:	専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
nin A	臨床心理学		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
ł	担当教員名							
4	金子 幾之輔							
61X	実務経験のある教員							
7	金子 幾之輔:日本カウンセ 有し、その関連科目である。 識・技能に関する学修を促	本授業においてカウ						
ł	受業概要							
,	臨床心理学とは、心の問題 人に対してのみならず、理 等を遂行したりするなどし	学療法士・作業療法	士自身の健康管理の	の観点からも心理臨床	€活動のあり方を考察	する。また、講義内	内容に応じた体験学	習やグループワーク
ž	学習到達目標							
知識	 ・理解 ①臨床心理学に関す ②臨床心理学の実践 	する基礎的な理論を調 載的知識・技能を心の	说明できる。(DP1) D障害を有する人ペ	自分自身に適用する	ことができる。(DP1)		
	 ・判断 長現 							
技	能							
	 ・意欲 態度 							
• <u></u>								
• ft	受業形態	いて平易に解説すると	とともに、体験学習	日やグループワークも	導入する。			
• <u></u>	 <u>ま</u> <u>美</u> <u>自</u>作の資料に基づい <u></u>			日やグループワークも 授業計	導入する。 画	授業内容		
• ft	受業形態	授業支	とともに、体験学習 テーマ 学とは何か	授業計		授業内容 うて概観し、臨床心3	理学の概念や特徴を	把握する。
• 煎 茸 調 回数	 態度 受業形態 議 自作の資料に基づい 担当教員 	授業		授 業 計 臨床心理学の内容	画	ヽて概観し、臨床心!		把握する。
• 煎	 態度 受業形態 議 自作の資料に基づい 担当教員 金子 	授業 臨床心理 不適成 心の障害の	テーマ	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満の。	画 ・ 方法・歴史等につい	いて概観し、臨床心は 不適応行動につい、	て学修する。	
• 魚 封 調 回数 1 2	 態度 受業形態 ジスボル 自作の資料に基づい 担当教員 金子 金子 	授業 臨床心理 不適 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の	テーマ 学とは何か な 行動 特徴と対応	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満の: 統合失調症、うつれ	画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、	ヽて概観し、臨床心 不適応行動につい、 ♪障害の特徴、対応の	て学修する。 9留意点について学修	ぎする。
• <u>1</u> 3	 態度 受業形態 三義 自作の資料に基づい 担当教員 金子 金子 金子 金子 金子 	授業 臨床心理 不適応 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の (3)不安障害 心の障害の (5)パーソナ	テーマ 学とは何か 芯行動 特徴と対応 E (2)気分障害 特徴と対応	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満の。 統合失調症、うつれ 不安を主因とするこ。	画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 病や双極性などの気分	いて概観し、臨床心は 不適応行動についい 分障害の特徴、対応の 目による適応障害の ²	て学修する。 や留意点について学術 特徴と対応の留意点	ぎする。
· 負 · 負 · 負 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自	 態度 受業形態 三換 自作の資料に基づい 担当教員 金子 金子 金子 金子 金子 金子 金子 	授業: 臨床心理 不適成 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の (3)不安障害 (5)パーソナ (6)認 心の障害の	テーマ 学とは何か 芯行動 特徴と対応 E(2)気分障害 特徴と対応 (4)適応障害 特徴と対応 - リティ障害	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満の; 統合失調症、うつれ 不安を主因とするする。 パーソナリティ障害	画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 病や双極性などの気分 下安障害やストレスE	ヽて概観し、臨床心」 不適応行動につい、 →障害の特徴、対応の ■はよる適応障害の ■はよる適応障害の	て学修する。 中留意点について学修 特徴と対応の留意点 て学修する。	ぎする。
· 負 · 負 · 負 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自	 態度 受業形態 ジスボル 自作の資料に基づい 担当教員 金子 	授業 臨床心理 不適応 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の (3)不安障害 心の障害の (5)パーソナ (6)読 心の障害の (7)発 ストレスの本	 デーマ 学とは何か 芯行動 特徴と対応 (2)気分障害 特徴と対応 (4)適応障害 特徴と対応 リティ障害 3知症 特徴と対応 	授業計 臨床心理学の内容 徹求と欲求不満のご 統合失調症、うつれ 不安を主因とするころ。 パーソナリティ障害 自閉スペクトラムれ	画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 病や双極性などの気分 下安障害やストレス	ヽて概観し、臨床心は 不適応行動につい、 分障害の特徴、対応の 団による適応障害の 団による適応障害の 内応の留意点につい、 特徴や対応の留意点に	て学修する。)留意点について学修 特徴と対応の留意点 て学修する。 こついて学修する。	をする。 について学修す
· 負 · 負 · 負 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自 · 自	kg	授業: 臨床心理: 不適応 心の障害の (1) 統合失調症 心の障害の (3) 不安障害 心の障害の (5) パーソナ (6) 記 心の障害の (7) 発: ストレスの本質 対処 心のアセ	 デーマ ジーマ ジーマ ジーマ ジーマ ジーマ 特徴と対応 (4)適応障害 特徴と対応 - リティ障害 3知症 特徴と対応 達障害 雪と原因および 	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満のご 統合失調症、うつれ 不安を主因とするころ。 パーソナリティ障害 自閉スペクトラムれ 日常生活上のストロ	画 ・ 方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 オカニズムを説明し、 病や双極性などの気分 下安障害やストレス関 喜や認知症の特徴やす 定などの発達障害の料	ヽて概観し、臨床心は 不適応行動につい、 分障害の特徴、対応の 目による適応障害の り応の留意点につい、 特徴や対応の留意点につい、	て学修する。)留意点について学修 特徴と対応の留意点 て学修する。 こついて学修する。	をする。 について学修す
· f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	kg kg S <td>授業: 臨床心理 不適応 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の (3)不安障害 心の障害の (5)パーソナ (6)設 心の障害の (7)発: ストレスの本 対が 心のアセ (1)意義 :</td> <td>デーマ 学とは何か な行動 特徴と対応 (2)気分障害 特徴と対応 (4)適応障害 特徴と対応 シリティ障害 3知症 特徴と対応 達障害 貧と原因および 込法</td> <td>授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満のご 統合失調症、うつ利 不安を主因とするころ。 パーソナリティ障害 自閉スペクトラム系 日常生活上のストロ 心理アセスメントの</td> <td>画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 オウンスを説明し、 「 大安障害やストレス国 客や認知症の特徴やす 定などの発達障害の インス事例を通じて、 こ</td> <td>ヽて概観し、臨床心は 不適応行動につい、 分障害の特徴、対応の 日による適応障害の 内応の留意点につい、 時徴や対応の留意点につい、 時徴や対応の留意点にろい、 らして学修する。</td> <td>て学修する。)留意点について学修 特徴と対応の留意点 て学修する。 こついて学修する。</td> <td>をする。 について学修す</td>	授業: 臨床心理 不適応 心の障害の (1)統合失調症 心の障害の (3)不安障害 心の障害の (5)パーソナ (6)設 心の障害の (7)発: ストレスの本 対が 心のアセ (1)意義 :	デーマ 学とは何か な行動 特徴と対応 (2)気分障害 特徴と対応 (4)適応障害 特徴と対応 シリティ障害 3知症 特徴と対応 達障害 貧と原因および 込法	授業計 臨床心理学の内容 欲求と欲求不満のご 統合失調症、うつ利 不安を主因とするころ。 パーソナリティ障害 自閉スペクトラム系 日常生活上のストロ 心理アセスメントの	画 ・方法・歴史等につい メカニズムを説明し、 オウンスを説明し、 「 大安障害やストレス国 客や認知症の特徴やす 定などの発達障害の インス事例を通じて、 こ	ヽて概観し、臨床心は 不適応行動につい、 分障害の特徴、対応の 日による適応障害の 内応の留意点につい、 時徴や対応の留意点につい、 時徴や対応の留意点にろい、 らして学修する。	て学修する。)留意点について学修 特徴と対応の留意点 て学修する。 こついて学修する。	をする。 について学修す

11		金子	心のアセ (4)心野		心理検査の種類と代 学習)	表的な心理検査に	ついて学修する。集E	団TAT等による自己分	∂析を実施。(体験	
12		金子	カウンセリン	/グとは何か	カウンセリングの考え方、基礎技法について学修する。役割演技によるカウンセリング技法の基 本的訓練の実施。 (グループワーク)					
13		金子	各種心: (1)精神分 (2)来談者	分析療法	精神分析療法と来談者中心療法の理論的背景と技法について学修する。					
14		金子	各種心: (3)行動 (4)遊	助療法	行動療法と遊戯療法の理論的背景と技法について学修する。					
15		金子	理学療法士と作業病 総		理学療法士と作業療 律訓練法」を実施す		一方法としてストレン	ス・コントロール法	の一種である「自	
	点别 · 評価万法		知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標		
	24価と 目標の 連	レポー	・ト試験	•				85	12	
		振りi	反り度	•				15	12	
<u> </u>	準備学習 〇事前学 〇事後学	再試験を実施しませ 官 (予習・復習等)(² 習:臨床心理学辞) ² 習:授業で扱ったF	 よるらに、特別 の具体的な内容及び 典や臨床心理学の参考 内容を自分なりにまる 	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	o	容について調べてざ 程度)	訴款験を実施しません おくこと。(1時間積 なり組むこと。		着たなかった場合も	
1 I	課題(討	、験・レポート等) (に対するフィードバ	ックの方法						
1	課題(レ	~ポート、振り返り)) に関する質問は適宜	宜受け付ける。						
12	教科書									
ŧ	受業に必	公要な自作の資料を替	配布する。							
1200	参考図書	4 1								
1	◎弓凶音 講義の中で適宜紹介する。									
ĺ	備考:履	修者への要望								
E	臨床心理	皇学の実践的知識・打	技能を向上させるた&	めに体験学習や実習	場面のみならず、日	常生活上において	も積極的にその技法を	:訓練することを期行	寺する。	

ŧ	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
þ	內科学		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間		
ł	旦当教員名									
柞	乡山 成司									
17	実務経験のある教員									
木	≶山成司∶複数の大学、市Ⅰ	民病院で内科学の実	務および教育、研究	この経験を有する教員	が、疾病の成因・病	態について講義する	5.			
ž	授業概要 高齢化は一段と進み、在宅・地域リハビリテーションへの社会的ニーズは不可欠のものとなり、それに対する適確な医療知識や技能習得が求められる。内科学は疾									
	高齢化は一段と進み、在宅 D成因・病態を考える上でま									
2	学習到達目標									
知識・	理解 ② 基礎的医学知識	に根ざした各疾患へ	の診療法、対処法を	っことを身に付けるこ と修得することができ 対応するリハビリテー	ちる。(DP 1,2,5,6)					
思考・										
技	能									
関心・	渡 ③ 肉座りる取近の	話題を提供し、その	意義、関心について	て議論できる。(DP 1	, 2, 5, 6)					
	受業形態 義 スライド、プリント	ト中心の講義								
回数	担当教員	授業	テーマ	授業計	画	授業内容				
1	杉山	総		問診、診察法、検査	査、診断の進め方(1					
2	杉山	症间	 実学	主な症候について	(3章)					
3	杉山	循環器系務	矣患 一総論	循環器系疾患の生理と徴候(4章)						
4	杉山	循環器系疾患	一各論 (1)	高血圧、虚血性心務	実患、不整脈、心不⊴	となど (4章)				
5	杉山	循環器系疾患	一各論 (2)	脈管系疾患、心臓り	リハビリテーション	(4章)				
6	杉山	呼吸器系统	矣患 一総論	呼吸器系の解剖と生	E理機能(5章)					
7	杉山	呼吸器系统	矣患一各論	 閉塞性・拘束性肺疾患、肺炎、肺癌など(5章)						
8	杉山	1~7回の講義のまとめ								
9	杉山	消化管および別	干・胆・膵疾患	肝・胆道系を含めた	と消化器系の解剖と	幾能、および代表的!	疾患(6、7章)			

10		杉山	代謝	疾患	メタボリック症候群	έ、糖尿病など(9章	:)				
11		杉山	内分泌	必疾患	内分泌腺の種類・機	内分泌腺の種類・機能と代表的ホルモン異常症(10章)					
12		杉山	血液・造	血器疾患	血液成分と機能、および代表的血液疾患(8章)						
13	ド 杉山 腎・泌尿器疾患			腎疾患の病態生理と	その代表的疾患(1	1章)					
14	杉山 免疫疾患、アレルギー疾患			免疫系の基礎知識と	その代表的疾患(1	2章)					
15		杉山 感染症			代表的な感染症とそ	の予防対策、日和り	見感染など(13章)				
	評価の観点 知識・理解			思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標			
観点	平価と	中間試験	(筆記)	•				50	123		
	目標の 連	期末試験	(筆記)	•				40	123		
		平常の授業態	態度、参加度				•	10	4		
特記	現代はマ	】(予習・復習等) 6 マスコミなどから医≅	の具体的な内容及び- 学情報が豊富に流れ、	それに必要な時間 直ぐに役立つ実践	10点) 評価の合計点: 	。理学療法士、作業	線法士をめざす者は				
			習を30分~1時間程								
1 H	課題(診	、験・レポート等) (こ対するフィードバ	ックの方法							
í	各講義の	のはじめに復習コープ	ナーを設ける。								
1147	教科書										
標準理学療法·作業療法学 専門基礎分野 内科学(第4版)。前田眞治(編). 医学書院. 2020											
1Sh	参考図書										
ŝ	多数の関連書籍を当大学図書館に所蔵。積極的な活用を望む。										
備考:履修者への要望											
Ę	患者ケアをより充実させるためには、内科学講義にとどまらず、医療に関する社会の動向にも注視し、より親身な幅広い診療を目指す気構えを持つ。										

ł	授業科目名		専	īф	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
, mark	整形外科学		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	2学年	必修	2単位	60時間			
5	担当教員名										
ŧ	種田 陽一										
-	実務経験のある教員におけ	る科目									
ţ	種田陽一:現役の整形外科	医が整形外科学を講	構義する								
	授業概要 整形外科が扱う疾患は人体										
	び、脊椎、脊髄、関節、末梢神経、手・足の障害などが挙げられる。講義では全身の各運動器疾患について、臨床実習で必要となる病態、症状、診断、治療、リ ハビリテーションについて理解する。										
	学習到達目標										
知識・	知識・理解 ①主な整形外科疾患、外傷について病因、病態、治療法、リハビリテーションを説明できる。 (DP1, DP2)										
	思考・判断 ・表現 ②病名と患者情報、重症度などから、その疾患の治療と予後を予測し説明することができる。(DP1, DP2, DP3, DP4)										
技	技能 ③関節可動域、上肢長、下肢長、四肢周囲径、四肢・体幹の筋力測定の方法を説明できる。(DP1, DP4)										
	関心・意欲 ・態度 ④医師やリハビリテーションスタッフとの討議に参加し意見を述べることができる。(DP2, DP4, DP5)										
10	授業形態										
講		こ送付)とスライド こ国試問題を供覧す		講義ノートをプリン	ィトアウトし、重要	と思われる部分に名	自マーカーペンでネ	曽色し復習の助けと			
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容					
1	種田	運動器の構造	と機能(1)	骨、軟骨、関節の材	構造と機能						
2	種田	運動器の構造	と機能(2)	筋、脊髄、末梢神緒	圣の構造と機能						
3	種田	整形外科に並	公要な測定法	関節可動域、脚長、	周囲径、筋力など						
4	種田	関節可動域異	常、形態異常	強直、拘縮、奇形、変形(火傷を含む)							
5	種田	整形外科にも	X要な検査法	画像診断総論(X線、造影、CT、MRI、核医学検査)、筋電図、腱反射、血液検査など							
6	種田	画像診問	所法各論	骨、関節、脊椎の	線読影法(単純XP、	CT、MRI など)					
7	種田	整形外科疾患	の保存的治療	薬物治療、注射療法	去、装具療法、牽引	療法、リハビリなと	ð -				
8	種田	整形外科疾患	の外科的治療	植皮、骨の手術、	関節の手術、脊椎の	手術、末梢神経の手	ē術				
9	種田	整形外科的	外傷(1)	プライマリーケア、	骨折総論						
10	種田	整形外科的	外傷(2)	上肢の骨折(橈骨、	尺骨、上腕骨、手	根骨、指骨)					
11	種田	整形外科的	外傷(3)	下肢の骨折(大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨、趾骨)							
12	種田	整形外科的	外傷(4)	体幹・脊椎の骨折、脱臼総論・各論							
13	種田	骨髄炎、関節炎、脊椎炎									
14	種田	骨軟音	邓腫瘍	総論、骨肉腫、軟	骨肉腫、Ewing肉腫、	転移性癌など					

15		種田	小児疾動	患(1)	発育性股関節形成不	5全、内反足、骨端	症など				
16		種田	小児疾動	赴(2)	骨系統疾患、二分和	予椎					
17		種田	関節リウマヲ	と関連疾患	関節リウマチ、強正	〔 性脊椎炎、膠原病、	、骨粗鬆症など				
18		種田	変形性	関節症	変形性股関節症、変形性膝関節症、大腿骨頭壊死、シャルコー関節						
19		種田	上肢の博	曼性疾患	肩、肘、手関節、	Fの慢性疾患					
20		種田	下肢の博	曼性疾患	股関節、膝関節、足	2関節、足の慢性疾;	患				
21		種田	脊椎	疾患	椎間板ヘルニア、後	後縦靱帯骨化症、側	弯症、脊柱管狭窄症				
22	種田 脊髄損傷			損傷	プライマリーケアー	-、損傷形態、Frank	kelの分類、ASIA分類	領、高位診断、自律	神経過反射		
23		種田末梢神経疾患			Seddonの分類、腕や	申経叢麻痺、絞扼神緯	経障害、胸郭出口症	候群			
24	種田 神経疾患・筋疾患			筋ジストロフィー、	筋萎縮性側索硬化	症、パーキンソン病	、多発性硬化症、*	脊髄小脳変性症			
25	種田 切断、義肢、装具			切断法、義足、義手	F、装具治療						
26	1 ロコモティブシンドロームと関連病 1 能			ロコモティブシン トレなど	ドローム、サルコペ	ニア、フレイル、廃	用症候群、ロコモ厚	ぎ チェック、ロコ			
27		種田	スポーツ外修	哥1 (上肢)	野球肘、腱板損傷、	野球肘、腱板損傷、SLAP損傷、TFCC損傷など					
28		種田	スポーツ外傷2(関質		股関節脱臼、肉離れ、膝靱帯損傷、鵞足炎、疲労骨折など						
29		種田	スポーツ外傷	哥3(下腿)	疲労骨折、シンスプリント、テニスレッグ、足関節捻挫など						
30		種田	スポーツ外傷4	(頭頚部、体幹)	頭部外傷、頚部外傷、腹筋損傷、腰椎分離症など						
観点	T PI	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標		
成績許 到達日	平価と 目標の	筆記	試験	٠	•	•		90	123		
関:)里 	受講	態度				•	10	4		
	事項 準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間	験は60%に達しなかく			くること。約1時間			
	運駬 /⇒	は輪・レポート笙)	に対するフィードパ	ミックの专注							
			に対するフィート/ 問題の解説と重要事		設ける予定である。						
	教科書										
『病気がみえる VOL.11』 運動器・整形外科. 医療情報科学研究署編、メッディクメディア 2017											
参考図書											
	『標準藝	隆形外科学 第14版	』 井樋栄二、医学	書院 2020							
1	備考:尾	愛修者への要望									
1	講義中の私語は禁止。年々難しくなる国家試験を突破するためには日々の学習が大切である。学習の効果を上げるためには見る、聞く、書くの3つの方法の併用 が有用とされる。講義中には講義内容の理解に努め、前日に送られてくる講義ノートに講義で重要と思われた部分に各自マーカーペンで着色することが勧められ る。また講義中に使用したスライドを講義後に送るにで、復習では教科書と講義ノートとスライドを見て学習すると効率が上がる。記憶するためには同じことを 数回やる必要がある.										

	授業科目名		専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
;	神経症候学	理当	テーション学科 療法学専攻 療法学専攻	2学年	必修	2単位	60時間		
	担当教員名								
J	勝野 雅央、橋詰 淳、横井	‡ 聡、深見 祐樹、山田 晋一郎、侍	म藤 大輔、服部 誠、植	〔松 高史、古川 宗郞	5				
	実務経験のある教員におい	ける科目							
		‡ 聡、深見 祐樹、山田 晋一郎、侍 属し医師としての実務経験を有する							
	授業概要								
	経、反射を扱う。検査技術 疾患、先天異常、脳性麻痺	して総論の部が設けられている。解 所では画像、電気生理など。そして 車、認知症と続く。具体的な病名と いシチントン病、脳性麻痺、アルツ 羊等を学ぶ。	本論としての神経疾患: しては脳出血、脳梗塞:	各論では脳血管、変 、脳腫瘍、頭部外傷	性疾患、脱髄、末梢 、髄膜(脳)炎、コ	神経、筋疾患、脳 -イズ脳症、クロイン	腫瘍、脊髄、感染 ツフェルト・ヤコ		
学習到達目標									
知識・		る細胞と神経系の区分を説明できる 病名を対応させて分類できる。(DI							
思考・ ・表		ら出血の部位別症候を予測できる。	(DP1)						
技能									
関心・	·意欲								
・態	熊度								
-	授業形態								
講	義 クラス形式の講義、	もしくはウェビナー形式の講義							
回数	担当教員	授業テーマ	授業計	画	授業内容				
1	横井	総論:神経解剖学の基礎	中枢神経が大脳、 係を覚える。末梢 感覚系の基本回路	脳幹、小脳、脊髄に 神経の要素(ニュー を学ぶ。	分かれることを理角	释する。また、12対0 射状突起、軸索突起の	の脳神経の位置関 のこと、運動系と		
2	横井	総論:神経生理学の基礎		神経線維の有髄/無髄、直径、伝導速度、二つの分類法(A,B,C vs Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅲ,Ⅳ)。ニューロ ンに起こる電位には伝導法則に従う活動電位と局所電流に終わるシナブス電位のあること。					
				動電圧で両所電机に	- 於47 & シナナス电1				
3	横井	総論:神経薬理学の基礎	神経疾患に用いら	れる薬剤について概					
3	横井	総論:神経薬理学の基礎 総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎	1 遺伝子を構成単位		説し、その作用のま の塩基、糖、リン香	基本を理解する。	立のあること。 翌する。そのまた		
		総論:分子遺伝学と神経免疫学の	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。	れる薬剤について概 であるヌクレオチド	説し、その作用の身 の塩基、糖、リン香 する。また、神経身	基本を理解する。	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその		
4	横井	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統	説し、その作用のま の塩基、糖、リン香 する。また、神経9 ついて復習し、併せ	ち本を理解する。	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。		
4	横井 勝野	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統	 説し、その作用のまの塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 ついて復習し、併せ のいて復習し、併せ 的な診察。意識障害 	基本を理解する。 歳の三つの要素を確 急疫関連の疾患を例 とて加齢による機能 層のグレード。除皮	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬		
4 5 6	横井勝野勝野	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて、 言語中枢と優位脳 I。	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統 理解する。	 説し、その作用のまの塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 ついて復習し、併せ のな診察。意識障害 差など、具体的例る 	 基本を理解する。 歳の三つの要素を確 た皮関連の疾患を例 せて加齢による機能 雪のグレード。除皮 た用いて高次脳機能(位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する		
4 5 6 7	横井 勝野 勝野 服部	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害 神経診断学:高次脳機能 I	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて、 言語中枢と優位脳 I。 言語中枢と優位脳 I。	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右	 説し、その作用のまの塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 する。また、神経免 ついて復習し、併せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例る 差など、具体的例る 	 基本を理解する。 歳の三つの要素を確 歳皮関連の疾患を例 せて加齢による機能 雪のグレード。除皮 た用いて高次脳機能(と用いて高次脳機能(位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 変化を学ぶ。 の また の また の また の また の の また の の また の の また の また の また の の の で 学びその の の の の し の う の の し の し の し の し の し の し の し の の の し の し の の の の の の の の の の の の の		
4 5 6 7 8	横井 勝野 勝野 服部 服部	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:高次脳機能 I	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて、 言語中枢と優位脳 I.。 言語中枢と優位脳 I.。 I:嗅神経~XII 上位運動ニューロ	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右 。失行の種類と左右	 説し、その作用のまの塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 うる。また、神経分の ついて復習し、併せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例る 差など、具体的例る 体例を用いながら、 ロンから構成される 	 基本を理解する。 歳の三つの要素を確 歳皮関連の疾患を例 とな関連の疾患を例 たて加齢による機能 層のグレード。除皮 定用いて高次脳機能の それぞれの機能を それぞれの機能を 5.難体路(皮質脊髄i 	位のあること。 望する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する 理解する。 路) や、運動をコ		
4 5 6 7 8 8 9	 横井 勝野 勝野 服部 取部 古川 	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:脳神経	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて 言語中枢と優位脳 I。 計事中枢と優位脳 I。 1:嗅神経~XII 上位運動ニューロレントロールする錐 変形性脊椎症、椎	れる薬剤について概 であるヌクレオチド つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右 、失行の種類と左右 :舌下神経まで、具 ンと下位運動ニュー	説し、その作用の事 の塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 ついて復習し、伴せ ついて復習し、保せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例を 差など、具体的例を 座のや用いながら、 ロンから構成される について、具体例を 管狭窄症について、	基本を理解する。 後の三つの要素を確認 後の一次の要素を確認 たて加齢による機能 とて加齢による機能 そのグレード。除皮性 と用いて高次脳機能を引 それぞれの機能を引 5.4年体路(皮質脊髄能) と用いながら理解す: まずは脊髄解剖を1	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する 理解する。 路)や、運動をコ る。		
4 5 6 7 8 8 9 10	 横井 勝野 勝野 服部 古川 古川 	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:脳神経 神経診断学:遅動系	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて。 言語中枢と優位脳 I。 言語中枢と優位脳 II。 「言語中枢と優位脳 II。 「言語中枢と優位脳 II。 「言語中枢と優位脳 II。 「言語中枢と優位脳 II。 「記中枢と優位脳 II。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記事中枢と優位脳 II」。 「記事中枢と優位脳 II」。 「記事中枢と優位脳 II」。 「記事中枢と優位脳 II」。 「記事事本を理解」 「記事本本本本社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社	れる薬剤について概 であるヌクレオチドに つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に り方。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右 。失行の種類と左右 :舌下神経まで、具 ンと下位運動ニュロ路 「一般外路や小脳系回路 間板へルニア、脊柱	説し、その作用の書 の塩基、糖、リン香 の塩基、糖、リン香 ついて復習し、併せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例表 差など、具体的例表 差など、具体的例表 管数零症について、具体例表 管数零重定いついて、 「いながら、 ロンからら構成される ごついて、 「いながら、 ロンから構成される 「日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、日、	基本を理解する。 後の三つの要素を確認 後の一次の要素を確認 たて加齢による機能 とて加齢による機能 そのグレード。除皮性 と用いて高次脳機能を引 それぞれの機能を引 5.4年体路(皮質脊髄能) と用いながら理解す: まずは脊髄解剖を1	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する 理解する。 路) や、運動をコ る。		
4 5 6 7 8 8 9 10 11	横井 勝野 勝野 服部 正川 古川 伊藤	総論:分子遺伝学と神経免疫学の 礎 総論:神経系の発達と加齢 神経診断学:病歴 意識障害 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:高次脳機能 I 神経診断学:脳神経 神経診断学:運動系 脳腫瘍・脊髄疾患	基 遺伝子を構成単位 三つの集まりが一 基本を理解する。 人間発達学での乳 一般的な病歴の取 直、などについて、 言語中枢と優位脳 I。 言語中枢と優位脳 II。 「言語中枢と優位脳 II」。 算話中枢と優位脳 II」。 「言語中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」。 「記中枢と優位脳 II」 「記中枢と優位脳 II」 「記中和こよーロ 」 「記中和こよーロ 」 「記中和こよーロ 」 「記回動ニューロ 」 「記回動ニューロ 」 「記回し」 「記回し」 </td <td>れる薬剤について概 であるヌクレオチドだ つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に リカニ。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右 。失行の種類と左右 、失行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右</td> <td> 説し、その作用の書 の塩基、糖、リメ香 の塩基、糖、リメ香 ついて復習し、併せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例表 差など、具体的例表 差など、具体的例表 差など、具体的例表 産(のいて、具体例表 ないて、 ロンから構成される (ついて、具体例表 管狭窄症について、 よれる (ついて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいいて、 (いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい</td> <td>基本を理解する。 後の三つの要素を確 後皮関連の疾患を例 とな関連の疾患を例 とて加齢による機能 そのグレード。除皮 そのグレード。除皮 それで高次脳機能 それで、の機能を引 それぞれの機能を引 5年体略(皮質脊髄 と用いて高次脳機能 それぞれの機能を引 それぞれの機能を引 を用いながら理解す まずは脊髄解剤を行 そる。</td> <td>位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する の基本を理解する 理解する。 路)や、運動をコ 復習しながら疾患 神経障害である</td>	れる薬剤について概 であるヌクレオチドだ つのアミノ酸を決定 幼児の反射の発達に リカニ。神経系の系統 理解する。 。失行の種類と左右 。失行の種類と左右 、失行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、大行の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右 、人子の種類と左右	 説し、その作用の書 の塩基、糖、リメ香 の塩基、糖、リメ香 ついて復習し、併せ 的な診察。意識障害 差など、具体的例表 差など、具体的例表 差など、具体的例表 差など、具体的例表 産(のいて、具体例表 ないて、 ロンから構成される (ついて、具体例表 管狭窄症について、 よれる (ついて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいて、 (いいいて、 (いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	基本を理解する。 後の三つの要素を確 後皮関連の疾患を例 とな関連の疾患を例 とて加齢による機能 そのグレード。除皮 そのグレード。除皮 それで高次脳機能 それで、の機能を引 それぞれの機能を引 5年体略(皮質脊髄 と用いて高次脳機能 それぞれの機能を引 それぞれの機能を引 を用いながら理解す まずは脊髄解剤を行 そる。	位のあること。 認する。そのまた を用いて学びその 変化を学ぶ。 質硬直、除脳硬 の基本を理解する の基本を理解する 理解する。 路)や、運動をコ 復習しながら疾患 神経障害である		

- I										
15	橋詰	脳血管障害:脳出	血、くも膜下出血			脳出血、くも膜下出 テ力学性に分類できる		違いを理解する。		
16	橋詰	脳血管障害:脳出 1				脳出血、くも膜下出 テカ学性に分類できる		違いを理解する。		
17	橋詰	脳血管障害	:脳梗塞 I	脳梗塞の発生機序に 理解する。	脳梗塞の発生機序による分類。脳梗塞の臨床病型による分類。脳梗塞の血管別の症候の基本を 理解する。					
18	橋詰	脳血管障害	: 脳梗塞Ⅱ	脳梗塞の画像所見、現在用いられている治療について、脳梗塞の臨床病型別の再発予防薬につ いて理解する。						
19	伊藤	神経診断	≠:感覚系	体性感覚系の信号に	こついて、感覚の	重類とその上行経路に	ついて、具体例を	交えて理解する。		
20	伊藤	神経診断学:画像		X線CT・MRIなどの画	「像診断、表面筋」	電図・針筋電図等の電	気生理学的検査に	ついて学ぶ。		
21	植松	変性疾患:大朋	ڵ基底核障害Ⅱ		いて理解する。	を示す疾患について学 その他にアテトーゼ、				
22	植松	変性疾患:脊	髄小脳変性症	脊髄小脳変性症の疾 ることを理解し、具		奏を理解する。非遺伝 ぶ。	性のものと遺伝性	のものに分類でき		
23	深見	変性疾患:運動	ニューロン疾患	運動ニューロン疾患 最新の治療法につい		こついて学ぶ。代表例	として筋萎縮性側	索硬化症を知り、		
24	深見	脱髄	脱髄とは何か?中枢 くは自己免疫疾患で		代表である多発性硬化 て理解する。	:症を例に用いて学.	ぶ。類縁疾患の多			
25	田山	山田 変性疾患:大脳基底核障害 I a			する疾患の代表 て理解する。	として、パーキンソン	病を学ぶ。パーキ	ンソン病の主要徴		
26	山田 変性疾患:大脳基底核障害 I b		大脳基底核障害を呈 候と治療方法につい		として、パーキンソン	病を学ぶ。パーキ	ンソン病の主要徴			
27	田山	山田 先天異常·脳性麻痺・代謝疾患		先天異常は単遺伝子疾患、染色体異常、多因子遺伝疾患、環境/外因によるものに分ける。脳性 麻痺には痘直型、アテトーゼ型の2大分類に加え、固縮型、失調型、振戦型、無緊張型があ る。代謝疾患で神経学的に重要なのは糖尿病、甲状腺疾患、膠原病,神経ベーチェット病。						
28	田山	外傷・自律神経務	・機能性疾患	頭部外傷は頭蓋損傷、局所脳損傷、びまん性脳損傷に分類される。びまん性脳損傷は新しい概 念で重要。自律神経疾患として独立する疾患は純粋自律神経不全症くらいか。症状名としては 古くから知られた、緊張性瞳孔、ホルネル症候群、起立性低血圧、アディー症候群など。						
29	服部	認知症疾	患:総論	アルツハイマー型認知症の脳の構造変化と生化学機序を学ぶ、認知症の症状を中核症状と周辺 症状に分けて学ぶ、診断基準について学ぶ。						
30	服部	認知症疾	患:各論		れる疾患に進行	高いレビー小体型認知 生核上性麻痺、皮質基 りる。				
	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標		
観点 成績評 到達目	『価と 』標の 筆記	試験	•	•			90	123		
関連		-	•	•			10	123		
評価 特記		を合計し、6割に満た の具体的な内容及								
	シラバスは2回/週ごとに、	教科書の約20ペー	ジの範囲に相当。 毎	兵週、最低1時間は教	科書を読んで来る	5.				
	課題(試験・レポート等)	に対するフィード	バックの方法							
	試験の正解は配布する予定									
1	教科書	/ 0								
	1/17日			T告)						
	「抽怒内科学テキット」	編作 · ∵莁→+		レ 手 /						
	「神経内科学テキスト」	編集 : 江藤文夫	/飯島節 (南江							
	参考図書			寸 公也 (医歯塞用版	;)					
	参考図書 「リハビリテーションの† 「標準神経病学」水野 3	とめの神経内科学」	安藤 一也・杉林	才 公也(医歯薬出版)	()					
	参考図書 「リハビリテーションの†	とめの神経内科学」	安藤 一也・杉林	寸 公也(医歯薬出版	()					

ŧ	受業科目名		夷	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
*	青神医学		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	2学年	必修	1単位	30時間			
扌	旦当教員名										
Ļ	古井 景										
Ĵ	実務経験のある教員										
	5井 景:精神保健指定医、 こついて講義します。	、精神科専門医であ	り、精神分析的精神	療法医、公認心理師	「、臨床心理士の資格	も有し、臨床精神団	医学の実務経験がある	る教員が、精神に学			
技	受業概要										
7	器質的・大脳生理学的視点に スキルの習得・向上を図っ		を加え、幅広い視点	から精神障害(性格	の偏りも含め)を理	1解し、作業療法士・	・理学療法士として	臨床に従事する際の			
	学習到達目標 知識・理解 ① 精神障害(性格の偏りも含め)に含まれる様々な分類、症状を理解し、各精神障害について区別して、述べることができる。(DP1) ② 関連法規を理解し、精神障害者(性格の偏りも含め)の社会的自立について述べる事が出来る。(DP1)										
	・判断 ③精神障害(性格の偏りも含め)を学び、患者の心理・社会的要因も踏まえた理学療法・作業療法の臨床実践の在り方を説明することができる。(DP4) 表現 ④精神障害(性格の偏りも含め)をすする人の社会的自立支援の在り方について説明することができる。(DP5, DP6)										
技	能 能										
	関心・意欲 ・態度 5予習・復習を行い、疑問点や自身の考えなどを積極的に述べ、意欲的に学習に取り組むことができる。(DP2)										
ħ	受業形態										
挖		用いて講義を行う。ホ	様々な実例を交えて		できるよう、分かり	易く説明していきま	:す。				
講	義 パワーポイントを月	目いて講義を行う。# 授業:		、実際の状況が想像 授 業 計	できるよう、分かり 画		:す。				
		授業ラ		授 業 計 精神医学を学ぶ上で	画	授業内容		令遵守の立場か			
講	義 パワーポイントを月 担当教員	授業5 総論:精神医学		授業計 精神医学を学ぶ上で ら、関連法規につい	画 での概論を学ぶ。併せ て触れます。 (教	授業内容	作業療法士として法				
講 回数 1	 ペワーポイントを用 担当教員 古井 	授業5 総論:精神医学 総論:g	テーマ 概論・関連法規	授業計 精神医学を学ぶ上ても、関連法規についても、関連法規についても、関連法規についても、関連法規についても、	画 ごの概論を学ぶ。併わ いて触れます。 (教材 員および現行の精神障	授業内容 せて、理学療法士・ (著1章)	作業療法士として法 て紹介します。(教	科書 第2章・第5			
講 回数 1 2	 歳 パワーポイントを序 担当教員 古井 古井 	授業5 総論:精神医学 総論:兆 総論:兆	テーマ 概論・関連法規 疾病分類	授業計 精神医学を学ぶ上でも、関連法規につい 古典的精神病の分素 章・第6章〕 精神疾患、精神症は	画 この概論を学ぶ。併 いて触れます。(教 員および現行の精神師 大を理解するための3	授業内容 せて、理学療法士・ ⁴ 書 第1章) ^章 書の分類についい、 基礎知識として脳生3	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹	科書 第2章・第5			
講 回数 1 2 3	 歳 パワーポイントを見 担当教員 古井 古井 古井 	授業5 総論:精神医学 総論:兆 総論:神 総論:神	テーマ - 概論・関連法規 - 矢病分類 - 経生理学	授業計 精神医学を学ぶ上で ら、関連法規につい 古典的精神病の分類 章・第6章) 精神疾患、精神症患 精神疾患、精神症患	画 この概論を学ぶ。併 いて触れます。(教 貢および現行の精神関 大を理解するための 5	授業内容 せて、理学療法士・ 料書 第1章) 章書の分類についい、 基礎知識として脳生ま よ。(教科書 第3章	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹 E・第4章)	科書 第2章・第5			
講 回数 1 2 3 4	 ・パワーポイントを所 ・ ・ ・	授業5 総論:精神医学 総論:兆 総論:神 総論:精神 総論:精神	テーマ - 概論・関連法規 - 疾病分類 - 経生理学 - 症状・所見	授業計 精神医学を学ぶ上でも、関連法規についる 古典的精神病の分素 章・第6章) 精神疾患、精神症状 精神症状・所見のま 精神障害への治療の	画 この概論を学ぶ。併 いて触れます。(教 貢および現行の精神関 大を理解するための 5	授業内容 せて、理学療法士・ 料書 第1章) 章書の分類についい、 喜確知識として脳生ま た。(教科書 第3章 た。(教科書 第163	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹 E・第4章)	科書 第2章・第5			
講 回数 1 2 3 4 5	義 パワーポイントを見 担当教員 古井 古井 古井 古井 古井 古井	授業5 総論:精神医学 総論:考 総論:神 総論:精神 総論:精神	テーマ 	授業計 精神医学を学ぶ上でも、関連法規についる 古典的精神病の分素 章・第6章) 精神疾患、精神症状 精神症状・所見のま 精神障害への治療の	画 この概論を学ぶ。(計 いて触れます。(教	授業内容 せて、理学療法士・ ⁴ 書 第1章) ^章 害の分類についい ⁶ ⁶ ⁶ ⁶ ⁶ ⁶ ⁶ ⁶	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹 達・第4章) 章・第19章)	科書 第2章・第5 介します。 (教科			
講 回数 1 2 3 4 5 6	義 パワーポイントを見 担当教員 古井	授業5 総論:精神医学 総論:考 総論:神 総論:精神 総論:精神 総論:素	テーマ - 概論・関連法規 - 疾病分類 - 経生理学 - 症状・所見 - 台療計画 	授業計 精神医学を学ぶ上でも、関連法規につい 古典的精神病の分素 章・第6章) 精神疾患、精神症患、 精神症状・所見の基 精神障害への治療の 精神科保健医療につい 心身医学、心理社会 児童期に好発する料	画 この概論を学ぶ。併 いて触れます。(教 重および現行の精神開 まを理解するための き礎知識を説明しま つ在り方を説明しま つなり方を説明しま つたり方を説明しま の に なの の で の で の の に の の に の の に の の に の の に の に の に の の に の に の の に の の に の に の の に の の に の の に の に の の に の の に の の に の の に の の に の の の い の に の の に の の に の の の しま の の の に の の の の こ の の の の の の の の の の の の の	授業内容 せて、理学療法士・(¹ 書 第1章) 章害の分類についい、 基礎知識として脳生ま た。(教科書 第3章 た。(教科書 第16 (教科書 第20章) 月します。(教科書 および、発達障害	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹 ほ・第4章) 章・第19章) 第6章・第12章・第	科書 第2章・第5 介します。 (教科			
講 回数 1 2 3 4 5 6 7	パワーポイントを見 担当教員 古井 古井	授業 総論:精神医学 総論:兆 総論:れ 総論:神 総論:枯 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 を 総論:木 総論:木 総論:木 総論:木 を 総論:木 ・ を を を を を を を や を や や や や や や や や や や や や や	テーマ	授業計 精神医学を学ぶ上でも、関連法規につい 古典的精神病の分素 章・第6章) 精神疾患、精神症患、 精神症状・所見の基 精神障害への治療の 精神科保健医療につい 心身医学、心理社会 児童期に好発する料	画 この概論を学ぶ。併 いて触れます。(教 項および現行の精神時 大を理解するための 5 磁知識を説明しま つ在り方を説明しま つたり方を説明しま つたり方を説明しま の に の 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	授業内容 せて、理学療法士・ (本書 第1章) 章書の分類についい、 基礎知識として脳生ま た。(教科書 第3章 た。(教科書 第163 (教科書 第20章) 月します。(教科書 および、発達障害(第18章)	作業療法士として法 て紹介します。(教 理学の基礎知識を紹 達・第4章) 章・第19章) 第6章・第12章・第 について説明します	科書 第2章・第5 介します。(教科			

11		古井	各論:老年5	期の精神障害	認知症、老年精神病	について説明しま	す。 (教科書 第5	章・第18章)		
12		古井	各論:嗜癖	・中毒性障害	中毒・依存について	説明します。(教	科書 第7章)			
13		古井	各論:	心理査定	心理査定について説	明、紹介します。	(教科書 第4章)			
14		古井	各論:精神利	斗臨床の実際	事例を提示して理解を深めます。					
15		古井	ŧ	とめ	質疑応答を通じて、	学習内容のまとめ	を行います。			
	気別	価と 標の 筆記試験 ●			思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標	
到達日	評価と 目標の 事連 筆記試験 ●				•			95	1234	
104	~~	参加貢	貢献度				•	5	5	
	事項 準備学習 (予習)	 (予習・復習等)の 教科書を読み、授業 	割に達しなかった場 の具体的な内容及び 戦テーマに関連する もとに知識を整理し	それに必要な時間 内容を事前に理解し	ておいてください。 間)	(1時間)				
ti n	課題(詞	、験・レポート等) /	こ対するフィードバ	ックの方法						
Ę	疑問点、	質問は随時受け付け	けております。							
教	教科書									
	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学」上野武治 編(医学書院)									
12	参考図書	₽ ₹								
①ICD-10精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン 融道男 他 監訳(医学書院) ②DSM-5精神疾患の分類と診断の手引き 橋本三郎・大野裕 監訳(医学書院) ③理学療法士 作業療法士 PT OT 基礎から学ぶ精神医学ノート 中島雅美・野口留美子著 (医歯薬出版株式会社)										
ĺ	備考 :履	修者への要望								
치	将来、理学療法士、作業療法士として臨床に従事するに当たり、臨床の場で役立たせることをイメージしながら学習してください。									

ł	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
,	小児科学		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間				
ł	担当教員名											
ł	杉山 成司											
	実務経験のある教員											
1	杉山成司 : 複数の大学、市]	民病院で小児科学の	実務および教育、研	究の経験を有する								
ł	受業概要											
ĺ	先天異常や発達障害、運動 人ひとりに見合った適切か- 併せて疾病の背景や家族を 学習到達目標	つ細やかなケアが求る	められる。本講義で	理学療法や作業療法 は、出生前期から新	は不可欠な医療で <i>あ</i> 生児、乳幼児、学童	っり、大きな威力を残 近、思春期へとつなた	ě揮する。そのため) ぶる継続性のある小り	には、患児、患者- 見医学一般を習得、				
-	子百判運日保											
知識,	 ① 小児疾患の特徴を説明できる。(DP 1, 2, 3. 4. 5. 6) ② 出生前から思春期に至る成長、発達を理解する。(DP 1, 2, 3. 4. 5. 6) ③ 各発達段階での代表的疾患について説明できる。(DP 1, 2, 3. 4. 5. 6) ④ 小児予防医学、保健医学の重要性を説明できる。(DP 1, 2, 3. 4. 5. 6) ⑤ 家族を含めた疾病を有する子どもへの支援について議論できる。(DP 1, 2, 3. 4. 5. 6) 											
	思考・判断 ・表現											
技	能											
	・意欲 ⑥ 講義に加え関連 態度 (DP 2, 3)	するトピックスなど	を提供し、話題の意	重義、関心を議論でき	53.							
ŧ	受業形態											
講	義 プリント, スライ	ドによる講義が中心										
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	杉山	小児科	学序論	小児および小児疾患	息の特徴、小児の診務	寮法						
2	杉山	成長と発達	、小児保健	成長・発達とその障	章害、我が国の主な <i>י</i>	小児統計資料						
3	杉山	先天異常	、遺伝病	出生前医学、先天野	異常、遺伝カウンセ !	リング						
4	杉山	新生児・	未熟児学	新生児・未熟児の生	E理と特有の疾患、 周	凶性麻 痺						
5	5 杉山 小児栄養、水・電解質 小児の栄養とその障害、水・電解質異常											
6	杉山	症(1)	小児の細菌性感染症	111								
7	杉山 小児感染症(2)			小児のウイルス性感	<u>《</u> 染症、予防接種							
8	杉山	免疫・アレ	ルギー疾患	自己免疫疾患、喘息、アトピー性皮膚炎								
9	杉山	循環器	器疾患	先天性心疾患(チフ	アノーゼ型、非チア	ノーゼ型)						

10		杉山	呼吸暑	器疾患	上気道・下気道感染症、日和見感染症、院内感染					
11		杉山	内分泌・	代謝疾患	下垂体疾患、甲状腺疾患、副腎疾患、糖尿病					
12		杉山	消化器	系疾患	下痢・嘔吐を来たす疾患、肝・胆道系疾患					
13		杉山	血液	疾患	貧血、血小板減少症、白血病					
14	杉山 腎・泌尿器系疾患			腎炎、ネフローゼ、	尿路感染症					
15		杉山 神経・筋疾患 マーの細ち マーの細ち			中枢・末梢神経疾患	4、先天性ミオパチ-	ー、筋ジストロフィー	一症		
	 観点別 績評価と 評価方法 知識・理解 			思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標		
成績計 到達日 関	目標の	筆記	試験	٠				90	1~5	
		授業	参加度				•	10	6	
ì	事項 準備学習	習(予習・復習等)(+点が6割未満の場合 の具体的な内容及び ご期する報道は多く	それに必要な時間	う。 	根での診療 支援!?	- 犯ウた H ス			
Î	構義に関	目する予習、復習を得	毎回30分~1時間ほ リントを配布し、予	ど行う。		勿(い)[2]示、 又1反に	- x 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 -			
ti ti	課題(諱	は験・レポート等) (こ対するフィードバ	ックの方法						
an T	試験後、	個別に点数開示やす	質問等に対応する。							
1947	 教科書									
	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 小児科学 第6版 富田 豊 編 医学書院									
120	参考図書	2								
図書館内には多数の小児科疾患関連蔵書があるので活用すること。										
備考:履修者への要望										
	不明な点は労を惜しまず、教科書や他の医学書などを参考にして、自身での理解に務める。自己学習の能力を高める姿勢は、問題発見にもつながり将来大きな力とな る。									

ŧ	受業科目名		屯	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
2	医療安全学・救急医学		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年、2学年	必修	1単位	15時間				
ŧ	旦当教員名											
利	重田 陽一、宮津 真寿美、	廣渡 洋史										
÷,	実務経験のある教員											
利	重田 陽一:現役の医師が医	療安全学と救急医療	について講義する。									
Ť	受業概要											
l f	この授業では医療スタッフ 【医療安全学】すべての大 て、それを守るための対処 本的な対応策についても学 【救急医学】医療人として ク管理について学ぶ。特に	療施設に求められる 法について学ぶ。医 ぶ。 必要な応急処置法や	最も重要なテーマ(療の現場で最も起 の 心肺蘇生法につい	は『患者安全と医療 こりやすい医療事故 て学ぶ。特に、リハ	の質向上』である。 について学ぶ。さら ビリスタッフとして	には、患者安全を 必要となる緊急時の	守るために医療施設 D判断及びその救急	で取られている具 対応、およびリス				
È.	学習到達目標											
知識	 ・理解 ①医療の現場で起 ②患者の急変につい 	解 ①医療の現場で起こりうる医療事故の原因、予防、対策について説明できる。(DP1, 2, 3, 4) ②患者の急変について状況、対応について説明できる。(DP1, 2, 3, 4)										
	・判断 ^{長現} ③医療現場で起こ	③医療現場で起こりうる危険予知について考えることができる。 (DP1, 2, 3, 4)										
技	能 ⑤応急処置法を実施	を測定できる。(DP 施できる。(DP1,2,3 施できる。(DP1,2,3	3, 4)									
	・意欲 ⑦医療の現場で起 態度 ⑧リハビリスタッン	こりうる医療事故に フとして医療施設で;				(DP1, 2, 3, 4)						
	 受業形態 義 スライド (講義に) 	使用し講義後に送付	する)とプリント	(講義前に送付する)	を用いた講義、講	歳の最後に国試問題	を供覧する。					
11 *4	担当教員	授業ラ	ē	授業計	画	授業内容						
回数 1	種田		, 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	校果内谷 医療安全が叫ばれることになった事例を参考として、ヒューマンエラー、インシデントとアク シデント、医療事故、医療過誤などについて学習する。医療施設で最も起こりやすい医療事故 (患者誤認、転倒転落、コミュニケーションエラーなどについて学習する。								
2	種田	医療安	全対策	医療事故を防ぐための対策について学ぶ。ヒューマンエラーを減少させる方法、医療環境の整 備、多重の事故防止策、感染予防、手術室の安全対策、個人情報保護などについて学ぶ。								
3	種田	バイタバ	レサイン	リハビリ従事者に」 とその意義につい	と要なバイタルサイ∶ て学ぶ。	ン(脈拍、呼吸、血	1圧、体温、意識レイ	ベル)の測定方法				
4	種田	応急処置法	、新蘇生法	医療人として必要な応急処置法・一次救命処置(BLS)について学ぶ。またAEDの使用法について学ぶ。								
5	種田 リハビリのリスク管理				ンにおけるリスク管 有害事象を予防する;		またリハビリ中に多	発生しやすい症状				
6	種田	KYT(危険予知	トレーニング)	ヒューマンエラー 実施方法を学ぶ。	を減らす先取り方法。	としてのKYT(危険 [:]	予知トレーニング)	とは何か、KYTの				
7	種田	グループワー	ク(KYT実践)	KYTの実例を挙げて、小グループに分けてディスカッションを行い、その結果をグループごとに 発表する。								
8	宮津、廣渡	2年次:心	>肺蘇生法	心肺蘇生法BLS	(Basic Life Supp	oort)について実際	冬に実技で学ぶ。					

観点別	評価方法	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標				
成績評価と 到達目標の 関連	筆記試験	٠	•	٠	•	90	123456				
NAE .	授業態度				•	10	78				
評価の 特記事項											
準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間											
講義の前日に講義ノートを送るので30分程度の予習を行うこと。講義中はプリントアウトした講義ノートに重要と思われる所にマーカーで印をつける。講義後に 講義で使用したスライドを送るので、講義ノートと併用して1時間程度復習すること。											
課題(詞	弌験・レポート等)に対するフィード バ	ックの方法									
フィート	バックとして試験問題について解説す	る時間を設ける予定	宦である。								
教科書											
特に使用	特に使用しない。										
参考図書											
リハビリテーションリスク管理ハンドブック 亀田メディカルセンター2020(MEDICAL VIEW)、医療安全に活かすKYT 兵頭好美、細川京子著 2012(メヂカルフ レンド社)											
備考:履	備考:履修者への要望										

医療人としての道を選んだ初心を忘れずに、医療人として必要な医療安全学・救急医学についての知識を習得してください。社会人、組織人、医療人として将 来、社会に貢献できる人材になれるように自覚をもって本授業を受講して下さい。

ŧ	受業科目名		専	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
Ī	国像診断学		リハビリテ- 理学療法 作業療法	长学専攻	2学年	必修	1単位	15時間				
+	旦当教員名		11 2180741									
	重田 陽一											
3	実務経験のある教員											
	重田陽一:現役の整形外科	医が整形外科疾患、	脳・脊髄疾患、内臓	験疾患の各種画像診	断法を講義する							
*	受業概要											
2	チーム医療に参加した時に困らないために、各種疾患の理解のための画像診断について理解する.単純X線像、CT、MRIを中心に、脳疾患、脊髄 疾患、関節疾患、 外傷、胸部疾患、内蔵疾患などの画像を理解し、積極的にチーム医療に参加てきることを目的とする。											
4	学習到達目標											
知識	知識・理解 ①主な整形外科疾患、外傷、脳・脊髄疾患の画像所見をを述べることができる。 (DP1, DP2)											
	思考・判断 ②病名と現病歴、重症度などから、適切な画像診断方法の選択を説明することができる。(DP1, DP2, DP4) ・表現 ③実際の単純X線像、CT画像、MRI画像を見て異常部位を指摘することできる。(DP1, DP2)											
技	技能											
	 意欲	テーションスタッフ	との討議に参加し意	見を述べることが	できる。(DP2,DP6)							
ł	受業形態											
講	義 講義:教科書に沿・	って教科書の画像を	用いて講義する. 講	義の最後に国試問題	題を供覧する.							
回数	担当教員	将業で	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	種田		象診断法	単純X線、CT、MRI、	超音波、核医学検		I理					
2	種田	画像角	解剖 学	骨・関節、脳、脊	随、胸部、腹部の正	常単純X線像、CT像	、MRI像の読影					
3	種田	用道兆	矣患.	頭蓋内出血、各種原	脳疾患のCT、MRI診断	ŕ						
4	4 種田 脊椎・脊髄疾患 各種脊椎・脊髄疾患の単純X線像、CT、MRI診断											
5	種田	四肢、体	幹の骨折	上肢の骨折、下肢の	の骨折、脊椎の骨折	、体幹の骨折の画像	診断					
6	種田	骨・関	節疾患	変形性関節症、関節	節リウマチ、骨壊死	、骨端症、腱板断裂	などの画像診断					
7	種田	内臓	疾患	胸部疾患、消化器疾患、泌尿生殖器疾患、動脈疾患の画像診断								
8	種田	t d	とめ	1~7回の講義のま	とめ							

観点別	評価の観点 評価方法	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心•意欲• 態度	割合 (%)	到達目標			
成績評価と 到達目標の 関連	筆記試験	•	•	•		90	123			
NAL .	受講態度				•	10	<u>(4)</u>			
評価の 特記事項										
準備学習	習(予習・復習等)の具体的な内容及び	バそれに必要な時間								
病的状態	長の画像を理解するためには正常な解音	別(特に局所解剖)の	り知識が不可欠であ	る。予め講義予定部	『位の解剖を予習して	こくること。約1時間	盯			
課題(診	忒験・レポート等)に対するフィード/	ベックの方法								
フィート	バックとして試験問題の解説の時間々	と設ける予定である.								
教科書										
¶PT, OT	『PT,0Tのための画像診断マニュアル』 百島祐貴 医学教育出版 社 2015									
参考図書	参考図書									
『標準整形外科学 第14版』井樋栄二、医学書院 2020 『標準神経病学 第2版』水野美邦、医学書院 2012										
備考:履修者への要望										
講義中の私語は禁止。年々難しくなる国家試験を突破するためには日々の学習が大切である。学習の効果を上げるためには見る、聞く、書くの3つの方法の併用 が有用とされる。講義中には講義内容の理解に努め、板書の要点をノートすると良いが、教科書に直接マーカーペンで色をつける方法もある。教科書に沿って講 義をするので教科書を必ず持ってくる様に.										

授	受業科目名		専	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
候	建康科学		理学療法	ーション学科 去学専攻 去学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
担	旦当教員名										
鳫	鳥居 昭久、髙橋 圭										
美	ミ務経験のある教員										
候	鳥居昭久: 建康増進指導やトレーニン 5橋 圭:医療機関で管理 き的な知識を授業で教授す	栄養士として勤務経						、栄養に関する基			
授	受業概要										
る本に努す	理学療法士・作業療法士の主たる業務対象となるのが疾病治療や障害克服ではあるが、近年その役割は予防医学の分野にも求められている。予防医学の原点にあ るのが"健康"の概念である。 本科目では、講義形式に加え、一部グループによる演習を取り入れながら、健康の定義、健康に関わる社会的、医学的問題と、健康の維持・増進、疾病・障害予防 についての基本的事項を学び、理学療法・作業療法と直接的にかかわる体力論、トレーニング論や、その手段の一つとして様々に応用されている運動について考 察する。また、いわゆる生活習慣病やスポーツ外傷・障害の予防のために必要な運動のみならず、食事(栄養)の基礎についても学び、健康について多角的に理解 する。この授業を通して、健康増進のための取り組みについての理解を深め、実践できる能力を身に付ける。										
勻	学習到達目標										
知識·		基本的概念について 増進についての基本			(DP1)						
思考・ ・表		問題について多角的	に考え、自分の意見	しを説明することが゛	できる。 (DP1)						
技	能 ④健康増進のための	の運動療法の基本的	な方法について指導	することができる。	(DP1)						
関心・ ・態		外で、健康に関する	様々な情報を収集し	、自主的に考察す	ることができる。(I	DP2、DP4)					
授	受業形態										
講	義 座学の講義に加える	て実技も行います。	また、グループによ	、るフィールドワーク	クを含めた課外活動	をする場合もありま	:す。				
		1		授業計	画						
回数	担当教員	授業	テーマ			授業内容					
1~3	鳥居		を知る キルを知る	 ・運動(スポーツ) ・健康にかかわる 	で何を学ぶか?) 舌習慣病、健康政策 とメンタルヘルス 社会的問題について ポーツについて学ぶ	の関連を学ぶ					
4~6	4 [~] 6 鳥居 身体を知る エクササイズを知る ・体格、体型について学ぶ ・身体と心身のメカニズム ・体力測定、身体計測、簡易姿勢分析 ・様々な運動と身体反応										
7~8	鳥居	動き・スポー	ツ行動を知る	 健康づくりのたる 	ニング論、運動生理 わのエクササイズを トレーニングの実際	学ぶ					
9~10	鳥居	健康にかか	わる諸問題	 ・スポーツ障害 ・疾病予防、障害⁻ 	予防と健康づくり						
11~12	髙橋	健康。	と栄養	・栄養素の役割、学	ながりについて学ぶ 栄養素の管理方法に および病気と栄養の	ついて学ぶ	» >				
13~15	鳥居		エクササイズ 技)	・ストレッチング(・パワーの評価の) ・様々なトレーニン	実際						

	評価の観点 評価方法	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標				
観点別成績評価と	課題レポート	•	•	•	•	30	12345				
到達目標の 関連	知識確認テスト(筆記試験) ※鳥居分	●	•	●		50	1234				
	知識確認テスト(筆記試験) ※高橋分	•	•	•		20	1234				
評価の 特記事項											
準備学習	日 習(予習・復習等)の具体的な内容及び	それに必要な時間									
毎回の請	関する事項について、各成書やインター 構義テーマに関係した事項についての関 この科目は、解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖	連学習をしてくだる	さい。(1時間程度)			☆復習しておいてく	ださい。(1時間程				
課題(評	試験・レポート 等)に対するフィードバ	ックの方法									
	トに関しては返却時に、レポートにコメ 恩テストについては、後日、全体へのフ										
教科書											
	「実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学」 (九州大学健康・スポーツ科学研究会:大修館書店) 「運動とスポーツの生理学」 (北川薫 編著:市村出版)										
参考図書	参考図書										
健康、伊	健康、保健にかかわる成書、雑誌等										
備考:尾	夏修者への要望										
	現代社会において、理学療法士や作業療法士は、地域社会において1次予防活動に対しても積極的に関わるニーズが高まっています。 健康に対する意識を持ち、関係する知識の修得とともに、対象者に直接指導ができるようにすることを目指しましょう。										

授業	科目名		Ę	 身攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
リハ	ビリテーション概論		リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻		1学年	必修	1単位	30時間		
担当	教員名									
加藤	真弓									
実務	経験のある教員									
加藤 する	真弓: 医療機関や介 。	護保険分野で理学療浴	法士としての勤務総	圣験のある教員が、!	リハビリテーションの)概念、理念、定義	などを講義を通して	必要な知識を教授		
授業	概要									
	·ビリテーションの概念 は、リハビリテーショ									
学習	到達目標									
 ①リハビリテーションについて、その理念、歴史、内容について理解し、説明することができる。(DP1) ②リハビリテーションの対象となる障害について、ICFの概念に基づいて理解し、説明することができる。(DP1) ③リハビリテーションの対象者や過程、必要なチームワーク(多職種連携)、関係する法律、環境などについて説明することができる。 										
思考・判断 ④これから学ぶ理学療法学および作業療法学がリハビリテーションの中でどの様な位置付けになっているかを理解し、それぞれの役割を説明することがで ・表現 きる。(DP1)										
技能										
12110										
	欲 ⑤リハビリテーシ	ョン、医療、介護、予	予防、理学療法、作	□業療法、高齢者、障	うがい者等に関するニ	- ユースや記事を読 <i>2</i>	な、自身の意見を述	べることができ		
	欲 (5)リハビリテーシ る。(DP2, 3)	ョン、医療、介護、う	予防、理学療法、作	■業療法、高齢者、障	診がい者等に関するニ	- ュースや記事を読み	タ、自身の意見を述	べることができ		
関心・意	る。(DP2,3)	ョン、医療、介護、う	予防、理学療法、作	≡業療法、高齢者、隨	きがい者等に関する=	・ュースや記事を読み	み、自身の意見を述	べることができ		
関心・意 ・態度	る。(DP2,3) 形態	ョン、医療、介護、う 中心とした講義形式で			章がい者等に関するニ	- ユースや記事を読み	9、自身の意見を述 	べることができ		
関心・意 ・態度 授業 講義	る。(DP2,3) 形態 基本的に教科書を	中心とした講義形式で	である。一部グルー		章がい者等に関する <i>=</i> 画		み、自身の意見を述 	べることができ		
関心・意 ・態度 授業 講義 回数	る。(DP2,3) 形態 基本的に教科書を 担当教員	中心とした講義形式で 授業ラ	である。一部グルー テーマ	-プを取り入れる。 授業計		授業内容		べることができ		
関心・意 ・態度 授業 講義	る。(DP2,3) 形態 基本的に教科書を	中心とした講義形式で 授業ラ	である。一部グルー	-プを取り入れる。 授業計	画	授業内容		べることができ		
関心・意 ・態度 授業 講義 回数	る。(DP2,3) 形態 基本的に教科書を 担当教員	中心とした講義形式で 授業ラ	である。一部グルー テーマ ョンと健康の概念	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン	画 ンの概念・理念・定 ッ。 ンの概念・理念・定	授業内容 養、健康と障害の概	 念を学ぶ。	べることができ		
関心・意度 ・態度 講義 回数 1	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ	である。一部グルー テーマ ョンと健康の概念	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン リハビリテーション	画 ンの概念・理念・定 ッ。 ンの概念・理念・定	授業内容 養、健康と障害の概	 念を学ぶ。	べることができ		
関心・意度 ・態度 講義 回数 1	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ	である。一部グルー テーマ ヨンと健康の概念 ヨンと健康の概念	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン 障がい者とスポーン	画 ンの概念・理念・定 ッ。 ンの概念・理念・定	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概	念を学ぶ。 念を学ぶ。	べることができ		
関心・意度 ・態度 援業 講義 1 2	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ	である。一部グルー テーマ ヨンと健康の概念 ヨンと健康の概念 り理解	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン 単のビリテーション 障がい者とスポーン ICFの概念に基-	画 ンの概念・理念・定 ッ。 ンの概念・理念・定 ッ。	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概 列から障害の概念を	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 ・態度 講義 回数 1 2 3	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の	である。一部グルー テーマ ヨンと健康の概念 ヨンと健康の概念 り理解	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン 単のビリテーション 障がい者とスポーン ICFの概念に基-	画 ンの概念・理念・定調 ンの概念・理念・定調 ツ。 づいて、具体的な事件	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概 列から障害の概念を	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 ・態度 講義 回数 1 2 3	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の	である。一部グルー テーマ a ンと健康の概念 a ンと健康の概念 の理解 り理解	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン 単のビリテーション 障がい者とスポーン ICFの概念に基-	画 ンの概念・理念・定調 ツ。 ついて、具体的な事 づいて、具体的な事 のいて、具体的な事	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概 列から障害の概念を	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 技業 講義 回数 1 2 3 4 5	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 1 担当教員 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤	 中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の 障害の心理的 	である。一部グルー テーマ a ンと健康の概念 a ンと健康の概念 の理解 の理解 い、社会的視点	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン リハビリテーション 障がい者とスポーン ICFの概念に基 ICFの概念に基 障害の心理的、社:	画 ンの概念・理念・定 ツ。 つの概念・理念・定 づいて、具体的な事 づいて、具体的な事 会的側面を学ぶ。	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概 列から障害の概念を	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 ・態度 講義 回数 1 2 3 4	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 1 担当教員 加藤 加藤 加藤 加藤	中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の	である。一部グルー テーマ a ンと健康の概念 a ンと健康の概念 の理解 の理解 い、社会的視点	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン 障がい者とスポーン ICFの概念に基 ICFの概念に基	画 ンの概念・理念・定 ツ。 つの概念・理念・定 づいて、具体的な事 づいて、具体的な事 会的側面を学ぶ。	授業内容 養、健康と障害の概 養、健康と障害の概 列から障害の概念を	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 技業 講義 回数 1 2 3 4 5	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 1 担当教員 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤	 中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の 障害の心理的 障害の心理的 	である。一部グルー テーマ a ンと健康の概念 a ンと健康の概念 の理解 の理解 い、社会的視点	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン リハビリテーション 応びい者とスポーン ICFの概念に基 「CFの概念に基 「 障害の心理的、社 に に に に に に に に に	画 ンの概念・理念・定 ツ。 つの概念・理念・定 づいて、具体的な事 づいて、具体的な事 会的側面を学ぶ。	授業内容 後、健康と障害の概。	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 接業 調義 回数 1 2 3 4 5 6	る。(DP2, 3) 形態 単本的に教科書を 加藤 加藤	 中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の 障害の心理的 障害の心理的 	である。一部グルー テーマ ョンと健康の概念 ョンと健康の概念 り理解 り理解 り、社会的視点	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーション 障がい者とスポーン リハビリテーション 応びい者とスポーン ICFの概念に基 「CFの概念に基 「 障害の心理的、社 に に に に に に に に に	画 ンの概念・理念・定言 ツ。 づいて、具体的な事件 づいて、具体的な事件 会的側面を学ぶ。 会的側面を学ぶ。	授業内容 後、健康と障害の概。	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 接業 調義 回数 1 2 3 4 5 6	る。(DP2, 3) 形態 基本的に教科書を 担当教員 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤	 中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の心理的 リハビリテーショ 	である。一部グルー テーマ ョンと健康の概念 ョンと健康の概念 り理解 り理解 り、社会的視点	-プを取り入れる。 授業計 リハビリテーショ: 障がい者とスポー: リハビリテーショ: 障がい者とスポー: ICFの概念に基- ICFの概念に基- 障害の心理的、社: リハビリテーショ:	画 ンの概念・理念・定言 ツ。 づいて、具体的な事件 づいて、具体的な事件 会的側面を学ぶ。 会的側面を学ぶ。	授業内容 後、健康と障害の概. 後、健康と障害の概. 例から障害の概念を 列から障害の概念を ジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジェンジ	念を学ぶ。 念を学ぶ。 考える。	べることができ		
関心・意度 授業 講義 回数 1 2 3 4 5 6 7	る。(DP2, 3) 形態 単本的に教科書を 加藤 加藤	 中心とした講義形式で 授業ラ リハビリテーショ リハビリテーショ 障害の 障害の心理的 「障害の心理的 リハビリテーショ 	である。一部グルー テーマ コンと健康の概念 コンと健康の概念 フ理解 り、社会的視点 リ、社会的視点	-プを取り入れる。	画 ンの概念・理念・定 ツ。 ンの概念・理念・定 ついて、具体的な事 づいて、具体的な事 づいて、具体的な事 会的側面を学ぶ。 会的側面を学ぶ。 ンの過程と諸段階を な	授業内容 後、健康と障害の概. 後、健康と障害の概. 列から障害の概念を 列から障害の概念を ジェン・ ジェン・	念を学ぶ。 含を学ぶ。 考える。 考える。	べることができ		

10		加藤	リハビリテー	ションチーム	リハビリテーション	専門職種と役割、	チームアプローチに・	ついて学ぶ。		
11		加藤	ADL, QO	L、義肢装具	ADL、QOL、義肢装具について学ぶ。					
12		加藤	ADL, QO	L、義肢装具	ADL、QOL、義肢装具について学ぶ。					
13		加藤	地域、高齢者とリ	ハビリテーション	地域リハビリテーションおよび高齢者・健康対策を学ぶ。					
14		加藤	地域、高齢者とリ	ハビリテーション	地域リハビリテーションおよび高齢者・健康対策を学ぶ。					
15		加藤	医療福祉制度	度、関係法規	医療福祉制度、関係	法規を学ぶ。				
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標	
成績語	点別 平価と 目標の	筆記	試験	•	•			60	1234	
	連	小デ	スト	•	•			20	1234	
		ポート	フォリオ	•	•		•	20	12345	
特記	西の は事項	小テストは2回実 点します。 すべての評価方法	施します。ポートフ 去の合計点数が6割に	ォリオは、本科目の 達しなかった場合、	果から10%減点します D学習成果物として指 再試験を実施します	定期日に提出する	こと。未提出の場合	は0点、遅延や内容	不十分の場合は減	
Ŷ			の具体的な内容及び							
	_ 次回の んでくた 間程度))学習範囲を読み、 ださい。ニュースや新	書かれている内容を 新聞記事などでリハ	整理することを予習 ビリテーション、医	課題として課します。 療、介護などに関す	。授業内で十分な話 る情報を収集し、・	理解に至らなかった場 それらの記事に対する	湯合は、次回授業ま 6 自身の意見等をま	でに復習に取り組 とめる。(1~1.5時	
		忧験・レポート等)↓	に対するフィードバ	ックの方法						
1.	小テスト	いは返却する。ポー	トフォリオは必要に	芯じコメントを付記	しし返却する。					
ŧ	教科書									
参考図書										
	「総合力がつくリハビリテーション医学・医療テキスト」田島文博他 総編集 日本リハビリテーション医学教育推進機構									
ſ	備考:履修者への要望									
ļ	リハビリテーション専門職を目指す者として、日常にあるリハビリテーション、医療・保健・介護・福祉等に関心を持ってください。また、大学生活での学びが リハビリテーション、理学療法等にどのように活かされるのかを考えながら受講ください。									
1										

ł	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
1	リハビリテーション社会諸	Â	理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年、2学年	必修	1単位	30時間		
ŧ	担当教員名									
_		山田志弥美、海田	业开 扒田 松美	度速 洗中 建土	. 4525					
	木村 菜穂子、松村 仁実、 実務経験のある教員	山田 南欧美、濵田	尤佑、松田 俗美、	廣渡 洋史、淯水 -	~师					
	廣渡 洋史:都道府県JRAT	構築し送号しして加()	災地支援の実務経験	このたて新日ボ IDAT	除昌 陆巛土トレズ	の坦占し奴除とり巛	実ま揺のまたかとす	「際までな車例な通		
	_{更低} 什文 · 印道州県JAAI して講義を行う。	桶架と隊員として (奴)	火地又扳り天伤柱硖	ののる教員か、JAAI	豚貝、防火エとして	の祝息と経験より夾	古又仮の基本がらチ	に広まてを事例を通		
ł	受業概要									
合フれ房間マ	本科目は、社会環境や社会 学修する。 木村担当分:様々な社会係 黄山担当分:障害者の就労 黄渡担当分:この授業でに 険)として災害エスノグ 次あられる災害医療、大規 災害医療(JRAT等)につい	R障制度の中でリハヒ 労支援の仕組みとリハ は、医療スタッフに求 ラフィーを学ぶ。2年 見模災害時に果たすべ	ジリテーション専門明 ジリテーション専門明 たり職の役割につい たりたる災害医療の 次には、日本赤十字 ジを役割等について	職が従事する場合の督 いて学ぶ。 こついての知識、実打 社による災害医療に 学ぶ。この事前学習	留意点や、地域包括2 友について学ぶ。1年 関わる基本的実技講 (講義) として、過言	rアシステム構築の「 次にはグループワー 習に参加することに 5の災害とその事例	中で求められること ・ク(読み物による逃 ∴よって、実技を通し を知り、その中での	を学ぶ。 過去の災害の追体 こて医療スタッフに リハビリ職が関わる		
<u>A</u>	学習到達目標									
知識・	②医療スタッフにする 3地域包括ケアシス ④障害者雇用の現料 ⑤障害者雇用の政策	起こる医療に関する問 求められる災害医療に ステムについて説明で 犬を説明できる。くDI 衰について説明できる 爰について説明できる	こついて説明できる。 ごきる。 <dp1、2> P1,2> 5。 <dp1,2></dp1,2></dp1、2>							
思考・表	判断 ⑦災害現場で起こり 認地域包括ケアシス	りうる医療問題を考え ステムの中での理学療			ができる。 <dp3,6></dp3,6>					
技	能 ⑩災害時の患者搬送	置を実施できる。 < Dl 送ができる。 < DP3,6 ージを実施できる< Dl	>							
・能			所たな領域としての	災害医療に関心を持っ	⊃。 <dp3,6></dp3,6>					
Ť	受業形態 廣渡担当分:座学)	は スライドとプリント	、を用いた講義、実	技は赤十字スタッフ』		実技指導				
講	義 木村担当分:講義	およびグループによる								
				授業計	画					
回数	担当教員	授業ラ	テーマ			授業内容				
1~4	~4 木村 1年次:地域包括ケアシステムについ て ・高齢者医療、福祉に関連する社会的背景 ・地域包括ケアシステムの概要(システム構築のプロセス、構成要素、地域包括支援センター、 域ケア会議等) ・地域包括ケアシステムのの中での理学療法士・作業療法士の役割									
5	濵田・松田	1年次:災害医療実 ラフィ		グループワーク(訳	そみ物による過去のジ	(客の追体験)				
6~10	横山	1年次:障害者の兢 リハビリ	送労支援の仕組みと 職の役割	障害者の雇用の政策	章害者の雇用の現状について(講義とグループワーク) 章害者の雇用の政策について(講義とグループワーク) リハビリテーション専門職に求められている役割					
11	廣渡		「か、過去の災害事 学ぶ	本邦における過去の	おける過去の災害について事例を通してその概要を知る					
12 廣渡 2年次:災害とリハビリテーション 主要な災害チームを知る。 と活動の概要を知る						:災害におけるJRATの	り活動のと都道府県	レベルのJRATの構築		

13		廣渡		ヽビリテーションの と準備	災害リハビリテーショ	コンの活動及び	実際を事例を通して学び	、平時の準備につ	いて理解する
14 • 15	廣渡	・松村・山田・清 水・松田	2年次:災害医	療の講義と実技	日本赤十字社のスタッ 方を学ぶ。	ッフの指導とと	もに、基本応急手当、三	角巾の活用方法、	担架による搬送の仕
•		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標
		レポート (腸	廣渡担当分)	•	•	•	•	20	1279000
観点 成績評	価と	筆記試験(2	木村担当分)	●	•			25	38
到達目 関i		筆記試験(横山担当分)		•				25	456
		参加貢献度(横山担当分)					•	10	13
		レポート(廣渡	ŧ担当分)2年生	•	•	٠	•	20	1279002
履フれ	廣渡担 大村担 黄山担	当分:講義内で配布	こついてはレポートを 「した資料等をまと& マーポイント資料を香	2作成する(1回につき つる。講義中に理解れ 2布しグループディン	5不十分な点を解決す	る。課題がある	前勉強及びレポート作成 場合は実施する (1回につ り学習する (1回につき)	>き1時間程度)。	習する。
履フ	簧渡担 木村担	当分 : 提出したレポ	ペートについては返去 「案は返却しないが、	する。	開示する (事前連絡必要	:) 。			
#84	飲科書	1							
7	*村担	!当分 : 特に使用しな !当分 : 特に使用しな !当分 : 特に使用しな	:V .						
1	参考図]書							
7	 木村担	!当分 : プリント等配 !当分 : 特になし。 !当分 : 特になし。	れします。						
ĺ		履修者への要望							
フ い 札	k村 : うな行 黄山 :	為(講義中の私語等)	が、その中で自分の は厳禁とします。)意見をまとめたりう	する部分もありますの		を望みます。また、懸命 説明できるようになって		也者の学習を妨げるよ

(項目:障害有雇用の)
主担当:廣渡洋史

Ŕ	受業科目名		屯	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
齐	土会福祉学		理学療	ーション学科 法学専攻 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
打	旦当教員名										
ſ	甲藤 正明										
Į	実務経験のある教員										
Z	甲藤正明:高齢者福祉施設、 る。	NPO法人でソーシャ	・ルワーカーとして	勤務経験(13年)のあ	る教員が、社会福祉	の価値・社会保障の	知識・対人援助技術	所について講義す			
花臣	授業概要 社会福祉の理念(目標)は、だれもが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができる社会を作ることである。それには、福祉の専門職だけでなく、保健・ 医療等の専門職、ボランティア等の地域の住民がともに問題解決にあたることが求められる。 本科目では、地域で暮らす人々の生活課題とその解決のためのネットワークの形成を取り上げ、社会福祉についての概念・歴史・制度・課題について学び理解す る。授業にはグループでの演習も取り入れる。										
利力	学習到達目標										
知識・	D社会福祉を取り巻く環境を生活者としての視点で説明できる。(DP1) ②社会保障の仕組みが説明できる。(DP1, 2)										
	ま考・判断 ・表現 ③演習課題について言語化して表現すること、他者の意見を聴きともに考えることの意味について説明できる。(DP3,5)										
技	技能 ④社会福祉の歴史をふまえた対象者理解について述べることができる。(DP4)										
	ま度 (1) 価祉マイントを思	意識して演習と課題に	こ取り組むことがで	きる。(DP4,6)							
	受業形態 義 講義形式を中心にし	しながら、必要に応	じDVDの視聴、グルー	-プワーク、演習形:	弌で講義を行う。						
回数	担当教員	授業交	デーマ	授業計	画	授業内容					
回 <u>级</u> 1	伊藤	社会福祉		オリエンテーション	/、社会福祉の考え]						
2	伊藤	社会福祉援助	力技術演習①	基本的コミュニケー	ーションとして「聴く	くこと」について演	習				
3	伊藤	社会福祉の	基本的動向	社会福祉を取り巻く	、環境を「生活者」。	としての視点から見	る、「貧困」とは				
4	伊藤	社会福祉	の担い手	社会福祉専門職と	インフォーマルな社会	会福祉の担い手、地	域福祉を支える機関	・団体			
5	伊藤	児童家	庭福祉	児童福祉の基本理	なとその変遷、児童	畐祉関連法の概要、	児童虐待に関する対	策			
6	伊藤	低所得	者福祉	所得保障と生活保調	με Σ						
7	伊藤	社会福祉	の仕組み	社会福祉を支える行	テ政、社会福祉サー1	ごスの利用の仕組み					
8	伊藤	高齢君	皆福祉	高齢者福祉の動向と介護保険制度について概観する							
9	伊藤	社会福祉援助	力技術演習②	多職種連携の実際、	社会福祉施設相談	員へのインタビュー					

10		伊藤	社会任	民障①	年金保険制度、労働	保険制度、社会保障	章制度の動向			
11		伊藤	社会(呆障②	医療保険の仕組み、医療ソーシャルワーカーとは					
12		伊藤	障害症	皆福祉	障害とは何か?障害者の歴史、障害者福祉の動向、障害者関連各法の概要について					
13		伊藤	利用者的	呆護制 度	利用者保護の背景、成年後見制度、日常生活自立支援事業など					
14		伊藤	地域	福祉	地域福祉の意義、地	域福祉活動の内容				
15		伊藤	社会福祥	止の歴史	社会福祉の歴史を概観する					
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標	
成績評	京別 評価と 目標の	筆詞	记試験	•	•	•	•	70	12345	
	連	レオ	ポート	•	•	•		10	134	
		ふりかえり	りと小テスト	•	•		•	20	235	
評値 特記	話の 事項				内容の理解度の確認 の内容およびレポー った場合に実施する。		『価する。			
ž	準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間						
同		、てどのような問題			、ト」を解答できるよ 認知症高齢者の生活					
	果題(討	弌験・レポート 等)	に対するフィードバ	ックの方法						
The P	式験の返 課題(討	図却方法は、講義の 弌験、小テスト、レ	中で指示します。 ポート課題)に対する	疑問点や質問は随時	時受付けます。					
考	牧科書									
ų	必要に応じて資料を配布する。									
参考図書										
授業中に随時紹介する。										
ſi	備考 :履	貨修者への要望								
î	復習を中心に、日常の中の出来事や気になるニュースがどのように社会福祉と関わっているのかを考えるよう努めてほしい。									

扬	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数						
۳C M	章がい者スポーツ概論		理学療法	ーション学科 法学専攻 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間						
担	旦当教員名													
<u>ار</u>	鳥居 昭久、加藤 真弓													
Ĵ	実務経験のある教員													
л Д	鳥居 昭久 : パラリンピック 叩藤 真弓 : 障がい者スポー						-	- Z.						
拷	授業概要													
Ŧ	章がい者スポーツの歴史、 と、作業療法士の知識の上に するとともに、障がい者ス;	こ、どの様な関わり;	ができるかを知るこ	とが目標となる。ま	た、障がい者スポー	・ツ現場に参加し、多	い者スポーツの理解な らくの障がい者スポー	を深め、理学療法 ーツの愛好者と交流						
行	学習到達目標													
知識・	・理解 ①障がい者スポーツ	ッについての基礎事項 1	頁を説明できる(DP:	1)										
思考・ ・表		バスポーツを行う時に	こ必要な工夫を考え	ることができる(DP	2, DP4, DP5)									
技	能 ③障害を有する人な	バスポーツを行う際0	の指導において、適	正にサポートできる	(DP4, DP5)									
関心・ ・ 能		ゞどのようなスポーツ	ツが可能かを積極的	に考え、適切な態度	で支援できる(DP3,	DP4, DP5)								
授	受業形態													
書	義 座学による講義と、	実技を踏まえたグル	レープワークを行う。	。また、公共の障が	技業形態 講義 座学による講義と、実技を踏まえたグループワークを行う。また、公共の障がい者スポーツイベントにボランティアとして参加する。									
回数														
1		障がい者スポーツ	(パラスポーツ)の	障がい者がスポージ		意義と理念について 「ることと共生社会の	 学ぶ。	హం						
1		障がい者スポーツ 意義と	(パラスポーツ)の	障がい者スポーツ 障がい者がスポーソ リハビリテーション スポーツにおける~ また、プレーヤー>	(パラスボーツ)の えを通して社会参加 の意義との関連性な 、 ンテグリティを理解 、ファーストの意味者	意義と理念について 「ることと共生社会の	学ぶ。 の在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢	質について学ぶ、						
	鳥居	障がい者スポーツ 意義と	(パラスポーツ)の と理念 	障がい者スポーツ 障がい者がスポーソ リハビリテーション スポーツにおける~ また、プレーヤーン ボランティアの意味 障がい者スポーツ打 ぶ。	(パラスポーツ)の潤 を通して社会参加 の意義との関連性 、 ンテグリティを理解 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	意義と理念について? トることと共生社会(と学ぶ。 なし、スポーツ指導? と理解し、スポーツ? と理解し、スポーツ?	^{学ぶ。} の在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢 スキルやソーシャル	質について学ぶ、 を理解する。 スキルの基礎を学						
2	鳥居	障がい者スポーツ 意義と スポーツ指導者	(パラスポーツ)の 2理念 うとしての素養1	障がい者スポーツ 障がい者がスポーツ リハビリテーション スポーツにおける- また、プレーヤーン ボランティアの意味 障がい者スポーツ打 障がい者の状態に尿 全国障がい者スポースポー	(パラスポーツ)の な通して社会参加す の意義との関連性な 、ンテグリティを理解 、ファーストの意味る たる にて理解し実践のたる にて理解しやすいこ ーツ大会の概要、意義	● 義と理念について ² けることと共生社会で と マンスポーツ指導 2 理解し、スポーツ指導 と 2 アゴの基礎知識を学ぶ。 コミュニケーション コミュニケーション コミュニケーション コ	^{学ぶ。} か在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢 スキルやソーシャル スキルについて学ぶ。 を学ぶ。	質について学ぶ、 を理解する。 スキルの基礎を学						
2	鳥居 鳥居 鳥居	障がい者スポーツ 意義と スポーツ指導者 スポーツ指導者 全国障がい者ス 障がい者スポーツ	(パラスポーツ)の と理念 「としての素養1 「としての素養2 ポーツ大会概要	障がい者スポーツ 障がい者がスポーツ リハビリテーション スポーツにおける~ また、プレーヤーラ ボランティアの意味 障がい者スポーツ な。 障がい者の状態に尿 全国障がい者スポー また、それに関連し 各都道府市町村など 者が地域でスポー	(パラスポーツ)の潤 (パラスポーツ)の潤 (を通して社会参加つ の意義との関連性者 (シテグリティを理解 (ファーストの意味者 デンテクリティを理解 (マアーストの意味者 (マアーストの意味者 (マアーストの意味者 (マアーストの意味者 (マアーストの意味者 (マアーストの意味者) (マアーストの意味者 (マアーストの意味者) (マアーストの意味者) (マアーストの意味者) (マアーストの意味者) (いたのり組む際の課題	意義と理念について ² たることと共生社会な と と マラズ。 マラズ、 マラズ、 マラズ、 マラズ、 マラズ、 マブロ マブ マ マブ マ	^{学ぶ。} の在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢 スキルやソーシャル スキルについて学ぶ。 こ貢献しているかを ーツ)の振興の現状	質について学ぶ、 を理解する。 スキルの基礎を学 。 学ぶ。						
2 3 4	鳥居 鳥居 鳥居	 障がい者スポーツ 意義と スポーツ指導者 スポーツ指導者 全国障がい者ス 障がい者スポーツ 普 地域における障がい 	(パラスポーツ)の と理念 「としての素養1 「としての素養2 ポーツ大会概要 (パラスポーツ)の 及	障がい者スポーツ 障がい者がスポーツ リハビリテーション スポーツにおける- また、アレーヤーン ボランティアの意味 障がい者スポーツ 算がい者の状態に広 全国障がい者スポーツ 全国障がい者スポーツ を都道府市町村など 者が地域でスポーツ にの地域で開催され る。	(パラスポーツ)のカ パを通して社会参加 の意義との関連性 の意義との関連性 ジンテグリティを理解 、マテインティを理解 、マテインティを理解 、マテインティを理解 、マテインの意味 、を理解したの意味 、こじて理解しやすい 、こじて理解しやすい 、こして理学療法士や作到 、これける障がい者 、パラスポーツ)関近 にないる障がい者スス 「習会などに参加し、	意義と理念について ² トることと共生社会な と学ぶ。	学ぶ。 の在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢 スキルやソーシャル スキルについて学ぶ、 とす意味しているかを ーツ)の振興の現状 学ぶ。 ン) イベントの目的 と交流しながら共に	 質について学ぶ、 を理解する。 スキルの基礎を学。 学ぶ。 を理解し、障がい や意義を学ぶ。ま 						
2 3 4 5	鳥居 鳥居 鳥居 鳥居	障がい者スポーツ 意義と スポーツ指導者 スポーツ指導者 全国障がい者ス 障がい者スポーツ 普 地域における障がい スポーツ	(パラスポーツ)の と理念 さとしての素養1 さとしての素養2 ポーツ大会概要 (パラスポーツ)の及 い者スポーツ (パラ)の実際	障がい者スポーツ 障がい者がスポーツ リハビリテーション スポーツにおける- また、プレーヤース ボランティアの意味 障がい者スポーツ 室がい者スポーツ 全国障がい者の状態に属 全国障がい者スポーツ 全国障がい者スポーツ この地域で開催され た、それに関わる網 る。 障害がある人がスス 障がい者福祉施策	(パラスポーツ)の (パラスポーツ)の なら通して社会参加で の意義との関連性を シテグリティを理解 マファーストの意味を まを理解し実践のたき 高導者として必要な こでて理解しやすい つて理学療法士や作う における障がい者スス 「における障がい者スス 「における障がい者スス 「でいる障がい者スス 「マンスポーツ」関い している障がい者スス 「アーンを実施すること	 ままと理念についてきたることと共生社会のとうない。 などのよび、 などのなど、 などのよび、 などのなど、 などのよび、 などのなど、 などのように などの、 などのなど、 など、 などのなど、 などののよりに などのなど、 など、 など、	^{学ぶ。} の在り方の意味を学 者としての必要な資 を通した学びの姿勢 スキルやソーシャル スキルについて学ぶ。 と貢献しているかを ーツ)の振興の現状 学ぶ。 ソ)イベントの目的 と交流しながら共に える。	 質について学ぶ、 を理解する。 スキルの基礎を学。 学ぶ。 を理解し、障がい や意義を学ぶ。ま スポーツを体験す 						

_										
9	鳥居	障がい者スポーツ 学	(パラスポーツ)科 2	障がい者スポーツ(パラスポーツ)に	おける、心理、体力な	よどの特徴について	学ぶ。		
10	鳥居	障がい者スポーツ 学		スポーツ)競技大会) のように関係するか	パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックスその他の障がい者スポーツ(ハ スポーツ)競技大会について学び、クラス分けや医学的支援など、理学療法士や作業療法士が のように関係するかを学ぶ。障がい者スポーツ(パラスポーツ)におけるトレーニング方法、 ンディショニングについて学び、適正な指導プログラムについて考える。					
11	鳥居	スポーツ外傷、障害	『の予防と安全管理	5.	障がい者スポーツにおけるスポーツ外傷や障害の発生メカニズムと指導上の注意点について学 ぶ。 スポーツを安全に行うための基本事項を学ぶ。					
12	鳥居・加藤	障がい者スポーツ 実際と障害に応じた	(パラスポーツ)の ニスポーツの工夫1	体験したスポーツを 障害に応じて考える。	これらの競技に 参考に、既存のス	体験し、その上で障か おける障害に応じたフ ポーツに障がい者が耳 者が取り組める新しい	スポーツ活動の工夫 取り組むために必要	点について学ぶ。 な工夫点を競技、		
13	鳥居・加藤	障がい者スポーツ 実際と障害に応じた		体験したスポーツを 障害に応じて考える。	これらの競技に 参考に、既存のス	体験し、その上で障か おける障害に応じたス ポーツに障がい者が耳 者が取り組める新しい	スポーツ活動の工夫 なり組むために必要	点について学ぶ。 な工夫点を競技、		
14	14 鳥居・加藤 障がい者スポーツ (パラスポーツ)の 実際と障害に応じたスポーツのエ夫3 障がい者スポーツ (パラスポーツ)を体験し、その上で障がい者スポーツのルールを理解、審判 法などの実務を学ぶ。これらの競技における障害に応じたスポーツ活動の工夫点について学ぶ。 体験したスポーツを参考に、既存のスポーツに障がい者が取り組むために必要な工夫点を競技、 障害に応じて考える。 また、既存のスポーツを参考に障がい者が取り組める新しいスポーツについて検討する。							点について学ぶ。 な工夫点を競技、		
15	鳥居	まと	: Ø	これまで学んできたことについての振り返りを行い、障がい者スポーツにおいて理学療法士や作 業療法士が果たせる役割についてディスカッションを行う。 それを通して、今後の学ぶべき専門性を明らかにする。						
御」	_{気別} 評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標		
成績 到達	平価と 目標の 知識確認テス	ト (筆記試験)	•	•	•		50	123		
美		イベント参加レポー ト	•	•	•	•	50	1234		
特記	曲の 尚、審判資格等障が 事項 演習、実技を中心	がい者スポーツ関連講 こ実施しますので、持 り合計点数が6割に達	輩習会の受講・資格現 そ業時間内の取り組 しなかった場合、利	加報告レポート(活動 反得した場合には、前: みによっては、減点す 퇴試験を実施する。	述の評価項目の30	%分を補てんすること	ができる。			
3	各講義内容について、テキ 学内講義だけではなく、障 ポーツイベントについては	ストを十分に予習・(がい者スポーツイベ)	复習しておいて下さ ノト(競技会・練習	会など) への参加を打						
	課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 基本的に、課題提出後の講義においてフィードバックをします。最終講義において、全体のフィードバックをします。									
TIN	教科書									
	日本障害者スポーツ協会編「改正版 障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)2020年改訂カリキュラム対応」ぎょうせい									
参考図書										
	スポーツ医学関連成書、ス	ポーツ生理学関連成著	書、スポーツ指導 関	副連成書など						
1	備考:履修者への要望									
i i	この科目の受講により、日本パラスポーツ協会公認障がい者スポーツ指導員資格(初級)の登録申請ができます。また、開講期間中の障がい者スポーツ競技に関する 審判員などの資格取得も可能です。 障がい者スポーツの現場で活動するための知識や技術を得るためには、積極的で、真摯な受講態度で臨み、是非とも障害を有する人たちの支援につながるような学び むしてくざい。									
1 1	をしてください。									

ž	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
ŕ	丰業療法概論			ーション学科 去学専攻	1学年	必修	1単位	30時間			
主	旦当教員名										
	黃渡 洋史										
19	実務経験のある教員										
	廣渡 洋史:医療施設、介護老人保健施設、在宅で作業療法士として勤務した経験を有する教員が、作業療法の定義と歴史、各疾患の作業療法の適応について講義を 行う。										
ŧ	授業概要										
	ド業療法とは何か、その起	原から現在までの歴	史と、作業療法の定	義を多眼的に学ぶ。							
1	学習到達目標										
知識・	理解 ①作業療法について ②作業療法の過程を	て、定義・原理・歴5 と述べることできる。	 ・領域・資格制度 (DP1・2) 	・管理運営等を述べ	ることができる。(DP1 • 2)					
思考・		よの概要を説明する こ	ことができる。(DP	5)							
技	能										
関心・	意欲 建度 ④ 作業療法に興味 関	喝心を抱き、作業療 活	去士に求められる資	質と適性・役割につ	いて討議することが	できる。(DP3・4・	5 · 6)				
ŧ	受業形態										
講	義 講義、グループワー	ーク									
				授業計	画						
回数	担当教員	授業ラ	テーマ		I	授業内容					
1	廣渡	作業療法	まとは①	作業療法の意味と筆	範囲、作業療法の発展	展について理解する。					
2	廣渡	作業療法	去とは②	人と作業の関わりに	こついて学ぶ。						
3	廣渡	作業療法	の歴史①	作業療法の誕生から	ら現在までの経緯の枝	既要を知る。					
4	廣渡	作業療法	の歴史②	国内における作業病	寮法の変遷を学ぶ。						
5	廣渡 作業療法の定義① 作業という名称と意味を理解する。										
6	廣渡	作業療法	の定義②	作業療法の定義を理	里解する。また、世界	界の作業療法の定義	を知る。				
7	廣渡	作業療法	の対象①	身体障害における作	乍業療法の概要を知る	3.					
8	廣渡	作業療法	の対象②	精神障害・発達障害における作業療法の概要を知る。							
9	廣渡	作業療法	の対象③	高齢期・高次脳機能	と障害・地域における	る作業療法の概要を知	知る。				

10		廣渡	作業療法との)関連事項①	作業療法と関連する	学問を知る。					
11		廣渡	作業療法との)関連事項②	作業療法を養成する	上で必要な科目・伯	也専門職との関わりさ	を理解する。			
12		廣渡	作業療法	の理論①	身体機能面からみた理論について理解する。						
13		廣渡	作業療法	の理論②	心理・精神機能面からみた理論、発達理論と作業療法を理解する。						
14		廣渡	作業療法	の理論③	作業行動面からみた理論、対象者中心主義からみた理論を理解する。						
15		廣渡	作業部門	目の管理	専門職としての職業倫理・記録と報告・診療報酬の概要を知る。						
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標		
観点	平価と	筆記	試験	•	•			60	123		
到達目		ポートフォリオ		٠	•			25	123		
		参加貢献度					•	15	4		
評伯 特記		定期試験、ポーオフ	7ォリオおよび参加貢	貢献度(討議含む)	の合計が60点に満た;	ない場合、再試験の	対象となる。				
11	售備学習	習(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間							
			-ジを事前に目を通*								
	単 前 手 盲 事後学習	目:講義後は復習をう	すること 約1時間	9 - 2 #130/1							
t t	果題(診	弌験・レポート等) /	こ対するフィードバ	ックの方法							
<u>Å</u> ≣	崔記試驗	食は、本学に保管する	るので、事前に連絡の	の上、内容を確認す	ることができる。						
載す	教科書										
f	乍業療法	ミ学ゴールドマスター	ーテキスト 作業療法	学概論 第3版 長崎	重信 MEDICAL VIEW						
7	参考図書										
	2-5 ME										
ĺ	備考:履	賃修者への要望									
ŕ	作業療法士として、クライアント、多職種に作業療法を簡潔に説明できるようになりましょう										

ŧ	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
E	塩床運動 学			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	15時間				
打	旦当教員名											
ð	度邊 豊明											
1	実務経験のある教員											
	渡邊豊明:医療機関、通所介護事業所において作業療法士として勤務し、身体障害領域及び老年期領域の作業療法の経験を有する教員が、疾患別動作特性についての 講義を行う。											
ŧ	授業概要											
重 そ	様々な疾患によって引き起こされる機能障害により、人の動作には変化が生じる。その変化とは、疾患ごとにどのような特徴があるのか、またなぜ生じるのかを運 動学的に分析する手法を理解することを本科目の目的とする。同時に、それらの動作の変化に対してどのような作業療法的アプローチが可能かを、講義及び模擬実践 を通して習得する。本科目では日常生活活動(ADL)に関わる作業療法のうち、起居・移動動作に焦点を当てて講義する。											
1	껍到達目標											
知識・	#解 ①疾患や加齢により生じる動作方法の変化についてなぜそのような動作になるのか、運動学で学習した知識を基に理解することができる。(DP1)											
思考・												
技	能 ④動作をモトスコヒ	ピーを用いて記録し、	層ごとの特徴を簡	潔な文章で記述でき	る。 (DP1,5)							
関心・ ・ 創	意欲 ⑤講義や実技に関心	いを持ち、積極的に参	参加することができ	る。 (DP3)								
ŧ	受業形態											
講	義 講義を主体とする	らが、理解を深める†	こめに模擬体験やレ		動的な学習を促す演	習を多く併用する。						
回数	担当教員	授業交	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	渡邊		テーション	脊髄損傷、片麻痺、 教科書:474-479	その他の疾患							
2	渡邊	車いう	计移動	車いす移動:教科	書442-448							
3	渡邊	立ち	座り	様々な起立の方法	: 教科書494-498							
4	渡邊	移乗	動作	一人介助、二人介明 参考資料	助、三人介助							
5	渡邊	杖	长行	杖歩行:教科書530	-535							
6	渡邊		勢	姿勢反応とバラン:	ス:教科書358-363							
7	渡邊	肩甲を	帯・肩	肩の分析:教科書113-120								
8	渡邊 講義のまとめ 授業の総括を行う。											

観点別	評価の観点 評価方法	知識・ 理解	思考·判断· 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標				
成績評価と 到達目標の 関連	レポート	•	•	•		85	1~4				
	参加貢献度				•	15	5				
評価の 特記事項	 ・レポートは、課題ごとに評点を定めたルーブリックを用いて評価する。評点は課題ごとに提示する。 ・レポートは、提出の遅滞や内容の不足があった場合に減点する。評価方法の合計が6割に満たない場合、再提出を求める。 										
準備学習	備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間										
・予習し	・毎回提示される次回の予習プリントを、教科書を熟読した上で自習学習する。(各回30分) ・予習したことと当日の授業で学んだことを踏まえ、分析結果を考察する。(授業内) ・一連のレポートは、次回の授業で提出する。授業を欠席した場合、該当回分の課題レポートは後日提出する。										
課題(討	(験・レポート等) に対するフィー	ドバックの方法									
・レポー	-トは、コメントを記入するなどし	てフィードバックする。									
教科書											
PT•OT Ø	つための運動学テキスト 金原出版	(株)									
参考図書	4 1										
「基礎運	「基礎運動学」 中村隆一他 医歯薬出版										
備考:履	備考:履修者への要望										
 動画の ・臨床に ・受け身 	 毎回実技を取り入れます。動きやすい服装で臨んで下さい。 動画の撮影できる機器(デジタルビデオカメラやスマートフォン)を持っている学生は、持参して下さい。 臨床における対象者の動作観察の視点を養い、動作変更の理由を考えるために必要な知識を身につけます。 受け身的ではなく、自身の身体を教材に積極的に様々なことを考え、学び取って下さい。 運動学や解剖学、身体障害領域の講義と関連付けて行うため、関連科目を含めた予習、復習を行うことを求めます。 										

ł	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
T	基礎作業学			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間				
ł	旦当教員名											
ł	公田 裕美											
er.	実務経験のある教員											
	公田 裕美:医療施設等にお こ合わせて作業を提供できる			を実施した経験を有る	する。個々の作業や	舌動のもつ特性や自	由度について講義し	,疾患や発達段階				
ł	授業概要											
E	本科目は、作業療法の治療的要素である作業についての基礎的な知識を修得する。基礎作業学の概略、作業の分類、治療的要素としての作業とその遂行に及ぼす要 因、作業を行う主体である人について、運動機能、心理機能、発達段階などと関連付けて学修する。また、作業分析の方法、および人と作業そしてそれを取り巻く環 境との相互作用に関する理論についても学修する。授業は、講義を主体とするが、理解を深めるために随時演習を用いる。											
À												
知識	・理解 ①作業療法における	①作業療法における作業の範囲と分類を述べることができる。 (DP1)										
		ff ②作業遂行に影響を与える種々の要因を挙げ、説明することができる。(DP1) ③作業遂行に関する理論の概要を説明することができる。 (DP1)										
技	能 ④授業内で取り上に	ずる作業分析の目的を	を理解し、実施する	ことができる。(DP	1.5)							
	- 意欲 ⑤課題遂行に当たっ	ってグループメンバー	ーと協調することが	できる。 (DP5)								
ł	受業形態											
譜	義 毎授業後には学生か	受業内容の復習を少丿 からの質問などをGoo 対する理解を深めるた	gle formsで回収し	, 収集データを学生								
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	松田		テーション	シラバス,科目試験 作業療法,作業の/ これまでの作業の経			:含めて)					
2	松田	作業療法における	5「作業」とは?	オリエンテーション る。	~での各自の作業体験	策等を踏まえ,作業	療法における「作業	」について理解す				
3	松田	ひとの一生	もと作業①	乳児期~青年期まで	での発達と作業につい	ヽて学ぶ						
4	松田	ひとの一生	もと作業②	成人期~超高齡期。	ミでの発達と作業に~	ついて学ぶ						
5	松田	学習と	作業 と作業 ションと作業	りんごの絵を描いて 学習と作業の関係に コミュニケーション		ーションの種類につい	いて学ぶ					
6	松田	作業0	り知①	事例を基に作業の特	持つ目的性,具体性,	投影性について知	3					
7	松田	作業0	り知②	事例を基に作業の特	持つ意味性,能動性,	身体性について知	3					
8	松田 作業の知③ 事例を基に作業の持つ操作性,没我性,共有性について知る											

9		松田	作業を用いたコミ は		実際の作業活動を用	目いてコミュニケージ	ノョンの種類や取り	方を感じる				
10		松田	作業の自由 作業療法で扱う			▶験し,作業の自由度 ⊃いて概要を理解する						
11		松田	作業分 作業分析の目的	分析① ,工程の分け方		作業分析が必要な理由について、実習で行った作業を通して、工程の分け方について学習する。 グループにて、各工程ごとに行った作業を具体的に記載する。						
12		松田	作業分 工程分け,		作業の各工程で身体運動,可塑性,実際に実習した時の気分,難しかった点,初めて行う人への 伝え方などについて分析していく。							
13	松田 作業分析③ 工程分け,内容分析		作業の各工程で身体運動,可塑性,実際に実習した時の気分,難しかった点,初めて行う人への 伝え方などについて分析していく。									
14		松田	作業分 作業の違い		各作業の作業分析結 総合的に理解する。	各作業の作業分析結果を基に相違点について考える。また,以前に学習した治療的応用も踏まえ 総合的に理解する。						
15		松田	作業5 作業の段階		同じ作業工程の難易 合的に理解する。	身を操作するための	り視点を学ぶ。各作詞	業分析の結果を治療的	的応用も踏まえ総			
(c)		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標			
成績評	点別 平価と 1 7 一一の	筆記	記験	•	•			70	123			
	到達目標の 関連	レポ	ŝ− ŀ			•	•	20	45			
		参加貢献度					•	10	5			
	事項	再試験は筆記試験の		ポート・参加貢献度の	こ達しなかった場合、 の点はそのまま加点・							
花 打	参加貢南 復習:毎 提出でき	状度を減点する。 毎授業後のGoogle fo	ormsの回答や随時提差	示されるレポート課)。予習課題が出題さ 思題を実施する。授業 た場合は期限内に実	時間内に提出ができ	ない場合は自宅にて	て仕上げる。なお,丩	レポートが期限内に			
	明日百 (章	4野・レギート学)/	に対するフィードバッ	一方面主社								
	・レポー ・筆記誌	ートは、コメントを言 式験は、希望者に個別	に対するフィートハイ 記入するなどしてフィ 別に口頭でフィード 項等は授業内でフィー	ィードバックする。 バックを行う。								
1947	教科書											
7	ひとと作業・作業活動 新版 - 作業の知をとき技を育む 三輪書店											
12	参考図書											
ţ	第3版作	業療法学 ゴールド	・マスター・テキス	ト 作業学 メジオ	カルビュー社							
ĺ	備考 :	愛修者への要望										
-	学修の手引きのカリキュラムマップを見てください。本科目は「基礎作業療法学」というグループに位置付けられています。作業療法を学ぶ上での土台となる科目の 一つとなります。 グループワークでは自分から発信することはもちろんですが,他者の発言を聴き自身の理解や知識の幅を広げてください。											

授	受業科目名		専	乒玫	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数					
基	基礎作業学実習			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	2単位	60時間					
担	1当教員名												
樟	黄山 剛、森下 章生、後藤	秀樹											
	務経験のある教員におけ												
庰	街山 剛:医療施設で作業 ∃い方を理解することを目			美除の現場で使用し	ていた作業やその万	法を用い、作業療行	5における作業(ア	クティビティ)の					
	受業概要												
た く く	○科目は、基礎作業学で学す 作業の位置づけを理解す (大実際に作業を行い、そ (本工(紙細工に変更)) ○本細工>革細工の基本的 協芸>土練り・電動ろく	る。また、実習の中 の内容を分析する。 この作業を通して作 な技法(スタンピン	で教えあうことをi 作業の体験と分析し 業療法でのアクティ グなど)の習得。(通し、指導法につい こより、作業療法に ィビティの使用法の 作品を制作し革の特	て学修し、リハビリ おける作業の位置づ バリエーションを増	への応用を考察する けを理解する。 やす。	る。基礎作業学で学						
学	2 習到達目標	田冷にへいててゆに	送明ズキス /DD1										
知識・	理解 ②各作業の道具の	 ①各作業の材料の用途について正確に説明できる。<dp1></dp1> ②各作業の道具の用途について正確に説明できる。<dp1></dp1> ③作業時の注意点を説明できる。<dp1></dp1> 											
思考・ ・表													
技问	15 各作業の道具を3	④各作業の材料の正確に使用できる。 <dp1> ⑤各作業の道具を正確に使用できる。<dp1> ⑥作業時の注意点に基づき作業ができる。<dp1></dp1></dp1></dp1>											
関心・ ・態	意欲 ⑦利用できる作業 8 8 8 8 8 6 作業を行う中	や活動を増やすこと で他者と協調するこ。											
授 実 ³	受業形態 マンパン講義を交え (紙細工)講義を交え (紙細工)講義を交え (紙細工)講義を交え (紙細工)講義を交え (紙細工)講義を交え	えながら実習、プレー 交えながら実習	ゼンテーション										
回数		授業ラ		授業計	画	授業内容							
$1 \sim 2$	横山	<木 道具、材料の特		講義:木材の特性、	木材を扱う道具、;	組み立ての工程、浩	療としての応用に、	ついて講義する。					
$4 \sim 6$	横山	木工の知識を紙緒	冊工に応用する1	実習(製図):用)	金に応じた箱を設計	する。見取り図、展	開図を作成する。						
$7 \sim 12$	横山	木工の講義からの: 用す		実習(製図):用う	金に応じた箱を設計	した見取り図、展開	図から、作品を作り	関する					
13~18	横山	作品のプレゼ	ンテーション	自身がどのような; する。	意図で設計し作製し	たか、工夫したこと	、努力した事につい	ヽて5分程度で発表					
19	森下	革素材の基	も礎を学ぶ	実際に革を使い素	材の特性、可塑性な	どの特性を知る							
20	森下	「、拭き染め	基本的技法の習得1 コインケースの制作										
21	森下 金具付け・かがり		がり・仕上げ	『 革細工の仕上げの習得 コインケースの制作									
22	森下	カービング、ア	ンティーク染め	基本的技法の習得2	キーケースの制作								

23		森下	金具付け	・仕上げ	色々な金具の使用	キーケースの制作				
24		森下	まとめ、扌	友法の応用	小物(動物や花など	ご)の制作により、	可塑性など技術の応	用や素材の多様性	を学ぶ	
25		後藤	土約	東り	原土を知り土づくり)の工程を理解する				
26		後藤	電動名	5<3	電動ろくろを使って	て器を作る				
27		後藤	手び	ねり	手びねりの技法を使	使って器を作る				
28	後藤 釉薬			薬	釉薬の性質について	〔学ぶ				
29		後藤	窯、	焼成	窯や焼成について学	źż				
30		後藤	ŧ l	こめ	これまでの実技の復習					
	1	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標	
	成績評価と		試験	•				80	123	
	到達目標の 関連	レポ	-	٠		٠	•	10	12345678	
		参加貢	貢献度			•	•	10	45678	
特記	■の 事項	※授業の振り返りた (革細工)制作物の (陶芸)作品の完成	ジ未提出の場合,参 完成度(技能の習熟 戊度、授業態度、試 を合計し、基準点に:	加貢献度を減点しま 独度)・授業態度・ 験の総合点(30%) 満たない場合は再計	を含む)(10%)作業 ミす。作業の教え合い 試験(革細工の知識 試験を行います。	い評価も未提出の場	合未提出者の評価得			
1			,		回授業時までに作業	「积を確認」てくた	(1回講美に)	へき30分程度)		
	(革細]	E) 予習:特にあり	ません。復習:教科	書を読み返し、道具	見や技法、材料の名前 ておいてください(前を再確認してくだ		2200万年(2)		
T T	課題(詞	式験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法						
	(革細]		実施します。プリン	ト持ち込み可。全間	筆記試験で成績を判決 問記入が採点条件(甲します。		
TRF T	教科書									
	(革細]	E)授業中にプリン E)授業中にプリン 授業で資料を配布	トを配布する							
12	参考図書									
45	第3版作	業療法学 ゴールト	、・マスター・テキン	スト 作業学 メジ	カルビュー社					
ĺ	備考: 凮	夏修者への要望								
د	(籐細工)これまでに籐細工を行ったことがない方が多いと思います。初めて行う作業に対する自身の感情や感覚を忘れないでください。作業をすることの意味 や治療として用いることの意味を説明できることを目標に実習に取り組んでください。 (革細工)綿100%の布(10cm角程度)20枚、新聞紙の用意。染料で手が汚れるのが嫌な学生はゴムの手袋(薄いもの)を持参の事。 (陶芸)技法に沿って制作を行い、道具の名称、持ち方、使い方などを理解する。									

扬	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
ŕ	乍業療法管理			ーション学科 法学専攻	3学年	必修	1単位	15時間				
#	旦当教員名											
	実務経験のある教員											
盾	春渡 洋史:勤務していた医 を行う。	医療施設において作業	「療法士として作業物	療法室の開設及び管	理運営の経験を有す	る教員が、部門責任	者としての管理運営	営方法について講義				
Ŕ	受業概要											
T Ž	作業療法士者数の増加とともに、部門管理者、施設内管理者になる者も増えている。また、多職種連携・協業など医療福祉における多職種との関わる機会も増加し ている。クライエント、他職種との円滑なコミュニケーションを実施できるよう基本的なコーチング技法についても学ぶ。また、職場管理者となった際に必要な作 業療法をとりまくマネジメントについて学ぶ 学習到達目標											
知識・	・理解 ②作業療法士の職員	①作業療法管理について、各種マネジメントについて述べることができる。(DP1) ②作業療法士の職責とキャリア開発について述べることができる。(DP1) ③他職種との円滑なコミュニケーションを実施できるよう基本的なコーチング技法を述べることができる。(DP1)										
	③他職種との円滑7	③他職種との円宿なコミュニケーションを実施でさるよう基本的なコーナンク技法を述べることかできる。(DP1)										
	思考・判断 ・表現 ④管理者として事例を通してそれらの問題を探求することができる。 (DP5)											
技	能 ⑤ペーシング技法で	を見学・模倣し、実カ	奄することができる	。 (DP1)								
関心・ ・ 創	意欲 態度											
扬	受業形態											
講	義 講義、グループワー	ーク										
回数	担当教員	授業ラ	デーマ	授業計	画	授業内容						
1	廣渡	作業療法とマネジィ		寮 マネジメント、組織と組織の中での作業療法士の役割を知る 医療における情報と記録の仕方、医療サービスについて知る								
2	廣渡	多職種連携・コ	ーチング(1)	他職種との円滑なこ	コミュニケーションそ	を実施できるよう基	本的なコーチング技	法を知る				
3	廣渡	廣渡 多職種連携・コーチング(2) 事例を通してコーチングの基本的な技法の効果を知り、見学・模倣し、体験する										
4	廣渡	安全と作業療法業	務のマネジメント	リスクマネジメン	ト・インシデントとこ	アクシデント、人材	育成のマネジメント	を知る				
5	廣渡		ド ジメントの事例か 学び	作業療法部門の業務 害時の作業療法士の	务管理、協業連携・± り役割を知る	地域・行政における	作業療法士としての	マネジメント、災				
6	6 廣渡 作業療法士の役割・倫理、諸制度、教 育課程 作業療法の法律と定義、職能団体の意義と役割、職業倫理について知る 作業療法をとりまく医療福祉の諸制度と作業療法の教育課程の概要を知る											

7		廣渡 作業療法のキャリア開発 作業療法士としての資質の向上、QUESTの活用										
8		廣渡	総	括	全体についてのポー	イント確認						
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標			
観点 成績許 到達目 関	平価と 目標の	西と 票の レポート		٠	•			70	1234			
		参加貢献度(グノ	レープワーク等)	•	•	•		30	12345			
	評価の 特記事項 レポートおよび参加貢献度等の結果が60点に満たない場合、再試験の対象となる。											
ž	準備学習	(予習・復習等)(の具体的な内容及び	それに必要な時間								
		冒 : 各講義項目のペ− 冒 : 講義後は復習を−	ージを事前に目を通 ⁻ すること 約1時間	すこと 約30分								
1 L	果題(討	は験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法								
	崔記試騎	は、本学に保管する	るので、事前に連絡の	の上、内容を確認す	ることができる。							
孝	效科書											
	「作業療	₹法管理学入門(第 :	2版)」大庭潤平 日	医歯薬出版 2021年	1							
Ż	参考図書											
Ť,	なし											
俌		夏修者への要望										
ž	授業で説明した管理者として必要なポイントを簡潔に説明できるようになりましょう。											

扬	受業科目名		専	 政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
ŕ	F業療法倫理			ーション学科 法学専攻	3学年	必修	1単位	15時間				
担	旦当教員名											
盾	簧渡 洋史											
〕	実務経験のある教員											
	橫渡 洋史:作業療法士とし 寮福祉における医療倫理とな				本作業療法士協会に	おける実習指導者講	習会の講師の経験を	そ有する教員が、医				
挖	受業概要											
医療福祉にかかわる者としての医療倫理、生命倫理を概観し、実際の事例を通して自分の問題として考察する。また、他者と議論することでその問題を深く捉え、 解決の手順を学ぶ。												
当	学習到達目標	童目標 										
知識・		①医療倫理、生命倫理について述べることができる。 (DP1~3) ②職業団体の倫理綱領について述べることができる (DP1~3)										
思考・	判断 長現 ③事例を通してそれらの問題を探求することができる。 (DP2~3)											
技	能											
	態度	£として、医療倫理、	生命倫理に興味関	心を抱き、これらの	問題解決を探ること	ができる。(DP2~	3)					
港	受業形態 義 講義、グループワー	-7										
		म्बर जाद		授業計	画	년 1년						
回数	担当教員	授業ラ	トーマ			授業内容						
1	廣渡	倫理	とは	倫理とは何かを考え	え、またそのジレンマ	マについて知る						
2	廣渡	事例検討	について	事例と原理、事例権	食討の進め方(方法諸	侖)を知り、事例検	討のメリットを知る					
3	廣渡	廣渡 IC、パターナリズム 倫理的観点よりIC・パターナリズムについて考察する										
4	廣渡	医療倫理	里と背景	人格の尊重、公共の	つ福祉について知り、	古代から現代の倫	理観を学ぶ					
5	廣渡	チーム医	療の倫理	医療従事者としての職業団体の倫理綱領や互いの専門性や責任を学ぶ								
6	廣渡 事例検討① グループ内ディスカッションを通して、倫理的ジレンマの解決法を学ぶ											

7		廣渡	事例検討②		グループ内ディスカッションを通して、倫理的ジレンマの解決法を学ぶ							
8		廣渡	総	括	全体についてのポイ	イント確認						
		評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標			
成績評 到達目	点別 平価と 目標の 連	レポ		•	•		•	70	1234			
		参加貢献度(グ	ループワーク)		•		•	30	34			
	評価の 特記事項 課題未提出者は単位不認定となりますので注意してください											
ľ	準備学習	習 (予習・復習等) (の具体的な内容及び	それに必要な時間								
		習:研究法で学習し7 習:講義後は復習を ⁻	た研究倫理について すること 約1時間	復習しておくこと								
	課題(詞	ጚ験・レポート等)↓	こ対するフィードバ	ックの方法								
ĩ	レポート	、等は、返却いたし	ます									
老	教科書											
7,	なし(フ	°リント配布)										
The second se	参考図書	t.										
Ť,	なし											
ſi	備考 : 履	፪修者への要望										
2	グルーブワークでは積極的に発言し、議論するようにしてください。											

技	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数					
ŕ	乍業療法評価法			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間					
ŧ	旦当教員名												
ŶÌ	青水 一輝												
Ţ.	実務経験のある教員												
ŶĬ	青水一輝:作業療法士とし	て勤務し、身体障害	領域・老年期障害 領	減の作業療法の経験	食を有する教員が、作	業療法評価の概要に	こついて講義する						
ŧ	授業概要												
月言	本科目では、作業療法のプロセス(情報収集、評価、問題点と利点の抽出、目標の設定、治療計画の立案、再評価、効果判定)と作業療法評価の意義目的について説 明できることを目的に、主に講義形式で実施する。 記録や報告の意義についても学修し、作業療法の診療録についての基本的な知識を習得する。身体障害・精神障害・老年期・発達の各領域に共通する作業療法評価の 基礎について学び、各領域特有の評価についても学ぶ。												
ž,	学習到達目標												
知識・	 ②作業プロフィー ③作業廃法の領域 ④作業機能障害に ⑤身体機能、精神 ⑥作業療法におけ ⑦面接評価の目的 ⑨観察評価の目的 ⑩QQL,興味,役害 	 ①作業の特性を踏まえて作業療法の評価について論じることができる (DP1) ②作業プロフィールとその評価方法について説明できる (DP1) ③作業療法の領域を列挙することができる (DP1) ③作業療法の領域を列挙することができる (DP1) ③身体機能、精神機能、発達過程、高齢期機能それぞれの評価の特徴について比較して説明できる (DP1) ⑤身体機能、精神機能、発達過程、高齢期機能それぞれの評価の特徴について比較して説明できる (DP1) ⑥ (DP1) ⑥ (DP1) ⑧ (DP1) ⑧ (DP1) ⑨ 観察評価の目的や方法について説明できる (DP1) ⑨ 観察評価の目的や方法について説明できる (DP1) ⑨ 観察評価の目的や方法について説明できる (DP1) ⑨ 観察評価の目的や方法について説明できる (DP1) ⑨ 和容評価の目的や方法について説明できる (DP1) ⑩ (QOL) ● (DP1) ③ (DP1) ③ (DP1) ③ (DP1) ③ (DP1) ③ (DP1) ④ (DP1) ● (DP1)											
思考・		びを整理し、理解でき	きた内容や疑問点に	ついて説明できる((DP1, 2, 5)								
技	能 ^③ 作業療法評価に [、]	ついてスライド等を月	目いて他者に伝える	ことができる(DP2,3	3)								
	度 ¹¹⁰ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	に積極的に参加し、言	購義の理解を深める	ような議論ができる	(DP2, 3, 5, 6)								
	受業形態	による講義と評価の液		5 举羽子田 5 改士									
譜	我们有、配仰真相	による碑銘と叶圃の位	A 白 インノレー ノ ク	ク、子自成未り光衣	420009797477								
回数	担当教員	授業が	テーマ	授業計	画	授業内容							
1	清水	作業療法	評価とは		亜基準に関するオリ: D意味を知り、作業類		は何かを学ぶ						
2	清水	作業機能障	害について	作業機能障害(作う 理解を深める	業疎外、作業剥奪、(乍業不均衡、作業周續	禄化)について学び	、具体例を通して					
3	清水	作業療法の領	頁域について	作業療法士が評価。	するべき領域とその(則面について学ぶ							
4	清水	作業プロフ	ィール評価	作業プロフィールの	の評価について学び	糞擬実践を通して理 f	解を深める						
5	清水	作業療法にお	ける面接とは	面接の目的や面接	時の環境への配慮,影	‡言語的コミュニケ、	ーションについて学	<i>š</i>					
6	清水	清水 COPMについて 面接の手段であるCOPMについて学ぶ											

7	清水		作業療法にお	ける観察とは	観察の目的や観察の	バイアスについてき	žš				
8	清水		QOL, 興味,	役割の評価	QOL, 興味, 役割の	QOL, 興味, 役割の評価について体験を通して学ぶ					
9	清水		目標設定/訂	日録について	作業療法における目標設定の意義、目標設定の手順について、また作業療法における記録や報告 の意義について学ぶ						
10	清水		身体障害領	軍域の評価	身体領域を対象にした作業療法実践の文献から、身体領域の評価について学ぶ						
11	清水		老年期領	域の評価	老年期領域を対象にした作業療法実践の文献から、老年期領域の評価について学ぶ						
12	清水		発達領域	夜の評価	発達領域を対象にし	た作業療法実践のコ	文献から,発達領域の	の評価について学ぶ	\$		
13	清水		精神領域	えの評価	精神領域を対象にし	た作業療法実践のコ	文献から,精神領域の	の評価について学ぶ	Š		
14	清水		各領域の評	戸価の特徴	各領域の評価につい	て報告し合いながら	ら,その共通点と相違	韋点を学ぶ			
15	清水		講義の	まとめ	講義で学んだことの	振り返りと意見交換	b				
観点	5別 評価方法		評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標		
成績評 到達目 関	平価と 目標の	筆記	試験	•				60	12345678 900		
(大)	<u>ب</u>	ポート	フォリオ	•	•	•	●	40	$\begin{array}{c} 12345678\\ 9001234\end{array}$		
評値 特記	事項毎回の講家	慶で振り 退	○合計点数が6割に達 気りシートの記入をす の具体的な内容及び~	くめる. ポートフォ	₽試験を実施する。 リオに含まれる課題○	の期限に遅れた場合	は10点減点する.				
I	事前に教科書の該	当箇所を	学習する (30分)								
					習し、ポートフォリ	オにまとめる(30分)				
ti n	果題(試験・レポ・	ート等) (こ対するフィードバ	ックの方法							
Â	筆記試験結果は研	究室内で降	内容を確認できます。	ポートフォリオの	評価基準は事前に通	知します。					
1	教科書										
	「標準作業療法学	専門分野	• 作業療法評価学 第	3班」 能登真一、	山口昇 他 編 医学	書院					
120	参考図書										
	「作業療法学全書」	」第2巻	「基礎作業学」 澤田	雄二編 協同医書出	版社 その他、授業	中に適宜資料を配布	īします				
ĺ	備考:履修者への	要望									
			は、常に自己研鑽が。 とめに取り組んでく7		の中で、知識を与え	られるだけでなく、	自ら学ぶ姿勢が身に	こつけられるように	グループでの学習や		
L											

扬	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
f	F業療法評価法実習 I			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	45時間
担	旦当教員名							
辺	度邊 豊明、清水 一輝							
Ĵ	ξ務経験のある教員							
	§邊 豊明:医療機関、介 青水一輝:医療機関、介護							有する。
扬	受業概要							
角	×科目では、実習を行うこ 5緊張、関節可動域、筋力 こうに知識を深める。							
省	2習到達目標							
知識・		順、注意点を説明で 神経支配、作用に		(DP1)				
思考・		必要な評価を選択で	きる。 (DP1)					
技		迅速・丁寧に実施で で、検査結果を記録						
関心・ ・ 能	意欲 ⑥大きく明瞭な声 ⑦明るく、柔らか	で検査の目的や内容 い表情で対応するこ						
技	受業形態							
実	習 実習では、動画撮影	によるフィードバッ	<i>ヽ</i> ク、グループディフ	スカッションによる	討議などを用いて進	めて行く。		
回数	担当教員	授業ラ	デーマ	授業計	画	授業内容		
1	渡邊・清水		テーション インの測定	脈拍、血圧、呼吸(の測定を実施:教科	書①pp53-64		
2	渡邊・清水	形態	計測	形態計測を実施 : 『	数科書①pp65-71			
3	渡邊・清水	関節可動域) 上	測定(ROM) 肢①	肩甲帯、肩の可動	或測定:教科書①pp	82-83		
4	渡邊・清水	可動域測) 上	定(ROM) 肢②	肘、前腕、手、手	指の可動域測定:教	科書①pp83-84		
5	渡邊・清水	関節可動域) 下	測定(ROM) 肢①	股、膝の可動域測)	定:教科書①pp84-8	5		
6	渡邊・清水	関節可動域) 下	測定(ROM) 肢②	足、足部の可動域	則定:教科書①pp85	-86		
7	渡邊・清水	関節可動域) 存	測定(ROM) 本幹	頸部、胸腰部、その	の他の検査法:教科	書①pp86-88		
8	渡邊・清水	関節可動域) ま	測定(ROM) とめ	検査の目的説明か 教科書①pp72-95	ら検査の実施、記録ま	ミでの基本実践。体 (位をできるだけ変え	ない応用実践。:
9	渡邊・清水		検査(MMT) 肢①	肩甲骨外転と上方	回旋、举上、内転、	下制と内転、内転と	:下方回旋、下制:	教科書②pp82-108
10	渡邊・清水		検査(MMT) 肢②	肩関節屈曲、伸展、	,外転、水平外転、	水平内転、外旋、内	1旋:教科書②pp109	9-139

11	渡邊・清水	徒手筋力 上	検査(MMT) 肢③	肘関節屈曲、伸展、	前腕回外、回内、手	関節屈曲、伸展:教徒	科書②pp140-166			
12	渡邊・清水	徒手筋力相	検査(MMT) 手指	指の中手指節(MP)	関節屈曲~対立運	動(母指を小指へ)	: 教科書②pp167-	203		
13	渡邊・清水	徒手筋力 下	_{負査} (MMT) 肢①	股関節屈曲、屈曲・外 科書②pp206-234	ト転および膝関節ル	岳曲位での外旋、伸 展	、外転、屈曲位から	らの外転、内転:教		
14	渡邊・清水	徒手筋力 下	検査(MMT) 肢②	股関節外旋、内旋、膝 背屈位を伴う外がえ :教科書②pp235-269	L	足関節底屈、背屈な	らびに内がえし、足	の内がえし、足の		
15	渡邊・清水	徒手筋力 頭・頸	検査(MMT) 部、体幹	頭部伸展~体幹回旋	:教科書②pp22-6	65				
16	渡邊・清水	徒手筋力材ま	検査(MMT) とめ	検査の目的説明から 教科書②pp22-269	検査の実施、記録	までの基本実践。体体	位をできるだけ変;	えない応用実践。:		
17	渡邊・清水	感覚	検査	感覚検査を実施:教科書①pp114-129						
18	渡邊・清水	反射・筋	緊張検査	深部腱反射、病的反 筋緊張評価を実施:						
19	渡邊・清水	姿勢反射・	[、] ランス検査	姿勢反射・バランス;	検査の実施:教科	·書①pp138-150				
20	渡邊・清水	協調作	生検査	強調性検査の実施:	教科書①pp160-16	37				
21	渡邊・清水	上肢機	能検査	上肢機能検査の実施	:教科書①pp204-	-212				
22	渡邊・清水	事例	検討	事例に合わせた検査:	法の選択					
23	渡邊・清水		報告とめ	事例に合わせた、検査法選択 まとめ						
観点 成績評		評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標		
到達目	目標の 実技	試験	•	•	٠	•	80	1~7		
	事例	検討	•	•		•	20	1~3、6、7		
評佈 特記	事項 ROM、MM100美技訊驗			えはそれぞれ8割以上と	:する。合格点に注	達しない場合は、 再試	験を実施する。			
Ĩ	準備学習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間							
	予習:ROMは、教科書①にて 复習:実技の定着を深める		意点を事前学習(1	l時間)、MMTは、教科書	書②にて筋の起始	、停止、神経支配、作用	目を事前学習(1時	問)		
言語	果題(試験・レポート等)	に対するフィードパ	ジックの方法							
57	実技試験は、試験終了時に思	1時フィードバック	を実施する。							
ŧ	牧科書									
	D「標準作業療法学 専門 ②「新・徒手筋力検査法」 ③「筋肉パルペーション」 ④「ベッドサイドの神経の	原著第10版 津山 著山口典考 秀	直一他 訳 協同 和システム (202	医書出版社 (2020年 20年)						
	参考図書									
	寺になし									
ſ	備考:履修者への要望									
	筋の触診、視診、可動域を正	確に測定するために	、半袖、半ズボンの	服装で授業の受講を望	みます。					

授	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ſſ	■業療法評価法実習Ⅱ			ーション学科 去学専攻	2学年	必修	1単位	45時間
担	1当教員名							
樟	黄山 剛、松田 裕美							
美	ミ務経験のある教員							
	黄山 剛・松田 裕美:医 夏じる面接の風景から考察			ある教員の指導のも	と、作業療法評価の	中の面接を実施でき	きるようになること	を目標に、教員が
授	受業概要							
他大	×科目は、作業療法評価と 2者を評価し、スーパーバ 1ール・ロジャースのカウ	イズを受けながら探	索していく実習形式	式を主体に進める。			面接を中心に実施し	、部分的に実際に
	学習到達目標							
知識・		者理解のため必要な るための方法を説明		_ <dp1,2></dp1,2>				
思考・ ・表		を理解しようとして	いるか説明できる。	<dp1,2></dp1,2>				
技行	能							
関心・ ・ 能		乍業療法の視点から	解釈することができ	さる。 <dp2,3></dp2,3>				
授	受業形態							
実	^習 講義・実習 講義をして実習を ⁻	する形で行う。教員	の面接の風景を見て	「考察してみる.				
回数	担当教員	授業	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	横山	作業療法の書	平価プロセス	評価プロセスを確認	認する			
2	横山	作業療法の	評価とは?	評価の意味を確認	する			
3	横山	コミュニケーシ	ョンと作業療法	コミュニケーショ	ンの種類			
4	横山	対話に	ついて	患者との実際のや	り取りから対話につ	いて考える		
5	横山・松田	絵描き	次の演習	音声情報でどこま	でわかるか体験する			
6	横山・松田	面接に	ついて	質問の仕方の工夫、	. ジョハリの窓			
7	横山・松田	面接に	ついて	情報の変容の演習	(伝言ゲーム)			
8	横山・松田	面接に	ついて	情報の変容の演習	(伝言ゲーム)			
9	横山・松田	面接に	ついて	心理療法				

10		横山・松田	面接に	ついて	カウンセリング (ま	共感的理解、自己一	致、無条件の肯定的	関心について)		
11		横山・松田	面接	実習	作業療法評価プロセスにおけるポイント					
12		横山・松田	面接	実習	対話録の説明					
13		横山・松田	面接	実習	教員が演じる面接風景を観察する					
14		横山・松田	面接	実習	結果をまとめる					
15~22		横山・松田	面接	実習	教員からのフィー丨	ドバック				
23		横山・松田	ペア学生の	分かち合い	評価した内容につい	ヽてペア学生が分か	ち合いの作業をする			
観点	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標	
成績許 到達目	目標の	レポ	- F	•	•		•	70	1234	
关	連	参加j	貢献度				•	30	4	
	事項 準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間	5。基準点(60点)に	E満たない場合は、{	個別にレポートの指	導をします。再試験	険は実施しません。	
			特徴について考える から考察する。(18							
Î	課題(詞	弌験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法						
技	受業の携	長り返りの内容につ	いて次回授業時にフ	ィードバックする。						
#24	教科書									
技	受業中に	こプリントを配布す	る。							
Ť.	参考図書	1								
ú	適宜紹介	トする。								
ſi	備考 :	賃修者への要望								
지	習参加カ	は、知識を暗記する ^ぶ 求められる。この 記を養って欲しい。	ための授業ではなく 授業で疑問や感想を	、作業療法の評価。 多く持つことで、f	とはどのようなもの [、] 乍業療法専門科目の	であるのかを自ら疑 受業をより意欲的に	問を持ち探求してい 受けられるようにな	いく授業である。つ こって欲しいと願う	まり、主体的な実 。自身の確かな学	

ŧ	受業科目名		貞	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
μ	身体障害作業評価学			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	1単位	30時間
ł	旦当教員名							
t	吅藤 真夕美							
φη.	実務経験のある教員							
	加藤真夕美:医療機関、介言 章害領域で主に用いられる			・護事業所において作	『業療法士として勤務	きし、身体障害領域の	D作業療法の経験を ²	有する教員が、身体
ł	受業概要							
	本科目は、身体障害領域に: ことを目的とする。授業は などを講義の範囲とする。	講義形式で実施し、	バイタルサイン、意	職レベル、機能形態	計測、関節可動域、	筋力、反射、筋緊張	りな評価方法につい 長、知覚、協調性、∕	ての知識を修得する ベランス、上肢機能
Ě	学習到達目標							
知識・	 ・理解 ②各心身機能/身体 ③各心身機能/身体 	おける評価の意義を調 本構造の分類・障害の 本構造、および活動/ な医用画像の種類や特	の種類を挙げ、説明 /参加に対する代表	することができる。 的な評価方法を挙げ	ることができる。(DP1) 1)		
		本構造を作業療法士カ 本構造の障害によって				に照らし合わせて考	ś察できる。(DP1,5)
技	能							
関心・ ・ 創	・意欲 態度 ⑦提出物を、期限に	こ遅れることなく、ま	また内容が不足する	ことなく確実に提出	することができる。	(DP3)		
ŧ	受業形態							
講	義 資料を用いた知識6 せて行う。	云達型の講義を中心に	こ、アクティブラー	ニング(復習課題・	小テスト・ポートフ	オリオ・グループワ	! ーク・ディスカッシ	/ョン)を組み合わ
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	加藤	オリエンラ	テーション	主な対象疾患、病 (第1章)	期、作業療法評価の	意義と視点など、身	体障害領域作業療法	の概要を学ぶ。
2	加藤		^{能の評価} 排泄機能の評価		食・嚥下機能、排泄構 らをOTが評価するこ。			や評価法について
3	加藤	骨・関節の機能	と構造の評価		構造について、その『 を学ぶ。(第2章-Ⅲ		について学ぶ。また	、それらをOTが評
4	加藤	筋の機能と	構造の評価	筋の機能と構造に~ ことの意義を学ぶ。	ついて、その障害の和 (第2章-V)	重類や評価法につい	て学ぶ。また、それ	らをOTが評価する
5	加藤	知覚機能	の評価①	上行性伝導路と知う	覚機能の関連を、解剖	削学の復習を通して:	学ぶ。(第2章-VI)	
6	加藤	知覚機能	の評価②		覚に関する基礎知識。 D意義を学ぶ。(第2		評価法について学ぶ	。また、それらを
7	加藤	運動機能	の評価①	下行性伝導路と運動	動機能の関連を、解剖	削学の復習を通して:	学ぶ。(第2章-Ⅶ,	IX)

,												
9		加藤	運動機能	の評価③	運動麻痺に関する基 ることの意義を学ふ		の種類や評価法につい	いて学ぶ。また、-	それらを0Tが評価す			
10		加藤	運動機能	の評価④		協調性・不随意運動に関する基礎知識とその障害の種類や評価法について学ぶ。また、それらを 0Tが評価することの意義を学ぶ。(第2章-IX~X)						
11		加藤	運動機能 上肢操作		姿勢反射、バランス、上肢操作性に関する基礎知識とその障害の種類や評価法について学ぶ。また、それらを0Tが評価することの意義を学ぶ。(第2章−VIII,XIV)							
12		加藤	発話・構音 精神機能		発話・構音機能およ た、それらをOTが評		-る基礎知識とその障害 を学ぶ。(第3章)	害の種類や評価法 は	こついて学ぶ。ま			
13		加藤	医用画像	きの活用	脳の医用画像について、作業療法実践での活用方法について学ぶ。							
14		加藤	総括と事	例検討①	これまでの知識を用	いて、作業療法事	「例の検討を行う。					
15		加藤 総括と事例検討② これまでの知識を用いて、作業療法事例の検討を行う。										
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標			
観点	別	筆記	試験	•	•			70	123456			
成績評 到達目	標の	小テ	スト	•				10	1234			
関連	₽ ■	レポ		•	•		•	10	1234567			
	-	ポートス	フォリオ				•	10	0			
評価 特記引 準	揮	 筆記試験得点が63 ・小テストがある日 ・レポート、ポート ・レポート、ポート 	に欠席した場合には 、フォリオは、課題こ	のレポートとポー t、その分の小テス ごとに評点を定めた)遅滞や内容の不足		して零点とする。 て評価する。評点	・認定する。 は課題ごとに提示する ては再提出を求める。	0				
•	授業内	容をもとに、毎回/	1たレポート課題(∛ トテストを行う。 - トを整理し、ポー			して提出する。レ	ポートは次回の授業中	Pに回収する(各回	回50分)			
課]題(試	験・レポート等)は	こ対するフィードバッ	ックの方法								
			記入するなどしてフィ する。答案を取りにヨ		別に口頭でフィード	バックを行う。						
	科書											
Γ	標準作	業療法学 専門分野	卧 作業療法評価学	第3版」 能登真一位	他編(医学書院)							
参	考図書	:										
			かた」田崎義昭他著 スター・テキスト イ		版」長崎重信監修 💈	マジカルビュー社						
備	考:履	修者への要望										
			礎科目及び基礎科目 服の整理を随時して‡		きます。また2年次に	学ぶ専門科目の基	盤となる科目です。と	でのテキストを調~	ぶれば必要な知識 が得			

ŧ	受業科目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
*	青神障害作業評価学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
ł	旦当教員名							
柞	公田 裕美							
9	実務経験のある教員							
	公田 裕美:精神科病院でf 受業にて教授する。	作業療法士として勤	務経験を有する。精	骨神障害領域の作業療	法評価について実践	を用いて講義し,*	青神障害作業療法の[歴史や実際の方法を
ŧ	受業概要							
オオ	青神障害領域の作業療法は、 ついて、精神医療の歴史や 本科目は、評価方法として を行う。その上で、代表的。 体授業を通して自身の持つ(社会的背景を踏まえ の面接、観察を講義 な精神疾患の作業療	て理解することが必 形式で学習する。各 法評価計画の立案を	∿要である。 ▶種検査については実 ♪模擬的に行う。				
Į.	学習到達目標							
知識・	・理解 ②精神科領域の評価	mを説明できる。 <d m方法の長所・短所を mの使用上の注意点を</d 	を説明できる。 <dp< th=""><th></th><td></td><td></td><td></td><th></th></dp<>					
思考・	判断 ₹現 ④ペーパーペイショ	∟ントの評価計画をコ	立案できる。 <dp1></dp1>	>				
技	能							
	意欲 ⑤グループディスプ 態度 ⑥精神科領域に関ル	ウッションに主体的に いを持てる。 < DP6 >		>				
ŧ	受業形態							
講	義 毎授業後には学生な		gle formsで回収し	ークを行い,授業内 ,収集データを学生 習を取り入れる。				
		- مالد ت حد - مالد تحد		授業計	画			
回数 1	担当教員 松田		テーマ		式験等の説明 実患に対するイメーミ 5や捉え方を知ろう			
2~3	松田	精神障害作美	業療法の概要	 ・評価とは? 評価することは評価 見学実習での面接名 動画や映画を鑑賞し 		こついて知ろう		
4	松田	作業療法	その実際1	・精神の障害とは 解剖生理の知識と 気分の波について				
5	松田	作業療法	この実際2	・症状が日常生活は 発症年齢や生きにく	こ及ぼす影響 くさ,回復段階につい	N7		
6	松田	作業療法	この実際3	 精神科作業療法で変化に気づくための 				
7~9	松田	各種検査	室の実践	・実際に検査をやっ 国家試験頻出のReh についてディスカッ	ab, LASMI, BACS-J7	などの各種評価をグ	ループにて実践し,	検査の目的や違い

10~15		松田	ペーパーペイシェン 著		疑問に思った点、も	等を用いて評価計 イシェントの症状。 っと知りたい点に 方	■を立案する。 や評価方法について∮ ついて列挙し,複数0		
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標
 観点 成績評 到達目 	平価と	筆記	試験	•	•		•	60	123456
関		感想・質問フ	オームの内容	•				20	123
		参加貢	貢献度				•	20	56
評値 特記	事項	毎回の授業後に感想 けてください。	 感想,質問フォーム 1,質問フォームを 5, 5, 6, 7, 7	ミ施します。フォー	参加貢献度(20%) ムが未提出の場合はる	で評価する。60点の 参加貢献度,フォー	未満の場合は、再試 ムの内容ともに減点	験を行います。 となります。回答を	:忘れないよう心掛
4	毎週の持	受業資料を元に予習	・復習に努めてくだる	さい(1回につき1~	・2時間)。予習復習の が得られるよう気持				
12 17	果題(診	⊀験・レポート等)↓	に対するフィードバ	ックの方法					
ļī	惑想・貿	質問フォーム、筆記話	試験に関して希望者に	こは随時フィードバ	ジックします。				
1827	教科書								
f	乍業療法	号と作業療法 山根 長評価学 第3版 能 己布プリント	寛 著 三輪書店 登 真一 編 医学	書院					
1 N	参考図書	₽							
¥	青神疾患	息の理解と精神科作美	業療法 第3版 堀田	英樹 編著 中央社	去規出版				
ĺ	備考 : 履	髪修者への要望							
ž	去士にた	こるためだけでなく,	自分自身の考え方。	や感じ方に気づくき	化がわかりづらいも っかけになります。 ずつ知っていこうと			□識を得ることや考;	えることは,作業療

毎回感想や質問を伺います。1つの物事に対して、様々な視点を持って考えられるよう5W1Hで考えていく練習をしてください。

ł	授業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ų	発達障害作業評価学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
ł	担当教員名							
,	小山 隆幸							
	実務経験のある教員							
,	小山 隆幸:発達障害領域で 変化についてや	ご勤務経験のある作業 P、運動機能、感覚機				発達段階の		
ł	授業概要							
1	発達障害領域における作業 します。本講義では、運動 性について学びます。さら	機能、感覚機能、心理	理・社会機能それぞ	れの発達段階の変化	心について学びます。	いて、感覚運動側 また、運動機能、愿	面、知覚・認知的側i 就覚機能、心理・社会	面から知る事を目指 会機能の相互の関係
-	学習到達目標	ついて理解し、発達阿		評価について甘土的	声荷た 説明 べたて (DD1)		
知識	 · 理解 ② 運動機能 威賞権 	ういて理解し、発達陣 幾能、上肢機能、ADL がどのように獲得され	コミュニケーショ	いした力の発達的評価	而治療的見方について			
	・判断 表現 ④機能がどのよう(こ獲得され、発達して	ていくか分析評価で	きる(DP6))				
技	5 『発達障害作業》	治療学実習』で関わる	るお子さん達と楽し	く積極的にかかわる	技能を習得できる(DP5、DP6)		
目日う	±							
関心 ・魚	・ 息 欲 態度 ⑥ 『発達障害作業注	怡療学実習』で関わる	るお子さん達と楽し	く積極的にかかわる	態度を身につけるこ	とができる(DP5、D	DP6)	
• 1		治療学実習』で関わる	るお子さん達と楽し	く積極的にかかわる	態度を身につけるこ	とができる(DP5、E	DP6)	
• f	態度 ^{① 『光達障杏作来}	台療学実習』で関わる			態度を身につけるこ	とができる(DP5、[996)	
• fl	 態度 ① 『元達障害TF来4 授業形態 読義 スライド及びオー: 	プンな教育リソースを	を活用した講義を中		態度を身につけるこ		9P6)	
• f	態度 ^{① 『光達障杏作来}		を活用した講義を中	心とする。		とができる(DP5、E 授業内容	9P6)	
• fl	 態度 ① 『元達障害TF来4 授業形態 読義 スライド及びオー: 	プンな教育リソースを 授業う	を活用した講義を中	心とする。 授 業 計		授業内容		を学ぶ。P1~
• 煎 打 講 回数	 態度 ① ① ① 光達障害TF来(授業形態 読載 スライド及びオー: 担当教員 	プンな教育リソースを 授業ラ 発達障害計	を活用した講義を中 テーマ	心とする。 授業計 本講義の概要につい	画	授業内容 項域の作業療法評価(こついて基本的事項	
• 創 引 回数 1	 態度 ① 『光達障害TF来4 授業形態 議 スライド及びオー: 担当教員 小山 	 プンな教育リソースを 授業う 発達障害計 発達障害計 	ど活用した講義を中 「 テーマ 平価学とは ■	心とする。 授業計 本講義の概要につい	画	授業内容 項域の作業療法評価(こついて基本的事項	
• f	 態度 ◎ 『光達障害TF来/ 授業形態 「義 スライド及びオー: 担当教員 小山 小山 	 プンな教育リソースを 授業う 発達障害書 発達障害書 税達障害書 	を活用した講義を中 テーマ 平価学とは 平価学とは	 心とする。 授業計 本講義の概要につい 本講義の概要につい 和講義の概要につい 	画	授業内容 貫域の作業療法評価は 貫域の作業療法評価は	こついて基本的事項	
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 態度 ① 『光達障害TF来4 授業形態 議 スライド及びオー: 	 アンな教育リソースを 授業5 発達障害書 発達障害書 発達障害書 粗大運動構 粗大運動構 	を活用した講義を中 テーマ 平価学とは 平価学とは 機能の発達	 心とする。 授業計 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 各疾患別に粗大運動 	画 いて理解し発達障害領 いて理解し発達障害領 学ぶ。P39~	授業内容	こついて基本的事項	を学ぶ。P13~
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 態度 ① 『光達障害TF来4 授業形態 「読載 スライド及びオー: 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 	 プンな教育リソースを 授業5 発達障害ま 発達障害ま 税注運動相 粗大運動相 観大運動相 	を活用した講義を中・ テーマ 平価学とは 平価学とは 機能の発達 機能の発達	 ・とする。 ・ 授業計 ・ ・ ・	画 いて理解し発達障害領	授業内容	こついて基本的事項 こついて基本的事項 れるかについて学ぶ	を学ぶ。P13~
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 態度 ⁽¹⁾ 『光達障害TF来4 授業形態 議 スライド及びオー: 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 小山 	 プンな教育リソースを 授業ラ 発達障害書 発達障害書 発達障害書 粗大運動構 粗大運動構 感覚機能 	 を活用した講義を中、 テーマ 平価学とは 平価学とは 機能の発達 機能の発達 もの発達 	 心とする。 授業計 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 	<u>画</u> いて理解し発達障害領 いて理解し発達障害領 学ぶ。P39~ 動に着目して評価法 づき感覚機能がどう。	授業内容	こついて基本的事項 こついて基本的事項 れるかについて学ぶ 法を学ぶ。P63~	を学ぶ。P13~
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 態度 ① 『光達障害TF来4 授業形態 「 「 12当教員 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 	 プンな教育リソースを 授業5 発達障害書 発達障害書 発達障害書 相大運動材 粗大運動材 感覚機前 上肢機前 	を活用した講義を中 テーマ 平価学とは 平価学とは 機能の発達 後能の発達 もの発達 もの発達	 心とする。 授業計 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい を疾患別に粗大運動 各疾患別に粗大運動 上肢機能がどのよく 	<u></u> 画 いて理解し発達障害領 いて理解し発達障害領 学ぶ。P39~ 動に着目して評価法系 づき感覚機能がどう。 動理論に基づき感覚核	授業内容	こついて基本的事項 こついて基本的事項 れるかについて学ぶ 法を学ぶ。P63~ て学ぶ。P53~	を学ぶ。P13~
· 前 前 前 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	 態度 ① 『光速障害TF来4 授業形態 12当教員 小山 	プンな教育リソースを 授業5 発達障害言 発達障害言 相大運動材 相大運動材 個大運動材 点、酸覚機前 上肢機前	 と活用した講義を中 テーマ 平価学とは 平価学とは 機能の発達 機能の発達 もの発達 もの発達 もの発達 	 心とする。 授業計 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要につい 私講義の概要につい 本講義の概要につい 本講義の概要にしい 本講義の概要に 本講義の概要に 本議員の概要に 本議員の概要に<!--</td--><td>画 いて理解し発達障害領 いて理解し発達障害領 学ぶ。P39~ 動に着目して評価法る づき感覚機能がどう。 動理論に基づき感覚権 うに獲得され、発達日</td><td>授業内容</td><td>こついて基本的事項 こついて基本的事項 れるかについて学ぶ 法を学ぶ。P63~ て学ぶ。P53~</td><td>を学ぶ。P13~ 。P52~</td>	画 いて理解し発達障害領 いて理解し発達障害領 学ぶ。P39~ 動に着目して評価法る づき感覚機能がどう。 動理論に基づき感覚権 うに獲得され、発達日	授業内容	こついて基本的事項 こついて基本的事項 れるかについて学ぶ 法を学ぶ。P63~ て学ぶ。P53~	を学ぶ。P13~ 。P52~

	小山	口腔機能	毛の発達	口腔機能がどのよう	に獲得され、発達	していくのかについて	〔学ぶ。P57~		
	小山	口腔機能	毛の発達	各疾患別に口腔機能	の発達着目して評	価法を学ぶ。P63~			
	小山	心理・社会	機能の発達	心理・社会機能の相	互関係について学	ぶ。P29~			
	小山	心理・社会機能の発達		各疾患別に心理・社	会機能に着目して	評価法を学ぶ。P63~			
	小山	評伯	玷法	評価法について学ぶ。P63~					
	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標	
平価と	筆記	試験	٠	•			80	1234	
連	小テ	スト	•	•			10	1234	
	参加貢	貢献度			•	•	10	56	
事項 準備学習](予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間				さい。 (約15分~)		
課題(討	、験・レポート等) (に対するフィードバ	ックの方法						
解答例を	*提示する。講義時(こ、学生からの回答る	をGoogle Formsで回	回収し、適宜講義の時	に回答する。				
教科書									
「イラス	、トでわかる発達障等	書の作業療法」上杉猪	淮之監 辛島千恵子	-編 医歯薬出版					
参考図書	4- 								
必要に応	ぶじて参考書を提示 Ⅰ	します。							
備考:履	賃修者への要望								
溝義を通	らして、障がい児の が	動作や作業方法をイン	メージできる事が重	喜要になります。評価	の観察するポイン	トや症状の特徴を理解	!できるようにしま!	しょう。	
	目標 画事 推 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	小山 雪 評価方法 軍 第一 第二 「小丁 「「「「一」」」」」」」 「「「「」」」」」」」 「「」」」」」 「「」」」」」 「「」」」」」」 「「」」」」」」」」 「「」」」」」」」 「「」」」」」 「「」」」」」」」 「「」」」」」 「「」」」」」」」」 「「」」」」」」」」」」 「「」」」」」」」」」」」」	小山 口腔機能 小山 心理・社会 小山 心理・社会 小山 正理・社会 小山 第個 電信 第二該験 事項 「単価方法 事 参加貢献度 「小戸スト 参加貢献度 「小戸スト 参加貢献度 「小戸スト 参加貢献度 事項 筆記試験成績が6割以下のものは再試験 準備学習 (予習・復習等)の具体的な内容及びその 第二 「人間発達学』の内容を復習して下お 解題(試験・レボート等)に対するフィードバッ 解答例を提示する。講義時に、学生からの回答 「イラストでわかる発達障害の作業療法」上杉羽 参考図書 公要に応じて参考書を提示します。 講者: 履修者への要望	小山 口腔機能の発達 小山 心理・社会機能の発達 小山 心理・社会機能の発達 小山 正理・社会機能の発達 小山 正理・社会機能の発達 小山 正理・社会機能の発達 小山 正理・社会機能の発達 小山 評価支援 第価支援 第価支援 第価支援 第価支援 第価支援 第価支援 第価支援 9 第二 8 第二 8 第二 8 第二 9 第二	小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社 小山 評価方法 評価法について学ぶ 小山 評価法 評価法について学ぶ 小山 評価方法 知識・理解 思考・判断・表現 第価方法 第価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 第価方法 第価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 第価方法 第価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 第価方法 第価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 第価方法 第二 ● ● 第一 第一 ● ● 第二 第二 ● ● 第二 第二 ● ● 第二 参加貢献度 ● ● 第二 参加貢献度 ● ● 第二 参加貢献度 ● ● 第二 ● ● ● 第二 ● ● ● 第二 ● ● ● <t< td=""><td>小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能の発達者目して評 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 心理・社会機能について学 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して 小山 評価法 評価法 評価法 小山 評価法 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 ア価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 第価法 評価法 ア価法 ア価法 「小山 評価法 評価法 ア価法 第価法 第価法 アー ● 第回数 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● <!--</td--><td>小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能の発達着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の和互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 必理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 評価方 評価方 小山 評価方 評価の観点 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 ● ● 第価 ● ● ● 第価 ● ● ● 第価 第点検索 ● ● ● 第二 単品のおのに含め、自然 ● ● ● ● 第二 単品のおのためた内容を夜習して下もいっためたの目答をの目していためたた内容との問題を包含のになどの時期 第二 単生からの回答を公認したびっクの方法</td><td>小山 口院機能の発達 各先島別に口院機能の発達等目して評価法を学ぶ、P63- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の相互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 必理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価 「「「」」 評価法 「「」」 「「」」 評価法 「」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」」 「「」」 「」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 <!--</td--></td></td></t<>	小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能の発達者目して評 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の発達 心理・社会機能について学 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して 小山 評価法 評価法 評価法 小山 評価法 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法について学ぶ。P63~ 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 ア価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 小山 評価法 評価法 ア価法 第価法 評価法 ア価法 ア価法 「小山 評価法 評価法 ア価法 第価法 第価法 アー ● 第回数 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● </td <td>小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能の発達着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の和互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 必理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 評価方 評価方 小山 評価方 評価の観点 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 ● ● 第価 ● ● ● 第価 ● ● ● 第価 第点検索 ● ● ● 第二 単品のおのに含め、自然 ● ● ● ● 第二 単品のおのためた内容を夜習して下もいっためたの目答をの目していためたた内容との問題を包含のになどの時期 第二 単生からの回答を公認したびっクの方法</td> <td>小山 口院機能の発達 各先島別に口院機能の発達等目して評価法を学ぶ、P63- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の相互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 必理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価 「「「」」 評価法 「「」」 「「」」 評価法 「」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」」 「「」」 「」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 <!--</td--></td>	小山 口腔機能の発達 各疾患別に口腔機能の発達着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の和互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 必理・社会機能の発達 各疾患別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、PG3- 小山 評価方 評価方 小山 評価方 評価の観点 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 単価法について学ぶ、P63- 第価法 ● ● 第価 ● ● ● 第価 ● ● ● 第価 第点検索 ● ● ● 第二 単品のおのに含め、自然 ● ● ● ● 第二 単品のおのためた内容を夜習して下もいっためたの目答をの目していためたた内容との問題を包含のになどの時期 第二 単生からの回答を公認したびっクの方法	小山 口院機能の発達 各先島別に口院機能の発達等目して評価法を学ぶ、P63- 小山 心理・社会機能の発達 心理・社会機能の相互関係について学ぶ、P29- 小山 心理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 必理・社会機能の発達 各先島別に心理・社会機能に着目して評価法を学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 評価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価法について学ぶ、P63- 小山 評価法 加減・差解 単価方法 評価法 第価 「「「」」 評価法 「「」」 「「」」 評価法 「」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 評価法 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」 「「」」 「」」」 「」」」」 「「」」 「」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 「」」」 「「」」 「」」」」」 </td	

	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ŕ	乍業療法研究法			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
打	旦当教員名							
	著渡 洋史、横山 剛、加藤	真夕美、渡邊 豊明、	清水 一輝、松田	裕美、外倉 由之、	田中 雅章			
Ŧ	6伤柱駅のめる教員							
	竇渡 洋史,横山 剛,加藤 真 以上の教員は、医療機関やネ							
拷	受業概要							
ŶŔ	塩床・研究・教育は三位一位	本を成すものである。	疑問から始まり研	究を実施できる基本	的な知識を習得する	00		
冶士	学習到達目標							
知識・	 ①研究の流れを理角 ②研究計画書を理角 ③統計処理の基礎を 	军する(DP1)						
思考・		と知り、興味ある文南 記計画へ反映させるこ		できる(DP3)				
技	能							
関心・ ・ 能	意欲 食度 ⑥研究倫理と管理の)責任を理解すること	こができる(D1・D3)					
挖	受業形態							
誹惑	義 プリント、テキスト	、、スライドにて講身	遠形式をとります。					
				授業計	画			
回数	担当教員	授業ラ			囲			
1					Ш	授業内容		
	廣渡	क्म		研究の意義、研究者				
2	廣渡廣	研作業療法	究			羊が。		
2			完 たと研究	医学モデルと今後0	ぎの心構えについて≦	芊ぶ。 れについて学ぶ。		
	廣渡	作業療法	究 まと研究 研究の様式	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、	者の心構えについて ^会 り作業療法研究の流れ	さぶ。 いについて学ぶ。 う類を理解する。	作成方法を知る。	
3	廣渡廣	作業療法 研究疑問と	究 去と研究 研究の様式 つ流れ	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、 研究疑問の設定と5	者の心構えについて う作業療法研究の流れ また、研究様式の分	≠ぶ。 いについて学ぶ。 →類を理解する。 を学び、研究計画の付		
3	廣渡廣渡	作業療法 研究疑問と 研究の	究 まと研究 研究の様式 D流れ まと管理	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、 研究疑問の設定とす 倫理的意義と責任を	者の心構えについてき の作業療法研究の流れ また、研究様式の分 な献レビューの概要を	よぶ。 いについて学ぶ。 う類を理解する。 と学び、研究計画の と学ぶ。倫理申請の	手順を学ぶ。	
3 4 5	廣渡 廣渡 廣渡 廣渡	作業療法 研究疑問と 研究の 研究倫理	究 まと研究 研究の様式 D流れ 星と管理 気の方法	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、 研究疑問の設定とう 倫理的意義と責任を 図書館にて文献デー	者の心構えについてき の心構えについてき の作業療法研究の流れ また、研究様式の分 また、研究様式の分 な献レビューの概要そ と学び、管理的義務者 ータベースの使い方を の調査・実験的研究(キぶ。 いについて学ぶ。 う類を理解する。 を学び、研究計画の付 を学ぶ。倫理申請の を知り、実際に検索:	手順を学ぶ。	論文の書式・手引
3 4 5 6	廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡	作業療法 研究疑問と 研究倫理 文献検索	究 去と研究 研究の様式 D流れ 星と管理 素の方法 実験的研究	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、 研究疑問の設定とう 倫理的意義と責任を 図書館にて文献デー 過去の卒業論文より きを確認し作成方法 健康診断で用いられ	音の心構えについてき の作業療法研究の流れ また、研究様式の分 な献レビューの概要を と学び、管理的義務を -タベースの使い方を の調査・実験的研究に なる基準値・正常値 に	 よぶ。 れについて学ぶ。 う類を理解する。 と学び、研究計画の(と学ぶ。倫理申請の: と知り、実際に検索: こおける分類、手順、 よどの様にして決め) 	手順を学ぶ。 を体験する。	うか。根拠につい
3 4 5 6 7	廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡	作業療法 研究疑問と 研究の 研究倫理 文献検索 調査研究・	究 まと研究 研究の様式 つ流れ 星と管理 気の方法 実験的研究 常値の根拠	医学モデルと今後の 研究疑問とは何か、 研究疑問の設定とう 倫理的意義と責任る 図書館にて文献デー 過去の卒業論文より きを確認し作成方法 健康診断で用いられ て解説する。また、	音の心構えについてき の作業療法研究の流れ また、研究様式の分 な献レビューの概要を と学び、管理的義務を -タベースの使い方を の調査・実験的研究に なる基準値・正常値 に	 よぶ。 れについて学ぶ。 う類を理解する。 を学び、研究計画の を学ぶ。倫理申請の を知り、実際に検索: と知り、実際に検索: こおける分類、手順、 よどの様にして決め。 てほしい統計技術の: 	手順を学ぶ。 を体験する。 、方法を学び、卒業 られているのであろ	うか。根拠につい

11		田中	箱ひ	げ図	母集団の分布を表現	する箱ひげ図につ	いて解説し、PCを使っ	ってグラフ作成と栲	定を行う。
12		田中	介入効果を	:評価する	相関係数を理解し、	介入効果を評価す	る方法を実践する。		
13		・横山・加藤・渡 青水・松田・外倉	教員研究	E紹介①	廣渡・横山・加藤・	渡邊・清水・松田	・外倉の研究紹介とす	ff究手法および検対	三方法の説明
14		・横山・加藤・渡 青水・松田・外倉	教員研究	昭介②	廣渡・横山・加藤・	渡邊・清水・松田	・外倉の研究紹介とす	肝究手法および検対	三方法の説明
15	廣渡・横山・加藤・渡 教員研究紹介③ 邊・清水・松田・外倉 評価の観点 知識・理解			光紹介③	廣渡・横山・加藤・	渡邊・清水・松田	・外倉の研究紹介と破	肝究手法および検対	三方法の説明
	点別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標
到達目	評価と 目標の 連	レポー	ト提出物	•	•		•	70	123456
104		参加貢	貢献度	٠	•		•	30	123456
Ž	(予習)	図書館で気になる調	の具体的な内容及び、 論文を確認しておい、 ついて先行文献におい	てください。約1時					
			こ対するフィードバ						
			ているので事前に連続		けることができる。				
147 147	教科書								
ù	適宜プリ	リントを配布する。							
The second se	参考図書	<u>+</u>							
	「はじめ	うての研究法 - コ・	メディカルの研究法	、入門 」千住秀明	神陵文庫 2003				
ĺ	備考:履	賃修者への要望							
n E	はじめか 主担当:	→ら研究に対して苦= 廣渡洋史	手意識を持たず、楽	しく研究ができるた	めに基本を学びまし	よう。			

ŧ	受業科目名		専攻 配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) 総時間数					
ŕ	乍業治療学理論			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	15時間
担	旦当教員名						I	
ŶĨ	青水 一輝							
Ę	実務経験のある教員							
ŶĨ	青水一輝:作業療法士とし、	て勤務し、身体障害	領域・老年期障害領	領域の作業療法の経験	を有する教員が、作	■業療法理論の概要に	こついて講義する	
Ŕ	受業概要							
ŗ,	▶科目では、作業療法実践∂ フェルビーイング・人権等。 ついて理解する。作業療法6	との関係性、作業行	動理論及び作業科学	について学修する。	また人の作業プロフ			
利力	学習到達目標							
知識・	理解 ①作業科学,人間作	「業モデル,カナダイ	乍業遂行モデルにつ	いて、その特徴や見	方を述べることがで	きる。 (DP1)		
思考・	3理論と作業療法の	る、理論の必要性と かっ実践とのつながり 非について、学んだり	こついて説明できる		ができる。(DP2)			
技	能							
関心・ ・ 態	意欲 ⑤グループワークに ミ皮	こおいて、自らの役割	創を果たし協調する	ことができる。(DP	5)			
ŧ	受業形態							
講	義 講義に加えてグルー	-プワークを実施し、	プレゼンテーショ	ンや意見交換を通じ	てアクティブラーニ	ングを行う.		
			_	授業計	画			
回数	担当教員	授業	7-7			授業内容		
1	清水	作業療法の	理論の概観	作業療法の理論の権	構成およびその内容 (こついて学ぶ。(第1	1、3章)	
2~3	清水	人間作業	業モデル	人間作業モデルを言 行う準備をする。	さぶ。(第2章)グル	ープで理論を選択し	て、その内容につい	ヽて理解し、報告を
4~5	清水	カナダ作業	遂行モデル	作業療法理論、実践 し、報告を行う準備	桟モデルを学ぶ。(∮ 着をする。	育2章)グループで 理	■論を選択して、そ0	の内容について理解
6~7	清水	作業	科学	作業療法理論、実践 し、報告を行う準備	戋モデルを学ぶ。(創 着をする。	 育2章) グループで理	 論を選択して、そ <i>0</i>)内容について理解
8	清水	発表と	まとめ	各理論をグループ領 授業全体の総括	手に発表する			

	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標
観点別 成績評価と	筆記試験	•	•			30	14
到達目標の 関連	発表		•		•	20	235
	レポート	•	•			50	1234
評価の 特記事項	再試験は筆記試験・発表・レポートの行	合計点が6割に満たな	い場合実施する。				
準備学習	習(予習・復習等)の具体的な内容及び	それに必要な時間					
時間)	ស科書の該当箇所をよく読み理解を深め ₹業の内容を復習し、グループ報告の後					べて次回の講義に参加	加して下さい。(2
課題(討	【験・レポート等)に対するフィードバ	ックの方法					
グルーフ	*学習の報告については講義の中でフィ	ードバックします。	筆記試験は、希望者	に開示します。			
教科書							
「5W1Hで	わかりやすく学べる 作業療法理論の	教科書」小川真寛・	他編、メジカルビュ	一社			
参考図書	4- 						
Gary Kie	^{ズスタウンゼント, ヘレンポラタイコ編 elhofner 編著山田 孝 監:人間作業モ み:「作業」って何だろう 作業科学}	デル理論と応用 引	女訂第5版 協同医書	通しての健康と公正 出版社	三 続・作業療法の祷	見点 大学教育出版	
備考:履	夏修者への要望						
作業療法	の枠組みを理論的にしっかりと学び、	作業の効果的な介入	計画と実施、そして	説明ができる作業療	≹法士を目指しましょ	: ð.	

ž	受業科目名		Ę	専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
f	羊業療法治療学実習			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
打	旦当教員名							
	度邊 豊明、廣渡 洋史、加阔	藤 真夕美、外倉 由7	之、横山 剛、松田	裕美				
19	ミ務経験のある教員							
	変邊 豊明、加藤 真夕美、 ミ習の講義を実施する.	青水 一輝、横山 剛、	、松田 裕美、廣渡	洋史、外倉 由之:.	以上の教員は、医療	施設等で作業療法を	実践した経験を有し	、作業療法治療学
ŧ	受業概要							
左	▶業療法では、患者の障害 本科目では、3年次の臨床 ▶次の臨床実習に必要な能が ▶習到達目標	実習に向け、客観的]臨床能力試験(OS					『し、実習を通して3
	子首判達日標							
知識・	理解 ①「療法士面接・/	ヾイタルチェック・ 服	建反射・関節可動域	、測定・徒手筋力検査	」を実施する際の目	標と必要なポイント	を述べることができ	きる。(DP1)
思考・		バイタルチェック・ 服	建反射・関節可動域	測定・徒手筋力検査	」において臨床で求	められる評価項目と	採点基準を説明でき	きる。 (DP5)
技	能 ③「療法士面接・ノ	ヾイタルチェック・ 服	達反射・関節可動域	〕測定・徒手筋力検査	」を適切に実施でき	る。 (DP5)		
関心・ ・ 創	意欲 渡 ④臨床で必要とされ	1る「知識・技能・ 1	態度」に対する自身	の能力を知ることに	より、実習までの学	習計画を立て、実施	し始める。 (DP2)	
ž	受業形態							
実		^や グループディスカッ	ッションなどのアク	ティブ・ラーニング	にて授業を進める。			
実	習 講義及び実技練習る			ティブ・ラーニング 授業計	にて授業を進める。 画	147 We etc atra		
		授業う		授業計	画	授業内容		
実	習 講義及び実技練習る	授業ラ オリエンラ		授 業 計		と学習する。		
実回数	習 講義及び実技練習。 担当教員	授業5 オリエン5 臨床実	テーマ	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習Ⅲ・Ⅳを(画	と学習する。 習の体験談を聞く。	 する。	
実 回数 1	 習 講義及び実技練習^え 担当教員 渡邊 	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック	テーマ テーション 習とは	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習III・IVを付 目標の確認・ポイン	画	と学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解-		
実 回数 1 2	 習 講義及び実技練習名 担当教員 渡邊 渡邊・外倉 	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック バイタルチェック	テーマ テーション 習とは 7・腱反射 説明	授業計 客観的臨床技能試験 臨床実習III・IVを付 目標の確認・ポイン パイタルチェック	画	と学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解 示い、フィードバッ:	クを受ける。	
実 回数 1 2 3	 習 講義及び実技練習⁵ 担当教員 渡邊 液邊・外倉 渡邊・外倉 	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック バイタルチェック	テーマ テーション 習とは 7・腱反射 説明 7・腱反射 演習 測定 説明	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習III・IVを付 目標の確認・ポイン パイタルチェック 目標の確認・ポイン	画	と学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解 行い、フィードバック 目と採点基準を理解	クを受ける。	
実 回数 1 2 3 4	 習 講義及び実技練習。 担当教員 渡邊 渡邊・外倉 渡邊・小倉 渡邊・加藤 	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック パイタルチェック 関節可動域	テーマ マーション 習とは ケ・腱反射 説明 ア・腱反射 演習 測定 説明 測定 演習	授業計 客観的臨床技能試調 臨床実習Ⅲ・Ⅳを付け 目標の確認・ポイン パイタルチェック 目標の確認・ポイン 関節可動域測定を含く	画	注学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解 示い、フィードバッ: 目と採点基準を理解 ードバックを受ける。	クを受ける。 する。	
実 回数 1 2 3 4 5	 習 講義及び実技練習 担当教員 渡邊 液邊・外倉 渡邊・外倉 渡邊・加藤 渡邊・加藤 	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック パイタルチェック 関節可動域 関節可動域	テーマ ア・腱反射 説明 ア・腱反射 説明 ア・腱反射 演習 測定 説明 測定 演習 食査 説明	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習III・IVを付け 目標の確認・ポイン バイタルチェック 目標の確認・ポイン 関節可動域測定を当 目標の確認・ポイン	画	 注学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解* 「い、フィードバッ: 目と採点基準を理解* -ドバックを受ける。 目と採点基準を理解* 	クを受ける。 する。	
実 回数 1 2 3 4 5 6	習 講義及び実技練習 担当教員 渡邊・外倉 渡邊・外倉 渡邊・小康 渡邊・加藤 渡邊・加藤	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック バイタルチェック 関節可動域 提手筋力権	テーマ テーマ ア・腱反射 説明 ア・腱反射 演習 測定 説明 測定 演習 資査 説明 資査 演習	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習III・IVを付 目標の確認・ポイン バイタルチェック 目標の確認・ポイン 関節可動域測定を空く 目標の確認・ポイン 検手筋力検査を学く 目標の確認・ポイン	 画 	と学習する。 習の体験談を聞く。 目と採点基準を理解 示い、フィードバック 目と採点基準を理解 ードバックを受ける。 目と採点基準を理解 ベバックを受ける。 目と採点基準を理解	する。	
実 回数 1 2 3 4 5 6 7	習 講義及び実技練習 担当教員 渡邊・外倉 渡邊・外倉 渡邊・小倉 渡邊・加藤 渡邊・加藤 渡邊・加藤 渡邊・加藤	授業ラ オリエンラ 臨床実 バイタルチェック バイタルチェック 関節可動域 関節可動域 徒手筋力権 徒手筋力権	テーマ	授業計 客観的臨床技能試覧 臨床実習III・IVを付 目標の確認・ポイン バイタルチェック 目標の確認・ポイン 関節可動域測定を含 目標の確認・ポイン 境手筋力検査を学生 説明・演習目標の確認・ポイン	画 (0SCE) の考え方 な 軟した3年生から実 、トの説明・評価項目 ・腱反射を学生間で 、トの説明・評価項目 学生間で行い、フィー 、トの説明・評価項目 と間で行い、フィー 、フィー	と学習する。 習の体験談を聞く。 引と採点基準を理解 示い、フィードバッ: 引と採点基準を理解 ードバックを受ける。 引と採点基準を理解 ベバックを受ける。 引と採点基準を理解 ベバックを受ける。 引・評価項目と採点。	クを受ける。 する。 する。	

11		渡邊・外倉	脳卒中麻痺側運	動機能評価説明	目標の確認・ポイン	トの説明・評価項	頁目と採点基準を理解 す	する。		
12		渡邊・外倉	脳卒中麻痺側運動	动機能評価 演習	脳卒中麻痺側運動機能評価を学生間で行い、フィードバックを受ける。					
13		渡邊	度邊 実技練習①		実技練習を行う					
14		渡邊	実技練	東習②	実技練習を行う					
15		渡邊	総	括	総括を行う 					
観点		別 評価方法 評価の観点 知識・理解			思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標	
成績 到達	目標の	実技	試験	•	•	•	•	85	1~4	
(X).	Æ	参加這	貢献度				•	15	4)	
	事 頃 (予習)	 (OSCEのみ担当) 消 (予習・復習等) の 実技項目に関して、 	の具体的な内容及びな	それに必要な時間 を確認し、この授業	に臨むようにしてく	ださい。(約1~2	2時間)			
當成	果題(診	は験・レポート等) /	こ対するフィードバ	ックの方法						
飣			その都度フィード 分を補強してください		。実技試験では、模	擬患者からもフィ	ードバックしますのて	^で 、臨床で必要とされ	いる「知識・技能・	
孝	飲科書									
)SCE コミュニケーシ 清 (編集)他 金原[
Ť	参考図書	₽								
ì	窗宜紹介	↑します。								
侦	備考 :履	賃修者への要望								
臣	臨床実習	習へ向けての具体的	な準備に役立てるたと	めの授業であること	を理解し、取り組ん	でください。				

ł	受業科目名		卓	 政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数		
ŕ	身体障害作業治療学 I			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間		
4	担当教員名									
月	廣渡 洋史									
\$1X	実務経験のある教員									
Ē	廣渡 洋史 : 医療機関で作業 評価法・作業療法アプローラ									
	受業概要									
10	本講義では、身体障害領域 整形外科疾患の作業療法は、 去アプローチを学ぶ。									
P.	学習到達目標									
知識		章害像を説明できる。 こうえで、必要な評価		とができる。(DP1)						
	・判断 ^{長現} ③各疾患における作	「業療法アプローチに	こついて討議できる	。 (DP1)						
技	能									
	• 意欲 態度									
ł	受業形態									
詩	義 講義は、教科書とプ	リント配布物で行う	o							
回数	担当教員	授業ラ	F	授業計	画	授業内容				
1	廣渡		テーション	本科目の進め方 骨折に関する基礎知	印識(病態、修復方法		症) について学習す	3		
2	廣渡	骨折②:骨折例は	こ対する作業療法	骨修復後の作業療法	忠の展開(評価とア フ	プローチ)を学習す	る			
3	廣渡	骨折③:骨折例に	こ対する作業療法	骨修復後の作業療法	去の展開 (評価とアン	プローチ)を学習す	3			
4	廣渡	末梢神経損傷:疾! 作業病		末梢神経損傷に関す	トる基礎知識と症例に	こ対する作業療法の	展開について学習す	3		
5	廣渡	末梢神経損傷:疾! 作業病	患の特徴と障害像、 寮法②	末梢神経損傷に関す	トる基礎知識と症例に	こ対する作業療法の)	展開について学習す	3		
6	廣渡	手外	科①	屈筋腱損傷に関する	る基礎知識と症例に対	対する作業療法の展	開について学習する			
7	廣渡	手外	科②	屈筋腱損傷に関する	る基礎知識と症例に対	対する作業療法の展	開について学習する			
8	廣渡	手外	科3	伸筋腱損傷に関する	る基礎知識と症例に対	対する作業療法の展	開について学習する			
9	廣渡	手外	科④	伸筋腱損傷に関する基礎知識と症例に対する作業療法の展開について学習する						
10	廣渡	手外	科⑤	CRPSの発生機序とそ	その治療について学習	習する : 配布資料				

11		廣渡	熱傷:疾患の特徴と	: 障害像、作業療法	熱傷に関する基礎知	識と症例に対する	作業療法の展開につい	いて学習する		
12		廣渡	脊髄損傷①:疾患	息の特徴と障害像	脊髄損傷に関する基礎知識(病態、治療法、合併症)について学習する					
13		廣渡	脊髄損傷②:脊髄損 療		脊髄損傷症例に対す	る作業療法の展開](評価とアプローチ)	を学習する		
14		廣渡	関節リウマチ及び関 徴と障害像		関節リウマチ及び関	連疾患に関する基	礎知識と症例に対する	る作業療法の展開に	ついて学習する	
15		廣渡	切	断	切断の原因、種類と	その概要(資料酯	!布)			
観点		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標	
成績評 到達目 関	目標の	筆記	記験	٠	•			80	123	
123	~	小デ	スト	•	•			20	123	
imin. Imin.	事前学習 事後学習	 :講義のテーマの :講義後は、復習 	の具体的な内容及び 該当箇所の予習(1時 箇所の復習(1時間) に対するフィードバ	間)						
2	小テスト	は授業で返却する。	筆記試験は研究室に	こ保管しているので	事前に連絡の上、内	容を確認すること	ができる。			
##	教科書									
枹	票準作業	療法学 専門分野	身体機能作業療法	学 第4版 山口昇伯	也編集医学書院					
Ť	参考図書	à								
	「標準作	業療法学 専門分!	野 作業療法評価学」	第3版 能登真一個	也編集 医学書院	2017年				
倞	備考 :履	修者への要望								
E	臨床実習	や国家試験に関連	することが多い疾患	です。疾患ごとに特	徴がありますので理	解を深めることが	できるよう努力してく	ださい。		

技	受業科目名			萆	 政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
jij	身体障害作美	送治療学Ⅱ			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
打	旦当教員名								
ü	度邊 豊明								
3	実務経験のな	ある教員							
	度邊豊明:日 て講義する	医療機関、通所	リハビリテーション	事業所において作業	療法士として勤務し	、身体障害領域の作	■業療法の経験を有す	トる教員が、身体障	害の作業療法につい
挖	受業概要								
No			管障害、外傷性脳損 作業療法対象疾患に~						めに最低限必要とな
犯节	学習到達目樹	英							
知識・	・理解 ②服 ③服 ③福 ⑤神 ⑦神 ⑦神	4血管障害の評価 4血管障害におけ 4血管障害におけ 第経筋疾患の各数 第経変性疾患の名数 第経変性疾患の名	客特性について説明で 価(脳画像の読み取り する介入の基本につい た患の障害特性につい た患に対する介入の書 条疾患の障害特性につ 各疾患に対する介入の 重傷の障害特性と介フ) 方や検査測定の方 いて説明できる(DP1 いて説明できる(DP1 基本を説明できる(D ついて説明できる(D ついて説明できるる))) P1) P1) (DP1)	きる(DP1)			
思考・ ・表	・判断 長現								
技	能 ⑨橕	擬事例に対する	3評価、介入計画をゴ	立案できる(DP1,2,5)				
関心・ ・態	・意欲 ¹ 0譚	議の中での疑問	目を明確にし、作業務	寮法の対象となる疾	患や介入方法に対す	る理解を深めること	ができる (DP2, 5)		
Ŕ	受業形態								
講	義 主に	資料を使用して	(講義形式で実施する	る。模擬事例を通し	たグループワークを	実施する。			
		V #4 P		-	授業計	画			
回数	担	当教員	授業ラ				授業内容		
1		渡邊	脳血管障害の障	害特性について	脳血管障害の障害物	特性について学ぶ。	效科書p162−169、185	5-190	
2		渡邊	脳血管障害の	評価について	脳血管障害の評価ス	7法とその結果の解釈	沢について学習する。	,教科書p162-169	
3		渡邊	脳血管障害に	こ対する介入	脳血管障害の評価約	告果から介入プログ ⁵	ラムの立案について	学習する。科書p169	-184
4		渡邊	神経筋疾患の障	害特性について	多発性硬化症、ギミ 科書p336-350	ランバレー症候群、	重症筋無力症の障害	特性とその評価方法	について学ぶ。教
5		渡邊	神経筋疾患に対	する評価、介入	多発性硬化症、ギニ 教科書p336-350	ランバレー症候群、	重症筋無力症に対す	る作業療法介入の基	本について学ぶ。
6		渡邊	神経変性疾患の障	章害特性について	パーキンソン病、 教科書p352-373	脊髄小脳変性症、筋	萎縮性側索硬化症の	障害特性とその評価	方法ついて学ぶ。
7		渡邊	神経変性疾患に対	対する評価、介入	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症に対する作業療法介入の基本について 習する。教科書p352-373				
8		渡邊	内部疾患、悪性腫瘍		内部疾患、悪性腫瘍	島の障害特性とその話	平価方法について学.	<u>چ</u>	

9		渡邊	内部疾患、悪性腫瘍	島に対する評価、介 へ	内部疾患、悪性腫瘍	らに対する作業療法G	り介入の基本につい	て学ぶ。教科書p376	5-439		
10		渡邊		凶血管障害の障害像 里解	脳血管障害の模擬事	脳血管障害の模擬事例情報を元に、脳血管障害の障害像に対する理解を深める					
11		渡邊	模擬事例に対する	る評価計画の立案	模擬事例に対する評価計画の立案をグループで学ぶ						
12		渡邊	模擬事例に対する	る介入方法の検討	模擬事例に対する介	↑入計画をグループ~	で学ぶ				
13		渡邊	模擬事例に対する介入計画をグループ で学ぶ		快概事例に対する パ人計画 をクループ じ子ふ						
14		渡邊	グループ介入	入計画の共有	第10,11,12回の内容を振り返り、各グループの介入計画について共有する						
15	渡邊 まとめ			とめ	まとめ						
	点別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標		
到達	評価と 目標の	筆記	試験	•				80	12345678		
関	連	グルー	プ討議	•		•	●	20	12345678 910		
	西の 事項				、再試験を実施する。 価基準はその都度提						
i	準備学習	習(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間							
1	受業のご 模擬事例	プリント、講義のまる 列に対する評価計画、	とめノート、講義の 、統合と解釈、介入	疑問に対する自己学 計画についてレポー	習の資料(1時間程 トにまとめ提出する	度) 。(1時間程度)					
1	課題(評	试験・レポート等)に	に対するフィードバ	ックの方法							
4	筆記試覽	険は研究室に保管し~	ていますので、内容	を確認することがで	きます。						
	教科書										
4	標準作業	業療法学 専門分野	身体機能作業療法:	学 第4版 山口昇伯	也編集医学書院						
4	参考図書	ŧ.									
		療法全書第4巻 身(乍業療法学 専門分野			協同医書出版 編集 医学書院						
1	備考:凮	履修者への要望									
4	学ぶ内窄	容が多岐に渡りますの	ので講義で伝えられ	る知識は基本的な原	則にとどまります。	課題の学習などを通	自じて、十分に予習後	夏習を行い理解を深	めてください。		

授	受業科目名		吏	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ļ	身体障害作業治療学実習			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
打	旦当教員名							
\$	朴倉 由之、長井 多美子							
争	実務経験のある教員							
	ヘ倉由之:作業療法士とし ⁻ 長井 多美子∶看護師として				作業療法の介入方法	について講義する		
拷	受業概要							
彩	本科目では、身体障害領域の 駅の仕方について実習を通 学習到達目標						町の実施方法、記録	方法とその結果の解
知識・	理解 ①検査測定で必要な	€知識を理解し、説明 3ける、作業療法評値		(DP1) いて説明できる(DP	1)			
思考・	▶判断 ₹現							
技		らた業療法介入計画を		きる(DP1,3~5) に対して実施できる	(DP1~5)			
関心・ ・ 態				ことができる(DP1, ことができる(DP1,				
扬	受業形態							
実		ご簡単な講義を行い、 美療法実践の一連の∂		作り、各評価の実施	方法の確認や意見交	換を行いながら理解	を深める。	
回数								
	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容		
1	担当教員外倉		テーマ 覚検査			授業内容 C学ぶ 教科書p114-	-129、配布資料	
1		体性感		体性感覚検査の実施	面方法を実習を通して			
	外倉	体性感反射、姿勢	覚検査	体性感覚検査の実加 反射、姿勢反射検3	画方法を実習を通して 配方法を実習を通して 配の実施方法を実習る	C学ぶ 教科書p114-	書p130-150	
2	外倉 外倉	体性感反射、姿勢	覚検査 夢反射検査 島調性検査	体性感覚検査の実加 反射、姿勢反射検3 筋緊張、協調性検3	画方法を実習を通して その実施方法を実習る その実施方法を実習る	て学ぶ 教科書p114-	書p130-150 書p151-167	4-212、配布資料
2 3	外倉 外倉 外倉	体性感 反射、姿勢 筋緊張、割 脳神経検査、上肢	覚検査 夢反射検査 島調性検査	体性感覚検査の実施 反射、姿勢反射検3 筋緊張、協調性検3 脳神経検査、上肢板	画方法を実習を通して その実施方法を実習る その実施方法を実習る	C学ぶ 教科書p114- を通して学ぶ 教科 を通して学ぶ 教科 施力法を実習を通し	書p130-150 書p151-167	4-212、配布資料
2 3 4	外倉 外倉 外倉 外倉	体性感 反射、姿勢 筋緊張、制 脳神経検査、上肢 上肢機	覚検査 勢反射検査 協調性検査 支機能検査 (Brs)	体性感覚検査の実施 反射、姿勢反射検3 筋緊張、協調性検3 脳神経検査、上肢核 上肢機能検査実施力	画方法を実習を通して この実施方法を実習る この実施方法を実習る 意の実施方法を実習る 意能検査(Brs)の実 方法を実習を通してき	C学ぶ 教科書p114- を通して学ぶ 教科 を通して学ぶ 教科 施力法を実習を通し	書p130-150 書p151-167 て学ぶ 教科書p20	4-212、配布資料
2 3 4 5	外倉 外倉 外倉 外倉 外倉 外倉 外倉 外倉	体性感 反射、姿勢 筋緊張、制 脳神経検査、上肢 上肢機 事例に基づいた	覚検査 势反射検査 協調性検査 支機能検査 (Brs) 能検査	体性感覚検査の実施 反射、姿勢反射検3 筋緊張、協調性検3 脳神経検査、上肢核 上肢機能検査実施力 情報から事例の状態	画方法を実習を通して 近の実施方法を実習る 近の実施方法を実習る 能検査(Brs)の実 気法を実習を通してき えを予測し、必要な話	て学ぶ 教科書p114- と通して学ぶ 教科 を通して学ぶ 教科 施方法を実習を通し 学ぶ 配布資料	書p130-150 書p151-167 て学ぶ 教科書p20 ることができる	4-212、配布資料
2 3 4 5 6	外倉	体性感 反射、姿勢 筋緊張、推 脳神経検査、上肢 上肢機 事例に基づいた 事例に対する評	覚検査 勢反射検査 各調性検査 支機能検査 (Brs) 能検査 各種疾患の理解	体性感覚検査の実施 反射、姿勢反射検至 筋緊張、協調性検至 脳神経検査、上肢構 上肢機能検査実施力 情報から事例の状態 事例情報を整理して	画方法を実習を通して この実施方法を実習る この実施方法を実習る 能検査(Brs)の実 がたを実習を通して な たの要な評価を列挙、	ご学ぶ 教科書p114- と通して学ぶ 教科科 を通して学ぶ 教科科 施方法を実習を通し 学ぶ 配布資料 平価について整理す;	書p130-150 書p151-167 て学ぶ 教科書p20 ることができる る	4-212、配布資料
2 3 4 5 6 7	外倉 外倉	体性感 反射、姿勢 筋緊張、制 脳神経検査、上肢 上肢機 事例に基づいた 事例に対する評 評価結界	覚検査 勢反射検査 &調性検査 を機能検査(Brs) 能検査 各種疾患の理解 平価計画の立案	体性感覚検査の実加 反射、姿勢反射検3 筋緊張、協調性検3 脳神経検査、上肢構 上肢機能検査実施力 情報から事例の状態 事例情報を整理して 評価結果を記録し、	画方法を実習を通して この実施方法を実習る この実施方法を実習る 能検査(Brs)の実 がたを実習を通して な たの要な評価を列挙、		書p130-150 書p151-167 て学ぶ 教科書p20 ることができる る	4-212、配布資料

11		外倉	ケースレポー	トのまとめ①	各事例に関して評価	、結果の解釈、目	目標の立案、介入計画ま	と でをレポートにま	とめる	
12		外倉	ケースレポー	トのまとめ②	各事例に関して評価、結果の解釈、目標の立案、介入計画までをレポートにまとめる					
13		外倉	作業療法道	過程の報告	事例に関する作業療	法の一連の過程を	*報告し議論する			
14	-	長井、外倉	吸引に	ついて	吸引の方法やリスク	について				
15	:	長井、外倉	吸引0	D実践	吸引の演習を通して実践方法を学習する					
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標	
 観点 成績評 到達目 	呼価と	実技	試験	•		•		30	134	
判連日期		発	表				•	20	56	
		ポート	フォリオ	•			•	50	256	
雀	事項	 発表、ポートフォリ (予習・復習等) に該当する教科書 	割未満の成績であっ りオはループリックさ の具体的な内容及び・ を予習する。(1時間 疱できるよう復習を・	 シ用いて評価する。 それに必要な時間 程度) 	9容は各自でレポート(にまとめる。(1時	間程度)			
舗取	黒題(試	験・レポート等)に	に対するフィードバ	ックの方法						
L	~ポート	作成において必ず	担当教員の指導を受け	ける						
老	牧科書									
	「標準作	業療法学 専門分野	• 作業療法評価学」	岩崎 テル子他 編	医学書院					
麦	参考図書									
	「ベッド	サイドの神経の診;	かた」 田崎 義昭他	著 南山堂						
傓	備考:履	修者への要望								
			ハ服装で臨んでくだ けて作業療法士とし、		と学ぶ講義になります。	,自ら積極的に学	ぶ姿勢を忘れないよう	に参加してください	∩°	

ŧ	受業科目	目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
¥	青神障害	害作業治療学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	2単位	30時間
ł	81当教員	員名							
柞	黄山 剛								
19	実務経験	険のある教員							
を	を通して	て教授する。	療法士として勤務経験	験のある教員の指導	ゆのもと、精神障害に	おける各疾患、疾病	「、障害の特徴、精神	申科作業療法について	て、グループワーク
ž	受業概要	要							
ß	章害作業	業療法の意義につい~			E患の生活の障害特性 Eきにくさ」について				
1	学習到這	童目標 							
知識・	・理解		生を説明できる <dp1 養療法介入について記</dp1 		>				
思考・ ・表	・判断 長現	③障害特性から生き	きにくさを考察できる	3 <dp1></dp1>					
技	能								
関心・ ・ 創	・意欲 態度	④精神障害領域に興	興味を持つ <dp6></dp6>						
ŧ	受業形態	送.							
搭			-ク課題レポートのイ	乍成、プレゼンテー					
講			-ク課題レポートの作 授業5		ション 授業計	画	授業内容		
		講義、グループワー	授業ラ		授業計		授業内容 病と障害について学。	5°°	
講回数		講義、グループワー 担当教員	授業5 オリエン5 精神の病	テーマ	授 業 計 授業の概要説明、 間	果題の説明。精神の外 章害、人格障害、神術			それぞれのグルー
講 回数 1		講義、グループワー 担当教員 横山	授業ラ オリエンラ 精神の所 各疾患・障害に	テーマ テーション 病と障害	授業計 授業の概要説明、調 続合失調症、気分阿プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿	果題の説明。精神のヲ 章害、人格障害、神親 9 組む	房と障害について学。 圣症圏、アルコール(圣症圏、アルコール(太存症、自閉症、の ・	
講 回数 1 2~7		講義、グループワー <u>担当教員</u> 横山 横山	授業ラ オリエンラ 精神の所 各疾患・障害に	テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション	授業計 授業の概要説明、調 続合失調症、気分阿プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿	果題の説明。精神の身 章害、人格障害、神線) 組む 章害、人格障害、神線	房と障害について学。 圣症圏、アルコール(圣症圏、アルコール(太存症、自閉症、の ・	
講 回数 1 2~7 8~13 14~15	義 	講義、グループワー <u>担当教員</u> 横山 横山	授業ラ オリエンラ 精神の病 各疾患・障害は 学修成果のプレ	テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション	授業計 授業の概要説明、調 統合失調症、気分降 プワーク課題に取り 統合失調症、気分降 (社・作業療法につい)	果題の説明。精神の身 章害、人格障害、神線) 組む 章害、人格障害、神線	房と障害について学。 圣症圏、アルコール(圣症圏、アルコール(太存症、自閉症、の ・	
講 回数 1 2~7 8~13	義	講義、グループワー 担当教員 横山 横山 横山 横山	授業ラ オリエンラ 精神の新 各疾患・障害 学修成果のプレ 授業ま	テーマ テーション 声と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ	授業計 授業の概要説明、# 統合失調症、気分阿ブワーク課題に取り 統合失調症、気分阿性・作業療法につい 質問表の応答など	裏題の説明。精神の対 章害、人格障害、神動) 組む 章害、人格障害、神動 こ等のプレゼンテー	房と障害について学。 アルコール	太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・	それぞれの障害特
講 回数 1 2~7 8~13 14~15 縦点評	義別価標の	講義、グループワー <u>担当教員</u> 横山 横山 横山 横山 横山 天 二 二 二 二 二 二 一 プ ワ ー	授業ラ オリエンラ 精神の病 各疾患・障害に 学修成果のプレ 授業ま 評価の観点	テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ 知識・理解	授業計 授業の概要説明、調 統合失調症、気分降 プワーク課題に取り 統合失調症、気分降性・作業療法につい 質問表の応答など 思考・判断・表現	裏題の説明。精神の対 章害、人格障害、神動) 組む 章害、人格障害、神動 こ等のプレゼンテー	房と障害について学。 アルコール	太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合 (%)	それぞれの障害特 到達目標
講 回数 1 2~7 8~13 14~15 0 0 減達目 の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	義別価標の	講義、グループワー 担当教員 横山 横山 横山 横山 グループワー	授業5 オリエン5 精神の病 各疾患・障害に 学修成果のプレ 授業3 評価の観点	テーマ テーション 丙と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ 知識・理解 ●	授業計 授業の概要説明、# 統合失調症、気分阿 プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿 性・作業療法につい 額合失調症、気分阿 性・非業療法につい 質問表の応答など 思考・判断・表現	裏題の説明。精神の対 章害、人格障害、神動) 組む 章害、人格障害、神動 こ等のプレゼンテー	房と障害について学、	 太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合(%) 40 	それぞれの障害特 到達目標 ①②③
講 回数 1 2~7 8~13 14~15 0 0 減達目 の 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	義	講義、グループワー 担当教員 横山 横山 横山 横山 ブループワー 参加可	授業5 オリエン5 精神の病 各疾患・障害に 学修成果のプレ 授業3 評価の観点 コクレポート 貢献度	 テーマ テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ 知識・理解 ● ● 	授業計 授業の概要説明、# 統合失調症、気分阿 プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿 性・作業療法につい 額合失調症、気分阿 性・非業療法につい 質問表の応答など 思考・判断・表現	 果題の説明。精神の外 章害、人格障害、神約 組む 章害、人格障害、神約 紅む 支能 	病と障害について学、	 太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合(%) 40 40 20 	それぞれの障害特 到達目標 ①23 ①23④ ④
講 回数 1 2~7 8~13 14~15 0 0 14~15 14~15 14~15 14~15 14~15	義 別価標 し の 項	講義、グループワー 担当教員 横山 横山 横山 横山 葉山 丁川 第価方法 第記試験(40%)、	授業5 オリエン5 精神の病 各疾患・障害に 学修成果のプレ 授業3 評価の観点 コクレポート 貢献度	テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ 知識・理解 ● ●	授業 計 授業の概要説明、調 統合失調症、気分阿プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿性・作業療法につい 質問表の応答など 思考・判断・表現 ● ● ●	 果題の説明。精神の外 章害、人格障害、神約 組む 章害、人格障害、神約 紅む 支能 	病と障害について学、	 太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合(%) 40 40 20 	それぞれの障害特 到達目標 ①23 ①23④ ④
講 回数 1 2~7 8~13 14~15 成員達耳男男 評記 教	義 別価標 の項 準	 講義、グループワー 担当教員 横山 横山 横山 横山 横山 葉面方法 筆記 グループワー 参加可 筆記試験(40%)、 留(予習・復習等)の 	授業ラ オリエンラ 精神の新 各疾患・障害に 学修成果のプレ 授業ヨ 評価の観点 評試験 ークレポート 貢献度 グループワークレポ	 テーマ テーマ テーション 病と障害 こついての学修 ゼンテーション まとめ 知識・理解 ● ● <td>授業計 授業の概要説明、調 統合失調症、気分阿プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿性・作業療法につい 額問表の応答など 歴考・判断・表現 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</td><td> 果題の説明。精神の外 章害、人格障害、神約 組む 章害、人格障害、神約 紅む 支能 </td><td>病と障害について学、</td><td> 太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合(%) 40 40 20 </td><td>それぞれの障害特 到達目標 ①23 ①23④ ④</td>	授業計 授業の概要説明、調 統合失調症、気分阿プワーク課題に取り 統合失調症、気分阿性・作業療法につい 額問表の応答など 歴考・判断・表現 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	 果題の説明。精神の外 章害、人格障害、神約 組む 章害、人格障害、神約 紅む 支能 	病と障害について学、	 太存症、自閉症、の・ 太存症、自閉症、の・ 割合(%) 40 40 20 	それぞれの障害特 到達目標 ①23 ①23④ ④

グループワークも含め、毎回質問表を使用するので、その質問に答えます。また、担当した課題の発表の際には、他の学生の質問表に応答します。

教科書

「精神障害と作業療法」 山根 寛 三輪書店

参考図書

随時紹介します。

備考:履修者への要望

本講義は、作業療法の治療学における精神分野の内容です。こころという目には見えない領域を扱いますから、病気・疾病にとどまらず幅広い知識が必要ですので新 聞や他の本などでも調べ、理解を深めて下さい。

授業科	目名		IWr	 	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
精神障	害作業治療学実習			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	45時間
担当教	員名							
横山 岡	川、松田 裕美							
実務経	験のある教員							
目標に	剛、松田裕美:精神 、学生自身が評価計 		で作業療法士として	〔勤務経験のある教員	の指導のもと、精神	暲害における作業 務	₹法評価を実施でき ²	るようになることを
授業概								
本科目 のまと	では、精神障害に対 ⁻ め・整理、レポート(する評価の考え方と言 作成・発表をする機会	評価方法を模擬的に 会を通して、精神障	ニ実践する。教員のス 章害に対する作業療法	ーパーバイズを受け の実際を模擬的に学	†ながら、学生同士カ ≤修する。	3、評価計画を立案	しそれを行い、結果
学習到	達目標							
知識・理解	①評価方法の種類と	と手順を説明できる<	<dp1,2></dp1,2>					
思考・判断 ・表現	②スーパーバイズを	と受け、結果から解 釈	尺を行える <dp1></dp1>					
技能								
関心・意欲 ・態度	③作業療法士を目排	旨す学生について興味	未関心を持てる <df< td=""><td>26></td><td></td><td></td><td></td><td></td></df<>	26>				
授業形	態							
実習	講義および実習							
回数	担当教員	授業ラ	F-7	授業計	画	授業内容		
1~8	横山・松田	精神障害領域の	D評価について	評価のタイプを講事 実習のオリエンテー	€し、5₩1Hの視点から −ションを含めて各種	ら、評価について学。 重検査を実施する。	5.	
9~10	横山・松田	評価計	画立案	評価を効率よく行う	うための方法につい	て教授し、評価計画を	を立案する。	
11~18	横山・松田	評価	実施	指定した評価法を実	尾施し、結果を整理す	する。		
19~22	横山・松田	評価実施とフ	ィードバック	必要な評価内容をり 随時フィードバック 整理したものをレオ	を受けながら、結果	⊞計画に加えて実施⁻ 果を整理する。	する。	
23	横山・松田	レポー	ト発表	レポートを発表する	る機会を持ち、他者る	との視点の違いを確請	恩する。	
	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標
 観点別 成績評価と 到達目標の 	レボ	°− ト	•	•		•	40	123
関連	レポー	トの発表	•	•			30	12
	参加j	貢献度				•	30	3
評価の 特記事項	レポート (40%) 、	発表(30%)、参加	貢献度(30%)で言	平価する。60点の未清	ーーーー 荷の場合は、再度レス	ポートをしていただる	 きます。	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

①心理学、臨床心理学の教科書、ノート類を一度は必ずreviewしておく。
 ②臨床心理学、精神医学の講義と関連付けて履修すること。
 ③毎回の実習のレポートを次回授業までにまとめてください(1回の講義につき1~2時間程度)。

課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法

実習においては各自、毎回の授業時もしくは次回授業時までにフィードバックをします(1回につき20分程度)。

教科書

資料を授業中に配布する。

参考図書

随時紹介する。

備考:履修者への要望

臨床実習前の実習なので、臨床実習を十分に想定しながら臨んでください。 スーパーバイズを受ける機会が増えるので、報告・連絡・相談を行い信頼関係構築に努めてください。

技	授業科目名 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							総時間数	
孝	^後 達障害作業治療学			⁺ ーション学科 技学専攻 2学年 必修 2単位 30時間					
打	旦当教員名								
/]	小山 隆幸								
実務経験のある教員									
	小山 隆幸:発達障害領域 株症状について講義する。	で勤務経験のある作業	芝療法士が、発達障	害児の捉え方の視点	気を深めると共に、多	き達障害を伴う疾患に	こついてその特徴を理	理解し、各疾患の臨	
Ŕ	受業概要								
7	巻達障害児の捉え方の視点: っり方の指向性について理好	を深めると共に、発達 解を深め、具体的な治	^{権障害を伴う疾患に 治療の関わり方を学}	ついてその特徴を理 習する。	1 解し、各疾患の臨床	ミ症状について学ぶ。	各疾患の症例検討る	を通じて、治療的関	
学習到達目標									
知識・理解 ①発達障害作業療法が対象とする疾患の特徴を理解し説明することが出来る(DP1) ②発達障害作業療法が対象とする疾患の治療的関わり方の思考的過程を説明することが出来る(DP1)									
思考・ ・表	・判断 衰現 ③グループワーク、	発表での役割を積極	的に選択し担うこ	とが出来る(DP3)					
技	能 ④発達障害作業療法	去が対象とする疾患の	治療的関わり方の	思考的過程をわかり	やすく発表すること	が出来る(DP3)			
関心・		での役割を積極的に選 去が対象とする疾患の	択し担うことを身 治療的関わり方を:	につけることが出来 わかりやすく発表す	る(DP3、4) ることが出来る(DF	23、4)			
+	5 446 TZ 440								
13	受業形態								
15		フークによるアクティ	ブ・ラーニングに	て進める。必要に応	じてオープンな教育	リソースを活用した	講義も取り入れる。		
講:	義 講義とグループ・5			て進める。必要に応 授業計	- じてオープンな教育 画		講義も取り入れる。		
		 ワークによるアクティ 授業テ 本講義の進め方。治 もや両親への関 	テマ	授業計		授業内容			
講回数	 議義とグループ・「 担当教員 	授業デ 本講義の進め方。治	ーマ 療的関わり (子ど わりと理解)	授 業 計 子どもの家庭環境 [。]	画	授業内容 わりについて学ぶ。1			
講 回数 1	 議義とグループ・ワ 担当教員 小山 	授業テ 本講義の進め方。治 もや両親への関	ーマ 療的関わり(子ど わりと理解) の理解と関わり	授業計 子どもの家庭環境・ 脳性まひの臨床像、	画 や家族への治療的関2	授業内容 わりについて学ぶ。1 ぶ。P135~	23~		
講 回数 1 2	 議義とグループ・ワ 担当教員 小山 小山 	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像	ーマ 療的関わり (子ど わりと理解) 2の理解と関わり 1の発達①	授業計 子どもの家庭環境・ 脳性まひの臨床像。 姿勢と運動の障害	画 や家族への治療的関 と関わりについて学。	授業内容 bりについて学ぶ。	⁷³ ~ を深める。P135~	~	
講 回数 1 2 3	 講義とグループ・ワ 担当教員 小山 小山 小山 	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像 姿勢と運動	ーマ 療的関わり (子ど わりと理解) の理解と関わり の発達①	授業計 子どもの家庭環境・ 脳性まひの臨床像。 姿勢と運動の障害 姿勢と運動の障害	画 や家族への治療的関わ と関わりについて学。 象と対比しながら人の	授業内容 bりについて学ぶ。 5。P135~ の動きについて理解 の動きについて分析(⁷³ ~ を深める。P135~	~	
講 回数 1 2 3 4	 講義とグループ・ワ 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像 姿勢と運動 姿勢と運動	· 一マ · 旅的関わり (子ど わりと理解) · の理解と関わり · の発達① · · の理解と関わり · · の理解と関わり · · · · · · · · · · · · ·	授業計 子どもの家庭環境 脳性まひの臨床像。 姿勢と運動の障害 次勢と運動の障害 知的障害の臨床像。	画 や家族への治療的関わ と関わりについて学。 象と対比しながら人の 象と対比しながら人の	授業内容 bりについて学ぶ。1 ぶ。P135~ の動きについて理解 の動きについて分析f いて学ぶ。P162~	23~ を深める。P135~ 的視点を学ぶ。P135	~	
講 回数 1 2 3 4 5	 議義とグループ・ワ 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像 姿勢と運動 安勢と運動 知的障害の臨床像	 ママ 一マ 一マ 一次の関わり(子ど) の理解と関わり の理解と関わり の発達① の発達② の理解と関わり ・ワーク 	授業計 子どもの家庭環境・ 脳性まひの臨床像・ 姿勢と運動の障害 姿勢と運動の障害 知的障害の臨床像・ 各疾患や類型の特待	画 や家族への治療的関わ と関わりについて学。 象と対比しながら人の 象と対比しながら人の の理解と関わりについ	授業内容 わりについて学ぶ。1 ぶ。P135~ の動きについて理解 の動きについて分析fi いて学ぶ。P162~ 割について学んだこ	23~ を深める。P135~ 的視点を学ぶ。P135	~	
講 回数 1 2 3 4 5 6	議議法とグループ・「 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像 姿勢と運動 知的障害の臨床像 グループ・	 ママ 「京の関わり(子ど]わりと理解) (の理解と関わり) (の理解と関わり) (の発達①) (の理解と関わり) ・ワーク (解と関わり) 	授業計 子どもの家庭環境: 脳性まひの臨床像: 姿勢と運動の障害(姿勢と運動の障害(知的障害の臨床像(各疾患や類型の特(発達障害の臨床像(画 や家族への治療的関 と関わりについて学。 象と対比しながら人の 象と対比しながら人の の理解と関わりについ 数と作業療法士の役割	授業内容 わりについて学ぶ。1 5。P135~ の動きについて理解 の動きについて分析1 いて学ぶ。P162~ 朝について学んだこ いて学ぶ P179~	23~ を深める。P135~ 的視点を学ぶ。P135 とをまとめる	~	
調 回数 1 2 3 4 5 6 7	議議表とグループ・「 担当教員 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山 小山	授業デ 本講義の進め方。治 もや両親への関 脳性麻痺の臨床像 姿勢と運動 姿勢と運動 知的障害の臨床像 グループ・ 発達障害の理	 ママ 家的関わり(子ど) おりと理解) (の理解と関わり) の発達① の発達② の理解と関わり ・ワーク ・ワーク ・ワーク 	授業計 子どもの家庭環境・ 脳性まひの臨床像 姿勢と運動の障害 姿勢と運動の障害 知的障害の臨床像の 各疾患や類型の特徴 発達障害の臨床像の 各疾患や類型の特徴	画 や家族への治療的関わ と関わりについて学。 象と対比しながら人の 象と対比しながら人の の理解と関わりについ 数と作業療法士の役割 の理解と関わりについ	授業内容 bりについて学ぶ。1 5。P135~ の動きについて理解 の動きについて分析fi いて学ぶ。P162~ 朝について学んだこ いて学ぶ P179~ 朝について学んだこ	3~ を深める。P135~ 的視点を学ぶ。P135 とをまとめる	~	

11		小山	神経・筋疾患の	D理解と関わり	神経・筋疾患の臨床	象の理解と治療的	的関わりの視点を学ぶ	P266~				
12		小山	グループ	・ワーク	各疾患や類型の特徴と作業療法士の役割について学んだことをまとめる							
13		小山	整形外科疾患の臨り	末像の理解と関わり	整形外科疾患の臨床	整形外科疾患の臨床像と関わりについて学ぶ。P276~						
14		小山	グループ	・ワーク	各疾患や類型の特徴	と作業療法士の後	没割について学んだこ と	こをまとめる				
15		小山	法的社会背景と	施設やサービス	法的背景による施設 障害作業療法を鳥瞰		なりを学習し、発達障害)~	「見へ治療的介入力」	万法を比較し、発達			
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標			
	(元別) 筆記試験 ●			•				50	12			
成績部 到達日 関	※価と 標の 課題発表		•	•	٠	•	25	123456				
因	Æ	参加i	貢献度		•	•	•	15	345			
		小デ	マト	•				10	12			
Ĩ	すでに学	もんだ人間発達学や	の具体的な内容及び 発達障害作業評価学 をします。(約15分	の内容をよく復習し	てください。(復習)	グループワーク	7の担当疾患や類型につ	いて臨床実習で取	り組めるようにレ			
貧口	課題(詞	(験・レポート等)(に対するフィードバ	ックの方法								
I	レポート	、に対するコメントル	は講義の時に適宜行	ð.								
HXT	教科書											
	「標準作	F業療法学 発達過移	程作業療法学 第3版	反」福田恵美子編 [医学書院							
	参考図書	* -										
j.	必要に応	いて紹介する。										
ĺ	備考 :履	修者への要望										

ŧ	受業科目名		电工	文	配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) 総時間数				
3	発達障害作業治療学実習		リハビリテー 作業療法		2学年 必修 1単位 45時間				
ŧ	旦当教員名								
柞	公田 裕美、清水 一輝								
τ.	実務経験のある教員								
	公田 裕美、清水一輝:医療 共するための計画立案・実績		■業を用いた作業療法	を実施した経験をす	有する教員が、個々 の	D園児の発達段階を	評価し,それに応じ	た作業や遊びを提	
	受業概要								
X	本科目では、発達障害作業 習を通して学修する。 臨地での経験を積むため、フ							5・心身の発達を実	
	学習到達目標								
知識・	・理解 ②年長児の発達過程	呈を説明できる(DP1 呈に沿った楽しめる作) F業課題について説明	できる (DP1)					
思考・	・判断 衰現 ③製作遊び, さつま	まいもの苗植えなどの)プログラムを立案す	ることができる(1	DP1, 2, 5)				
技	能 ⑤園児の行動の特徴	えなどの計画書(時間 数を観察できる(DP3 して適切に対応できる		、作業の工程など))を作成できる(DP3	3, 4, 5, 6)			
関心・ ・ 煎	・意欲 態度 ⑦活動の計画・立象	案に積極的に参加し、	自らの意見を述べる	ことができる(DP:	2, 4, 5)				
ŧ	受業形態								
実	習 各課題の計画立案・	・実施はグループワー	-クにて実施する。						
回数	担当教員	授業交	デーマ	授業計	画	授業内容			
1	松田・清水	ガイク	ダンス	未就学児の発達段隣 年間を通じたこども	皆や遊びの特徴につい 」園の園児との交流に	いて こついて、さつまい	も畝作りと苗植えに	関するガイダンス	
2	松田・清水	畝づく	り準備	さつまいもの苗を桁	直えるための畝作りる	*計画し実施する。	園児とともに草取り	を行い交流を図る。	
3~4	松田,清水	畝↑	乍り	さつまいもの苗を植	直えるための畝作りる	:計画し実施する。園	園児とともに行い交	流を図る。	
5	松田,清水	苗植ジ	え準備	さつまいもの苗植え	この準備を行う。				
6~7	松田, 清水	苗柏	直え	さつまいもの苗植え	こを園児とともに行い	`交流を図る。			
8~9	松田	草耳	立り	さつまいもの畑の重	草取りを行い, さつま	いもの成長過程を聞	園児に説明する。		
10	松田・清水	製作遊	10 松田・清水 製作遊び準備 製作遊びで実施する作品の工程や留意点、観察の視点についてグループにて検討する。						
11	松田	草耳	立り	さつまいもの畑の雪	草取りを行い, さつま	こいもの成長過程を聞	園児に説明する。		

			1							
13	:	松田	草耳	えり	さつまいもの畑の草	取りを行い,さつ	まいもの成長過程を園	圜児に説明する。		
14	松田	日・清水	製作遊	び準備	枠組みに合わせて製 る。	作遊びの計画書(『	時間配分、作業工程、	環境、指導者のセ	リフなど)を作成す	
15	松田	日・清水	芋ほり・	食育準備	芋ほりと食育の作業	工程を確認し,園	児の行動を想像する。			
16~17	松田	日・清水	芋ほり	・食育	芋ほりはさつまいもの成長過程の説明を行い, 芋ほりを実施する。食育ではさつまいもを使った実 験などを行う。					
18	松田	日・清水	製作遊びり	リハーサル	計画書をもとに実施手順について実際の環境で確認する。各学生の担う役割を明確にし、確認す る。修正が必要な箇所を整理し、計画書の修正を行う。					
19~20	松田	日・清水	製作遊び	ドの実施	計画した製作遊びを実施し、園児との関わり方や発達の段階について学ぶ。 ・予測していた内容と実際の園児の動きを比較し、その違いや特徴を記録する ・準備していた内容と実際に自分が取った態度を記録する ・園児の記録と自分の記録からより良い改善点を見つける					
21	松田	日・清水	計画またもとに実施手順について実際の豊齢で確認する。 久労生の担う処割を阻確に 」 確認						明確にし、確認す	
22~23	松田	 第一・清水 製作遊びの実施 計画した製作遊びを実施し、園児との関わり方や発達の段階について学ぶ。 ・予測していた内容と実際の園児の動きを比較し、その違いや特徴を記録する ・準備していた内容と実際に自分が取った態度を記録する ・適開児の記録と自分の記録からより良い改善点を見つける 								
		至価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標	
観点 成績評		レポ		•	•	•		80	123456	
到達目	標の	受講	態度	_	_	•	•	10	67	
		参加j	貢献度				•	10	Ū	
載 ま 開	車項	*も園での実習の 予習・復習等)。		Eったり、提出レポ それに必要な時間 関する事前学習(1 協力し、計画の立案	時間)		限が守れない等があ	った場合は指導再携	出があります。	
	故科書									
	になし									
参	送考図書									
it P ¹	構義の中で道	歯 宜紹介します。	9							
偱	请考 :履修ネ	皆への要望								
			開始時に連絡します。 施に向けてグループ		められます。各自が	責極的にグループで	での活動に参加するよ	うにしてください。		

ž	受業科目名	授業科目名 専攻 配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) 総時間数								
जन्म	高齡期作業療法学			ーション学科 去学専攻						
ŧ	担当教員名									
ħ	加藤 真夕美									
	実務経験のある教員									
	加藤 真夕美:医療機関、介 業療法の経験を有する教員;					士として勤務し、高	次脳機能障害およひ	認知症に対する作		
Ř	受業概要									
1141	加齢およびそれに付随する 素養を身につけるため、高能						二、高齢期作業療法	を包括的に実施する		
	学習到達目標									
知識·	 ・理解 ①高齢期障害の特徴 	数を述べることができ	きる。 (DP1)							
	 ・判断 ②高齢期分野の作業 長現 ③認知症の疾患特性 	養療法の目的・流れ・ 生や評価の際の留意点								
技	能④高齢者を取り巻く	く環境の課題と対策に	こついての最新の情報	報を収集し、解釈す	る能動的学習を実践	できる。(DP2,3,5)				
関心・創	・意欲 態度 5対象者の状態や原	周囲の状況に応じた誘	平価・介入計画につ	いて自分の意見を述	べることができる。	(DP5)				
• 煎		周囲の状況に応じた訃	平価・介入計画につ	いて自分の意見を述	べることができる。	(DP5)				
• 創 - 把	態度 ③対象有の状態や声 受業形態	周囲の状況に応じた評 う。評価法の模擬実践					ーニングを促す演習を	を取り入れる。		
• 態 技	 態度 図対象 a の 状態や所 受業形態 主に講義形式で行う 	う。評価法の模擬実践	浅や文献検索、ディ			ど、アクティブラー	ーニングを促す演習る	と取り入れる。		
• 創 - 把	態度 ③対象有の状態や声 受業形態	 う。評価法の模擬実置 授業ラ 	長や文献検索、ディ テーマ	スカッション、ポー	トフォリオの作成な		ーニングを促す演習る	と取り入れる。		
• 態 技	 態度 図対象 a の 状態や所 受業形態 主に講義形式で行う 	 う。評価法の模擬実置 授業ラ 	表や文献検索、ディ: テーマ テーション	スカッション、ポー 授業計	トフォリオの作成な	ど、アクティブラー 授業内容				
• 创 <u> </u>	 ⑤対象右の状態や声 受業形態 主に講義形式で行う 担当教員 	 う。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 	浅や文献検索、ディ テーマ テーション)巻く社会①	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻くれ	トフォリオの作成な 画	ど、アクティブラー 授業内容 域少、少子高齢化な:	どの視点で学習する	。(1章)		
•前 -前 -前 -前 - - - - - - - - - - - - -	 版度 回対家有の状態や声 受業形態 議義 主に講義形式で行き 担当教員 加藤 	5。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り	 表や文献検索、ディ デーマ デーション) 巻く社会①) 巻く社会② 	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻く者 高齢者を取り巻く者	トフォリオの作成な 画 社会について、人口)	 ど、アクティブラー 授業内容 域少、少子高齢化な。 り仕組みや価値観の 	どの視点で学習する 変化などの視点で学	。(1章)		
· 前 · 前 · 前 · 前 · 前 · 1 · 2	 版度 回対家有の状態や声 受業形態 主に講義形式で行き 担当教員 加藤 	 う。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 	 もや文献検索、ディ Fーマ Fーション 参く社会① か者く社会② 齢者像① 	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻く者 高齢者を取り巻く者	トフォリオの作成な 画 社会について、人口ネ 社会について、社会(ど、アクティブラー 授業内容 域少、少子高齢化な D仕組みや価値観の? 市などの視点で学習	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)	。(1章)		
・ 前 調 一 数 1 2 3	 版度 ③対象 4 の 状態 (下) 受業形態 注義 主に講義形式で行う 担当教員 加藤 加藤 	 う。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 現代の高 	 まや文献検索、ディー テーマ テーマ テーマ テーマ テーマ テーマ かく社会① 節者像① 節者像② ち・精神的障害の理 	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻く者 高齢者について、た 高齢者について、た	トフォリオの作成な 画 社会について、人口 社会について、社会の 叩齢と老化、健康寿6	ど、アクティブラー 授業内容 域少、少子高齢化な つ仕組みや価値観の? みなどの視点で学習 などの視点で学習す。	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)	。(1章)		
・ 前 調 一 数 1 2 3 4	 ⑤× × 4 の 小 座 ⑤× × 4 の 小 座 ○× × 4 の 小 座 ・ 	 シ。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 現代の高 現代の高 高齢者に特有な知知 	 	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻く者 高齢者について、5 高齢者について、5 高齢者の知的・精材	トフォリオの作成な 画 土会について、人口約 土会について、社会の 叩齢と老化、健康寿年 ライフコース、就業7	 ど、アクティブラー 授業内容 減少、少子高齢化な つ仕組みや価値観の? 命などの視点で学習・ などの視点で学習す。 3ずる。(2章) 	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)	。(1章)		
- 前 - 前 - 前 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	 ⑤×) 家 4 の 小 座 ○ ○×) 家 4 の 小 座 ○ ○×) 家 4 の 小 座 ○ ○×) 家 4 の 小 座 1 1 1 3 数員 加 藤 加 藤 加 藤 加 藤 加 藤 	 シ。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 現代の高 現代の高 現代の高 高齢者に特有な知的 解と作業 高齢者に特有な知知 	 もや文献検索、ディー テーマ テーマ テーマ ・ ・ ・ ・ ない ・ 特 ・ 特 ・ ・ 特 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ <	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻く者 高齢者について、力 高齢者について、力 高齢者について、う 高齢者の知的・精祥 認知症の分類や臨床	トフォリオの作成な 画	 ど、アクティブラー 授業内容 減少、少子高齢化な つ仕組みや価値観の? 命などの視点で学習・ などの視点で学習す。 3ずる。(2章) 	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)	。(1章)		
- 創 - 創 - 創 - 創 - 創 - 創 - 創 - 創	 ⑤× × 4 の 小 座 ○ × × 4 の 小 座 ○ × × 4 の 小 座 1 主に講義形式で行き 1 担当教員 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 加藤 	 う。評価法の模擬実置 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 現代の高 現代の高 現代の高 高齢者に特有な知的 解と作業 高齢者に特有な知的 解と作業 高齢者に特有な知知 	 もや文献検索、ディ トーマ トーマ トーマ ・ ・ ・ <!--</td--><td>スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻くれ 高齢者について、力 高齢者について、力 高齢者について、う 高齢者について、う 認知症の分類や臨床 認知症の分類や臨床</td><td>トフォリオの作成な 画</td><td> ど、アクティブラー 授業内容 減少、少子高齢化な。 つ仕組みや価値観の? うなどの視点で学習・ などの視点で学習・ 3する。(2章) (2章) </td><td>どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)</td><td>。(1章)</td>	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻くれ 高齢者について、力 高齢者について、力 高齢者について、う 高齢者について、う 認知症の分類や臨床 認知症の分類や臨床	トフォリオの作成な 画	 ど、アクティブラー 授業内容 減少、少子高齢化な。 つ仕組みや価値観の? うなどの視点で学習・ などの視点で学習・ 3する。(2章) (2章) 	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章)	。(1章)		
- 創 - 創 - 創 - 創 - 創 - 創 - 二 - 二 - 二 - 二 - 二 - 二 - 二 - 二	 ⑤×J 家 4 の 小 座 ○ ○ × ○ × 4 の 小 座 ○ × ○ × 4 の 小 座 ○ × ○ × 4 の 小 座 加 藤 	 う。評価法の模擬実践 授業ラ オリエンラ 高齢者を取り 高齢者を取り 現代の高 現代の高 現代の高 高齢者に特有な知的 解と作業 高齢者に特有な知的 解と作業 高齢者に特有な知知 解と作業 高齢者に特有な知知 	 まや文献検索、ディー テーマ テーマ	スカッション、ポー 授業計 高齢者を取り巻くれ 高齢者について、力 高齢者について、力 高齢者について、う 高齢者について、う 認知症の分類や臨床 認知症の分類や臨床	トフォリオの作成な 画	 ど、アクティブラー 授業内容 減少、少子高齢化な、 つ仕組みや価値観の会 うなどの視点で学習・ などの視点で学習・ 3する。(2章) (2章) (2章) 	どの視点で学習する 変化などの視点で学 する。 (1章) る。 (1章)	。 (1章) 習する。 (1章)		

11		加藤	高齢者に特有な身(療)	本障害の理解と作業 法③	高齢者に特有な転倒	のリスクや身体拘	東などの課題について	て学ぶ。(2章)	
12		加藤	包括的な高齢者の	理解と作業療法①	転倒予防や介護予防	をキーワードとし	て、高齢期における作	「業療法の可能性を	学ぶ。(5章)
13		加藤	包括的な高齢者の	理解と作業療法②	各種制度や公的支援	をキーワードに、	高齢期における作業病	景法の可能性を学ぶ	。(3,4章)
14		加藤	作業療法の	介入事例①	作業療法の介入事例	をもとに効果的な	作業療法の評価につい	いて検討する。(5章	章)
15		加藤	作業療法の	介入事例②	作業療法の介入事例	をもとに効果的な	作業療法の介入につい	いて検討する。(5章	章)
到達目標の								70	1234
	連	レポ	²— ŀ	•	•		•	20	1235
		ポートス	フォリオ				•	10	5
特記	町の 事項	・筆記試験得点が63 ・レポート、ポート ・レポート、ポート	、フォリオは、課題、 フォリオは、提出(・のレポートとポート ごとに評点を定めた。 の遅滞や内容の不足		(評価する。評点)	認定する。 は課題ごとに提示する。 ては再提出を求める。	0	
	 ・各単元 ・教科書 	この終わりに配布され い該当ページを読み	み込む。(各30分)			収する。(授業時	間内に完成しなかった	分は自宅に持ち帰	り仕上げる)
1 T	果題(討	、験・レポート等) (に対するフィードバ	ックの方法					
			記入するなどしてフ する。答案を取りに		別に口頭でフィード	バックを行う。			
1150	 教科書								
	「作業療	法学ゴールド・マス	スター・テキスト	老年期作業療法学」	監修:長崎重信 メ	ジカルビュー社			
1400	参考図書	ż							
ß	 语時授業	きの中で紹介する。							
ſ	備考 :履	修者への要望							

超高齢社会の日本の取り組みは世界から注目されています。作業療法士として何ができるかを模索する契機となるよう、社会の動向に目を向ける習慣を身につけてい きましょう。

ŧ	受業科目名		夷	政	配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間) 総時間数				
F	日常生活作業学 I			ション学科 注学専攻 1学年 必修 1単位 15時間					
ŧ	担当教員名								
5	外倉 由之								
57	実務経験のある教員								
	れ倉由之:医療機関、介護≋ 職についての講義を行う。	老人保健施設におい	て作業療法士として	勤務し、身体障害領	減および老年期領域	の作業療法の経験を	と有する教員が、日谷	常生活活動の基礎知	
ł	受業概要								
	本科目は、作業療法士にの の構成要素を概観した後、P ぶ。授業は講義が主体である	ADLの制限や制約の意	、味付け、ADLの評価	i方法、ADL支援の種類					
À.	学習到達目標								
知識・		を説明することがで 特徴を説明すること							
思考・	・判断 長現 ③各障害領域のADL	制限・制約に対する	作業療法士の基本的	り役割を理解し、説明	月することができる。	(DP1,5)			
技	能 ④ADLに対する作業	療法の実践例につい	て、文献検索を通し	して情報収集すること	こができる。(DP1~	2)			
関心・ ・ 熊	・意欲 ⑤提出物を遅滞なく 態度	く、内容の不足なく種	維実に提出すること	ができる。(DP3)					
ŧ	受業形態								
講	義 講義を主体とする	るが、理解を深める†	とめに模擬体験や文	献検索、レポート作	成など、能動的な学	習を促す演習を併用	する。		
回数	担当教員	授業交	F-7	授業計	画	授業内容			
1	外倉	オリエンラ ADLの概	テーショ <i>ン</i> 念と範囲	ADLの定義および範	囲、位置づけを学ぶ	。(第1、2章)			
2	外倉	ADLの構成	要素と特徴	ADLの構成要素(工	程)と特徴を学ぶ。	(第2章)			
3	外倉	ADLの自立と ADLの		ADLの自立および制	限・制約について学	ぶ。またADLの評価i	去の種類を学ぶ。(第3章、第4章)	
4	外倉	ADLに対す	る作業療法	ADLの制限、制約に	対するの作業療法介	入の基礎を学ぶ。	(第4章)		
5	外倉	ADLの観	察と記録	ADLの観察と記録の	方法を学ぶ。(第51	章Ⅰ・Ⅱ、第6章)			
6	外倉		制約に対する支援 D	発達障害領域、身体	本障害領域におけるA	DLの支援方法につい	ヽて学ぶ。(第5章Ⅱ	II • IV)	
7	外倉	領域別のADL制限・	制約に対する支援 ②	精神障害領域、老年	F期障害領域におけ?	SADLの支援方法につ	いて学ぶ。(第5章	ÉIII・IV)	
8	外倉	ŧ	こめ	授業の総括を行う。					

観点別	評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心·意欲· 態度	割合 (%)	到達目標	
成績評価と 到達目標の 関連	筆	記試験	•	•			80	123	
N/E	レ:	ポート		•	•	•	20	345	
評価の 特記事項	 ・再試験は、筆記試験得点が6割未満の場合に実施する。 ・筆記試験得点が6割以上かつ、すべてのレポートが提出された場合に、単位を認定する。 								
準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間						
時間内に	ニ完成しなかった分	されたレポート課題(けは自宅に持ち帰り仕 売み込む。(各30分)		をラーニングコモン	ズスペースを利用し	して作成する。レポー	- トは次回の授業中に	こ回収する。(授業	
課題(詞	弌験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法						
・レポー ・筆記詞	- トは、コメントを 弌験は、答案を返去	と記入するなどしてフ 叩する。答案を取りに	ィードバックする。 来た学生に対し、個	別に口頭でフィード	バックを行う。				
教科書									
「作業務		3版 作業療法概論	」杉原素子編集、「	岛同医書出版(2017)					
参考図書	₽ Ē								
必要に応	必要に応じて授業の中で紹介する。								
備考:履	髪修者への要望								
ADLの) めて下さ		の根幹とも言えるほと	「重要な位置を占める	ます。これから作業病	療法を学ぶに当たっ	ての基盤となる知識	ですので、しっかり	と理解するよう努	

ł	受業科目名			Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
	日常生活作業学」	I			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
ł	担当教員名								
Ŷ	青水 一輝								
517 7	実務経験のある	牧員							
Ŷ	青水一輝:作業療	寮法士とし	て勤務し、身体障害	領域の作業療法の経	【験を有する教員が、	日常生活作業の意義	きや評価方法につい~	て講義する	
ł	受業概要								
	Q、AMPSなどの詞		動に関する評価の特 て、ADL・IADLの各活						で用いる、FIM、
<u></u>	学習到達目標								
知識	 ・理解 ②日常生 ③FIMのき 	活作業に 保点基準に	こついて説明できる(関連する要因と介入フ こついて説明できる(D について説明できる	方法について説明で P1)	きる				
	・ 判断 長現								
技	能 ⑥FIMの	採点基準に	察評価が模擬事例に対 基づき模擬事例の評 に従い事例情報の解	価ができる (DP1,2)				
• <u></u>	島皮	-プワーク)	こ積極的に参加し、言	溝義の理解を深める	ような議論ができる	(DP2, 5)			
	受業形態 義 講義が主	三体であるフ	が、グループワーク・	や演習も行いながら	理解を深めていく				
					授 業 計	画			
回数	担当教	員	授業	テーマ			授業内容		
1	清水		作業療法のプロ	コセスについて	作業療法介入プロも	セスモデル(OTIPM)	について		
2	清水		日常生活作業に緊	影響を与える要因	各種の日常生活作業	業に影響を与える要問	因について学び、評	価の視点について整	理する
3	清水		日常生活作業に	対する介入方法	日常生活作業に対す	する介入の考え方に~	ついて理解する		
4	清水		AMPSの運動技能	能項目について	AMPSの運動技能項目	目について理解する			
5	清水		AMPSに基づいた日津	常生活作業の評価①	AMPSの基準に従って	て模擬事例の運動技能	能を評価する		
6	清水		AMPSのプロセス打	支能項目について	AMPSのプロセス技育	^{と項目について理解で}	する		
7	清水		AMPSに基づいた日津	常生活作業の評価②	AMPSの基準に従って	て模擬事例の運動技能	能を評価する		
8	清水		機能的自立度評価	法(FIM)について	日常生活作業の評価	面であるFIMについて	評価基準等を学ぶ		
9	清水			常生活作業の評価 『動項目	模擬事例をもとにF	IMの採点を行い、FI	Mの採点方法を理解	する	

10		清水	FIMに基づいた日 ②:読	常生活作業の評価 (知項目	模擬事例をもとにF]	IMの採点を行い、FI	IMの採点方法を理解す	する		
11		清水	生活行為向上マネ	ジメント : ①概論	生活行為向上マネジメントの概要を学ぶ					
12		清水	生活行為向上マネ	ジメント : ②演習	模擬事例を用いて生	活行為向上マネジ	メントを立案する			
13		清水		ジメント:③グルー 対議	立案した生活行為向]上マネジメントに・	ついてグループで検討	対する		
14~15		清水	生活行為向上マネ	ジメント : ④発表	模擬事例に対して立	二案した生活行為向.	上マネジメントを発言	表する		
	評価の観点 知識・理解 思考・判断・表現 技能 関心・意欲・態度 割合(%) 到達目標									
 観点 成績評 到達目 	平価と	筆記	記試験	•				50	1234	
関連目		発	表			•	•	30	5678	
		レポ	ペート	•		٠		20	47	
孝	事項 準備学習 数科書の	「(予習・復習等)。 該当ページや配布	D合計点数 が 6 割(の具体的な内容及び 資料を事前に読み理 必要な図書等で学習	それに必要な時間 解する(30分)	、再試験を実施する。					
當此	果題(討	、験・レポート等) (に対するフィードバ	ックの方法						
설	崔記試験	は研究室で保管し	ているため、内容を	確認することができ	ます。発表はその場	でフィードバックし	_ます。			
妻	飲科書									
	教科書 「新版日常生活活動(ADL)第2版評価と支援の実際」伊藤利之・江藤文夫編集、 医歯薬出版									
1	参考図書	ŝ								
1 D	構義の中	で適宜紹介します								
俌	備考 :履	修者への要望								
		さんに日常生活作詞 性を実感して下さい		るきっかけを与える	にすぎません。普段	の生活の中で、自ら	らの日常生活作業につ	Dいて考え、他者とJ	比較し、日常生活作	

授業科目名 専攻 配当年次 時期 履修方法 単位数 (単位時間)								総時間数		
Ē	日常生活作業学実習			ーション学科 去学専攻	2学年	必修	1単位	30時間		
打	担当教員名									
力	吅藤 真夕美									
Ĵ	実務経験のある教員									
	n藤真夕美 : 医療機関、介 去の経験を有する教員が、				所において作業療法	士として勤務し、身	▶体障害領域および	医年期領域の作業療		
ŧ	受業概要									
る 牛	▶ 科目は、日常生活活動(ことを目的とする。本科 持有の制限・制約に関する また、社会で生活している	目では主にセルフケ 知識および支援のあ	アおよび手段的日常 り方の基礎を、作業	常生活活動(IADL) 養療法の視点から実 [:]	について、基本的な 習を通して実践的に	評価方法をはじめ、 学ぶ。				
学習到達目標										
知識・	・理解 ①障害に応じたADL	の代表的な評価方法	、基礎的な介助や打	指導について理解す	ることができる。((DP1)				
思考・ ・表		疲対象者のADL・IADI	について、様々な	青報を統合し、検討	し、その検討結果を	説明することができ	きる。(DP1,5)			
技		.の基礎的な介助、指 高齢者に対し、ADL・				ことができる。(D	P1,3,4)			
関心・ ・ 態	意欲 急度 ⑤提出物を遅滞なく	く、内容の不足なく	雑実に提出すること	ができる。(DP3)						
実		主体とするが、随時, を主体とした構成と		式で伝える。講義≦	と般を通して、グル ー	ープワークやディス	カッション、レポー	-ト作成など、アク		
回数	担当教員	授業ラ	F	授業計	画	授業内容				
1~2	加藤	オリエンラ	テーション 動支援①		「の復習(範囲、分類 乍・車椅子操作)に;	〔、評価法など)	方法や技術を学ぶ。			
3~4	加藤	BADLの活	動支援②	障害の特性を踏ま;	えた移動動作(歩行	・移乗動作)に対す	る支援方法や技術を	学ぶ。		
5~6	加藤	BADLの活	動支援③	障害の特性を踏ま; を学ぶ。	えた身辺処理活動(食事・排泄・更衣・	入浴・整容)に対す	「る支援方法や技術		
7~8	加藤	IADLの活	動支援①	障害の特性を踏ま;	えた屋内活動(家事)	動作)に対する支援	方法や技術を学ぶ。			
9~10 加藤 IADLの活動支援② 障害の特性を踏まえた屋外活動(買い物・電車利用など)に対する支援方法や技術を学ぶ						?技術を学ぶ。				
11~12加藤ADL・IADL評価(計画)FIM・BIを中心に、代表的なADL評価方法を学ぶ。 対象者への評価(インタビュー)計画を立てる。										
11.012	13~14 加藤 ADL・IADL評価(実践) x				対象者への評価(インタビュー)を実践し、評価結果をまとめ、報告書を作成する。					
	加藤	ADL・IADL評	「価(実践)	対象者への評価(イ	インタビュー)を実	践し、評価結果をま	とめ、報告書を作成	えする。		

観点別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標			
成績評価と 到達目標の 関連	実技試験				٠		50	34			
INICE .	レオ	°, ŀ	٠	•		٠	50	125			
評価の 特記事項											
準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間								
・実技診	⊀験①②および③④	レポートを作成する)のための練習(各12 に対するフィードバ	0分を目安)	受業内で作成できない	ければ自宅に持ち帰	り仕上げる)					
1/(///////			///*///L								
		クにて評価し、口頭 回り、その都度口頭			よりフィードバック [・]	する。					
教科書											
「作業務	「作業療法学全書 第11巻 作業療法技術学3 日常生活活動」酒井ひとみ 編集 協同医書出版										
参考図書	参考図書										
必要に応	必要に応じて授業内で紹介する。										
備考:履	夏修者への要望										

他のすべての教科で学んだ知識、あるいは生まれてから今までの経験が、何らかの形で繋がってきます。必要に応じて知識を適切に利用できるよう、他の授業の資 料等を整理しておいてください。

ł	授業科目名		吏	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
ī	高次脳障害作業治療学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間
ł	担当教員名							
ţ	加藤 真夕美							
814 14	実務経験のある教員							
	加藤 真夕美 : 医療機関、介 業療法の経験を有する教員:					士として勤務し、高	次脳機能障害およひ	認知症に対する作
ł	授業概要							
1	本科目は、人が合目的的な! 空間の認知、言語の表出お 本的な考え方について学ぶ。	よび理解、行為の表出	出、遂行機能などに	ついて、それらの機	能の概要や障害の種			
i.	学習到達目標							
知識		の種類と責任病巣、行 作業療法の基本的な考			できる (DP1)			
	 ・判断 表現 ③高次脳機能障害 	ジ日常生活に及ぼす 景	ど響について考察で	きる。(DP1,5)				
 技	支能 ④各障害に対する作	乍業療法の実践例につ	ついて、文献検索を	通して情報収集する	ことができる。(DP	2, 5)		
	・意欲 態度 ⑤提出物を、期限(こ遅れることなく、ま	また内容が不足する	ことなく確実に提出	することができる。	(DP3)		
• 亰		こ遅れることなく、ま	また内容が不足する	ことなく確実に提出	することができる。	(DP3)		
• 頂 	態度 ① 定田物を、州政で 授業形態	こ遅れることなく、ま う。評価法の模擬実践					-ニングを促す演習る	と取り入れる。
• 頂 	 態度 ③ 位 山 物 を 、 朔 隊 (授業形態 春義 主に講義形式で行 		浅や文献検索、ディ				-ニングを促す演習る	と取り入れる。
• 11	 態度 ③ 位 山 物 を 、 朔 隊 (授業形態 春義 主に講義形式で行 	う。評価法の模擬実践	表や文献検索、ディ テーマ E障害とは	スカッション、ポー 授業計	トフォリオの作成な 画 2義や種類、また障害	ど、アクティブラー 授業内容		
• 煎 打 講 回数	 態度 ③症ロ物を、病除に 授業形態 主に講義形式で行う 担当教員 	 う。評価法の模擬実践 授業ラ 「授業ラ 高次脳機前 	 もや文献検索、ディ Fーマ b障害とは 障害と制度 Lと利き手 	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章	トフォリオの作成な 画 2義や種類、また障害	ど、アクティブラー 授業内容	における課題および	関連する制度につ
• 魚 引 調 回数 1	 態度 ③ 位 山 初 を 、 新 除 に 授業 形態 	5。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化	まや文献検索、ディ テーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き 脳の機能解剖と画(トフォリオの作成な 画 E義や種類、また障害)	ど、アクティブラー 授業内容	における課題および 連性について学ぶ。	関連する制度につ
• f	 ・ 新康に ・ ・ ・	 う。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機 	 もや文献検索、ディ Fーマ と障害とは 障害と制度 比と利き手 次脳機能 能解剖 能解剖 常害の捉え方 	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き 脳の機能解剖と画 神経心理循環など3	トフォリオの作成な 画	ど、アクティブラー 授業内容	における課題および 連性について学ぶ。 町	関連する制度につ
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 態度 ③ 位 口 初 を 、 新 除 に 授業 形態 株義 主に講義形式で行う 担当教員 加藤 加藤 加藤 	5。評価法の模擬実践 長業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性(運動と高 脳の機 高次脳機能関	 もや文献検索、ディ Fーマ È障害とは 障害と制度 とと利き手 とと利き手 能解剖 章害の捉え方 え意識障害 	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の行いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き 脳の機能解剖と画他 神経心理循環など可 脳機能障害者におい	 トフォリオの作成な 画 定義や種類、また障害 シ) 手の関連性、また運動 象所見の診方について 高次脳機能障害の捉; 	 ど、アクティブラー 授業内容 客当事者の社会生活 あと高次脳機能の関連 こ学ぶ。 た方を学ぶ。(第1章 歳障害について学ぶ。 	における課題および 連性について学ぶ。 E) 。 (第1章)	関連する制度につ (第1章)
• f f f f f f f f f f f f f f f f f f f	 ・ 第一回 で、 新成に ・ ・ ・	5。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機 高次脳機能関 易疲労性と	まや文献検索、ディ テーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 章害の捉え方 ご意識障害 つ作業療法	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害のないて学ぶ。(第1章) 脳の側性化と利き= 脳の機能解剖と画信 神経心理循環など電 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『	 トフォリオの作成な 画 室義や種類、また障害 手の関連性、また運動 象所見の診方について 高次脳機能障害の提定 する疲れやすさと意言 章害像と責任病巣、言 障害像と発症メカ= 	 ど、アクティブラー 授業内容 	における課題および 連性について学ぶ。 E) 。 (第1章) ントについて学ぶ。	関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3
 • 前 • 前 · 前	 態度 ③ 位 口 初 を 、 新 (k) 授業 形態 まに講義形式で行き 担当教員 加藤 	 う。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機 高次脳機能 「」 <l< td=""><td>まや文献検索、ディ デーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 章者の捉え方 ご意識障害 つ作業療法 つ作業療法</td><td>スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き= 脳の機能解剖と画作 神経心理循環など可 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『 章-1) 半側無視について、 VI、第3章-VI, VII)</td><td> トフォリオの作成な 画 室義や種類、また障害 手の関連性、また運動 象所見の診方について 高次脳機能障害の提定 する疲れやすさと意言 章害像と責任病巣、言 障害像と発症メカ= </td><td> ど、アクティブラー 授業内容 F当事者の社会生活 bと高次脳機能の関 C学ぶ。 C大方を学ぶ。(第1章 酸障害について学ぶ。 F価法、介入のポイ =ズム、評価法、介 </td><td>における課題および 連性について学ぶ。 f) ントについて学ぶ。 入のポイントについ</td><td>関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3 て学ぶ。(第2章-</td></l<>	まや文献検索、ディ デーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 章者の捉え方 ご意識障害 つ作業療法 つ作業療法	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き= 脳の機能解剖と画作 神経心理循環など可 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『 章-1) 半側無視について、 VI、第3章-VI, VII)	 トフォリオの作成な 画 室義や種類、また障害 手の関連性、また運動 象所見の診方について 高次脳機能障害の提定 する疲れやすさと意言 章害像と責任病巣、言 障害像と発症メカ= 	 ど、アクティブラー 授業内容 F当事者の社会生活 bと高次脳機能の関 C学ぶ。 C大方を学ぶ。(第1章 酸障害について学ぶ。 F価法、介入のポイ =ズム、評価法、介 	における課題および 連性について学ぶ。 f) ントについて学ぶ。 入のポイントについ	関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3 て学ぶ。(第2章-
 • 煎 前 • 煎 • 煎 · 減 · 減<td> 態度 ③ 位 田 初 を 、 新 (k) 授業形態 主に講義形式で行き 担当教員 加藤 </td><td> う。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機 高次脳機能属 易疲労性と 注意障害の 半側無視の </td><td>まや文献検索、ディ テーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 拿書の捉え方 こま 職障害 の作業療法 の作業療法</td><td>スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き 脳の機能解剖と画作 神経心理循環など可 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『 辛一Ⅱ)</td><td>トフォリオの作成な 画</td><td> ど、アクティブラー 授業内容 皆当事者の社会生活 あと高次脳機能の関ジ こ 方を学ぶ。(第1章 歳障害について学ぶ。 準価法、介入のポイー =ズム、評価法、介、 平価法、介入のポイー </td><td>における課題および 連性について学ぶ。 更) 、 (第1章) ントについて学ぶ。 入のポイントについ ントについて学ぶ。</td><td>関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3 て学ぶ。(第2章- (第2章-II、第3</td>	 態度 ③ 位 田 初 を 、 新 (k) 授業形態 主に講義形式で行き 担当教員 加藤 	 う。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機 高次脳機能属 易疲労性と 注意障害の 半側無視の 	まや文献検索、ディ テーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 拿書の捉え方 こま 職障害 の作業療法 の作業療法	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害の5 いて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き 脳の機能解剖と画作 神経心理循環など可 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『 辛一Ⅱ)	トフォリオの作成な 画	 ど、アクティブラー 授業内容 皆当事者の社会生活 あと高次脳機能の関ジ こ 方を学ぶ。(第1章 歳障害について学ぶ。 準価法、介入のポイー =ズム、評価法、介、 平価法、介入のポイー 	における課題および 連性について学ぶ。 更) 、 (第1章) ントについて学ぶ。 入のポイントについ ントについて学ぶ。	関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3 て学ぶ。(第2章- (第2章-II、第3
· 前 前 前 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	 ① 在	5。評価法の模擬実践 授業ラ 高次脳機能 高次脳機能 脳の側性化 運動と高 脳の機能 高次脳機能関 して、 して、 の機 高次脳機能関 の機 に の して、 の して、 の して、 の して、 の して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、	まや文献検索、ディ テーマ と障害とは 障害と制度 とと利き手 次脳機能 能解剖 章害の捉え方 こう こう こう に、ない、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	スカッション、ポー 授業計 高次脳機能障害のだいて学ぶ。(第1章 脳の側性化と利き= 脳の機能解剖と画作 神経心理循環など可 脳機能障害者におい 注意機能の分類、『 章-I) 半側無視について、 VI、第3章-VI,VII) 記憶機能の分類、『 章-II) 失行(運動、行為のて学ぶ。(第2章-I)	トフォリオの作成な 画 定義や種類、また障領 手の関連性、また運動 象所見の診方について。 なんやすさと意言 章害像と責任病巣、言 障害像と責任病巣、言 障害像と責任病巣、言 の障害)について、障 10障害)について、障	ど、アクティブラー 授業内容 寄当事者の社会生活日 助と高次脳機能の関注 文字ぶ。 と方を学ぶ。(第1章) 戦障害について学ぶ。 平価法、介入のポイ ニズム、評価法、介」 平価法、介入のポイ 章害像と発症メカニ.	における課題および 連性について学ぶ。 更 (第1章) ントについて学ぶ。 入のポイントについ ントについて学ぶ。 ズム、評価法、介入	関連する制度につ (第1章) (第2章-I、第3 て学ぶ。(第2章- (第2章-I、第3 のポイントについ

11		加藤		寮法(遂行機能障害 動障害)①			社会的行動障害)に∽ (第2章-Ⅶ,Ⅷ、第3		症メカニズム、評		
12		加藤		寮法(遂行機能障害 動障害)②			社会的行動障害)に~ (第2章-VII, VII、第3		症メカニズム、評		
13		加藤		関わる社会的課題と 策	就労や自動車運転な	就労や自動車運転など社会生活に関わる諸問題とその対策について学ぶ(4章)					
14 • 15		加藤 文献検索と事例検討			高次脳機能障害の名	♪症状に対する作業	療法の実践例を、文献	歌 検索を通して学ぶ。	2		
年日 」	For	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標		
成績評		筆記	試験	•	•			70	123		
到達目	連	レポ		●	•	•	•	20	2345		
		ポートス	フォリオ				•	10	5		
特記	西の 事項 准備学習	・筆記試験得点が6 ・レポート、ポート ・レポート、ポート	、フォリオは、課題、	のレポートとポート ごとに評点を定めた。 の遅滞や内容の不足		て評価する。評点は	認定する。 は課題ごとに提示する こは再提出を求める。	0			
Ħ	 ・各単元 時間内に ・教科書 ・授業で 	この終わりに配布され こ完成しなかった分し 春の該当ページを読。 での配布資料やレポー	れたレポート課題(は自宅に持ち帰り仕	文献レビューなど) 上げる) トフォリオを作成す		ズスペースを利用し	して作成する。レポー	-トは次回の授業中に	こ回収する。(授業		
, a	保健(評	(練・レホート寺)(こ刈りるノイートハ	ツクの方法							
			記入するなどしてフ する。答案を取りに言		別に口頭でフィード	バックを行う。					
12	教科書										
	「標準作	『業療法学 専門分野	野 高次脳機能作業	療法学 第2版」能發	登真一 編集 医学書	院					
12	参考図書	4 5 1									
	「高次脳 「リハヒ	A機能障害の作業療法 リスタッフ・支援者		留美 著 三輪書店 わかる高次脳機能障	害」和田義明 著 う 雅博 監修 診断と?						
ĺ	備考: 履	賃修者への要望									
I	日常生活	のあらゆる場面にお	おいて、高次脳機能	は深く関わっていま	す。今どのような高	次脳機能が働いてい	いるのか、もしその機	能がなければどの。	ような不便さが生じ		

日本上的の助分の場面において、同次加減酸には体、因わっていってといった。そこのような同次加減酸にか動いているのか、もという後にかないればといなうないたどの大き るのか、折に触れ、考える習慣をつけてみてください。決して「目に見えない障害」ではありません。また、「身体障害作業治療学Ⅱ」や「神経学」など、脳の障害 を扱う科目と内容が関連します。各科目の予習・復習も合わせて進めておいて下さい。

ł	受業科目名		専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
, MIRA	递 肢装具学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	15時間				
ł	担当教員名											
ĥ	赛渡 洋史											
612 2	実務経験のある教員											
	廣渡 洋史 : 義肢装具の提供 溝義を行う。	も業務とする医療機	&関で勤務し、装具る	を作成・提供してい	た経験を有する教員	が、義肢装具の種類	と適応、そのチェッ	クアウトについて				
ł	受業概要											
	義手・装具・スプリントを トはその種類・適応ついて 学習到達目標		に作業療法士の関わ	る上肢における義手	※・装具・スプリント	、を学ぶ。特にOTがī	重接かかわることが	多い装具・スプリン				
-		立ち歩き発明マネス	(554)									
知識	 ②障害像を理解した ③各疾患における作 ④上肢切断の義手道 	①各疾患の特徴・障害像を説明できる。(DP1) ②障害像を理解したうえで、必要な評価項目を列挙することができる。(DP1) ③各疾患における作業療法アプローチについて説明できる。(DP1) ④上肢切断の義手適応・拘縮手におけるスプリントの適応および評価、作業療法プログラムを説明できる。(DP1) ⑤各疾患に対して使用する装具のデザインと目的、必要な評価、装具の使用法を説明できる。(DP1)										
	・判断 長現											
技	能											
• <u></u>	・ 意欲 態度											
ł	受業形態											
講	義 講義は、教科書とプ	リント配布物で行う	。義手と装具は実物		-							
回数	担当教員	授業	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	廣渡		テーション 断	切断総論								
2	廣渡	義	手	義手の構造と部品・肩義手・上腕義手								
3	廣渡	義	手	手部義手・筋電義手								
4	廣渡	義	手	義手の訓練、チェックアウト、筋電義手の評価と訓練								
5	廣渡	義足・_	上肢装具	義足各論・上肢装具各論								
6	廣渡	上肢	装具	上肢装具各論								
7	廣渡	体幹装具	・下肢装具	体幹装具・下肢装具各論(要点のみ)								
8	廣渡	裕	括	全体についてのポイント確認								

観点別	評価方法	評価の観点	知識・ 理解	思考・判断・ 表現	技能	関心・意欲・ 態度	割合(%)	到達目標			
成績評価と 到達目標の 関連	筆記試験		•				80	12345			
NACE .		テスト	•				20	12345			
評価の 特記事項											
準備学習	習(予習·復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間								
	事前学習:該当箇所の予習(1時間)。 事後学習:講義後は、教科書を読み直すなどの復習(1時間)。										
課題(詞	弌験・レポート等)	に対するフィードバ	ックの方法								
描画、小	、テストは授業で返	却する。筆記試験は	研究室に保管してい	るので事前に連絡の	上、内容を確認する	うことができる。					
教科書											
「リハヒ	ゴリテーション義肢	[装具学] 清水順一	MEDICALVIEW 201	7年							
参考図書	1 1										
随時、配	随時、配布するプリント										
備考:層	髪修者への要望										
できるた	ごけ実物に触れて理	2解を深めるように心え	がけるようにしてく	ださい。							

1.	受業科目名		専	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
	義肢装具学実習			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間			
ŧ	担当教員名										
月	廣渡 洋史、小森 健司										
5	実務経験のある教員										
E	賽渡 洋史 : 義肢装具の提供 自助具への応用等について 小森 健司 : 医療機関にて名	寅習形式を中心に講	義を行う。				環境、道具、樹脂、	作成方法、樹脂の			
授業概要											
ļ	熱可塑性プラスチックを用いてスプリントの作成を行う。評価・採型からチェックアウトまで行い、技術を習得していく。代表的なスプリントを作成し、その技術を 身につける。										
È.	学習到達目標										
知識・	・理解 ①作成を通して、特	寺に失敗したことを存	本で覚えて理解する	。(DP1)							
	・判断 ^{長現} ②スプリント作成が	ごけに気を取られずに	こ、対象者への対応	を同時に注意して行	動ができる。(DP1)						
技	能 ③樹脂の特性を理角	 ఛして作成することか	ができる。(DP1)								
関心・ ・ 熊	• 意欲 態度										
ŧ	受業形態										
	授業形態 実習 最初の講義意外は全て実習形式で行う。										
実	習 最初の講義意外は自	全て実習形式で行う。									
				授業計	画	授業内容					
実 回数 1	 習 最初の講義意外は 担当教員 廣渡 	授業ラ				授業内容 特に前腕から手指の	の解剖について学ぶ				
回数	担当教員	授業ラ		スプリント作成によ	公要な解剖学を学び、						
回数 1	担当教員 廣渡	授業ラ スプリント作成 スプリント作成	テーマ	スプリント作成によ スプリント作成によ スプリント作成によ	3要な解剖学を学び、 3要な運動学を学び、	特に前腕から手指(特に前腕から手指(公要な知識と作成の)	のうごきについて学	స			
回数 1 2	度波度	授業ラ スプリント作成 スプリント作成 スプリント作	テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学	スプリント作成にな スプリント作成にな スプリント作成にな スプリント作成をf	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、。 生樹脂の軟化させその	特に前腕から手指(特に前腕から手指(公要な知識と作成の)	のうごきについて学 物品などの種類・取	స			
回数 1 2 3	担当教員 廣渡 廣渡 廣渡	授業ラ スプリント作成 スプリント作成 スプリント作 樹脂の特徴と	テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学 成の事前知識	スプリント作成によ スプリント作成によ スプリント作成をf ぶ。実際に熱可塑性 樹脂の特徴を知ると	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、。 生樹脂の軟化させその	特に前腕から手指(特に前腕から手指(必要な知識と作成の? の特徴を知る こ必要な自助具を作り	のうごきについて学 物品などの種類・取	స			
回数 1 2 3 4	担当教員 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡	授業 スプリント作成 スプリント作成 スプリント作 樹脂の特徴と 中枢系のスプ	テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学 成の事前知識 自助具の転用	スプリント作成によ スプリント作成によ スプリント作成をf ぶ。実際に熱可塑性 樹脂の特徴を知るよ	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、。 生樹脂の軟化させその こともに、摂食動作の	特に前腕から手指(特に前腕から手指(と要な知識と作成の) の特徴を知る こ必要な自助具を作) こついて学ぶ	のうごきについて学 物品などの種類・取	<u>~</u>			
回数 1 2 3 4 5	担当教員 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 小森	授業ラ スプリント作成 スプリント作成 スプリント作 樹脂の特徴と 中枢系のスプ ポリフォ	テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学 成の事前知識 自助具の転用	スプリント作成に4 スプリント作成に4 スプリント作成です ぶ。実際に熱可塑性 樹脂の特徴を知る。 中枢系のスプリン ポリフォーム樹脂の	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、 生樹脂の軟化させその こともに、摂食動作に 、の特徴とその機能に	特に前腕から手指(特に前腕から手指(2、要な知識と作成の) の特徴を知る こ必要な自助具を作(こついて学ぶ 5	のうごきについて学 物品などの種類・取	<u>~</u>			
回数 1 2 3 4 5 6	担当教員 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 小森	授業ラ スプリント作成 スプリント作成 スプリント作 樹脂の特徴と 中枢系のスプ ポリフォ 中枢系スス	テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学 成の事前知識 自助具の転用 リントの特徴 ーム特徴	スプリント作成に4 スプリント作成に4 スプリント作成に4 スプリント作成をf ぶ。実際に熱可塑性 樹脂の特徴を知ると ポリフォーム樹脂の ポリフォーム樹脂を	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、 生樹脂の軟化させその とともに、摂食動作に 、の特徴とその機能に の特徴と使い方を知っ	特に前腕から手指(特に前腕から手指(2.要な知識と作成の! の特徴を知る こ必要な自助具を作) こついて学ぶ 5 トの作成方法を知る	のうごきについて学 物品などの種類・取	స			
回数 1 2 3 4 5 6 7	担当教員 廣渡 廣渡 廣渡 廣渡 小森 小森	授業ラ スプリント作成 スプリント作成 スプリント作 樹脂の特徴と 中枢系のスプ ポリフォ 中枢系スプ	 テーマ に必要な解剖学 に必要な運動学 成の事前知識 自助具の転用 リントの特徴 ーム特徴 デリント① 	スプリント作成に4 スプリント作成に4 スプリント作成に4 スプリント作成をf ぶ。実際に熱可塑性 樹脂の特徴を知ると 常いフォーム樹脂の ポリフォーム樹脂を ポリフォーム樹脂を	公要な解剖学を学び、 公要な運動学を学び、 年成するにあたり、 年成するにあたり、 生樹脂の軟化させその ともに、摂食動作に い特徴とその機能に の特徴と使い方を知った と使用したスプリン	特に前腕から手指(特に前腕から手指(2)要な知識と作成の? の特徴を知る こ必要な自助具を作) こついて学ぶ 5 トの作成方法を知る トを作成する	のうごきについて学 物品などの種類・取	స			

			-							
11		廣渡		プリント ースプリント	説明(作り方や注意	〔点を知る)・作成る	を開始する(採型)			
12		廣渡		プリント ースプリント	作成(説明通りに作る)					
13		廣渡		カスプリント プリント	説明(作り方や注意点を知る)・作成を開始する(採型)・作成(説明通りに作る)					
14		廣渡	サムスパイス 指用スス	カスプリント プリント	作成(説明通りに作	E3)				
15		廣渡	総	総括 スプリント・装具の違いや特徴についてまとめる						
	点別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標	
到達日	評価と 目標の 連	レポート提出物			•	•		70	123	
(F)	1JE	参加了	貢献度	•	•			30	12	
特記	山の	ださい。特に、卒後 ん。	伏度で評価する。 課題 ξ、レポートを見て↑ の具体的な内容及び・	乍成方法を思い返せ	となりますので注意 るようなレポートと	してください. レボ なるように意識し、	ートは作成の準備、 適宜、質問しながら	方法、失敗したこと 進めてください。₱	とを主に記載してく 再試験は実施しませ	
ł	授業後は	t忘れないうちに作用		モをとりレポート記	載を始めてください	。(約1時間)				
10 F	課題(討	、験・レポート等) (こ対するフィードバ	ックの方法						
1	レポート	、記載にあたり、作用	成にあたる課題解決(のポイントや質問事	項があればその都度	担当教員に質問して	こください。			
TAN	教科書									
ß	随時、酝	己布するプリント								
14	参考図書	¥								
	「リハ実 「リハビ	≤践テクニック ハン ごリテーション義肢∛	「ドセラピィ」 齋蘭 装具学」 清水順一	《慶一郎 MEDICALVI MEDICALVIEW 201	EW 2014年 7年					
1	備考:履	酸者への要望								
1										

まず楽しむこと。理解したことを実践し、実践の中で失敗を恐れず体で覚えるように心がけてください。主担当:廣渡洋史

ŧ	受業科目名		車	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数
j	リハビリテーション関連機	22	リハビリテー 作業療法		2学年	必修	1単位	30時間
ł	坦当教員名							
Ũ	度邊 豊明							
17	実務経験のある教員							
	度邊 豊明:医療機関で作 車機器の適用や使用方法、 ³				食事、整容、入浴、持	非泄、更衣の各ADLに	こおいて使用するリノ	ハビリテーション関
ž	受業概要							
-	乍業療法介入の手段として、 するリハビリテーション関う 最新の機器についての情報・	車機器の適用や使用フ	方法、導入する際のi	選定のポイントにつ	いて学ぶ。また、福	多動、食事、整容、 祉用具等の展示施計	入浴、排泄、更衣の 没に参加し、実際の材	各ADLにおいて使用 幾器に触れ、さらに
1	学習到達目標							
知識・	・理解 ②各疾患患者による	るリハビリテーショ 5、リハビリテーショ 意点を説明できる。	レン関連機器を用いた			1)		
思考・ ・表	・判断 長現 ④最新のリハ関連様	幾器について、その使	使用方法や利点、対象	象について調べて表:	現することができる	。 (DP1)		
技	能 ⑤グループにて必要	要事項をまとめ、疾患	見別の内容を発表でき	きる。 (DP1)				
関心・ ・ 魈	 ・意欲 態度 ⑥積極的に授業に参 	診加し、意見交換がて	ごきる。(DP1)					
ŧ	受業形態							
講	議義は各テーマごと ループワークを用い	とに、グループディス いて知識を深める。	 カッション方式を付		結果を発表し、意見	を出し合う双方向性	の授業を展開する。	授業後半には、グ
回数	担当教員	授業ラ		授業計	画	授業内容		
1	渡邊	オリエンテーシ	ョン、福祉用具	オリエンテーション トについてについて 教科書 : pp1-32	、福祉用部総論から	っ作業療法士の役割、	福祉用具適応論、	リスクマネジメン
2	渡邊	福祉用具		1				
3			<*> xm/11	起居、移乗動作につ 教科書:pp33-50	ついて			
Ŭ	渡邊	福祉用身	の適田		かいて			
4	渡邊 渡邊	福祉用員	し し の 適用 し の 適用	教科書: pp33-50 勢、移動について				
			その適用 その適用	教科書:pp33-50 勢、移動について 教科書:pp52-73 更衣、整容と排泄に	こついて			
4	渡邊	福祉用身	 し、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	 教科書:pp33-50 勢、移動について 教科書:pp52-73 更衣、整容と排泄に 教科書:pp74-82 食事、家事について 教科書:pp83-94 	こついて	こついて		
4	渡邊 渡邊	福祉用具	 この適用 この適用 この適用 用具使用例 田目値田砌 	 教科書:pp33-50 勢、移動について 教科書:pp52-73 更衣、整容と排泄に 教科書:pp74-82 食事、家事について 教科書:pp83-94 頸髄損傷、脳血管障 教科書:pp107-122 	こついて			
4 5 6	渡邊渡邊	福祉用具 福祉用具 疾患別福祉	 この適用 この適用 この適用 目して、 目して、 日して、 日して、 日して、 日して、 日の適用 <	 教科書:pp33-50 勢、移動について 教科書:pp52-73 更衣、整容と排泄に 教科書:pp74-82 食事、家事について 教科書:pp83-94 頸髄損傷、脳血管関 教科書:pp107-122 行性疾患、脳性麻鶏 	こついて 達害、関節リウマチに 画、認知症、精神障害			
4 5 6 7	渡邊渡邊	福祉用身 福祉用身 疾患別福祉 疾患別福祉	 4.の適用 4.の適用 4.の適用 4.の適用 用具使用例 用具使用例 第整備 ※整備 	 教科書:pp33-50 勢、移動について 教科書:pp52-73 更衣、整容と排泄に 教科書:pp74-82 食事、家事について 教科書:pp83-94 頸髄損傷、脳血管障 教科書:pp107-122 行性疾患、脳性麻痺 教科書:pp122-152 作業療法と環境整備 	こついて 達害、関節リウマチに 画、認知症、精神障害			

11		渡邊 コミュニケーション,環境制御装置, 福祉車両など			コミュニケーション機器、環境制御装置、福祉車両について 教科書 : pp98-106、178-180					
12		渡邊	症例相	食討①	疾患別福祉用具、住宅改修についてのグループワーク					
13	渡邊 症例検討②			疾患別福祉用具、住	宅改修についての	グループワーク				
14	渡邊 国家試験対策				福祉用具、住宅改修	の国家試験問題に	ついて			
15		渡邊	講義の	まとめ	まとめ					
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標	
 観点 成績評 到達目 		筆記	試験	•	•			70	123	
	連	授業,発表問	寺の参加態度		•	•	•	15	456	
		レポ	·	•	•			15	1234	
特記	争坦		つ合計点数が6割に達		貢試験を実施する。					
Ì	準備学習	習(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間						
			Dページの予習(1時 書を読み直すなどの行							
1 1	課題(詞	弌験・レポート等) /	こ対するフィードバ	ックの方法						
4	筆記試影	食は研究室に保管し ⁻	ているので事前に連続	絡の上、内容を確認	することができる。					
TRAP.	教科書									
	「作業務	衰法技術学2 福祉用	具の使い方、住環境	「整備」 日本作業務	寮法士協会 協同医書	皆出版 2016年				
120	参考図書	4 1								
ß	迶時配布	うするプリントなど								
ĺ	備考 :	賃修者への要望								
1	リハビリ	「テーション関連機器	器は様々な種類があ	り、新製品の開発に	も力がそそがれてい	る。講義の中だけて	ごなく、自ら積極的に	ニ調べ理解を深める、	こと。	

ŧ	受業科目名		屯	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数	
ţ	地域作業療法学			ーション学科 法学専攻	2学年	必修	1単位	30時間	
扌	旦当教員名								
	度邊 豊明								
	長務経験のある教員 度邊 豊明:介護保険施設 ⁻	での実務経験を有する	る教員が、地域作業	療法の講義を実施す	- a .				
*	受業概要								
ţ Į	***** 地域における作業療法士の行うの住む地域の資源を把握して学び、地域で求められる付き	屋するとともに、事作	列を通して地域リハ	ビリテーションの実	際について学ぶ。さ	:学び、それを支える らに、地域包括ケフ	5制度・支援・連携(マシステムの中の作う	こついて理解する。 業療法の実際につい	
	199477 ①地域リハビリテー	ーションの背景と歴史 既要について説明でき	とについて説明でき きる。(DP1)	る。 (DP1,6)					
	・判断 ③自分の住む街の地 長現 ④事例を通して、地	地域資源を調べ、報告 地域作業療法の実際に	言することができる こついて理解し、伝	。(DP6) えることができる。	(DP5, 6)				
技	能								
	度	る作業療法士の役割に	こついて、自らの考	えを述べることがで	きる。 (DP6)				
諸	受業形態義 事例報告や、地域資	資源に関する調査学習	習等のアクティブラ	ーニングを取り入れ	て進めます。				
				授業計	画				
回数	担当教員	授業ラ				授業内容			
1	渡邊	地域作業療法	の基盤と背景	地域作業療法の基盤と背景:教科書2-3					
2	渡邊	地域作業療法	を支える制度	地域作業療法を支える制度:教科書38-84					
3	渡邊	地域作業務	寮法の実践	地域作業療法の実践	隻:88-157				
4	渡邊	地域リハビリテー	ションのシステム	地域リハビリテー≶ 第Ⅴ章	>ョンのシステムに	ついて学ぶ。			
5	渡邊	事例	報告	事例報告(各自で事	事例についてまとめる	3)			
6	渡邊	事例	検討	事例検討(解説)					
7	渡邊	事例	検討	事例検討(解説)					
8	渡邊	事例	検討	事例検討(発表)					
9	渡邊	事例	検討	レポート作成					
10	渡邊	地域作業療	法動画学習	ユマニチュード動画	可視聴 1				

11		渡邊	地域作業療	地域作業療法動画学習 ユマニチュード動画視聴2							
12		渡邊	地域作業療	法動画学習	プロフェッショナル	視聴					
13		渡邊	地域作業療	法動画学習	涙の滴視聴						
14		渡邊	本学園のデイ	ケアについて	デイケア見学につい	て考える					
15		渡邊	まと	とめ	まとめ						
観点	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標		
到達日	*価と 目標の 連	課題レ	ポート	•	•			85	1~4		
	参加貢献度						•	15	5		
2. 	mの 事 準備 学 習 で で で で で で で で で で で で で	参加態度は主に、ク評価方法の合計が6 (予習・復習等)の 教科書の該当ページ 活の地域資源を調く 授業内容を振り返り 、験・レポート等)の	べ、報告していただ:	 ション時の様子で評レポートの再提出を それに必要な時間 門用語を理解しておきます。(約1時間) 合を図りながら理解 ックの方法 	と求める。 らくようにしてくださ に努めてください。		等についての報道に関	引心を寄せるよう心?	がけてください。自		
12	教科書										
		·療法学 地域作業病	寮法学 第4版 大熊	《明 他 医学書院	5						
18in	参考図書	* }									
ł	なし										
ĺ	備考: 履	修者への要望									
ŧ	地域でオ	とめられる作業療法∃	上について学び、自	らの住む地域に置き	換えて、自分が何が	できそうか一緒にネ	考えて行きましょう。				

ŧ	受業科目名		専	攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
ţ	也域作業療法学実習			ーション学科 去学専攻	1学年,2学年	必修	1単位	45時間				
#	旦当教員名											
	青水 一輝、外倉 由之、水	口 和代、山田 隆司	1									
-	センタンシャンシャン											
	実務経験のある教員 青水一輝・外倉由之 : 介護	保険施設での勤務経	験を有する教員が、	地域作業療法の講	義を実施する。							
ند	授業概要											
i N B	本科目は、地域作業療法が実施されている施設を見学し、その目的を理解する。具体的には、デイケアでの作業療法の一部の経験を通して、地域リハビリテー ション・地域作業療法の実際を理解し、地域の社会資源や、そこに関わる専門職種について学び、その中で求められる作業療法士の役割について学習する。さら に、グループでの実習を実施することにより、計画立案・他者との協力を経験し、高齢期障害を持つ対象者との適切な関わりを学ぶ。地域における作業療法の実 際を学び、臨地での経験を積むため、法人内のデイケアセンターで臨床実習を行う。											
Ě	学習到達目標											
知識,	・理解											
	 ・判断 ①地域作業療法が第 ②対象者を評価する 	実施されている施設: るための視点につい			できる。 (DP1・6)							
技	能 ④老年期障害を持~	るための視点を実際(つ対象者に対して適 の提供,生活史の作)	切な作業の提供や地	域在住高齢者への	主活史の聞き取りを		(DP1 • 5)					
				()								
	 ・意欲 ⑥老年期障害を持~ ⑤グループワークレ 	つ対象者と、適切に こおいて、自らの役割			:)							
ŧ	受業形態											
実	習 グループでのディン	スカッション、体験:	学習、グループ発表	など								
回数	担当教員	授業5	テーマ	授業計	画	授業内容						
1	清水		ゴンス	科目全体のオリエ: デイケアでの実習!	ノテーション こ向けた課題レポー							
2	清水	生活史作成ガイ	イダンス,準備	生活史の聞き取り詞	や方法について講義 果題のレポート説明 反りの準備を行い,材							
3~4	清水	生活史の	聞き取り	地域在住の高齢者の	の方を対象に生活史(の聞き取りを行う						
5~7	清水 生活史の作成 聞き取った生活史に従い,対象者の方らしさのある生活史を作成する											
8	8 清水 デイケアの施設見学 提供する作業を検討するにあたり必要な情報を収集し、デイケア利用者との交流を経験							泛流を経験する				
9~14 清水 デイケア実習の準備 グループ単位で、提供する作業の計画を立案し、練習を行						ŕð						
1	5~16 清水 模擬的な作業の提供 グループ単位で、学生を対象として、作業を模擬的に提供し、修正点を検討											

17~18		清水	施設での作	乍業の提供	計画した作業を,う	デイケアで実際に対	象者に提供する				
19		清水	介護予問	方の実際	清洲市民げんき大学で実施している介護予防活動に参加し、その意義について学ぶ						
20		外倉・清水		き大学 演習 加	清須市民げんき大学の演習に参加する						
21		外倉・清水		き大学 演習 、まとめ	清須市民げんき大学の演習について振り返る、まとめ						
22		水口・清水	当事者の生活と作	業療法士への期待	当事者との関わりる ついて理解を深める		えながら生活するこ	とや作業療法士とし	- て必要な態度に		
23		山田・清水	障害の捉え方と	作業療法の支援		からの講義を通して べきポイントについ		する障害とはなんた	このか、作業療法		
	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標		
	平価と 目標の 連	標の レポート			•	•		80	12345		
		参加j	貢献度			•	•	20	467		
	 面の 事項	基本的に再試験は第 本科目の単位認定[実施しない。 こは「地域作業療法	学」の単位の習得カ	ぶ必須である.						
Ĩ	準備学習	習(予習・復習等)	の具体的な内容及び	それに必要な時間							
	(予習 (30分)		習前の、実習施設に	関する情報収集や,	提供する作業の計	画立案・準備・練習	は授業時間外にも利	責極的に行うように	してください。		
Ē	課題(評	試験・レポート等)	に対するフィードバ	ジックの方法							
	・レポー ・作業の	ートは、提出期限を の模擬的な実施の際	指定して、複数回提 には、その場でフィ	出していただき、 ² ードバックを行っ ⁻	その都度フィードバ ていきます。	ックを行います。					
TINE	 教科書										
,	なし										
13	参考図書	書									
ł	授業中に紹介します。										
ſ	備考: 凮	履修者への要望									
	・グル- ・見学の	 ・グループワークを円滑に進めるため、各自が責任を持って積極的・協力的に行動してください。 ・見学の際、受身的な態度では何も学びとることはできないです。積極的に自ら学ぼうとする態度で臨んでください。 									

・実習の際は、実際に対象者と関わり触れることになるため、安全面(精神的・身体的)への配慮を怠らないでください。

ł	受業科目名		吏	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
克	优労支援学			ン学科作業療法学専 攻	3学年	必修	1単位	30時間			
ł	但当教員名										
Ŕ	黄山 剛										
U.V.	実務経験のある教員										
	黄山 剛:医療機関で作業類 および職業的発達を確認し、					「ることを目標に、肖	学生が自身のこれま	での心理社会的発達			
ŧ	受業概要										
0	▶科目は、まず人の欲求に- ような発達を遂げながら現れ)」について他者の視点を1 さらに、これらの内容を元∂	在に至ったのかについ 取り入れるため、少ノ	ハてワークシートを 人数形式で演習を交	:用いて解釈していく ごえながら行う。	。その際には、「F	目身の職業的発達の調	歳業的発達について 説明」や「他者の職	概観し、自身がどの 業的発達の聞き取			
À	学習到達目標										
知識・	 ・理解 ②障害者雇用の現物 ③障害者雇用の政策 	ついて心理社会的発達 犬を説明できる <dp2 食について説明できる 餐について説明できる</dp2 	> 5 < DP2 >	きる <dp1></dp1>							
思考・ ・表	判断 ^{実現}										
技	能										
関心・ ・ 熊	:意欲 ⑤自身の職業的発達	童について整理し作業	美療法士になること	の意味を説明できる。	< DP6 >						
ł	受業形態										
講	義 講義、グループディ	ィスカッション、ディ	ィスカッションした	内容のプレゼンテー	ション						
回数	担当教員	授業ラ		授業計	画	授業内容					
1	横山	障害者の就	業の現状①	障害者の雇用の現状	について①						
2	横山	障害者の就	業の現状②	障害者の雇用の現状	について②						
3	横山	心理社会的発	達について①	乳幼児期の発達							
4	横山	心理社会的発	達について②	学童期の発達							
5	横山	心理社会的発	達について③	青年期の発達①							
6	横山	心理社会的発	達について④	青年期の発達②							
7	横山	心理社会的発	達について⑤	青年期の発達③							
8	横山	心理社会的発	達について⑥	成人期の発達							
9	横山	心理社会的発	達について⑦	老年期の発達							

10		横山	職業的	発達①	学童期の発達							
11		横山	職業的発達②		青年期の発達							
12		横山	職業的	発達③	成人期の発達							
13		横山	職業的	発達④	老年期の発達							
14		横山	まと	: Ø	まとめ							
15		横山	まと	きめ	まとめ							
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標			
観 点 績 評 到 達 目		レポ		●			•	40	12345			
	連	参加貢献度 ●					•	30	12345			
		プレゼンテ-	ーション内容	•			•	30	12345			
評伯 特記	事項		る)、授業への参加了 の具体的な内容及び-		レゼンテーション内窄	孝(30%)。60点	の未満の場合は、再度	レポートをしてい	ただきます。			
					てください(1回の講	義につき1時間)	0					
			こ対するフィードバ ついて個別にフィー									
HST.	 教科書											
ŧ	受業中に	資料を配布します。										
The second se	参考図書	÷										
ß	 遺時紹介	します。										
ĺ	備考 :履	修者への要望										
,	人の職業はどのように決まっていくのか、また人はなぜ働くのかについて心理社会的発達から理解し、自身の職業的発達についての理解を深めてください。											

ł	受業科目	名		ιψη Γ	専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
-	臨床実習	BI(見学)			ーション学科 法学専攻	1学年	必修	2単位	90時間			
ł	也当教員	自名										
ţ	加藤 真	夕美、横山 剛、渡邊	疉 豊明、清水 一輝、	松田 裕美、廣渡	洋史、外倉 由之							
61N	実務経験	(のある教員										
Ţ	以上の耄	女員は、医療機関や 補	真夕美、渡邊 豊明、 畐祉施設などで作業類									
ł	受業概要											
THE					ἕ療法士の役割と責任 年次以降の専門的な領							
21	学習到诸	皆目標										
知識	・理解		Nや専門的な内容を体 この問題解決の為に作		(DP1, 2, 5, 6) きることを概念的に	捉える。(DP1,2,5,	6)					
	・判断 長現	③見学した施設の目 (DP1, 2, 3, 5, 6)	1的、役割、治療方釒	+、施設組織及び作	:業療法部門の役割を	把握し、その中でリ	ハビリテーションと	しての作業療法の意	義を掴む。			
技	能	④これまでに学んた うに準備する。(DI		まどのような意味を	持つのかを考え、こ	れ以降の専門的な学	習を通じての知識習	得をより効果的かつ	有意義に行えるよ			
• <u></u>	・意欲 態度		0医療スタッフとのダ	を流によって、将来	作業療法士になるた	めの資質向上に役立	てる。(DP1,2,3,4,	5, 6)				
1	受業形態	22										
外部	実習	医療、介護施設に また、感染症拡大	こおける臨床実習とす こ下などで施設実習を	├る。なお、事前の と行うことができな	2実習前ガイダンス、 い場合は、学内で相 授業計	及び実習後セミナー 応の経験ができるよ 	(いずれも演習形態 うな学内実習をもっ)を含む。 て代替することがあ	5.			
回数		担当教員	授業ラ									
		、廣渡、加藤、渡 青水、松田、外倉	実習前ガ	イダンス		-ションを実施し、第 目必要な実習前学習る	実習への心構え、態息 と行う。	度、その他準備すべ	きことを周知す			
		、廣渡、加藤、渡 青水、松田、外倉	医療・介護施討	没 での見学実習	作業療法士の在籍す を行う。	~る医療機関・介護カ	施設へ赴き、規定のり	期間、実習目標が達				
		、廣渡、加藤、渡 青水、松田、外倉	実習後も	マミナー	実習終了後、学内で ポートなどの内容に	この実習報告会を実施 こついては、実習前の	をし、実習報告レポー ロガイダンスにて提っ	ートを本学へ提出す。 示する。	る。実習報告レ			
観点	気別	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標			
到達日	目標の連	総合評価とする。 を参照の		•	•	•	•	100	12345			
	mの 事項	各施設において、実習指導者によって実習目標に基づいた具体的項目についての評価を受ける。その評価内容をもとに、実習後の報告会、レポート内容な どを総合的にみて、学内の各専攻における実習判定会議にて、学習目標が達成できたと判断された場合に合格とする。実習前ガイダンスや実習後セミナー 等、学内ガイダンス・報告会には必ず出席すること。正当な理由なき欠席の場合は、実習を見合わせることもある。また、不合格となることもある。										
Î	準備学習	習(予習・復習等) <i>0</i>	の具体的な内容及びそ	それに必要な時間								
í	复習:彩				0分) 学習内容に関する実	習指導者からのフィ	ードバック内容を踏	皆まえて更に学習を衫	彩め、以後の学習に			
μh	課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法											
	 ・日々の実習内容や疑問点を記す「デイリーノート」は、基本的にはその翌日に実習指導者からフィードバックを受ける。 ・実習で学んだことをまとめる「実習レポート」は、実習中に実習指導者から随時フィードバックを受ける。 ・実習で学んだことは「実習後セミナー」で発表する。学生はセミナー用にレジュメを作成する。発表の場で本学教員及び参加学生からのフィードバックを受ける。 											

教科書

これまでに使用した教科書や授業で配布した資料すべて

参考図書

関係成書

備考:履修者への要望

・「リハビリテーション、作業療法」について整理するとともに、現在の社会的背景や自分の考えも踏まえ説明ができるようにしましょう。
 ・医療従事者として、社会人として身につけておくべき資質について考えまとめましょう。
 ・実習中において、わからないことや疑問に思ったことは自ら調べまとめましょう。
 ・作業療法士になるための総合的な学習の場として、臨床実習があります。知識、技術、態度など多角的に能力を高められるように取り組むことが大切です。
 ・実習では多くのわからないことや疑問が出ます。実習指導者や本学教員の助言を積極的に仰ぎ、自己成長に繋げてください。

ł	授業科目	目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数			
i i i	臨床実習	習Ⅱ(地域)				1学年	必修	1単位	45時間			
1	取業計画名 マダス 時期 限售力広 (単位時間) 総合時間或 臨床実習 II (地域) リハビリテーション学科 作業療法学専攻 1学年 必修 1単位 45時間 担当教員名 1単位 45時間 担当教員名 1 45時間 東務経験のある教員 45時間 壊消経験のある教員 45時間 45時間 45時間											
ţ	加藤 真	夕美、横山 剛、渡;	邊 豊明、清水 一輝	1、松田 裕美、廣波	专洋史、外倉 由之							
4	実務経験	険のある教員										
1	授業概要	Ŧ										
					している病院・施設し	こおいて、地域にお	ける作業療法の実際	奈を見学することに、	より、地域包括ケ			
-	学習到這	 全目標										
知識	・理解)						
	考・判断 ③在宅生活を送る症例を把握し、その問題解決の為に作業療法士としてできることを概念的に捉える。 ④見学した施設の目的、役割を把握し、その中で地域リハビリテーションとしての作業療法の意義を掴む。(DP1,2,3,5,6)											
技	技能 ⑤これまでに学んだ基礎知識が実際にはどのような意味を持つのかを考え、これ以降の専門的な学習を通じての知識習得をより効果的かつ有意義に行える ように準備する。 (DP1, 2, 3, 4, 5, 6)											
	・意欲 態度	⑥作業療法士や他0	の医療スタッフとの	交流によって、将著	来作業療法士になるた	とめの資質向上に役	立てる。(DP1,2,3,	4, 5, 6)				
1	授業形態	7002										
外部	『実習				の実習前ガイダンス、 ない場合は、学内で材				ゞある。			
回数	1	担当教員	授業ラ		授 業 計 画 授業内容							
		廣渡、加藤 、渡 清水、外倉、松田		イダンス	実習のオリエンテ~ る。その上で、各自		実習への心構え、態	度、その他準備す~	、きことを周知す			
		廣渡、加藤 、渡 清水、外倉、松田	医療・介護施設	投での見学実習	作業療法士の在籍す 習を行う。	└る医療機関・介護	施設へ赴き、規定の	期間、実習目標が通	を成できるよう実			
		、廣渡、加藤、渡 清水、外倉、松田	実習後†	セミナー			施し、実習報告レホ のガイダンスにて携		-る。実習報告レ			
	点別 評価と	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合 (%)	到達目標			
到達	目標の]連	総合評価とする。 項」を参照	「評価の特記事 罠のこと。	•	•	•	•	100	123456			
	面の 2事項	などを総合的にみつ	こ、学内の各専攻に:	おける実習判定会認	いた具体的項目につい 義にて、学習目標が通 正当な理由なき欠席	権成できたと判断さ	れた場合に合格とす	る。実習前ガイダン	/スや実習後セミ			
Ì	準備学習	習(予習・復習等)の	の具体的な内容及び	それに必要な時間								
1	復習:約	学内で学んだ内容を 経験した内容を振り ずられるようにする	返りまとめ、レポー	を進めること。(・トを作成すること	30分) 。学習内容に関する3	実習指導者からのフ	イードバック内容を	と踏まえて更に学習:	を深め、以後の学			
	興題 (≩	式験・レポート等)(に対するフィードバ	「ックの方法								

 ・日々の実習内容や疑問点を記す「デイリーノート」は、基本的にはその翌日に実習指導者からフィードバックを受ける。
 ・実習で学んだことをまとめる「実習レポート」は、実習中に実習指導者から随時フィードバックを受ける。
 ・実習で学んだことは「実習後セミナー」で発表する。学生はセミナー用にレジュメを作成する。発表の場で本学教員及び参加学生からのフィードバックを受け る。

教科書

これまでに使用した教科書や授業で配布した資料すべて

参考図書

関係成書

- 「リハビリテーション、作業療法」について整理するとともに、現在の社会的背景や自分の考えも踏まえ説明ができるようにしましょう。
 医療従事者として、社会人として身につけておくべき資質について考えまとめましょう。
 実習中において、わからないことや疑問に思ったことは自ら調べまとめましょう。
 作業療法士になるための総合的な学習の場として、臨床実習があります。知識、技術、態度など多角的に能力を高められるように取り組むことが大切です。
 実習では多くのわからないことや疑問が出ます。実習指導者や本学教員の助言を積極的に仰ぎ、自己成長に繋げてください。

授業和	科目名		Ę	 東 攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数					
臨床	実習Ⅲ(評価)			ーション学科 法学専攻	3学年	必修	4単位	180時間					
担当教	教員名												
横山	剛、加藤 真夕美、廣江	度 洋史、渡邊 豊明	、清水 一輝、松田	日 裕美、外倉 由之									
実務約	経験のある教員												
	剛、廣渡洋史、加藤 J の教員は、医療機関や社												
授業権	概要												
	に学んだ作業療法評価(、学生が診療チームの-							る。実習形態とし					
学習到	学習到達目標												
知識・理解	知識・理解 ①既に学んだ検査測定の知識や技術を実際の対象者に実施する。(DP1,2)												
思考・判問 ・表現	思考・判断 ・表現 ②収集した情報及び実施した個々の検査結果を基にして対象者像をとらえ、主要な問題を把握する。(DP1, 2, 5)												
技能	技能 ③医学的、社会的に必要な情報を集める。(DP1, 2) ④必要な事項を記録し、報告する能力を身につける。(DP1, 2, 5)												
関心・意谷 ・態度	③ ⑤知識、技術、人格	各が作業療法士とし	ての三本柱である、	ことを深く心に刻み、	医療専門職として	の向上、充実を図る	ための態度を養成で	する。 (DP3, 4, 5, 6)					
授業研	形態												
外部実習				の実習前ガイダンス、 ない場合は、学内でオ				がある。					
回数	担当教員	授業-	テーマ	授業計画 -マ 授業内容									
横	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田		イダンス		ーションを実施し、 自必要な実習前学習	実習への心構え、態	度、その他準備すっ	べきことを周知す					
	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田	医療・介護が	施設での実習	作業療法士の在籍 ⁻ 習を行う。	する医療機関・介護	施設へ赴き、規定の	期間、実習目標がi	達成できるよう実					
	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田	実習後十	マミナー			施し、実習報告レポ のガイダンスにて提		する。実習報告レ					
観点別 成績評価 3		評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標					
到達目標 <i>0</i> 関連	 総合評価とする。 項」を参照 	「評価の特記事 鼠のこと。	•	•	●	•	100	12345					
評価の 特記事項	i などを総合的にみて ナー等、学内ガイタ	く、学内の各専攻に マンス・報告会には	おける実習判定会割 必ず出席すること。	いた具体的項目につい 義にて、学習目標が 正当な理由なき欠応	達成できたと判断さ	れた場合に合格とす	る。実習前ガイダン	ンスや実習後セミ					
	学習(予習・復習等)の												
復習	予習:学内で学んだ内容を整理し、実習の準備を進めること。(30分) 復習:経験した内容を振り返りまとめ、レポートを作成すること。学習内容に関する実習指導者からのフィードバック内容を踏まえて更に学習を深め、以後の学 習に繋げられるようにすること。(30分)												

課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法

・日々の実習内容や疑問点を記す「デイリーノート」及び、症例の日々の様子を記す「ケースノート」は、実習期間中に適宜実習指導者からフィードバックを受

ける。

いる。 ・症例の評価結果をまとめる「ケースレポート」は、実習後に学内で作成し、適宜教員のフィードバックを受ける。 ・実習で学んだことは「実習後セミナー」で発表する。学生はセミナー用にレジュメを作成する。発表の場で教員及び参加学生からのフィードバックを受ける。

教科書

これまでに使用した教科書や授業で配布した資料すべて

参考図書

関係成書

- 「リハビリテーション、作業療法」について整理するとともに、現在の社会的背景や自分の考えも踏まえ説明ができるようにしましょう。
 医療従事者として、社会人として身につけておくべき資質について考えまとめましょう。
 実習中において、わからないことや疑問に思ったことは自ら調べまとめましょう。
 作業療法士になるための総合的な学習の場として、臨床実習があります。知識、技術、態度など多角的に能力を高められるように取り組むことが大切です。
 実習では多くのわからないことや疑問が出ます。実習指導者や本学教員の助言を積極的に仰ぎ、自己成長に繋げてください。

授業科	斗目名		Ę	厚攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
臨床実	長習Ⅳ(総合1)			ーション学科 法学専攻	3学年	必修	8単位	360時間				
担当教	牧員名											
横山「	剛、加藤 真夕美、廣波	度 洋史、渡邊 豊明	、清水 一輝、松田	日 裕美、外倉 由之								
実務経	圣験のある教員											
	剛、廣渡洋史、加藤 享 D教員は、医療機関や福											
授業概	既要											
及び治	含実習という位置づけの 台療計画の立案、治療∃ よ、学生が診療チームの	長武並びに治療効果	判定という一連の	作業療法過程を実施	する。また、そのた	めに必要な記録、幸	最告ができるように					
学習到	削達目標											
知識・理解	¥ ①評価結果を基に具	体的な治療計画を	組むことができる。	(DP1, 2, 5)								
思考・判断 ・表現	「 ②治療計画に沿って	、臨床実習指導者	の指導のもとで、通	箇切な治療訓練ができ	きる。(DP1,2,5)							
技能	技能 ③対象者が抱える問題点やその原因を掴むために、必要かつ適切な評価を行うことができる。(DP1,2,5) ④作業療法士として必要な記録及び報告ができる。(DP1,2,5)											
関心・意欲 ・態度	⑤医療専門職にかさ	わしい責任ある態	度、積極的な行動を	を身につける。(DP1,	2, 3, 4, 5)							
授業形 外部実習	医療、介護施設に			り実習前ガイダンス、 ない場合は、学内で≮				ぶある。				
回数	担当教員	授業方	テーマ	授 業 計 画 授業内容								
横山	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田		イダンス		ーションを実施し、 自必要な実習前学習	実習への心構え、態	度、その他準備すっ	べきことを周知す				
	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田	医療・介護が	面設での実習	作業療法士の在籍で 習を行う。	する医療機関・介護	施設へ赴き、規定の	期間、実習目標が這	達成できるよう実				
	山、廣渡、加藤、渡 、清水、外倉、松田	実習後1	zミナー			施し、実習報告レポ のガイダンスにて提		する。実習報告レ				
観点別 成績評価と		評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心·意欲·態度	割合(%)	到達目標				
到達目標の 関連	 総合評価とする。 項」を参照 		●	•	•	•	100	12345				
評価の 特記事項	などを総合的にみて	、学内の各専攻に	おける実習判定会議	いた具体的項目につい 義にて、学習目標が通 正当な理由なき欠別	達成できたと判断さ	れた場合に合格とす	る。実習前ガイダン	/スや実習後セミ				
準備学	学習(予習・復習等)の	つ具体的な内容及び	それに必要な時間									
復習:	: 学内で学んだ内容を鏨 : 経験した内容を振り逃 繋げられるようにするこ	ヹりまとめ、レポー			実習指導者からのフ	ィードバック内容を	と踏まえて更に学習	を深め、以後の学				

・日々の実習内容や疑問点を記す「デイリーノート」及び、症例の日々の様子を記す「ケースノート」は、実習期間中に適宜実習指導者からフィードバックを受 ける.

いる。 ・症例の評価結果をまとめる「ケースレポート」は、実習後に学内で作成し、適宜教員のフィードバックを受ける。 ・実習で学んだことは「実習後セミナー」で発表する。学生はセミナー用にレジュメを作成する。発表の場で教員及び参加学生からのフィードバックを受ける。

教科書

これまでに使用した教科書や授業で配布した資料すべて

参考図書

関係成書

- 「リハビリテーション、作業療法」について整理するとともに、現在の社会的背景や自分の考えも踏まえ説明ができるようにしましょう。
 医療従事者として、社会人として身につけておくべき資質について考えまとめましょう。
 実習中において、わからないことや疑問に思ったことは自ら調べまとめましょう。
 作業療法士になるための総合的な学習の場として、臨床実習があります。知識、技術、態度など多角的に能力を高められるように取り組むことが大切です。
 実習では多くのわからないことや疑問が出ます。実習指導者や本学教員の助言を積極的に仰ぎ、自己成長に繋げてください。

授業科	目名		Ę	 専攻	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
臨床実	習V(総合2)			ーション学科 法学専攻	3学年	必修	8単位	360時間				
担当教	員名											
横山 岡	1、加藤 真夕美、廣波	度 洋史、渡邊 豊明	、清水 一輝、松田	日 裕美、外倉 由之								
実務経!	験のある教員											
	リ、廣渡洋史、加藤 貞 教員は、医療機関や福											
授業概	要											
及び治	実習という位置づけの 療計画の立案、治療ま 、学生が診療チームの	尾践並びに治療効果	判定という一連の	作業療法過程を実施	する。また、そのた	めに必要な記録、幸	最告ができるように					
学習到	学習到達目標											
知識・理解	an識・理解 ①評価結果を基に具体的な治療計画を組むことができる。(DP1,2,5)											
思考・判断 ②治療計画に沿って、実習指導者の指導のもとで、適切な治療訓練ができる。(DP1, 2, 5) ・表現 ③実施された治療訓練の結果から、その効果を検証し改めて問題点を考察できる。(DP1, 2, 5)												
技能	④対象者が抱える問⑤作業療法士として			かつ適切な評価を行う 2,5)	うことができる。(D	P1, 2, 5)						
関心・意欲 ・態度 授業形				を身につける。(DP1, し、自らに必要な項目		それの補足をするこ	とができる。(DP1,	2, 3, 4, 5)				
外部実習				の実習前ガイダンス、 ない場合は、学内で≮				がある。				
回数	担当教員	授業ラ	テーマ	授業計	画	授業内容						
	i、廣渡、加藤、渡 清水、外倉、松田	実習前ガ	イダンス		ーションを実施し、 目必要な実習前学習	実習への心構え、態 を行う。	度、その他準備す・	べきことを周知す				
	1、廣渡、加藤、渡 清水、外倉、松田	医療・介護が	施設での実習	習 作業療法士の在籍する医療機関・介護施設へ赴き、規定の期間、実習目標が達成できるよう実 習を行う。								
	1、廣渡、加藤、渡 清水、外倉、松田	実習後1	マミナー			施し、実習報告レホ のガイダンスにて振		する。実習報告レ				
観点別 成績評価と 到達日標の	評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合 (%)	到達目標				
到達目標の 関連	総合評価とする。 項」を参照		•	•	●	●	100	1234567				
評価の 特記事項	容、客観的臨床能力	試験(OSCE)の結: *ンスや実習後セミ	果などを総合的に。	いた具体的項目につい みて、学内の各専攻に ダンス・報告会には&	おける実習判定会	議にて、学習目標が	達成できたと判断	された場合に合格と				

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習:学内で学んだ内容を整理し、実習の準備を進めること。(30分) 復習:経験した内容を振り返りまとめ、レポートを作成すること。学習内容に関する実習指導者からのフィードバック内容を踏まえて更に学習を深め、以後の学 習に繋げられるようにすること。また、客観的臨床能力試験(0SCE)に向けた練習に励むこと。(30分)

課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法

・日々の実習内容や疑問点を記す「デイリーノート」及び、症例の日々の様子を記す「ケースノート」は、実習期間中に適宜実習指導者からフィードバックを受

- ける。
 ・症例の評価結果をまとめる「ケースレポート」は、実習後に学内で作成し、適宜教員のフィードバックを受ける。
- ・実習で学んだことは「実習後セミナー」で発表する。学生はセミナー用にレジュメを作成する。発表の場で教員及び参加学生からのフィードバックを受ける。

教科書

これまでに使用した教科書や授業で配布した資料すべて

参考図書

関係成書

- 「リハビリテーション、作業療法」について整理するとともに、現在の社会的背景や自分の考えも踏まえ説明ができるようにしましょう。
 医療従事者として、社会人として身につけておくべき資質について考えまとめましょう。
 実習中において、わからないことや疑問に思ったことは自ら調べまとめましょう。
 作業療法士になるための総合的な学習の場として、臨床実習があります。知識、技術、態度など多角的に能力を高められるように取り組むこ とが大切です。
 実習では多くのわからないことや疑問が出ます。実習指導者や本学教員の助言を積極的に仰ぎ、自己成長に繋げてください。
 3年間の学習成果の集大成です。作業療法士としての管理、倫理を含め、包括的な学習を心掛けてください。

技	受業科目名			専	政	配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
Z	卒業研究				ーション学科 法学専攻	2学年、3学年	必修	1単位	30時間				
打	旦当教員名												
杓	黄山 剛、加藤 〕	真夕美、廣初	度 洋史、渡邊 豊明、	、清水 一輝、松田	裕美、外倉 由之								
Ţ	実務経験のある	教員											
			真夕美、渡邊 豊明、 冨祉施設などで作業!										
ž	授業概要												
8 1 3	この科目では、作業療法学専攻で学習した基礎・専門的な知識のもとに、作業療法研究法で学んだ研究の手法を使って進めた研究を、具体的に卒業論文としてまと め上げることを最終目標としている。論文にまとめるためには、各自が、それぞれの研究テーマに沿って様々な調査や実験を行い、それらの結果を多くの先行文献 などと比較検討しなくてはならない。それは、単に教科書を読むだけの学習にとどまらず、広く多角的な知識を得ることにつながる。このように、この科目では論 文をまとめる過程を通して様々な形での学習機会を体験し、自らの研究成果を形として残すことが重要な柱となる。2年次にも配当されている科目であり、3年次に おいて論文を作成して合格をもって単位修得とする。												
<u>با</u>	学習到達目標												
知識	・理解												
			実施し、その結果だ 見として、論文をまど		導き出すことができ 。 (DP2,5)	る。 (DP2,5)							
技	能												
関心・	・章欲												
	態度												
ž	受業形態												
演	習 担当	教員による も	ビミ形式で行う。										
					授 業 計	画							
回数	担当参	人員	授業ラ	テーマ			授業内容						
1	横山、加藤、 水、松田、廣	渡邊、清 讀波、外倉	ガイタ	ダンス	別途連絡します								
2	横山、加藤、 水、松田、廣		研究の実施	と論文作成	研究の実施と論文作	戶成							
3	横山、加藤、渡邊、清 水、松田、廣渡、外倉 研究の実施		と論文作成	研究の実施と論文化	戶成								
4	横山、加藤、渡邊、清 水、松田、廣渡、外倉 研究の実施		と論文作成	研究の実施と論文作成									
5	横山、加藤、渡邊、清 水、松田、廣渡、外倉 研究の実施		と論文作成	研究の実施と論文作成									
6	横山、加藤、渡邊、清 水、松田、廣渡、外倉 研究の実施		と論文作成	研究の実施と論文作成									

7		、加藤、渡邊、清 松田、廣渡、外倉	研究の実施	と論文作成	研究の実施と論文作	戶成						
8		、加藤、渡邊、清 松田、廣渡、外倉	研究論文作成		研究の実施と論文作成							
		評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標			
成績評 到達目	点別 平価と 目標の 連	許	іŻ		•			80	2			
		ゼミ	参加		•			20	1			
	 評価の 特記事項 作業療法研究法の単位が取得されていることが、本科目の評価対象者となる。 卒業研究論文として提出80%、指導教員のゼミ参加20%で評価する。人を対象とした論文では、愛知医療学院短期大学の倫理委員会の承認を受け行う。また、論文提出は指導教員の受理と指導を受けることを前提とする。 準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間 (予習・復習)研究は、ある特定の授業時間のみで進めるものではなく、各自の研究計画に沿って調査・実験をすすめるものです。それぞれの研究計画をしっかり立てて遂行していきましょう。(1回あたりの準備学習時間:1時間) 課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法 論文作成にあたり、指導教員のゼミに参加し積極的にフィードバックを受けましょう。 											
	<u>教科書</u>											
	参考図書	ŀ										
ŧ	各分野成書											
ſi	備考:履修者への要望											
7 7 7	本科目の中で、卒業論文をまとめ上げることは、本学在学中の学習において、総合的な学習成果が十分であるかどうかの指標になる大切な事項であります。それぞ れが、各科目で学習した知識にとどまらず、実習や自己学習で得られた多くの知識を活かして、積極的に研究活動を進めることを望みます。											

授業科目名			専攻		配当年次 時期	履修方法	単位数 (単位時間)	総時間数				
総合演習			リハビリテーション学科 作業療法学専攻		1~3学年	必修	1単位	30時間				
廣渡 洋史、田中 雅章、種田 陽一、横山 剛、加藤 真夕美、渡邊 豊明、清水 一輝、松田 裕美、外倉 由之、加藤真弓												
実務経験のある教員												
横山 剛・廣渡 洋史・加藤 真夕美・渡邊豊明・清水 一輝・松田 裕美・外倉 由之 以上の教員は、医療機関や介護保険領域の施設等において作業療法士として勤務した経験を有する												
授業概要												
本演習は主として各講義や実習などで学んだ知識を整理し、卒業後の診療活動における専門職として必要な総合的能力を統合させることを目的とし、本学におけ るすべての講義、演習、実習の成果を総括する。 作業療法士国家試験に必要な事項についての対策講義と、複数の教員によるゼミナール形式で、これまでに学習した内容をより臨床に向けて整理し、一人の理学療 法・作業療法の専門家として活躍できるように準備を行う。												
学習到達目標												
知識	知識・理解 ①作業療法士国家試験に合格できるだけの総合的な知識を身につける(他者に適切に説明できる)(Dp1) ②作業療法士としてだけでなく、一医療人、一社会人として医療施設、福祉施設、地域などにおいて求められる能力を理解することができる(Dp1)											
	う・判断 表現 ③作業療法士として臨床における問題解決能力を身につけることができる(Dp1)											
技能												
関心・意欲 ・態度												
ł	授業形態											
演習 グループおよび個人において演習を行う												
	和业业目	147 AF		授業計	画	该举于引						
回数	担当教員	[テーマ			授業内容						
1	横山、加滕、渡邊、清 水、松田	i山、加藤、渡邊、清 水、松田 国家試験に		国家試験に向けての概要								
2	加藤 真弓、外部講師 社会に出		るにあたり	就職活動についての必要事項の確認								
3	横山、廣渡、加藤、渡 邊、清水、松田、外倉		について	国家試験合格に向けての学習方法								
4	横山、廣渡、加藤、渡 邊、清水、松田、種田、 外倉		礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達分野								
5	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 松田、外倉	専門基	-礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達分野								
6	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 専F 松田、外倉		-礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進分野								
7	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 松田、外倉		-礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進分野								
8	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 松田、外倉		-礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念分野								
9	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 専門基 松田、外倉		-礎分野	保健医療福祉とリハビリテーションの理念分野								
10	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 専門 松田、外倉		分野	【OT】作業療法評価学分野·治療学分野								

11			分野	【0T】作業療法評価学分野・治療学分野							
	松田、外倉										
12	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 専門分野 松田、外倉		【OT】作業療法評価学分野・治療学分野								
13	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 専門分野 松田、外倉		分野	【OT】作業療法評価学分野・治療学分野							
14	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、 松田、外倉	まとめ		総まとめ							
15	横山、廣渡、田中、種 田、加藤、渡邊、清水、まとめ 松田、外倉			総まとめ							
観点成績評	点別 平価と 評価方法	評価の観点	知識・理解	思考·判断·表現	技能	関心・意欲・態度	割合(%)	到達目標			
到達目	標の		•	•			100	123			
評価の 特記事項 3年次の最終の筆記試験で100%評価する(受講態度などにより減点する場合もある) ※受験要件として、1年次(9月、3月)、2年次(9月、3月)に実施される実力テスト(4回)を受験していること											
準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間											
各専攻ともに、3年間の集大成として理学療法士および作業療法士国家試験に合格することは大切な学習成果である。そのための学習は本講義のみでは不十分であ るため、積極的な課外学習を1コマあたりにつき少なくとも1時間はしておく必要がある。											
課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法											
模擬試験など、各課題終了時点で紙面もしくは口頭でフィードバックを行う。											
教科書											
関係各成書全般											
参考図書											
関係各成書全般											
備考:履修者への要望											
最終的に国家試験を合格し、臨床現場へ就職していくことになるが、その為の絶対的な必須条件が国家試験合格である。そのため、各自が自身の能力を客観的に 自覚し、積極的な取り組みをする必要がある。この科目は、主に3年次はその集大成であるという心構えで取り組んで欲しい。											